

『学報』の刊行にあたって

臨教審第2次答申が、大学は「大きな社会的存在」であり、「公共的投資に支えられている組織体」であると述べたのは1986年のことである。したがって大学には「教育、研究および社会的寄与」に関する「大学の状況を社会に明らかにする責任がある」と、同答申は謳った。それから四半世紀が過ぎ、今や、情報化や国際化、そして少子高齢化の急速な進行を背景に、教育・研究・社会活動・大学の管理運営のいずれの分野においても高等教育機関が担うべき役割や使命は多様化しており、公立短大として本学に寄せられる社会からの期待や要求もますます高まっている。さらに、2011年4月1日付けで「学校教育法施行規則等の一部を改正する省令」が施行され、教育の質の向上を目的とした教育情報の公表が義務化された。こうした経緯に鑑み、本学は、大学全体の基本情報を広く収載した『学報』を刊行し、同時にウェブでも公開することとした。

まず、『学報』を作成するにあたって、本学としては3つの目的を念頭に置いた。第1は、社会に向けての広報機能の強化である。説明責任（アカウンタビリティ）の一端を果たすだけでなく、市民にとっての本学の魅力や価値を高めるためにも、わかりやすく整理された情報を効率的に伝えるしくみが不可欠である。『学報』はその機能の一翼を担い得ると考える。

第2の目的は、地域社会からの評価を受けることである。本学は、2010年度に大学評価学位授与機構の認証評価を受け、短期大学評価基準を満たしていると証された。しかし、同時に地域社会の理解や支持がなくては、公立の高等教育機関としての本学の発展は期待できないであろう。そこで、本学の現況を学内外に対して明らかにしたうえで、市民からの批判や要望に的確に応えることのできる大学づくりに、教職員が一丸となって努力していきたいと思う。

第3の目的は、大学全体の教育・研究・社会活動・管理運営の改善と活性化である。この報告書が媒介となって、教職員が互いに切磋琢磨する環境の醸成や、課題の解決に向けて協働で取り組もうとする機運の高まり、人的・物的資源の効果的な活用などが促進されることを期待したい。

次に、この報告書の特色は、従来の教員各自の自己点検報告書の枠を超えた、本学の教育に係る広範な情報を収載した点にある。学生の受け入れから、教育内容や学生指導の体制、教員情報、学生生活、卒業後の進路に至るまで、情報は多岐に渡る。加えて、大学における最大の構成メンバーは学生であるという現実を踏まえて、学生の

社会活動に関する情報を盛り込んだ点も、『学報』の特徴であると言える。一方で、網羅的な情報をただ列挙するのではなく、一般市民の方にも分かりやすい情報提供を心がけた。教員の社会活動を、対象別に整理し直したセクションを設けたのは、その一例である。

最後に、この報告書は、2010年度と2011年度の改革構想委員会が、2年がかりで作成した労作である。『学報』の刊行は本学にとって初めての試みであり、課題も多いが、毎年度、必要に応じて内容や形式を見直し、改善していく予定である。大学に対する厳しい批判と評価は、別な見方をすれば、大学への期待が大きいことを意味している。『学報』が本学の魅力アップと内容の充実に資するように、有効に活用していきたい。

2011年6月29日

倉敷市立短期大学

学長 江島 幹雄

2. 開学からの歩み

1968（昭和 43）年	4 月	倉敷保育専門学院（夜間部・3 年課程）の創設
1974（昭和 49）年	4 月	倉敷市立短期大学保育科第二部（夜間課程）に改組
1983（昭和 58）年	4 月	保育科第一部（昼間課程）の併設
1994（平成 6）年	4 月	服飾美術学科の新設
1995（平成 7）年	4 月	保育科第二部の廃止
2003（平成 15）年	2 月	倉敷市立短期大学審議会の設置
	4 月	専攻科（保育臨床専攻・服飾美術専攻）の開設
2005（平成 17）年	3 月	倉敷市立短期大学審議会の「最終答申」
		市立短期大学改革検討委員会の設置
2006（平成 18）年	2 月	市立短期大学改革検討委員会「報告書」
2007（平成 19）年	3 月	倉敷市立大学審議会の設置
2009（平成 21）年	3 月	倉敷市立大学審議会「最終答申」
2010（平成 22 年）	3 月	大学評価・学位授与機構 短期大学機関別認証評価（短期大学評価基準適合）

もくじ

1. 『学報』の刊行にあたって	… 1
2. 開学からの歩み	… 3
3. 短大の現況	… 5
短期大学名，所在地，学科の構成，学生数（定員，入学，卒業）， 教職員数，教育目標	
4. 大学組織	… 8
教育研究上の基本組織図	
5. 短大全体の社会活動（2006年4月～2011年3月）	… 9
6. 教員の主要業績	
学長	… 84
保育学科	… 88
服飾美術学科	… 152
7. 平成23年度入試結果	… 214
8. 進路状況	… 215
9. 教育施設	… 218
見取り図（校地，校舎の施設・設備等）	
10. 平成22年度カリキュラム	… 220
教育計画表，成績評価基準やルール	
11. 学生生活	… 231
12. 平成22年度の主な行事	… 236
13. 事業予算	… 238

3. 短期大学の現況

- 1 短期大学名 倉敷市立短期大学
- 2 所在地 岡山県倉敷市児島稗田町 160 番地
- 3 学科等の構成

		入学定員	総定員
学 科	保育学科	50	100
	服飾美術学科	50	100
専攻科	保育臨床専攻	5	10
	服飾美術専攻	5	10

4 学生数および教員数（平成 23 年 5 月 1 日現在）

学生数

		学生数	1 年	2 年
保育学科	（男）	5	2	3
	（女）	103	52	51
	（計）	108	54	54
服飾美術学科	（男）	7	4	3
	（女）	101	50	51
	（計）	108	54	54
本科計		216	108	108
保育臨床専攻	（男）	1	1	0
	（女）	9	5	4
	（計）	10	6	4
服飾美術専攻	（男）	1	0	1
	（女）	10	3	7
	（計）	11	3	8
専攻科計		21	9	12
総 計		237	117	120

専任教員数

	教員数	教授数	准教授	講師	助教
保育学科	11	5	2	4	0
服飾美術学科	11	3	5	2	1
保育臨床専攻	本科（保育学科，服飾美術学科）と兼務				
服飾美術専攻					

5 教育目標

短期大学の教育目標

保育及び服飾美術に関する専門的な理論と実地的な技能の教授及び研究を行うことにより，教養豊かな社会人を育成することを目的とする。

保育学科の教育目標

保育学科は，一人一人の学生の主体性と個性を尊重した少人数体制における指導・援助の下，保育者としての資質及び保育に関する専門的知識・技能並びにそれらを適切かつ創造的に活用できる保育実践力を修得し，卒業後においても学び続ける意欲を持った保育者の養成を目的とする。

服飾美術学科の教育目標

服飾美術学科は，芸術・デザイン・ファッションに関する基礎的な理論と実技の修得を通じて，多様なメディアやテクノロジーに対する理解力と多角的な視点を養い，学内外を学びの場として捉え，積極的に行動し考えることのできる，創造的で実践的なクリエイターの養成を目的とする。

専攻科の教育目標

本学に精深な程度において特別の事項を教授し，その研究を指導することを目的とする。

保育臨床専攻の教育目標

保育臨床専攻は，短期大学等での幼児教育・保育に関する学修を基礎に，一人一人の学生の主体性と個性を尊重した少人数体制における指導・援助の下，保育者として

の資質及び保育・子育て支援に関するより高度な専門知識・技能並びにそれらを適切かつ創造的に活用できる保育臨床的実践力を修得し，修了後においても学び続ける意欲をもった子育て支援の専門家の育成を目的とする。

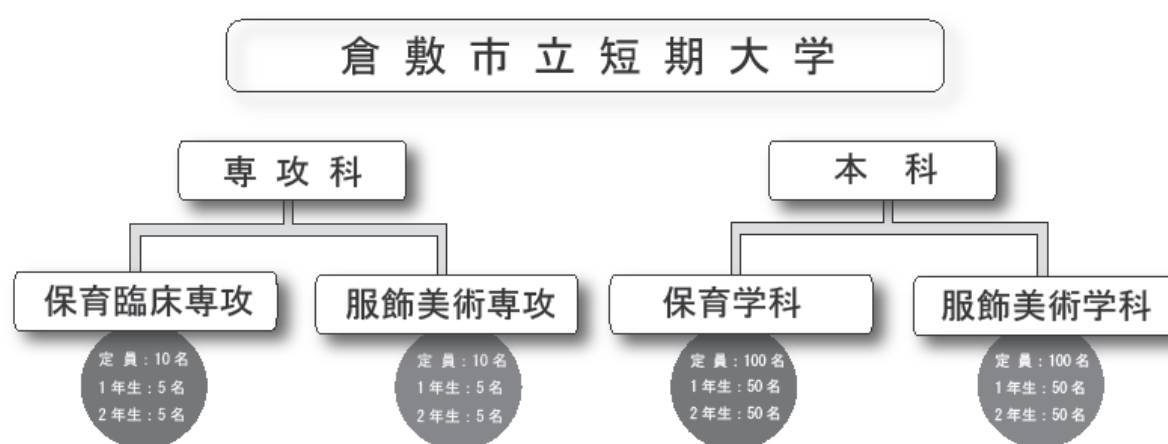
服飾美術専攻の教育目標

服飾美術専攻は，専門知識や技術，社会構造の変化に即応する力，仕事を遂行していくための高い倫理観と幅広い教養の修得が，大学教育に必要であると考え，生活者と生活者，生活者と地域社会といった，「関係性を創造するデザイン力」を重要な柱とした教育を行う。さらに，デザインを機軸にして物事を考え，学びを地域社会や産業に活かすことのできる，意欲ある人材の育成を目的とする。

入学者数

	H18 年	H19 年	H20 年	H21 年	H22 年	H23 年
保育学科	55	55	62	55	53	54
服飾美術学科	52	45	58	54	55	54
専攻科（保育臨床専攻）	7	8	5	3	6	6
専攻科（服飾美術専攻）	6	7	5	8	7	3

4. 教育研究組織図



5. 短大全体の社会活動（2006年4月～2011年3月）

1 一般市民・地域住民を対象とした活動

1-1 保育学科

○公開講座

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
岡山県生涯学習大学「『音楽あそび』で楽しく体を動かしましょう」	2006年7月3日	倉敷市立短期大学	野村公江
岡山県生涯学習大学「少子化時代の子育てー地域社会のネットワークをめざしてー」	2006年7月6日	倉敷市立短期大学	秋川陽一
倉敷市福祉部子育て推進室子ども家庭課・倉敷市子育て支援センター・地域子育てセンター育児ボランティア講座「子どもとのレクリエーション」	2006年9月2日	倉敷シティープラザ西ビル	野村公江
倉敷市立短期大学公開講座「かんたん、たのしい親子の英語あそび」	2006年10月6日、13日	倉敷市立短期大学	安達励人
岡山県生涯学習大学「楽しみながら、音楽への体内アンテナの感度をあげましょう！」	2007年7月9日	倉敷市立短期大学	野村公江
岡山県生涯学習大学「少子化時代の21世紀ー私たちの課題ー」	2007年7月10日	倉敷市立短期大学	秋川陽一
岡山県生涯学習大学「幼児の異文化交流」	2007年7月13日	倉敷市立短期大学	安達励人
岡山県生涯学習大学「簡単きれい！マカロニアート」	2007年7月14日	倉敷市立短期大学	金山和彦
岡山県生涯学習大学「日本アニメ、アメリカに行く」	2008年7月4日	倉敷市立短期大学	安達励人
岡山県生涯学習大学「モダンテクニックに挑戦～新しい絵画～」	2008年7月17日	倉敷市立短期大学	金山和彦
倉敷市立短期大学公開講座「子どもと大人がつながる遊び」	2008年11月7日	倉敷市立短期大学	木戸啓子

ライフパーク親子講座「親子で楽しくリズム遊び♪」	2009年2月21日、	ライフパーク倉敷	野村公江
倉敷市立短期大学公開講座「親子でつながる運動あそび」	2009年11月30日	倉敷市立短期大学	奥富庸一
倉敷市立短期大学公開講座「ひとの幸せを考える」	2009年12月1日	倉敷市立短期大学	門田昌子

○講座

事 項	月 日	場 所 等	氏 名 等
第14期 岡山県中小企業家同友会同友会大学「ユネスコ学習権宣言と教育基本法について」	2006年8月4日	岡山県中小企業家同友会	秋川陽一
日本生命倉敷支社研修会「信頼関係を築く、人とのかかわり方～教育・子育ての立場から」	2007年10月23日	サンピア倉敷	秋川陽一
親子のための工作講座	2008年6月14日 2009年6月20日、 2010年6月19日	倉敷市ライフパーク音楽練習室	金山和彦
岡山県中小企業家同友会第17期同友会大学「I教育と人権：ユネスコ学習権宣言と教育の課題」	2008年9月1日	トヨタレンタリース岡山	秋川陽一
ライフパーク親子講座「親子で楽しくリズム遊び♪」	2009年2月21日、2月28日、3月7日、3月21日	ライフパーク倉敷	野村公江
岡山県中小企業家同友会第18期同友会大学「I教育と人権：ユネスコ学習権宣言と教育の課題」	2009年8月24日	トヨタレンタリース岡山	秋川陽一

ライフパーク親子講座「親子で楽しくリズム遊び♪」	2009年10月 3日, 10 月10日, 10 月17日, 10 月24日	ライフパーク倉敷	野村公江
中小企業家同友会全国協議会 2009 全国共同求人交流会「基調講演：今の学生気質とその背景～多様な価値観を持つ学生とどう向き合うか～」	2009年12月 4日	アークホテル岡山	秋川陽一
広島県中小企業家同友会「大学・短大・専門学校」の先生方と経営者の懇談会」における「問題提起：今の学生気質とその背景～多様な価値観を持つ学生とどう向き合うか～」	2010年4月 16日	ホテルグランヴィア広島	秋川陽一
第19期岡山県中小企業家同友会同友会大学「Ⅰ 教育と人権 Ⅱ ユネスコ学習権宣言と教育の課題」	2010年8月 23日	トヨタレンタリース岡山	秋川陽一
倉敷市連島公民館「夏休みふれあい体験講座」講師	2010年8月 21日～22日	連島公民館	金山和彦
ライフパーク親子講座「子どもと一緒に楽しいリズム遊び♪」	2010年9月 25日, 10月 2日, 10月9 日, 10月16 日	ライフパーク倉敷	野村公江

○指導・助言

事 項	年 月 日	場 所 等	氏名等
第52回中国地区保育研究大会分科会助言者	2006年7月 13日	広島プリンスホテル	秋川陽一
岡山市民のつどい 2006「第1分科会・教育・子育てを考える：子どもの安全と権利が守られる地域づくりを考える」パネルディス	2006年9月 10日	岡山コンベンションセンター	秋川陽一

カッション・コーディネーター			
子育てネットワーク in 岡山 2006 シンポジウム・パネラー「子育てネットワークをどう紡ぐ？～子どもの育ちを支えるために～」	2006 年 9 月 30 日	岡山県立閑谷学校研修センター	秋川陽一
平成 18 年度（第 8 回）岡山県保育協議会保育研究大会 第 2 分科会助言者・研究発表講評者	2007 年 1 月 29 日～30 日	岡山ロイヤルホテル	秋川陽一
平成 18 年度特色 G P「実践力が育つ保育者養成システム」助言者 ～実習・ボランティア・卒後指導を軸とした体系的学習支援～	2007 年 3 月 25 日	松江市内ホテル	金山和彦
岡山市民のつどい 2007「第 1 分科会・教育・子育てを考える：つくってみよう！私たちの子育て・子育て支援策」共同討論者・基調報告	2007 年 9 月 9 日	岡山大学	秋川陽一
「仕事と子育ての両立応援フォーラム」(全国保健センター連合会・岡山県共同主催) パネルディスカッション・コーディネーター	2007 年 11 月 23 日	岡山市・三木記念会館	秋川陽一
平成 19 年度（第 9 回）岡山県保育協議会保育研究大会分科会助言者・研究発表講評者	2008 年 1 月 30 日～31 日	岡山ロイヤルホテル	秋川陽一
第 2 回 中国 5 県保育団体合同研究集会第 1 分科会世話人「保護者と保育者の伝え合い」	2008 年 6 月 8 日	中国学園大学	秋川陽一
金銭教育研究 研究指定校 学校法人淳心学院海星幼稚園（倉敷市玉島）研究アドバイザー	2008 年 9 月 ～2010 年 2 月	学校法人淳心学院海星幼稚園	金山和彦
岡山市民のつどい 2008「第 1 分科会・教育・子育てを考える：どの子もいきいきと育ちあうために～発達障害児の子育て・子育て支援を考える～」共同討論者・コーディネ	2008 年 9 月 7 日	岡山コンベンションセンター	秋川陽一

ーター			
新見公立短期大学 平成 18～20 年度特色 G P 「実践力が育つ保育者養成システム」 ～実習・ボランティア・卒後指導を軸とし た体系的学習支援～成果報告会における外 部評価	2008 年 11 月 22 日	新見市学術交流 センター	金山和彦
倉敷市保育協議会 3 未部会助言指導	2009 年度～ 2010 年度	倉敷市	木戸啓子
平成 20 年度（第 10 回）岡山県保育協議会 保育研究大会分科会助言者・研究発表講評 者	2009 年 1 月 29 日～30 日	岡山ロイヤルホ テル	秋川陽一
岡山県学童保育連絡協議会 岡山県学童保 育フォーラム「子ども理解・子育て分科会 ①：家庭での子育て どうしよう！？」	2009 年 11 月 29 日	中国学園大学	秋川陽一
第 42 回中国・四国音楽教育研究大会岡山大 会指導助言	2010 年度～ 2011 年度	倉敷市立万寿東 幼稚園	野村公江
岡山市保育協議会第 1 ブロック研究委員会	2010 年度～ 現在	岡山市	奥富庸一
平成 21 年度（第 11 回）岡山県保育協議会保 育研究大会分科会助言者	2010 年 1 月 25 日	岡山コンベンシ ョンセンター	木戸啓子
平成 21 年度（第 11 回）岡山県保育協議会 保育研究大会 研究発表講評者	2010 年 1 月 26 日	岡山コンベンシ ョンセンター	秋川陽一
日本放課後児童指導員協会 放課後児童指 導員資格プレ認定講習会「第 8 回 学童保 育運営と保護者・地域との連携」	2010 年 1 月 31 日	岡山県総合福 祉・ボランティ ア・N P O 会館	秋川陽一
第 56 回 中国地区保育研究大会 分科会 助言	2010 年 7 月 15 日	岡山コンベンシ ョンセンター	秋川陽一
平成 22 年度倉敷市小学校英語科パワーア ップ研修会パネリスト（倉敷市小学校教育 研究会英語科部会）	2010 年 8 月 5 日	倉敷市庁舎大会 議室	安達励人

岡山県保育協議会保育会表現保育研究部講師	2010年9月 13日, 2010 年10月26 日	岡山市きらめき プラザ	金山和彦
保育を守る岡山集会（保育を守る岡山集会 実行委員会・岡山市私立認可保育園園長会 主催）対談「テーマ：新システム＝制度改革 で保育は良くなるか？」	2010年12月 4日	岡山ロイヤルホ テル	秋川陽一
平成22年度（第12回）岡山県保育協議会保 育研究大会分科会助言者	2011年1月 24日	岡山コンベンシ ョンセンター	木戸啓子
子育てシンポジウム in 倉敷市 パネルデ ィスカッション パネリスト	2011年1月 29日	マービーふれあ いセンター	秋川陽一

○イベント

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
倉敷市大学連携福祉事業「福祉まつり」実 行委員長	2007年10月 6日	水島サロン	秋川陽一
全国保育問題研究協議会・岡山集会実行委 員長	2009年6月5 日～7日	岡山シンフォニ ーホール ・就実大学	秋川陽一
「親子で一緒にバレーボールあそび」倉敷市大 学連携事業	2010年7月3 日	ライフパーク倉 敷	奥富庸一
「今日からイクメン！～2・3歳児と運動遊 び～」倉敷市市民学習センター主催	2011年1月 30日	ライフパーク倉 敷	奥富庸一

○指導及び演奏会

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
倉敷合唱フェスティバル（アンコーラ）	2005年より 毎年12月～ 2月	倉敷市芸文館	野村公江
倉敷サマーコンサート（アンコーラ）	2005年～現 在 毎年8	倉敷市芸文館	野村公江

	月		
倉敷東公民館文化展「アンコーラ ミニコ ンサート」（女声合唱団）	2006 年～現 在 毎年 11 月	倉敷東公民館	野村公江

○研修会

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
岡山市公民館職員研修会「子どもの権利条約の『子ども観』を学ぶ」	2006 年 7 月 14 日	岡山中央公民館	秋川陽一
第 3 回倉敷市教育委員会人権教育課題研究部会講話「子どもの権利条約の趣旨を生かした学校運営や学級運営の在り方」	2006 年 8 月 2 日	ライフパーク倉敷	秋川陽一
倉敷教育センター初任者研修講座（第 16 回）「男女共同参画社会と教育」	2006 年 8 月 9 日	ライフパーク倉敷	秋川陽一
平成 18 年度第 5 回笠岡市教職員人権教育指導者講座「保育・教育現場で子どもの権利条約は活かされているか？」	2006 年 8 月 18 日	サンライフ笠岡	秋川陽一
平成 18 年度全国保育士養成セミナー：分科会 A-2「保育士養成校の現状と展望」話題提供「『学生指導』のあり方と保育士養成教員としての力量形成」	2006 年 9 月 9 日	安田女子大学	秋川陽一
平成 18 年度全国保育士養成セミナー：分科会 D-2「保育士の成長と専門性－養成から現職教育を見通したキャリア開発－」話題提供「保育士の学びに対する養成校の援助」	2006 年 9 月 9 日	安田女子大学	木戸啓子
勝北地区保育所職員研修会「保育園の民営化～その背景・問題点・課題とは？」	2006 年 10 月 7 日	津山市立勝北公民館	秋川陽一
倉敷市教育委員会幹部職員人権教育講演会「子どもの権利条約の精神と教育」	2006 年 10 月 24 日	倉敷市役所 10 階大会議室	秋川陽一
第 3 回津山市立保育所のあり方検討会学習会「保育所の民間委託を考える視点」	2007 年 2 月 16 日	津山市役所	秋川陽一

第3回倉敷市放課後児童クラブ指導員ネットワーク総会「子どもの権利保障と放課後子どもプラン～児童クラブの条件整備の必要性～」	2007年6月10日	倉敷市健康福祉プラザ	秋川陽一
平成19年度総社市PTA人権教育担当者研修会「子どもの人権保障と学校教育の役割」	2007年6月12日	総社市総合福祉センター	秋川陽一
倉敷市福祉部倉敷ファミリー・サポート・センター平成19年度研修会「気持ちよく、一緒に歌いましょう！～歌ってあげたい歌＆歌ってもらいたい歌～」	2007年9月1日	倉敷ターミナルホテル9F	野村公江
倉敷市玉島婦人協議会男女共同参画研修会「家庭・地域から始める男女共同参画社会～子育て支援を中心に」	2007年11月17日	倉敷市玉島東公民館	秋川陽一
保育士養成講座	2008年度	岡山ふれあいセンター	木戸啓子
高梁市保育協議会 保育研修会「保育実践研究の目的と方法について」	2008年1月12日	高梁市総合福祉センター	秋川陽一
岡山市保育協議会第5ブロック研修会「保育実践研究とは？～その考え方と進め方」	2008年5月29日	岡山市立芳泉小学校	秋川陽一
第4回 倉敷市放課後児童クラブ指導員ネットワーク 総会講演「放課後子どもプランと児童クラブの課題」	2008年6月1日	倉敷市健康福祉プラザ	秋川陽一
子育てお助け人になってみよう！～子育て支援者養成講座～	2008年8月・2009年6月	ライフパーク倉敷市民学習センター	木戸啓子
平成20年度 倉敷市公立幼稚園8月主任研修会「楽しく歌って、軽快に動いて、疲れ気味の頭に心地良い刺激を！」	2008年8月8日	玉島公民館	野村公江
倉敷市小学校教育研究会英語科部会夏季研修会講師「学級担任が進める楽しい英語活動～明日から使える実践のためのヒント	2008年8月21日	ライフパーク倉敷	安達励人

～」			
倉敷市児童クラブ障がい児対応専門研修会 講師（倉敷市保健福祉局子ども未来部子育て支援課）	2008年9月 17日，2009 年6月21日， 2009年11月 1日，2010 年6月27日， 2010年11月 14日	倉敷市立短期大 学	金山和彦
児童クラブ指導者研修会講師	平成20年10 月1日	倉敷市教育委員 会生涯学習課	長田実
倉敷市児童クラブ障がい児対応専門研修会 講師	2009年～ 2010年	倉敷市子ども未 来部子育て支援 課	長田実
特別支援教育研修会	平成21年6 月1日	岡山県立岡山東 養護学校	長田実
H21年度倉敷市児童クラブ障がい児対応専 門研修会「発達障がいと音楽遊び」	2009年6月7 日，10月25 日	倉敷市玉島公民 館別館体育館	野村公江
倉敷市学童保育連絡協議会第2回総会記念 講演会「親と指導員が共に築き上げていく 学童保育とは～倉敷編」	2009年6月 14日	くらしき健康福 祉プラザ	秋川陽一
教員免許更新講習講師	2009年8月1 日	四国学院大学	金山和彦
平成21年度岡山県国公立幼稚園教育研修 会「動きを取り入れた楽しい歌唱指導の試 み」	2009年8月 11日	ライフパーク倉 敷	野村公江
全日本私立幼稚園幼児教育研究機構（実 施：中国地区私立幼稚園協議会）「平成21 年度教員免許状更新講習Ⅱ」	2009年8月 18日	岡山コンベンシ ョンセンター	秋川陽一

岡山大学大学院保健学研究科「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム 09 「助産師のための子育て講座」講師「『子どもの権利条約』の精神と助産師の役割」	2009年9月4日	岡山大学	秋川陽一
平成21年度全国保育士養成セミナー:分科会 B-3 話題提供	2009年9月10日	東北福祉大学	金山和彦
井原市男女共同参画推進審議会 講話「男女共同参画社会形成をめぐる諸問題」	2009年10月23日	井原市役所	秋川陽一
岡山市福祉交流プラザ岡輝 平成21年度第3回人権学習会「子どもの人権を尊重した子育て～子どもの権利条約を踏まえて～」	2010年1月28日	岡山市福祉交流プラザ岡輝	秋川陽一
「こころの発達支援」	2010年5～3月	倉敷市子育て支援センター	長田実
2010年度 岡山市学童保育連絡協議会 指導員部会 学童保育指導員研修会 コース1《上半期》 学童保育総論「①子どもをとりまく状況（現代の子育て状況）」	2010年5月11日	岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館	秋川陽一
平成22年度日本放課後児童指導員協会 放課後児童指導員資格認定講習「学童保育の目的と役割:②学童保育の歴史と制度・運営形態および地域・行政機関との関係」	2010年5月23日	中国学園大学	秋川陽一
H22年度倉敷市児童クラブ障がい児対応専門研修会「発達障がいと気軽にできる音楽遊び」	2010年5月30日, 10月31日	倉敷市立短期大学体育館	野村公江
瀬戸内市学童保育連絡協議会 学童保育講座「子どもの権利保障と児童クラブの課題」	2010年6月12日	ゆめトピア長船	秋川陽一
2010年度 岡山市学童保育連絡協議会 指導員部会 学童保育指導員研修会 コース1《上半期》 学童保育総論「①学童保育の歴史・制度」	2010年6月15日	岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館	秋川陽一

倉敷市公立幼稚園教育研究会絵画制作部会 講師	2010年7月 26日	くらしき健康福 祉プラザ	金山和彦
倉敷市公立幼稚園協議会健康部会研修会 「子どもたちの季節に合わせた運動あそ び」	2010年7月 21日	倉敷市立短期大 学	奥富庸一
教育支援地域第3回公開講座講師	2010年8月	岡山県立西備支 援学校	長田実
平成22年度事業所内保育施設事業主研修 会「保育所での安全管理について」	2010年8月3 日	アイビースクエ アフローラルコ ート	木戸啓子
平成22年度倉敷市公立幼稚園教育研究会 音楽リズム部会「歌って、動いて、楽しい リズム遊び」	2010年8月6 日	水島ふれあいセ ンター体育館	野村公江
岡山大学大学院保健学研究科「妊娠中から の母子支援」即戦力育成プログラム10：第 9日 助産師のための子育て講座C「『子ど もの権利条約』の精神と助産師の役割」	2010年9月3 日	岡山大学	秋川陽一
「子育てサポーター養成講座 乳幼児にと って絵本とは」	2010年9月 11日	ライフパーク倉 敷	溝手恵里
総社市学童保育連絡協議会講演会「学童保 育における危機管理について」	2010年9月 12日	総社市山手公民 館	秋川陽一
倉敷市児童クラブ障がい児対応専門研修会 「発達障がいと運動遊び」	2009年11月 1日，2010 年6月27日， 2010年11月 14日	倉敷市立短期大 学	奥富庸一
平成22年度 備中子どもサポーター育成 講座「第3回 こどもを取り囲む環境」	2010年11月 16日	浅口市保健セン ター	秋川陽一
平成22年度 「岡山市放課後子どもプラ ン」合同研修会「いまを生きるこどもたち の環境を知ろう！」	2010年12月 4日	岡山ふれあいセ ンター	秋川陽一

倉敷市学童保育連絡協議会ほわっとあったか子育て研修会	2010年12月5日	玉島児童館	木戸啓子
日本幼児体育学会認定幼児体育指導員養成研修会「指導者の役割と指導者としてのコミュニケーションスキル」	2011年1月10日， 2010年1月11日， 2009年9月27日	東京成徳短期大学 東京成徳短期大学 美作大学	奥富庸一

○講演

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
倉敷市立児島市民病院第30回赤ちゃん同窓会特別講演「子育てを楽しむために～子どもの見方と関わり方」	2006年7月1日	児島文化センター	秋川陽一
倉敷市男女共同参画セミナー「少子化と男女共同参画」	2006年8月5日	倉敷市男女共同参画推進センター	秋川陽一
岡山市立吉備公民館講座講師「お父さんの子育て～楽しさを分かち合う」	2006年9月16日	岡山市立吉備公民館	秋川陽一
美作市男女共同参画講演会「子育て子育てを地域で支える社会づくり」	2006年11月26日	美作市民センター	秋川陽一
瀬戸内市男女共同参画共同参画講演会「父さんの子育て～楽しさを分かち合う」	2007年3月10日	ゆめトピア長船	秋川陽一
倉敷市男女共同参画セミナー【第1回】「男女共同参画社会って何？」	2007年6月23日	倉敷市男女共同参画推進センター	秋川陽一
平成19年度備北地区婦人大会「家庭の中から築く男女共同参画社会」	2007年7月6日	高梁市成羽総合福祉センター	秋川陽一
第3回イキイキ人間学講座「子どもの権利と地域」	2007年9月21日	ライフパーク倉敷	秋川陽一
平成19年度第2回人権問題研修講座「子どもの人権を大切にした学校・家庭の教育～」	2007年10月5日	岡山ふれあいセンター	秋川陽一

『子どもの権利条約』の精神を踏まえて～」			
真備町男女共同参画クリスマスコンサート & 講演「家庭から始める男女共同参画社会」	2007 年 12 月 9 日	マービーふれあ いセンター	秋川陽一
真備町ボランティア連絡協議会総会記念講 演会「保育の心で幼児英語活動にとりく んでー英語特区での保育学生の実践からー」	2008 年 6 月 5 日	倉敷市真備保健 福祉会館	安達励人
岡山市立妹尾小学校教育講演会「“子育て 支援”ができる親になろう！～子どもへの “まなざし”とかかわり方～	2008 年 6 月 15 日	岡山市立妹尾小 学校体育館	秋川陽一
倉敷市男女共同参画セミナー【第 1 回】「男 女共同参画社会ってなあに？」	2008 年 6 月 28 日	倉敷市男女共同 参画推進センタ ー	秋川陽一
岡山市旭公民館講座「子育て真っ最中！ パ パカの活かし方」	2008 年 8 月 3 日	岡山市立旭公民 館	秋川陽一
倉敷市子育て支援センター・子育て講演会 「子どもの育ちを応援できる親になろ う！」	2009 年 1 月 17 日	くらしき健康福 祉プラザ	秋川陽一
岡山県学童保育連絡協議会 30 周年記念講 演会『いま、子どもたちのために学童保育 は何ができるのか：親と指導員が共に築き 上げていく学童保育とは～地域運営委員会 方式を中心に～』	2009 年 5 月 24 日	岡山県総合福 祉・ボランティ ア・NPO 会館 内岡山県ウィズ センター	秋川陽一
第 48 回全国保育問題研究会岡山集会・特別 講座 J における特別講師（就実大学）	平成 21 年 6 月 6 日	倉敷市立短期大 学	金山和彦
平成 21 年度倉敷市男女共同参画セミナー 【第 1 回】「男女共同参画社会って何？」	2009 年 6 月 27 日	倉敷市男女共同 参画センター	秋川陽一
倉敷市子育て支援センター子育て講演会	2010 年 2 月 6 日	倉敷市子育て支 援センター	木戸啓子
平成 22 年度 倉敷市民間保育所協議会 定期総会記念講演「倉敷市の保育・子育て 支援のこれから～倉敷市立短大の役割・課	2010 年 5 月 25 日	くらしき健康福 祉プラザ	秋川陽一

題との関連から」			
岡山市保育協議会第1ブロック総会「運動遊びが楽しいと思える子どもを育てる」	2010年6月4日	岡山市北ふれあいセンター	奥富庸一
岡山県備中県民局 第2回『備中子育て晴れの国』協働子育て支援学会（研究会）「子育て（子育ち）支援施策の方向性を考える～子どもの権利保障の観点から～」	2010年6月25日	岡山県備中県民局	秋川陽一
倉敷市学童保育連絡協議会 第3回総会記念講演会「学童保育における危機管理とは」	2010年6月27日	山陽ハイツ	秋川陽一
平成22年度早島町人権教育推進協議会研修会「子どもの人権を尊重した教育・子育て～子どもの権利条約の精神を踏まえて～」	2010年7月3日	早島町立総合会館 ゆるびの舎	秋川陽一
平成22年度赤磐市男女共同参画セミナー「子育て・子育ちを家庭・地域で支えるために」	2010年7月10日	赤磐市立中央公民館	秋川陽一
ほのぼの子育てほっとはあと子育て支援拠点事業ひろば型における子育て講演会	2010年8月17日	山手保健センター	木戸啓子
親子クラブ倉敷ブロック子育て講演会	2010年10月25日	倉敷市保健所	木戸啓子
「男女共同参画時代の地域づくりと女性の役割」総社市婦人協議会「女性の人権教育研修会」	2010年11月20日	総社市福祉センター	秋川陽一
「保育を守る決起大会 岡山」（日本保育協会岡山県支部・日本保育推進連盟岡山県支部）講演「子ども・子育て新システムは何が問題か？」	2011年3月5日	岡山ロイヤルホテル	秋川陽一

○審査委員

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
箕面手作り紙芝居まつり審査員	1995年～現	大阪府箕面市	溝手恵里

	在		
大阪書店組合 本の帯コンクール審査員	2000 年 9 月	大阪府	溝手恵里

○ワークショップ

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
子どもたちの童話創作ワークショップ（倉敷市文化振興財団）第 1 回～第 5 回（各 1 週間）	2005 年～ 2009 年	倉敷市芸文館・ 倉敷市民会館	安達励人
四国学院大学社会福祉学部子ども福祉学科 主催「こども広場」における講師	2008 年 11 月 29 日	四国学院大学ノ トス館	金山和彦

1-2 服飾美術学科

○公開講座

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
岡山県生涯学習大学「パソコンで情報検索」	2006 年 7 月 3 日	倉敷市立短期大 学	大原啓市
岡山県生涯学習大学「ファッションを上手 に利用してからだを守りましょう」	2006 年 7 月 4 日	倉敷市立短期大 学	佐藤希代 子
倉敷市立短期大学公開講座「身近な静物を 描こう」	2006 年 7 月 4 日・7 日	倉敷市立短期大 学	藤木正則
倉敷市立短期大学公開講座「布で作る」	2006 年 7 月 6 日	倉敷市立短期大 学	福村愛美
倉敷市立短期大学公開講座「世界にひとつ の MY フェルトバッグをつくろう」	2007 年 7 月 5 日、6 日	倉敷市立短期大 学	田中孝明
倉敷市立短期大学公開講座「布で作る小物」	2007 年 7 月 10 日	倉敷市立短期大 学	福村愛美
岡山県生涯学習大学「ストレスを測ってみ ましょう」	2007 年 7 月 13 日	倉敷市立短期大 学	佐藤希代 子
倉敷市立短期大学公開講座「環境を探索す る-からだが探る-」	2007 年 11 月 6 日	倉敷市立短期大 学	上村晴彦
岡山県生涯学習大学公開講座「癒しを求め	2008 年 7 月	倉敷市立短期大	内田洋子

て」		学	
岡山県生涯学習大学「食卓を演出しましょう！～絞り染ランチョンマット・コースター制作～」	2008年7月3日	倉敷市立短期大学	田中孝明
岡山県生涯学習大学「生理値を測ってみましょう」	2008年7月8日	倉敷市立短期大学	佐藤希代子
岡山県生涯学習大学「Google earthで遊ぼう」	2008年7月9日	倉敷市立短期大学	大原啓市
倉敷市立短期大学公開講座「手縫いで作るかわいい小物（１）・（２）」	2008年7月14日	倉敷市立短期大学	福村愛美
岡山県生涯学習大学「インクジェットプリンタで遊ぼう」	2008年7月16日	倉敷市立短期大学	大原啓市
倉敷市立短期大学公開講座「『水彩で描く絵葉書』～染まる秋の精粹」	2010年11月29日	倉敷市立短期大学	趙採沃
倉敷市立短期大学公開講座「キャンドルケーキをつくろう」	2010年12月7日	倉敷市立短期大学	松内紀之
倉敷市大学連携講座「フェルトメイキング～フェルト・ボール作り体験～」	2010年10月30日	ライフパーク倉敷	田中孝明

○講演

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
キルティング・ビー・母校展オープニングトーク	2007年11月10日	勝央美術文学館	藤木正則
<縁と縁> 現代美術を結ぶもの	2008年3月15日	同志社大学	藤木正則
藤木正則展アーティストトーク	2008年3月15日	特定非営利活動法人キャズ	藤木正則
水脈の肖像 09 日本と韓国の今日展 ギャラリートーク	2009年12月6日	北海道立近代美術館	藤木正則
パブリックスペースでの表現（1979-2009）	2010年4月14日	Satellite	藤木正則

○解説・助言

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
「柔らかい衣類で子どもを包んであげましょう」, ウィメンズパーク Benesse コーポレーション	2010 年 12 月 6 日～2010 年 12 月 12 日	Benesse HP	佐藤希代子

○講演会企画

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
「球体（責任編集・アートディレクション）の活動と大学での授業について」講師 立花文穂	2010 年 3 月 4 日	倉敷市立短期大学	藤木正則 上村晴彦
「クリエイターの仕事と発想について」講師 月岡彩	2010 年 6 月 18 日	倉敷市立短期大学	藤木正則 上村晴彦

○アートプロジェクト

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
リヤカープロジェクト：香川県縦断	2010 年 9 月 19 日～21 日	香川県	藤木正 則・学生共 同

○イベント

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
県民文化祭アートバザール展	2006 年 10 月 22 日	倉敷市芸文館前 広場	藤木正 則・学生共 同
FUKURO	2009 年 3 月 20 日～23 日	art gallery ABSENTE	藤木正 則・大塩麻 由子
綿と紙漉きの出会いから	2009 年 12 月 19 日～20 日	倉敷公民館展示 室	藤木正則
県民文化祭くらたんファブリックアート 2009	2009 年 12 月 19 日～20 日	倉敷美観地区・ 本町・東町	藤木正 則・学生共

			同
「onsaya での くらたんクリ室」	2010 年 8 月 21 日～29 日	cafe onsaya	上村晴 彦・ファッ ションク リエイシ ョンゼミ
夢づくり県立図書館フェスタ「MADE IN KOJIMA」出展	2010 年 10 月 30 日～11 月 7 日	岡山県立図書館	藤木正 則・学生共 同
第 25 回国民文化祭おかやま 2010「手動販 売機」	2010 年 10 月 30 日，31 日	(有) 藤孫商店 児島ジーンズス トリート	上村晴 彦・学生
国民文化祭ファッション・フェスティバル 「リヤカープロジェクト：手廻しミシン体 験」	2010 年 10 月 31 日	倉敷市児島駅前 広場	藤木正 則・学生共 同

○展示会・展覧会

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
Exhibition Interaction ドイツ/帰国展	2006 年 1 月 7 日～1 月 21 日	CAI 現代芸術研 究所（札幌）	藤木正則
水脈の肖像 2006 日本・韓国・ドイツ	2006 年 5 月	北海道立近代美 術館	藤木正則
2007 秋期韓国基礎造形学会国際学術大会 国際交流作品展	2007 年 11 月 3 日～9 日	忠北大学校（韓 国）	趙採沃
キルティング・ビー・母校展	2007 年 11 月 ～12 月	勝央美術文学館	藤木正則
藤木正則展	2008 年 2 月 25 日～3 月 22 日	特定非営利活動 法人キャズ（大 阪）	藤木正則
2008 春期韓国基礎造形学会国際学術大会 国際交流作品展	2008 年 5 月 17 日～23 日	ソウル大学校 （ソウル）	趙採沃

2008 秋期 韓国基礎造形学会国際学術大会 国際交流作品展	2008 年 11 月 1 日～2 日	明知大学校	趙採沃
アジア創造美術展～共生と融合	2009 年 1 月 21～2 月 2 日	国立新美術館 (東京)	趙採沃
2009 韓国基礎造形学会イタリア作品展	2009 年 1 月 29～30 日	Via Barnaba Oriani 3000197, Roma, Italy	趙採沃
倉敷市立短期大学専攻科服飾美術専攻 1 年 合同制作展「歩いてたつもりが空飛んでた。 展」	2009 年 3 月 31 日～4 月 8 日	倉敷ファッション ギャラリー	藤木正則、 上村晴彦、 田中孝明、 2009 年度 専攻科服 飾美術専 攻 1 年生
第 61 回三軌会彫刻部門入選	2009 年 5 月	国立新美術館 (東京)	趙採沃
2009KSBD A International Spring Exhibition	2009 年 5 月 16～22 日	江原国立大学校 (韓国)	趙採沃
日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ交 流美術展「川崎展」	2009 年 5 月 16 日～24 日	川崎市市民ミュ ージアム、(川 崎)	趙採沃
国際公募第 45 回亜細亜現代美術展彫刻部 門	2009 年 6 月 12 日～22 日	東京都美術館 (東京)	趙採沃
アート・コスモス展—生命 (いのち)	2009 年 8 月 17 日～23 日	ギャラリーアー チストスペース	趙採沃
「あしあと展 Footprint～繊維造形からの 視点～」、倉敷市立短期大学服飾美術学科 テキスタイルデザインゼミ生作品展企画、 倉敷ファッションセンター共催	2009 年 8 月 22 日～30 日	倉敷ファッション ギャラリー	田中孝明、 2009 年度 服飾美術 学科テキ スタイル

			デザイン ゼミ生
PLATFORM IN KIMUSA	2009年9月3 日～9月25 日	アートソンジ ェ・センター(ソ ウル)	藤木正則
2009 秋 国際交流作品展	2009 年 11 月 7～8 日	Sangmyung University	趙採沃
水脈の肖像 09 日本と韓国の今日	2009 年 12 月 5 日～12 月 13 日	北海道立近代美 術館	藤木正則
「高城染工 での くらたんクリ室」	2010 年 3 月 31 日～4 月 11 日	RIVER	上村晴 彦・ファッ ションク リエイシ ョンゼミ
2010 春 韓国基礎造形学会国際作品展	2010 年 5 月 29 日～6 月 3 日	キョンヒ大学校 (ソウル)	趙採沃
光 2010 河正雄青年作家招待展 10 周年記念展	2010 年 6 月 24 日～8 月 8 日		趙採沃
2010KSBD-UNLV International Invitation Exhibition	2010 年 7 月 1 日～7 月 5 日	University of Nevada (USA)	趙採沃

○パフォーマンス

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
ガソリンスタンドで旗をふる	2006 年 5 月 1 日	児島、妹尾、藤 田	藤木正則
岡山ウォーク	2009 年	岡山市中心部	藤木正則
勝央町で旗をふる	200 年 9 月	植月小学校、古 吉野小学校、吉	藤木正則

		野 小 学 校	
RED TAPE 2009	2009 年 9 月 2 日	ソウル市	藤 木 正 則

○ワークショップ

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
キルティング・ビー・吉野小学校	2007 年 7 月 23 日	勝 央 町	藤 木 正 則
キルティング・ビー・古吉野小学校①	2007 年 7 月 24 日	勝 央 町	藤 木 正 則
キルティング・ビー・植月小学校①	2007 年 8 月 26 日	勝 央 町	藤 木 正 則
キルティング・ビー・古吉野小学校②	2007 年 8 月 26 日	勝 央 町	藤 木 正 則
キルティング・ビー・植月小学校②	2007 年 8 月 27 日	勝 央 町	藤 木 正 則
キルティング・ビー・勝間田小学校①	2007 年 9 月 23 日	勝 央 町	藤 木 正 則
キルティング・ビー・勝間田小学校②	2007 年 9 月 24 日	勝 央 町	藤 木 正 則
「フェルトメイキング」、倉敷ファッションセンター共催	2009 年 8 月 22 日，29 日	倉 敷 フ ァ ッ シ ョ ン ギ ャ ラ リ ー	田 中 孝 明、 2009 年 度 服 飾 美 術 学 科 テ キ ス タ イ ル デ ザ イ ン ゼ ミ 生
綿と紙漉きワークショップ	2009 年 11 月 30 日	岡 山 県	藤 木 正 則
「ガスバーナーを使ってみよう！」	2010 年 7 月 30 日	倉 敷 市 立 短 期 大 学	佐 藤 希 代 子
「染色をしてみよう！」	2010 年 7 月	倉 敷 市 立 短 期 大	佐 藤 希 代

	30 日	学	子
第 25 回国民文化祭おかやま 2010「新カクレンボ大作戦 in 児島」	2010 年 8 月 28 日, 29 日	ギャラリー & サ ロンしおそう, 児島ジーンズス トリート	上村晴 彦・ファッ ションク リエイシ ョンゼミ

○共同研究

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
「地域と教育を生成するためのアートプロジェクト, およびデザインの研究と実践 – 教育・地域・経済の新しい関係性の構築 –」	2008 年 4 月 ～2011 年 3 月	倉敷市立短期大 学	藤木正則 上村晴彦

2 産業界との連携

2-1 保育学科

○委員会委員

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
「園児・職員ユニフォーム販路開拓委員会」 委員	2008 年度～ 2009 年度	岡山県アパレル 工業組合	木戸啓子

2-2 服飾美術学科

○産学共同研究

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
「着心地のよい防弾チョッキの開発」 倉敷市産学共同研究	2005 年 6 月～ 2006 年 3 月	(株) 金星	内田洋子
「アロマ成分が入眠に与える効果」	2006 年度	日清紡績株式会 社 繊維事業本 部 商品開発セ ンター	佐藤希代 子
「撥水性衣服内部の急激な温度上昇を防ぐ 立体通気孔（ベンチレーション）を設置し た雨カッパの開発」	2006 年～ 2007 年度	明石被服興業株 式会社	佐藤希代 子 道明伸幸
「倉敷市立短期大学の学生が提案する産地 発信型商品の開発」「歴史ある帆布の特徴 を活かした新商品開発のための倉敷市立短 期大学学生との共同研究」	2007 年度	(株) ベティス ミス (株) バイスト ン	上村晴彦
「ブレザーの快適性に関する研究」	2008 年度	尾崎商事株式会 社	佐藤希代 子
「倉敷市立短期大学学生と企業相互の直接 的コミュニケーションによる、歴史ある帆 布の特徴を生かした新商品開発の為の共同 研究」	2008 年度	(株) バイストン	上村晴彦
「全身スパッツタイプのウェアが身体に及 ぼす影響について」	2009 年度	ダイヤ工業株式 会社	佐藤希代 子

「天然染色の可能性の探求」	2009 年度	高城染工	上村晴彦
「制服に関する研究」	2009～2011 年度	尾崎商事株式会社	佐藤希代子
「帆布グッズの展開・可能性の研究」	2009 年 2 月～ 9 月	株式会社タケタリ	田中孝明
照明光源 LED の下で、染色物がどのように 変容して見えるかについて調査	2010 年 9 月～ 2011 年 3 月	(株) ウチダ	内田洋子

○共同研究

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
「久留米絣ブランド化事業のための布地および衣服のデザイン」	2007 年 12 月 ～2009 年 3 月	広川町商工会	上村晴彦

○研修会

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
アパレル CAD を用いたパターンメイク研修会	2008 年 11 月 16 日・30 日・ 12 月 7 日	岡山アパレル工業組合・倉敷ファッションセンター・倉敷市立短期大学共催	内田洋子
アパレル CAD を用いたパターンメイク研修会	2009 年 10 月 31 日、11 月 14 日・28 日	岡山アパレル工業組合・倉敷ファッションセンター・倉敷市立短期大学	内田洋子
アパレル CAD を用いたパターンメイク研修会	2010 年 10 月 23 日・30 日、 11 月 6 日	岡山アパレル工業組合・倉敷ファッションセンター・倉敷市立短期大学	内田洋子

○委員会委員

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
-----	-------	-------	-------

「園児・職員ユニフォーム販路開拓委員会」 委員	2008 年度～ 2009 年度	岡山県アパレル 工業組合	内田 洋子
児島ジーンズストリート推進協議会	2009 年度～ 2010 年度	児島商工会議所	大原啓市

3 行政との連携

3-1 保育学科

○審議会・委員会委員

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
倉敷市文化連盟理事	1989年度～現在	倉敷市	野村公江
倉敷市女性問題協議会委員～倉敷市男女 共同参画審議会委員(会長)	1997年1月1日 ～ 2009年8月29 日	倉敷市	秋川陽一
倉敷市少年の意識調査委員	2000年，2005 年，2010年	倉敷市	安達励人
倉敷市文化振興財団倉敷文化ソサエティ 21委員（2011年～第2部会長）	2000年～現在	倉敷市	溝手恵里
倉敷市文化振興財団倉敷文化ソサエティ 21委員（2008年～第3部会長）	2000年～現在	倉敷市	安達励人
倉敷市生涯学習推進協議会委員	2000年8月1日 ～ 2009年7月31 日	倉敷市	秋川陽一
倉敷市生徒指導総合連携推進委員会委員 （会長）	2002年6月～ 2006年5月	倉敷市	秋川陽一
倉敷市公民館等検討委員会委員	2005年11月～ 2008年2月	倉敷市	溝手恵里
倉敷市公民館等運営審議会委員(2005年6 月～2009年6月会長)	2005年6月～現 在	倉敷市	溝手恵里
社団法人全国保育士養成協議会「児童福 祉施設福祉サービス第三者評価機関評価 調査者」認定	2005年7月～現 在	全国	木戸啓子
備前市男女共同参画推進審議会委員	2005年9月～ 2007年8月	備前市	秋川陽一
倉敷市合唱連盟理事	2005年度～現在	倉敷市	野村公江

倉敷市市民企画提案事業審議会委員	2006 年～現在	倉敷市	安達 励人
倉敷市幼稚園教育研究協議会委員	2006 年 9 月 1 日 ～ 2010 年 9 月 30 日	倉敷市	秋川 陽一
倉敷教育センター運営委員会委員	2006 年度～現在	倉敷市	野村 公江
倉敷市小学校英語科カリキュラム検討委員会委員	2007 年～現在	倉敷市	安達 励人
玉野市幼保一元化等懇談会座長	2007 年 2 月 26 日～2008 年 2 月 25 日	玉野市	秋川 陽一
第 19 回全国生涯学習フェスティバル倉敷市実行委員会委員	2007 年 4 月～ 2008 年 3 月	倉敷市	溝手 恵里
玉野市保育園の在り方検討委員会委員 (会長)	2007 年 5 月 25 日～ 2009 年 3 月 31 日	玉野市	秋川 陽一
倉敷市放課後対策事業推進委員会委員 (会長)	2007 年 6 月 1 日 ～ 現在	倉敷市	秋川 陽一
倉敷市大学連携福祉事業実行委員会委員 (委員長)	2007 年度～ 現在	倉敷市	秋川 陽一
倉敷市国民健康保険運営協議会委員	2007 年度～現在	倉敷市	野村 公江
倉敷市公立保育園受託法人選定委員会委員	2007 年 10 月 24 日	倉敷市	秋川 陽一
津山市立久米保育所運営委託事業者選定委員 (委員長)	2008 年 5 月 18 日～ 2008 年 8 月 27 日	津山市	秋川 陽一
岡山県立鷺羽高等学校評議員	2008 年度～ 2009 年度	岡山県	秋川 陽一

倉敷市私立幼稚園連盟「くらしき幼児教育ネットワーク」委員	2008年度～現在	倉敷市	木戸啓子
井原市男女共同参画推進審議会委員（会長職務代理者）	2009年10月1日～ 現在	井原市	秋川陽一
特定非営利活動法人日本放課後児童指導員協会「岡山県放課後児童クラブ開設・運営ガイドライン作成に係る検討会」委員	2009年度～2010年度	岡山県	木戸啓子
倉敷市大学連携福祉事業委員	2009年度～現在	倉敷市	奥富庸一
倉敷市少年の意識調査委員	2010年	倉敷市	安達励人・門田昌子
津山市立倭文保育所民間委託事業者選定委員（委員長）	2010年7月17日～ 2010年10月7日	津山市	秋川陽一
「倉敷市よい子いっぱい基金」運営委員会委員	2010年度～現在	倉敷市	野村公江

○審査委員

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
倉敷市長杯「中学生英語スピーチコンテスト」審査委員	2005年～現在	倉敷市	安達励人
国際ソロプチミスト児島「10代の主張」審査委員長	2006年8月26日 2007年8月25日 2008年8月30日 2009年8月29日 2010年8月28日	倉敷市	秋川陽一
独立行政法人大学評価・学位授与機構短期大学機関別認証評価委員会専門委員	2007年5月21日～	全国	秋川陽一

	2008 年 4 月 30 日		
倉敷市男女共同参画写真展審査委員	2008 年 8 月 26 日	倉敷市	秋川陽一
大学基準協会短期大学評価委員会分科会 委員	2010 年 4 月 15 日～ 2011 年 3 月 31 日	全国	秋川陽一

○制作

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
第 2 次倉敷市男女共同参画基本計画「くらしきハーモニープラン」表紙デザイン	2011 年 4 月	倉敷市	金山和彦

○調査結果分析委員

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
男女共同参画に関する市民意識調査	2010 年度	井原市	秋川陽一・安達 励人・門 田昌子・ 寺園さお り

○指導等

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
平成 20 年度教育委員会「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」に関する意見具申	2009 年 11 月	倉敷市	溝手恵里
夏の講座講師「船に乗ってスケッチ探検！めざすは松島、六口島」（児島公民館）	2010 年 7 月 28 日	倉敷市	金山和彦

3-2 服飾美術学科

○審議会・委員会委員

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
地域資源活用新事業展開支援事業委員会 専門委員	2007年度～2008 年度	岡山県・倉敷 市	藤木正則
岡山県立倉敷工業高等学校評議委員	2007年度～2009 年度	岡山県	藤木正則
文部科学省目指せスペシャリスト運営指 導委員会委員及び議長（岡山県立倉敷工 業高等学校）	2007年度～2009 年度	岡山県	藤木正則
倉敷市立翔南高等学校評議委員	2007年度～2010 年度	倉敷市	藤木正則
第7回おかやま県民文化祭「倉敷ジャム」 企画運営会議委員	2008年度	岡山県	藤木正則
第25回おかやま国民文化祭倉敷市実行委 員会企画委員	2008年度～2010 年度	倉敷市	藤木正則
岡山県立倉敷工業高等学校学校評議員 会・学校関係者評価委員	2010年～現在	岡山県	大原啓市

○審査委員

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
岡山県農業総合センター農業大学校「実 習服デザインコンクール」審査委員長	2008年度	岡山県	藤木正則

○企画委員等

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
第25回国民文化祭倉敷市実行委員会企画 実行委員	2008年1月～ 2010年11月	倉敷市	上村晴彦
国民文化祭ファッションフェスティバル ダンスコンテストのための賞状ケースの デザインと制作	2010年10月	倉敷市	松内紀之

4 学校園との連携

4-1 保育学科

○出前授業・交流授業

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
幼稚園・小学校での英語あそび・異文化ふれあい活動の実践（教員のみの実施回数 年間約 15 回）	2004 年～現在	竹中幼稚園，倉敷市立稗田幼稚園，倉敷市立緑ヶ丘小学校 （2006 年まで） 他	安達励人
新見市立神郷中学校人権集会講話「『子どもの権利』を考える」	2007 年 12 月 7 日	新見市立神郷中学校	秋川陽一
幼児体育 1「親子ふれあい体操」	2009 年 6 月 15 日 2010 年 6 月 15 日	倉敷市立稗田幼稚園	奥富庸一
幼児体育 2「幼児に対する運動あそび指導実践」	2009 年 12 月 14 日 2009 年 12 月 21 日 2010 年 1 月 18 日 2010 年 1 月 25 日 2011 年 1 月 18 日 2011 年 1 月 25 日	倉敷市立稗田保育園 倉敷市立稗田幼稚園	奥富庸一
作陽高等学校特別講義「幼児の運動遊び指導の実際演習」「乳幼児期の発育発達と遊び講義」	2010 年 5 月 15 日 2010 年 10 月 2 日	作陽保育園	奥富庸一

○指導・助言

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
倉敷市教育委員会生涯学習課「子育て広場・子育て相談」相談員	2009 年 9 月 29 日・10 月 13 日	倉敷市（連島南幼稚園・玉島幼稚園）	木戸啓子
倉敷市小学校英語科授業視察・指導	2010 年 6 月 17 日	倉敷市立旭丘小	安達励人

		学校	
久米南町立弓削保育園公開保育研究討議	2010 年 7 月 14 日	久米南町	木戸啓子
倉敷市教育委員会生涯学習課「子育て広場・子育て相談」相談員	2009 年 9 月 28 日・10 月 12 日	倉敷市（中庄幼稚園・中州幼稚園）	門田昌子
倉敷市教育委員会生涯学習課「子育て広場・子育て相談」相談員	2010 年 9 月 28 日・10 月 1 日	倉敷市（第 5 福田幼稚園・小川幼稚園）	寺菌さおり
高梁市保育協議会研修会における講師	2011 年 3 月 12 日	高梁市立高梁保育園	金山和彦

○研修会

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
東京心理療育キャンプ講師	2006 年～2008 年	千葉県浦安	長田実
山脈会・山梨心理リハビリテーション研究講師	2006 年～2010 年	山梨県立甲府支援学校	長田実
岡山市あゆみ保育園職員学習会「子どもの権利の保障を目指した保育実践」	2006 年 10 月 27 日	岡山市あゆみ保育園	秋川陽一
あゆみ保育園保護者学習会「働くことと子育て～あゆみの保育から見えてきたもの」	2006 年 11 月 17 日	労働福祉事業会館	秋川陽一
特別支援教育研修講師	2007 年～2009 年	岡山県立誕生時養護学校	長田実
広島市保育園園長会研修「公立保育園の現在と近未来を考える～園長の責任と職員の資質向上～」	2007 年 1 月 12 日	広島サンプラザ	秋川陽一
勝央町保育園職員研修会「保育実践研究とは何か？」	2007 年 7 月 21 日	勝央町立勝股保育園	秋川陽一
津山市保育所職員研修会「保育実践研究とは・・・」	2007 年 8 月 2 日	津山市総合福祉会館	秋川陽一
平成 19 年度 備中中学校区人権教育研修会「男女共同参画社会の理念と学校教育	2007 年 8 月 21 日	備中総合センター	秋川陽一

の課題」			
白鳩保育園講演会「いまどきの子育て、何を大切にしたらいいか・・・ポイントをつかんだ子育てのあり方」	2007年9月11日	岡山市白鳩保育園	秋川陽一
平成19年度赤磐市内就学前人権教育研修会「乳幼児の人権について」	2007年10月11日	赤磐市立中央公民館	秋川陽一
岡山市立興除中学校 PTA 文化講演会「思春期を乗り越えるために―中学生時代に何をすべきか―」	2007年10月28日	岡山市立興除中学校	秋川陽一
第1回校内研修特別講座講師	2008年8月	岡山県立早島養護学校	長田実
第二福田小学校 PTA 教育講演会「子どもへの“まなざし”とかかわり方～子どもの育ちを応援できる親になるために～」	2008年11月1日	倉敷市立第二福田小学校	秋川陽一
療育研修会講師	2008年～2010年	明石市立明石養護学校	長田実
自立活動実践セミナー講師	2008年～2010年	筑波大学附属桐が丘特別支援学校	長田実
校内研修会講師	2008年～2010年	広島県立呉特別支援学校	長田実
平成21年度 第1回専門家活用による校内研修会講師	2009年	岡山県立岡山聾学校	長田実
玉野市幼稚園 PTA 人権教育研修会「幼児期における育児の重要ポイント」	2009年1月20日	玉野市すこやかセンター	秋川陽一
平成21年度特別支援教育推進事業公開講座講師	2009年6月	岡山県立岡山養護学校	長田実
障がいのある子どもの学童保育講師	2009年6月	学童保育指導員専門性研究会・岡山支部	長田実
倉敷市児島地区幼稚園教員研修会講師	2009年7月23日	倉敷市立短期大	奥富庸一

「子どもたちの運動量確保を目指す運動あそび」		学	
肢体不自由児小・中・高・訪問部研修講師	2009 年～2010 年	岡山県立早島養護学校	長田実
特別支援教育研修会講師	2010 年 1 月	岡山県立岡山東養護学校	長田実
平成 21 年度玉島学園自主研修会「幼児期の育ちのあり方ー児童養護施設等における幼児保育のあり方ー」	2010 年 2 月 12 日	倉敷市玉島学園	秋川陽一
保育・教育に生かす運動遊びと運動会種目講習会「日常保育で使える運動あそびボールを使った運動あそび」	2010 年 4 月 11 日	作陽高等学校	奥富庸一
連続学習会講師	2010 年 6 月	学童保育指導員専門性研究会・岡山支部	長田実
放課後児童指導員資格認定講習会講師	2010 年 7 月	日本放課後児童指導員協会	長田実
特別支援教育研修会講師	2010 年 7 ・ 2011 年 1 月	岡山県立西備支援学校	長田実
学童保育指導員研修会講師	2010 年 11 月	岡山市学童保育連絡協議会	長田実
平成 22 年度 岡山県立瀬戸高等学校人権教育研修会「子どもの権利保障と教育」	2011 年 2 月 2 日	岡山県立瀬戸高等学校	秋川陽一

○講演

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
「親と子と絵本と」	2006 年 6 月 13 日	徳島市川内保育園	溝手恵里
徳島県阿南市立中島保育所講演会「子どもと絵本」	2006 年 10 月 12 日	徳島県阿南市立中島保育所	溝手恵里
自立活動の指導とその実際講師	2007 年 7 月	明石市立明石養護学校	長田実

遍照保育園講演会「親と子と絵本と」	2008 年 2 月 23 日	遍照保育園	溝手恵里
自立活動研修会講師	2008 年 4 月	福井県立福井養護学校	長田実
早島保育園講演会「親と子と絵本と」	2008 年 6 月 28 日	早島保育園	溝手恵里
平成 20 年度福岡市発達教育センター特別支援学校地域研修会講師	2008 年 8 月	福岡市立今津特別支援学校	長田実
倉敷市阿津保育園人権講演会「幼児理解を深めるために」	2009 年 6 月 17 日	倉敷市阿津保育園	木戸啓子
倉敷市柳田保育園講演会「絵本と親子関係」	2010 年 1 月 21 日	柳田保育園	溝手恵里
倉敷市稗田保育園人権講演会「子どもが輝く子育てについて」	2010 年 6 月 10 日	倉敷市稗田保育園	木戸啓子
倉敷市上の町保育園人権講演会「子育ての意欲を引き出すコミュニケーション」	2010 年 6 月 24 日	倉敷市上の町保育園	木戸啓子
倉敷市立赤崎小学校 教育講演会「おとなの子どもへの“関わり方”の基本」	2010 年 6 月 27 日	倉敷市立赤崎小学校	秋川陽一

○その他

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
倉敷市 NET 通訳（幼稚園お楽しみ会）	2006 年 12 月	倉敷市立稗田幼稚園	安達励人
倉敷市 NET 通訳（幼稚園お楽しみ会）	2007 年 12 月	倉敷市立稗田幼稚園	安達励人
倉敷市 NET 通訳（幼稚園お楽しみ会）	2008 年 12 月	倉敷市立稗田幼稚園	安達励人
作陽保育園運動会「親子で仲良く：親子体操」	2009 年 10 月 4 日 2010 年 10 月 3 日	作陽保育園	奥富庸一
倉敷市 NET 通訳（幼稚園お楽しみ会）	2009 年 12 月 16 日	倉敷市立稗田幼稚園	安達励人
倉敷市立味野幼稚園土曜参観「親子でつながる運動あそび」	2010 年 6 月 5 日	倉敷市立味野幼稚園	奥富庸一
倉敷市 NET 通訳（幼稚園お楽しみ会）	2010 年 12 月 18	倉敷市立中島幼	安達励人

	日	稚園	
--	---	----	--

4-2 服飾美術学科

○出前授業・ワークショップ

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
大学におけるデザイン教育	2008 年 1 月 22 日	岡山県立倉敷工業高等学校	藤木正則
クリエイティブワークについて、岡山県立倉敷南高等学校 社会人講義「キャリア I」	2009 年 10 月 13 日	岡山県立倉敷南高等学校	田中孝明
韓国文化の紹介：新年挨拶（Kid's ABC の異文化ふれあい活動）	2010 年 1 月 14 日	稗田幼稚園	趙採沃
学習支援「ホームワークチャレンジ」	2011 年 3 月 11 日	倉敷市立倉敷東小学校	佐藤希代子

5 施設設備の開放

事 項	年 月 日	場 所 等
倉敷市民スポーツフェスティバル バレーボール大会	2009年10月24日，2010年10月24日	倉敷市立短期大学 体育館
倉敷市立翔南高校スポーツ大会	2010年5月16日	倉敷市立短期大学 体育館
児島地区子育て支援協議会講演会	2010年6月20日	倉敷市立短期大学 体育館

6 その他（メディア等）

6-1 保育学科

○メディア

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
NHK「ちゅうごく再生プロジェクト：モラル低下が暮らしを脅かす」（NHK 広島）にコメンテーターとして出演	2007 年 12 月 21 日		秋川陽一
倉敷市男女共同参画推進委託事業・FM ぐらしき市民制作番組「プリティーマン」企画 リレートーク「夢人・私らしく生きてます！」に出演	2008 年 2 月 24 日	倉敷ターミナルホテル	秋川陽一
げんき OK! 竹中幼稚園～世界のこどもはおともだち～	2009 年 3 月 9 日	KCT	安達励人
親の目子の目「親子で異なる「幸せ」～主観的幸福感を高める条件について～」	2009 年 11 月 25 日	岡山日日新聞	門田昌子
「奥富先生の処方箋 Children's Health」	2009 年 12 月	Cheers!Kids Okayama	奥富庸一
「共感できる仲間探そう～現代の子育て事情について～」	2010 年 6 月 23 日	岡山日日新聞	奥富庸一
「親の目 子の目」適度な距離も大切～子育て時の「心の柔軟性」について～	2010 年 11 月 10 日	岡山日日新聞	寺 蘭さおり
「＜特集＞今日からイクメン講座！父親たちの変化」KCT ワイド	2011 年 2 月 7 日	KCT	奥富庸一
「『胎内記憶ある』幼児の 2 割」倉敷都市圏版	2011 年 3 月 17 日	山陽新聞	島田麻美 蘭田千明 奥富庸一

○民間団体役員

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
第 48 回全国保育問題研究集会・岡山集	2008 年 4 月 28		秋川陽一

会 実行委員長	日～ 2009 年 6 月 30 日		
DCI 日本支部 (Defence for Children international Japan section) 運営委員	2008 年 6 月～ 現在		秋川陽一
特定非営利活動法人 日本放課後児童指導員協会 監事	2009 年 5 月 24 日～ 現在		秋川陽一
岡山保育問題研究会 代表	2009 年 10 月 15 日～ 現在		秋川陽一
特定非営利活動法人イングリッシュサイズ 理事	2010 年～現在		安達励人

6-2 服飾美術学科

○メディア

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
「近況報告」	2006 年 12 月 1 日	岡大工化会会報	道明伸幸
SH00 チルドレン・アート・プロジェクト 2007(関連記事)	2007 年 11 月 9 日	山陽新聞	藤木正則
「衣替えに関して」の解説, イブニング DonDon	2008 年 10 月 24 日	山陽放送	佐藤希代子
「洗濯物の部屋干しについて」の解説, イブニング DonDon	2009 年 2 月 20 日	山陽放送	道明伸幸
「倉敷都市圏版 倉敷帆布使い衣服やバッグ 市立短大専攻科生が児島で作品展」	2009 年 4 月 1 日	山陽新聞	藤木正則 田中孝明 上村晴彦
「学生の作品展 倉敷市立短期大学」	2009 年 8 月 4 日	繊維ニュース	田中孝明
「あしあと展 Footprint～繊維造形か	2009 年 8 月 21	FM くらしき	田中孝明

らの視点～」展覧会紹介	日		
「繊維の造形独創性豊か 児島 市立短大生が作品展」	2009年8月25日	山陽新聞	田中孝明
くらたんファブリックアート 2009(出演)	2009年12月1日	FMくらしき	藤木正則
「倉敷ほっとイブニング 高城染工でのくらたんクリ室 案内告知など」	2010年3月	FMくらしき	ファッションクリエイションゼミ
「地元企業とのコラボレーションと展示について」	2010年3月31日	山陽新聞	ファッションクリエイションゼミ
倉敷市立短期大学服飾美術学科の学生が藍の作品展	2010年4月1日	KCT	ファッションクリエイションゼミ
「国文祭事前イベント児島でカクレンボ大作戦」	2010年9月	KCT	ファッションクリエイションゼミ
「かくれんぼで街の魅力再発見」お元気ですか 日本列島 見たい聞きたい 金曜日	2010年9月10日	NHK	ファッションクリエイションゼミ
「手動販売機」	2010年11月	KCT	ファッションクリエイションゼミ
「異分野で見えること」	2011年(刊行予定)	岡山大学工学部50年史	道明伸幸

○イベント

事 項	年 月 日	場 所 等	氏 名 等
ルネスギャラリー展覧会	2011年3月30日～4月11日	岡山市ルネスホール	藤木正則 田中孝明 上村晴彦 専攻科修了

			生
--	--	--	---

7 学生の活動

2006 年度

事 項	月 日	場 所	団 体 名
「あつまれ！ちびっこスポーツフェスティバル」	3 月 21 日	倉敷市立短期大学	運動体験部
親子ふれあい教室「みんなと友だちになろう」	4 月 22 日	倉敷市立短期大学	運動体験部
倉敷っ子フェスティバル 公演 人形劇「ミドラーと森の仲間たち」	4 月 29 日	児島児童館	Σ S 子どもの劇場
「端午の節句だ！後楽園」公演 紙芝居「ぶたはイヤ」「これなあに」 人形劇「子ぶたとラッパ」 「ミドラーと森の仲間たち」	5 月 5 日	後楽園	子どもの劇場
「山際子ども会」公演 紙芝居「これなあに」 劇「ねずみの弁当」	5 月 13 日	山際清掃会館	子どもの劇場
親子ふれあい教室「体をいっぱい動かそう」	5 月 28 日	倉敷市立短期大学	運動体験部
グローバル・フレンドシップ英語活動	5 月 31 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
Kid's ABC の英語活動	6 月 23 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
講座「モコモコ袋で大変身！！」	6 月 24 日	ライフパーク倉敷	子どもの劇場
はぐくみ岡山おぎゃっと 21 in 岡山	6 月 24 日・25 日	コンベックス岡山	Σ S 運動体験部
親子ふれあい教室「ジャンプを取り入れた運動」	6 月 24 日	倉敷市立短期大学	運動体験部
グローバル・フレンドシップ英語活動	6 月 28 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
「倉敷市立児島市民病院 第 30 回赤ちゃん同窓会」公演 劇「かけくらべ」	7 月 1 日	児島文化センター	子どもの劇場

Kid's ABC の英語活動	7 月 14 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
子どもの劇場 公演 紙芝居 「さるのしっぽ」「ブタはいや」	7 月 16 日	倉敷天満屋	子どもの劇場
グローバル・フレンドシップ英語活動	7 月 18 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
表現Ⅳ発表会 人形劇「トラ大王がお病気だ」 劇 「おおかみロボット」	7 月 27 日	倉敷市立短期大学	保育学科 2 年
子どもの劇場 公演 人形劇「みんなのはらっぱ」「クッキーのなる木」	7 月 28 日	琴浦西保育園	子どもの劇場
オープンキャンパス 子どもの劇場公演 人形劇「みんなのはらっぱ」「クッキーのなる木」 親子ふれあい教室「暑さに負けず体を動かそう」	7 月 30 日	倉敷市立短期大学	子どもの劇場 運動体験部
「夏の夜のお楽しみ会」公演 人形劇「みんなのはらっぱ」「クッキーのなる木」	8 月 1 日	倉敷児童館	子どもの劇場
グループ展覧会「Individual Possibility」	8 月 8 日～13 日	天神山文化プラザ	Individual Possibility
岡山県ことばを育てる親の会 2006 サマーキャンプ in 由加山	8 月 21 日・22 日	倉敷市少年自然の家	Σ S
「もみの木保育園夏祭り」公演 劇「かけくらべ」 紙芝居「これなあに」	8 月 26 日	もみの木保育園	子どもの劇場
国際ソロプチミスト児島 第 3 回 10 代の主張（審査員）	8 月 26 日	児島公民館	Σ S
親子ふれあい教室「拾って投げる運動」	8 月 27 日	倉敷市立短期大学	運動体験部

Kid's ABC の英語活動	9 月 1 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
コスモス会母子クラブ公演 紙芝居「つみきつもうつもう」 「にこにことぶんぶん」 人形劇「『にゃお』とないたのだあれ」	9 月 26 日	くらしき健康福祉プラザ	子どもの劇場
どんぐりクラブ、天城幼稚園 公演 人形劇「みんなのはらっぱ」「クッキーのなる木」	9 月 28 日	天城幼稚園	子どもの劇場
オープンキャンパス 子どもの劇場公演 人形劇「みんなのはらっぱ」「クッキーのなる木」 親子ふれあい教室「親子のふれあい」	10 月 1 日	倉敷市立短期大学	子どもの劇場 運動体験部
あるある！備中探検隊 公演 劇「おおかみロボット」	10 月 7 日	倉敷チボリ公園	保育学科 2 年
国際ソロプチミスト児島 懇談会・助成金授与式	10 月 12 日	倉敷市立短期大学	Σ S
Kid's ABC の英語活動	10 月 13 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
「くらしき生活文化祭」 劇「ねずみの弁当」「うさぎの兄弟」 人形劇「みんなのはらっぱ」「クッキーのなる木」	10 月 14 日	倉敷チボリ公園	子どもの劇場
倉敷ファッションフロンティア 2006 最終審査会に出場	10 月 15 日		服飾美術学科・専攻科服飾美術専攻学生
第 33 回大学祭 子どもの劇場公演 人形劇「みんなのはらっぱ」「クッキーのなる木」	10 月 21 日～ 22 日	倉敷市立短期大学	子どもの劇場

<p>ファッションショー2006 「PALETTE」</p> <p>美術展</p> <p>親子ふれあい教室「学祭」</p>			<p>服飾美術学科 学生</p> <p>美術部</p> <p>運動体験部</p>
<p>2006 秋のせんい児島瀬戸大橋まつり</p> <p>「第7回瀬戸大橋まつり FTK デザインコンテスト」</p>	10 月 21 日		服飾美術学科 学生
倉敷アートバザールに参加	10 月 22 日	倉敷市芸文館前 広場	モバイルショ ッププロジェ クト（MSP）
グローバル・フレンドシップ英語活動	10 月 25 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
紙芝居「ごきげんのわるいこっくさん」 「これなあに」	10 月 29 日	倉敷天満屋	子どもの劇場
児島中学校区青少年を育てる会 ふれあ いスポーツ大会	10 月 29 日	児島小学校	Σ S
<p>第 14 回児島市民文化祭</p> <p>サロン倉敷村・倉敷市立短期大学合同 展</p>	11 月 6 日～11 日	児島文化センタ ー	美術部
Kid's ABC の英語活動	11 月 24 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
親子ふれあい教室「ひねって遊ぼう」	11 月 26 日	倉敷市立短期大 学	運動体験部
<p>子育てキャラバン in 備中</p> <p>「子どもが生き生き応援事業子育てフ ェスタ」公演</p> <p>劇「キラリ☆虫たちの夏」</p>	12 月 3 日	浅口市健康福祉 センター	子どもの劇場
Kid's ABC の英語活動	12 月 6 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
Touch A Dance! 勝部ちこ ダンスワーク ショップ	12 月 7 日	倉敷市芸文館 アイシアター	子どもの劇場
<p>第 47 回「中・四国保育学生研究大会」</p> <p>劇「キラリ☆虫たちの夏」</p>	12 月 9 日	徳島文理大学	子どもの劇場
「児島児童館クリスマス会」公演	12 月 10 日	児島児童館	子どもの劇場

人形劇「みんなのはらっぱ」「クッキーのなる木」			
「児島青年会議所」公演 劇「うさぎの兄弟」	12月10日	せとうち児島ホテル	子どもの劇場
グローバル・フрендシップ英語活動	12月13日	稗田幼稚園	Kid's ABC
劇「キラリ☆虫たちの夏」	12月16日	奈良佐保短期大学附属倉敷幼稚園	子どもの劇場
第1回「子育て親育ちフォーラム」 「地域大学間連携シンポジウム」			保育学科
グローバル・フрендシップ英語活動	12月22日	稗田幼稚園	Kid's ABC
「山際子ども会」公演 劇「かけくらべ」	12月23日	山際清掃会館	子どもの劇場
親子ふれあい教室「伸びる縮む」	12月23日	倉敷市立短期大学	運動体験部
「岡田恵子ピアノ教室 ピアノおさらい会・クリスマス会」公演 劇「うさぎの兄弟」	12月23日	倉敷市文化交流会館	子どもの劇場
「老松ふれあいクラブ」公演 劇「みんなのはらっぱ」	12月26日	老松小学校	子どもの劇場
Kid's ABCの英語活動	1月12日	稗田幼稚園	Kid's ABC
「小さな劇の会」公演 子育て支援センター 紙芝居「つみきつもうつつもう」 「にこにことぷんぷん」 人形劇「『にゃお』とないたのだあれ」	1月13日	くらしき健康福祉プラザ	子どもの劇場
グローバル・フрендシップ英語活動	1月19日	稗田幼稚園	Kid's ABC
子育てキャラバン in 備中 「みんなおいで！あそぼう！備中子育てキャラバン隊」公演 人形劇「みんなのはらっぱ」「クッキーのなる木」	1月20日	真備児童館	子どもの劇場

親子ふれあい教室「体をしっかり使って回転」	1月21日	倉敷市立短期大学	運動体験部
「小さな劇の会」公演（親子クラブ児島ブロック） 人形劇「『にゃお』とないたのだあれ」 紙芝居「つみきつもうつもう」 「にこにことぷんぷん」	1月27日		子どもの劇場
グローバル・フレンドシップ英語活動	2月2日	稗田幼稚園	Kid's ABC
グローバル・フレンドシップ英語活動	2月14日	稗田幼稚園	Kid's ABC
倉敷市立短期大学卒業・修了制作展 2007	2月20日～25日	倉敷市立美術館	服飾美術学科・専攻科服飾美術専攻
親子ふれあい教室「運動量、バランス、足の運動」	2月11日	倉敷市立短期大学	運動体験部
Kid's ABC の英語活動	2月23日	稗田幼稚園	Kid's ABC
第12回倉敷市立短期大学音楽発表会	2月26日	倉敷市立短期大学	保育学科・専攻科保育臨床専攻
第2回「子育て親育ちフォーラム」「地域大学間連携シンポジウム」・連携大学による実習ポスターセッション	3月3日	倉敷公民館	保育学科
子どもの劇場公演 2007 「あつまれこどもたち！お話いっぱいはいまるよ！」 劇「キラリ☆虫たちの夏」 人形劇「みんなのはらっぱ」「クッキーのなる木」	3月3日・4日	倉敷市芸文館 アイシアター	子どもの劇場
「小さな劇の会」公演 劇「『にゃお』とないたのだあれ」 紙芝居「つみきつもうつもう」 「にこにことぷんぷん」	3月9日	児島児童館	子どもの劇場

2007 年度

事 項	月 日	場 所	団 体 名
第 1 回『親子ふれあい教室』	4 月 22 日	倉敷市立短期大学	運動体験部
倉敷っ子フェスティバル 公演 人形劇「クッキーのなる木」	4 月 29 日	児島児童館	Σ S 子どもの劇場
「端午の節句だ！後楽園」公演 紙芝居「ぶたはイヤ」 人形劇「みんなのはらっぱ」「クッキーのなる木」	5 月 5 日	後楽園	子どもの劇場
『ふれあいフェスタ』に参加	5 月 19 日		運動体験部
ライフパーク倉敷での学生ボランティア 講座「くびふり動物を作ろう」		ライフパーク倉敷	子どもの劇場
月例訓練会	5 月 20 日	倉敷市立短期大学	THE☆MAC
THE☆MAC 立ち上げ式	5 月 24 日	倉敷市立短期大学	THE☆MAC
Kid's ABC の英語活動	5 月 25 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
グローバル・フレンドシップ英語活動	6 月 1 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
Kid's ABC の英語活動	6 月 11 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
月例訓練会	6 月 17 日	倉敷市立短期大学	THE☆MAC
はぐくみ岡山おぎゃっと 21 in 岡山	6 月 23 日～24 日	コンベックス岡山	Σ S 運動体験部
Kid's ABC の英語活動	7 月 2 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
グローバル・フレンドシップ英語活動	7 月 6 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
第 25 回環境対話キャンプ	7 月 14 日～16 日	備前市閑谷学校	環境対話キャンプ
「老松ふれあいクラブ」公演 劇「ねずみの弁当」 紙芝居「せみとくまのこ」	7 月 23 日	老松小学校	子どもの劇場

<p>オープンキャンパス</p> <p>子どもの劇場公演</p> <p>人形劇「みんなでうたえばいいものだ」</p> <p>「でっかい仲間たち」</p> <p>第2回『親子ふれあい教室』</p> <p>Kid's ABC の英語活動</p>	7月29日	倉敷市立短期大学	<p>子どもの劇場</p> <p>運動体験部</p> <p>Kid's ABC</p>
「鶴崎夏祭り」公演 劇「ねずみの弁当」	7月29日	備南ふれあい会館	子どもの劇場
「琴浦西保育園」公演	7月30日	琴浦西保育園	子どもの劇場
人形劇「みんなでうたえばいいものだ」	7月30日	琴浦西保育園	子どもの劇場
「でっかい仲間たち」	7月30日	琴浦西保育園	子どもの劇場
表現Ⅳ発表会 人形劇「みんなのはらっぱ」	7月31日	倉敷市立短期大学	保育2年生
「緑丘学童」公演 人形劇「みんなのはらっぱ」		緑丘小学校	子どもの劇場
「先天性四肢障害児父母の会第33回全国総会 in 岡山」	8月4日	くらしき石山花壇	子どもの劇場
公演 劇「ねずみの弁当」 紙芝居「ぶたはイヤ」	8月4日	くらしき石山花壇	子どもの劇場
「水江町夏祭り」公演		古水江公園	子どもの劇場
劇 「ねずみの弁当」「どんかっか」		古水江公園	子どもの劇場
手遊び「ホールディア」		古水江公園	子どもの劇場
心理リハビリテーションキャンプ	8月16日～17日		THE☆MAC
「岡山県ことばを育てる親の会 2007 サマーキャンプ」	8月20日～21日		Σ S
国際ソロプチミスト児島 第4回 10代の主張（審査員）	8月25日		Σ S
第3回『親子ふれあい教室』	9月1日	倉敷市立短期大学	運動体験部

Kid's ABC の英語活動	9 月 10 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
月例訓練会	9 月 16 日	倉敷市立短期大学	THE☆MAC
「第 3 回とらまる人形劇カーニバル」公演 人形劇「みんなのはらっぱ」			子どもの劇場
「緑ヶ丘わくわく広場」公演 人形劇「みんなでうたえばいいものだ」 「でっかい仲間たち」	9 月 21 日	稗田公会堂	子どもの劇場
「あるある！備中探検隊」公演 人形劇「みんなでうたえばいいものだ」 「でっかい仲間たち」	9 月 29 日	倉敷チボリ公園	子どもの劇場
オープンキャンパス 子どもの劇場公演 人形劇「みんなでうたえばいいものだ」 「でっかい仲間たち」 第 4 回『親子ふれあい教室』 Kid's ABC の英語活動	9 月 30 日	倉敷市立短期大学	子どもの劇場 運動体験部 Kid's ABC
口演童話「ジャックと豆の木」(音楽付き)	10 月 3 日	琴浦西保育園	野村ゼミ
グローバル・フレンドシップ英語活動	10 月 4 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
「移動子ども広場ふれあい子育て応援隊 笠岡子育てフェスタ」公演 人形劇「みんなでうたえばいいものだ」		浅口市健康福祉センター	子どもの劇場
倉敷市 5 大学連携福祉事業『5 大学合体！ くらしき福祉祭』			Σ S
口演童話「ジャックと豆の木」(音楽付き)	10 月 10 日	柳田保育園	野村ゼミ
Kid's ABC の英語活動	10 月 12 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
月例訓練会	10 月 14 日	倉敷市立短期大学	THE☆MAC
口演童話「ジャックと豆の木」(音楽付き)	10 月 17 日	若竹の園	野村ゼミ

第 34 回 大学祭 子どもの劇場公演 人形劇「みんなでうたえばいいものだ」 「でっかい仲間たち」 第 5 回『親子ふれあい教室』	10 月 20 日～ 21 日	倉敷市立短期大学	子どもの劇場 運動体験部
国際ソロプチミスト児島 懇談会・助成金授与式	10 月 21 日	倉敷市立短期大学	Σ S
グローバル・フレンドシップ英語活動	10 月 23 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
佐保幼稚園バザーボランティア 紙芝居「やきいもやさん」「天人のはごろも」 「きたかぜのくれたテーブルかけ」 「クレヨンさんのけんか」	10 月 27 日	奈良佐保短期大学附属倉敷幼稚園	子どもの劇場
Kid's ABC の英語活動	11 月 2 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
月例訓練会	11 月 17 日	倉敷市立短期大学	THE☆MAC
グローバル・フレンドシップ英語活動	11 月 19 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
第 6 回『親子ふれあい教室』	11 月 25 日	倉敷市立短期大学	運動体験部
第 48 回「中・四国保育学生研究大会」 劇「サバンナバンバン★サバンナ家族」	12 月 1 日	岡山ノートルダム清心女子大学	子どもの劇場
「児島児童館クリスマス会」公演 人形劇「みんなでうたえばいいものだ」 劇「サバンナバンバン★サバンナ家族」	12 月 2 日	児島児童館	子どもの劇場
「移動子ども広場ふれあい子育て応援隊 クリスマスのつどい」公演 人形劇「でっかい仲間たち」	12 月 8 日	井原図書館	子どもの劇場
「児島青年会議所」公演 劇「かけくらべ」	12 月 9 日	せとうち児島ホ	子どもの劇場

		テル	
口演童話「ジャックと豆の木」(音楽付き)	12月12日	天城幼稚園	野村ゼミ
劇「サバンナバンバン★サバンナ家族」	12月15日	奈良佐保短期大学附属倉敷幼稚園	子どもの劇場
月例訓練会(+クリスマス会)	12月16日	倉敷市立短期大学	THE☆MAC
第7回『親子ふれあい教室』		倉敷市立短期大学	運動体験部
口演童話「ジャックと豆の木」(音楽付き)	12月20日	倉敷東幼稚園	野村ゼミ
口演童話「ジャックと豆の木」(音楽付き)	12月21日	第四福田幼稚園	野村ゼミ
Kid's ABC の英語活動		稗田幼稚園	Kid's ABC
第26回環境対話キャンプ	12月22日～24日	大阪信太山青少年野外活動センター	環境対話キャンプ
「移動子ども広場ふれあい子育て応援隊 里庄町幼・小児童クラブ交流会」 人形劇「みんなでうたえばいいものだ」 「でっかい仲間たち」	12月26日	里庄総合文化ホール	子どもの劇場
「移動子ども広場ふれあい子育て応援隊 備中子育て環境づくりフェア」 人形劇「でっかい仲間たち」	1月14日		子どもの劇場
口演童話「ジャックと豆の木」(音楽付き)	12月19日	万寿東幼稚園	野村ゼミ
岡山県内シグマ・ソサエティ交流会	1月19日		Σ S
「真備ライオンズクラブ主催真備っ子センター共催 ファミリーコンサート」公演 人形劇「みんなでうたうっていいものだ」 「でっかい仲間たち」		マービーふれあいセンター	子どもの劇場
月例訓練会	1月20日	倉敷市立短期大	THE☆MAC

		学	
グローバル・フレンドシップ英語活動	1月21日	稗田幼稚園	Kid's ABC
Kid's ABC の英語活動	1月25日	稗田幼稚園	Kid's ABC
「第70回子育て講座(家庭教育学級)」公演 人形劇「みんなでうたうっていいものだ」 「でっかい仲間たち」	1月26日	西阿知コミュニティーハウス	子どもの劇場
第8回『親子ふれあい教室』	1月27日	倉敷市立短期大学	運動体験部
グローバル・フレンドシップ英語活動	1月28日	稗田幼稚園	Kid's ABC
グローバル・フレンドシップ英語活動	2月15日	稗田幼稚園	Kid's ABC
月例訓練会	2月17日		THE☆MAC
第9回『親子ふれあい教室』	2月24日	倉敷市立短期大学	運動体験部
Kid's ABC の英語活動	2月25日	稗田幼稚園	Kid's ABC
服飾美術学科卒業制作展 専攻科服飾美術専攻修了制作展	2月26日～3月2日	倉敷市立美術館	服飾美術学科・専攻科服飾美術専攻
子どもの劇場公演 2008 「あつまれこどもたち！お話いっぱいはいまるよ！」 おはなしと音楽「ジャックと豆の木」 人形劇「みんなでうたえばいいものだ」 劇「サバンナバンバン★サバンナ家族」	3月1日～2日	倉敷市芸文館 アイシアター	子どもの劇場
『集まれ！ちびっこスポーツフェスティバル』	3月4日		運動体験部
月例訓練会	3月16日	倉敷市立短期大学	THE☆MAC

「尾道児童センター春休みイベント」公演 口演童話「赤ずきんちゃん」 人形劇「でっかい仲間たち」	3月27日	尾道市児童センター	子どもの劇場
-------------------------------------------------------	-------	-----------	--------

2008 年度

事 項	月 日	場 所	団 体 名
第1回『親子ふれあい教室』	4月20日	倉敷市立短期大学	運動体験部
桃太郎ジーンズ T シャツコンテスト	4月28日		専攻科服飾美術専攻1年 秋風有未
「端午の節句だ！後楽園」公演 紙芝居「ぶたはイヤ」 人形劇「みんなのはらっぱ」「クッキーのなる木」	5月5日	後楽園	子どもの劇場
「倉敷っ子フェスティバル」 公演 人形劇「でっかい仲間たち」	5月11日	児島児童館	Σ S 子どもの劇場
Kid's ABC の英語活動	5月23日	稗田幼稚園	Kid's ABC
第2回『親子ふれあい教室』	5月24日	倉敷市立短期大学	運動体験部
勉強会（ダウン症候群、重症心身障害、てんかん）	5月27日		ユニフィー
倉敷市中心身障害児親の会総会（重症児）	5月31日		ユニフィー
車椅子ファッションショー「CLUB Chair Walker 2008」	6月1日		専攻科服飾美術専攻1年 守屋明美 他
グローバル・フレンドシップ英語活動	6月17日	稗田幼稚園	Kid's ABC
Kid's ABC の英語活動	6月20日	稗田幼稚園	Kid's ABC
第3回『親子ふれあい教室』	6月21日	倉敷市立短期大学	運動体験部

はぐくみ岡山おぎゃっと 21 in 岡山	6 月 21 日～22 日	コンベックス岡山	Σ S 運動体験部
勉強会（病児保育 1）	6 月 24 日		ユニフィー
勉強会（病児保育 2）	7 月 1 日		ユニフィー
グローバル・フレンドシップ英語活動	7 月 1 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
さくらんぼの会役員会（ダウン症候群）	7 月 5 日		ユニフィー
Kid's ABC の英語活動	7 月 16 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
「老松児童クラブ」公演 紙芝居「コッコさんのバースデイ」 劇「ねずみの兄弟」	7 月 23 日	老松児童クラブ	子どもの劇場
オープンキャンパス 子どもの劇場公演 人形劇「空飛びリュックサック」「鬼の姫」 第 4 回『親子ふれあい教室』	7 月 27 日	倉敷市立短期大学	子どもの劇場 運動体験部
「表現Ⅳ発表会」公演 口演童話「あかずきん」 劇「こぐまのお客さま」	8 月 1 日	倉敷市立短期大学	表現Ⅳ
倉養サマースクール	8 月 5 日		ユニフィー
『中津とうろう祭り』への参加 ～ 2 段式ステージの設計・制作～	8 月 9 日	大分県中津市	服飾美術学科 1 年 杉原枝理 立石真琴 他
さくらんぼの会キャンプ（ダウン症候群）	8 月 16 日		ユニフィー
岡山県ことばを育てる親の会 2008 サマーキャンプ	8 月 19 日～20 日		Σ S
第 27 回環境対話キャンプ	8 月 21 日～23 日	牛窓研修センター カリヨンハウス	環境対話キャンプ
「1 日こども図書館フェスティバル in やかげ」公演	8 月 23 日	やかげ文化センター	表現Ⅳ

岡山県読書推進協議会・矢掛町教育委員会主催 口演童話「あかずきん」 劇「こぐまのお客さま」			
国際ソロプチミスト児島 第5回 10代の主張（審査員）	8月30日		Σ S
グローバル・フレンドシップ英語活動	9月9日	稗田幼稚園	Kid's ABC
Kid's ABCの英語活動	9月19日	稗田幼稚園	Kid's ABC
「Five」 ービジュアルデザイン&アートゼミによるグループ展ー	9月19日～28日		服飾美術学科 ビジュアルデザイン&アートゼミ
「稗田幼稚園」公演 人形劇「空飛ぶリュックサック」「鬼の姫」	9月24日	稗田幼稚園	子どもの劇場
オープンキャンパス 子どもの劇場公演 人形劇「空飛ぶリュックサック」「鬼の姫」 第5回『親子ふれあい教室』	9月28日	倉敷市立短期大学	子どもの劇場 運動体験部
Kid's ABCの英語活動	9月30日	稗田幼稚園	Kid's ABC
「金浦公民館 子育てサロンのびのび」公演 人形劇「空飛ぶリュックサック」「鬼の姫」	10月4日	金浦公民館	子どもの劇場
はばたきふれあい祭り	10月4日		ユニフイー
アキカゼユミ Tシャツ展	2009年10月8日～12日	Galeria Punto	専攻科服飾美術専攻2年 秋風有未
第35回大学祭 子どもの劇場公演 人形劇「空飛ぶリュックサック」「鬼	10月18日～19日	倉敷市立短期大学	子どもの劇場

の姫」			服飾美術学科 1・2年 運動体験部
2008年ファッションショー			
第6回『親子ふれあい教室』			
国際ソロプチミスト児島 懇談会・助成 金授与式	10月19日	倉敷市立短期大 学	Σ S
お話と音楽『森の音楽隊』	10月22日	倉敷市稗田保育 園	野村ゼミ
Kid's ABCの英語活動	10月22日	稗田幼稚園	Kid's ABC
お話と音楽『森の音楽隊』	10月24日	倉敷市柳田保育 園	野村ゼミ
グローバル・フレンドシップ英語活動	10月30日	稗田幼稚園	Kid's ABC
お話と音楽『森の音楽隊』	10月31日	中山保育園	野村ゼミ
はぐくみ岡山おぎやっと 21 in 倉敷	11月1日	イオンモール倉 敷	Σ S 運動体験部
グローバル・フレンドシップ英語活動	11月17日	稗田幼稚園	Kid's ABC
JAPANTEX2008 学生展活動記録	11月19日～ 22日		専攻科服飾美 術専攻1年 重本 洋介 佐 野 誠
つつむあれる TUTUMuaRERU やまもとか なこ展	11月22日～ 30日		服飾美術学科 2年 山本佳 奈子
第7回『親子ふれあい教室』	11月23日	倉敷市立短期大 学	運動体験部
Kid's ABCの英語活動	11月28日	稗田幼稚園	Kid's ABC
「上の町保育園」公演 紙芝居「ぶたはいや」 劇「ともだち の森☆」	11月29日	上の町幼稚園	子どもの劇場
グローバル・フレンドシップ英語活動	12月5日	稗田幼稚園	Kid's ABC
「第49回中・四国保育学生研究大会」	12月6日	高松大学・高松	子どもの劇場

劇 「ともだちの森☆」		短期大学	
「児島児童館幼児クリスマス会」公演 人形劇「鬼の姫」 劇「ともだちの森☆」	12月7日	児島児童館	子どもの劇場
「児島青年会議所」公演 劇 「ねずみの兄弟」	12月7日	せとうち児島ホテル	子どもの劇場
お話と音楽『森の音楽隊』	12月10日	小川幼稚園	野村ゼミ
お話と音楽『森の音楽隊』	12月12日	若竹の園保育園	野村ゼミ
「琴浦西幼稚園」公演 人形劇「みんなで歌うっていいものだ」	12月12日	琴浦西幼稚園	子どもの劇場
「佐保幼稚園」公演 人形劇「空飛ぶリュックサック」 劇 「ともだちの森☆」	12月13日	奈良佐保短期大学附属倉敷幼稚園	子どもの劇場
「クリスマスコンサートくるみ割り人形INチボリ」 公演 劇「ともだちの森☆」	12月14日	倉敷チボリ公園 カルケバレン劇場	子どもの劇場
お話と音楽『森の音楽隊』	12月17日	上の町幼稚園	野村ゼミ
クリスマス会	12月19日	稗田幼稚園	Kid's ABC
第28回環境対話キャンプ	12月19日～ 21日	旭高原少年自然の家	環境対話キャンプ
倉敷市5大学連携福祉事業『5大学合体！ くらしき福祉祭』	12月20日		Σ S 運動体験部
第8回『親子ふれあい教室』	12月23日	倉敷市立短期大学	運動体験部
グローバル・フレンドシップ英語活動	1月16日	稗田幼稚園	Kid's ABC
岡山県内シグマ・ソサエティ交流会	1月18日		Σ S
Kid's ABCの英語活動	1月23日	稗田幼稚園	Kid's ABC
第9回『親子ふれあい教室』	1月24日	倉敷市立短期大学	運動体験部
「稗田保育園」公演 人形劇「空飛ぶリュックサック」「鬼	1月31日	稗田保育園	子どもの劇場

の姫」			
グローバル・フレンドシップ英語活動	2月19日	稗田幼稚園	Kid's ABC
第10回『親子ふれあい教室』	2月24日	倉敷市立短期大学	運動体験部
Kid's ABCの英語活動	2月27日	稗田幼稚園	Kid's ABC
子どもの劇場公演 2009「あつまれこどもたち！お話いっぱいはじまるよ！」 口演童話「あかずきん」「3匹のやぎのがらがらどん」 人形劇「空飛ぶリュックサック」「鬼の姫」 劇「わすれないでね☆」	2月28日～3月1日	児島公民館大ホール	子どもの劇場

2009年度

事 項	月 日	場 所	団 体 名
第1回『親子ふれあいパーク』	4月18日	倉敷市立短期大学	運動体験部
月例訓練会	4月19日		THE☆MAC
倉敷っ子フェスティバル 公演 人形劇「鬼の姫」	4月26日	児島児童館	Σ S 子どもの劇場
「第26回全国都市緑化おかやまフェア2009」公演 人形劇「空とぶリュックサック」「鬼の姫」	4月29日	西大寺メイン会場	子どもの劇場
「第26回全国都市緑化おかやまフェア2009」公演 人形劇「空とぶリュックサック」「鬼の姫」	5月5日	後楽園	子どもの劇場
月例訓練会	5月17日		THE☆MAC
第2回『親子ふれあいパーク』	5月17日	倉敷市立短期大学	運動体験部
Kid's ABCの英語あそび	5月20日	稗田幼稚園	Kid's ABC

グループ展 『あじみのあじみ展』	6月16日～21日	ガレリアプラント	服飾美術専攻 服飾美術学科 の学生有志
はぐくみ岡山おぎゃっと 21 in 岡山	6月20日～21日	コンベックス岡山	Σ S 運動体験部
第3回『親子ふれあいパーク』	6月20日	倉敷市立短期大学	運動体験部
月例訓練会	6月21日		THE☆MAC
グローバル・フレンドシップ英語活動	6月22日	稗田幼稚園	Kid's ABC
Kid's ABCの英語あそび	6月24日	稗田幼稚園	Kid's ABC
展示会 『50 マイTシャツ』	7月3日～6日	LAZy PeRSOn / art gallery ABSENTE	服飾美術学科 2年 赤松美央, 大江希代
ファッションショーイベント 『CLOSET-supported CIRCLE-』	7月12日	倉敷市芸文館 アイシアター	服飾美術学科 2 年生有志
Kid's ABCの英語あそび	7月13日	稗田幼稚園	Kid's ABC
山陽新聞『まちナビ 子ども・学園（浴衣特集）』に掲載 スタイル提案	7月14日		服飾美術学科 ファッション デザインゼミ
「天城保育園」公演 紙芝居「ねずみのしっぽ」 劇 「ねずみの兄弟」	7月18日	天城保育園	子どもの劇場
「和井田保育園」公演 紙芝居「てんとうむしのてむ」 劇 「ねずみの兄弟」	7月18日	和井田保育園	子どもの劇場
月例訓練会	7月19日	倉敷市立短期大学	THE☆MAC
「帯江小学校児童クラブ」公演 人形劇「おおきなおいも」 人形劇「ほっぴいの夏休み」	7月24日	帯江小学校	子どもの劇場
「老松ふれあいクラブ」公演	7月24日	老松小学校	子どもの劇場

人形劇「おおきなおいも」 ゲーム・紙芝居，人形劇「ほっぴいの夏休み」			
オープンキャンパス Kid's ABC の英語あそび 第 4 回『親子ふれあいパーク』 子どもの劇場公演 人形劇「おおきなおいも」「ほっぴいの夏休み」 ワークショップ 作品の展示	7 月 26 日	倉敷市立短期大学	Kid's ABC 運動体験部 子どもの劇場 服飾美術学科 服飾美術学科 各ゼミ
『中津寺町とうろう祭り』に参加	8 月 9 日	大分県中津市	服飾美術学科
心理リハビリテーション・キャンプ	8 月中旬		THE☆MAC
『あしあと展 Footprint ～繊維造形による視点～』	8 月 22 日～30 日	倉敷ファッションセンター	服飾美術学科 テキスタイル デザインゼミ
ワークショップ『フェルトメーキング』	8 月 22 日・29 日	倉敷ファッションセンター	服飾美術学科 テキスタイル デザインゼミ
「表現Ⅳ発表会」公演 口演童話「ふるやのもり」，劇「きつねはひとりでおにごっこ」	8 月 27 日	倉敷市立短期大学	表現Ⅳ
国際ソロプチミスト児島 第 6 回 10 代の主張（審査員）	8 月 29 日		Σ S
日本幼児体育学会第 5 回大会で口頭発表，題目「保育者養成校における地域子育て支援活動親子ふれあいパークの実践－」	8 月 29 日～30 日	岡山理科大学	運動体験部
月例訓練会	9 月 13 日	倉敷市立短期大学	THE☆MAC

はぐくみ岡山おぎゃっと 21 in 倉敷	9 月 26 日	イオンモール倉敷	Σ S 運動体験部
オープンキャンパス 第 5 回『親子ふれあいパーク』 子どもの劇場公演 人形劇「おおきなおいも」「ほっぴいの夏休み」 ワークショップ 作品の展示	9 月 27 日	倉敷市立短期大学	運動体験部 子どもの劇場 服飾美術学科 服飾美術学科 各ゼミ
「金浦公民館 子育てサロンのびのび」公演 人形劇「おおきなおいも」「ほっぴいの夏休み」	10 月 3 日	金浦公民館	子どもの劇場
個展 『6's PLANET (サタンズプラネット) T シャツ展』	10 月 8 日～12 日	ガレリアプラント	服飾美術専攻 2 年 秋風有未
「福田わんぱくパーク」公園 人形劇「おおきなおいも」「ほっぴいの夏休み」	10 月 10 日	福田わんぱくパーク 福田園	子どもの劇場
ファッションコンテスト『倉敷ファッションフロンティア 2009』最終審査会（倉敷ファッションセンター）に出品 「企業賞」（株式会社 S P Y）受賞	10 月 17 日		服飾美術学科 1 年 三宅あやの
第 36 回大学祭 第 6 回『親子ふれあいパーク』 「表現Ⅳ発表会」公演 劇「きつねはひとりでおにごっこ」 2009 年度ファッションショー『H A P P E N I N G』 茶会 月例訓練会	10 月 18 日	倉敷市立短期大学	運動体験部 表現Ⅳ 服飾美術学科 1・2 年生 茶道部 THE☆MAC

国際ソロプチミスト児島 懇談会・助成金授与式	10月19日	倉敷市立短期大学	Σ S
お話と音楽『動物の謝肉祭』	10月21日	田の口保育園	野村ゼミ
お話と音楽『動物の謝肉祭』	10月23日	昭和保育園	野村ゼミ
お話と音楽『動物の謝肉祭』	10月24日	ライフパーク倉敷	野村ゼミ
お話と音楽『動物の謝肉祭』	10月28日	稗田保育園	野村ゼミ
グローバル・フレンドシップ英語活動	10月29日	稗田幼稚園	Kid's ABC
お話と音楽『動物の謝肉祭』	10月30日	赤崎保育園	野村ゼミ
地域イベント『アーティスティックな秋だから・・・』（児島駅前民話通り）に参加（フードブース出店）	11月3日	児島駅前	服飾美術学科 2年 迫田安里抄，立石真琴
月例訓練会	11月15日	倉敷市立短期大学	THE☆MAC
お話と音楽『動物の謝肉祭』	12月2日	万寿東幼稚園	野村ゼミ
「第50回中四国保育学生研究大会」公演 劇「ももたろう」	12月5日	海峡メッセ下関	子どもの劇場
お話と音楽『動物の謝肉祭』	12月7日	第二福田幼稚園	野村ゼミ
「奈良佐保短期大学附属倉敷幼稚園」公演 人形劇「おおきなおいも」 劇「ももたろう」	12月12日	奈良佐保短期大学附属倉敷幼稚園	子どもの劇場
「児島児童館」公演 人形劇「ほっぴいの夏休み」，劇「ももたろう」	12月13日	児島児童館	子どもの劇場
お話と音楽『動物の謝肉祭』	12月16日	旭丘幼稚園	野村ゼミ
山陽新聞『まちナビ 衣・食・遊（森ガール特集）』に掲載 スタイル提案	12月17日		服飾美術学科 ファッション デザインゼミ
稗田幼稚園お楽しみ（クリスマス）会	12月18日	稗田幼稚園	Kid's ABC
お話と音楽『動物の謝肉祭』	12月18日	倉敷幼稚園・若	野村ゼミ

		竹の園	
第 7 回おかやま県民文化祭 『倉敷ジャム・WATA ART PROJECT』に 参加 『くらたんファブリックアート 2009』	12 月 19 日・ 20 日	倉敷市美観地区	服飾美術専攻, 服飾美術学科
月例訓練会	12 月 20 日	倉敷市立短期大 学	THE☆MAC
第 8 回『親子ふれあいパーク』	12 月 23 日	倉敷市立短期大 学	運動体験部
Kid's ABC 韓国 day	1 月 14 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
第 9 回『親子ふれあいパーク』	1 月 16 日	倉敷市立短期大 学	運動体験部
岡山県内シグマ・ソサエティ交流会	1 月 17 日		Σ S
月例訓練会	1 月 17 日	倉敷市立短期大 学	THE☆MAC
グローバル・フレンドシップ英語活動	1 月 28 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
初釜茶会	1 月 29 日	倉敷市立短期大 学	茶道部
第 10 回『親子ふれあいパーク』	2 月 14 日	倉敷市立短期大 学	運動体験部
第 1 回『DENIM oh! 雛』コンテストに 出品	2 月 20 日～3 月 12 日		服飾美術専攻 2 年 秋風有未, 1 年 田中愛弓, 森山未央
月例訓練会	2 月 21 日	倉敷市立短期大 学	THE☆MAC
卒業・修了制作展	2 月 23 日～28 日	倉敷市立美術館	服飾美術学 科・専攻科服飾 美術専攻
子どもの劇場公演 2010「お話の世界へさ あ行こう！」	3 月 6 日～7 日	倉敷市芸文館 アイシアター	野村ゼミ 子どもの劇場

<p>お話と音楽「動物の謝肉祭」</p> <p>人形劇 「おおきなおいも」「ほっぴいの夏休み」</p> <p>劇 「ももたろう」</p>			
<p>(財)倉敷市スポーツ振興財団主催</p> <p>～親子ふれあいイベント～からだで遊ぼう！楽しもう！</p>	3月7日	水島緑地福田公園体育館	運動体験部
<p>第6回インターナショナルすこやかキッズ支援ネットワーク全国セミナーで口頭発表，題目「保育者養成校における地域子育て支援活動－倉敷市立短期大学「親子ふれあいパーク」の成果と課題－」</p>	3月13日～14日	早稲田大学	運動体験部
月例訓練会	3月14日	倉敷市立短期大学	THE☆MAC
『高城染工でのくらたんクリ室』	3月31日～4月11日	高城染工	服飾美術学科 ファッション クリエイション ゼミ

2010年度

事 項	月 日	場 所	団 体 名
「高城染工 での くらたんクリ室」	3月31日～4月11日	高城染工	ファッション クリエイション ゼミ
運動会講習会	4月11日	作陽高等学校	奥富ゼミ
第2回「親子ふれあいパーク」	4月17日	倉敷市立短期大学	運動体験部
月例訓練会	4月18日	倉敷市立短期大学	THE☆MAC
西田彩香写真展「西田家」	4月20日～5月5日	Gallery1963、大阪	専攻科服飾美術 専攻2年

			西田彩香
倉敷っ子フェスティバル 人形劇「おおきなおいも」「ほっぴいの夏休み」	4月24日・25日	児島児童館	Σ S 子どもの劇場
岡山市こどもフェスティバル	5月5日	岡山市	保育学科
南野育成園こどもまつり	5月15日	南野育成園	保育学科
月例訓練会	5月16日	倉敷市立短期大学	THE☆MAC
第3回「親子ふれあいパーク」	5月22日	倉敷市立短期大学	運動体験部
ダウン症児発達支援	5月23日	倉敷市立短期大学	WITH
倉敷市児童クラブ障がい児対応専門研修会（指導補助）	5月30日	倉敷市立短期大学	野村ゼミ・専攻科生
Kid's ABC の英語あそび	6月11日	稗田幼稚園	Kid's ABC
倉敷市子どもセンターキッズチャレンジ広場	6月12日		保育学科
グループ展「あじみのあじみ展」	6月16日～21日	ガレリアプント	専攻科服飾美術専攻・服飾美術学科
くらしき市民講座『レッツリサイクル！走れ僕らのリサイクル号』の制作指導（親子20組）	6月19日		金山ゼミ・図工研究室
はぐくみ岡山おぎゃっと 21 in 岡山	6月19日・20日	コンベックス岡山	Σ S 運動体験部
月例訓練会	6月20日	倉敷市立短期大学	THE☆MAC
第4回「親子ふれあいパーク」	6月26日	倉敷市立短期大学	運動体験部
ダウン症児発達支援	6月27日	倉敷市立短期大学	WITH

倉敷市大学連携事業 「親子でいっしょにバルーンあそび」	7月3日	ライフパーク倉敷	奥富ゼミ
「50 マイ T シャツ」	7月3日～6日	LAZY PeRSOn / art gallery ABSENTE	服飾美術学科
「CLOSET -supported CIRCLE-」	7月12日	倉敷市芸文館 アイシアター	服飾美術学科 2 年生有志
ダウン症児発達支援	7月18日	倉敷市立短期大学	WITH
「老松ふれあい学童保育クラブ」公演 人形劇「こねこはどうやってなくの をなかったか」	7月23日	老松ふれあい学 童保育クラブ	子どもの劇場
オープンキャンパス Kid's ABC の英語あそび 子どもの劇場 公演 口演童話「3匹のこぶた」 人形劇「こねこはどうやってなくの をなかったか」 第5回「親子ふれあいパーク」 ワークショップ パフォーマンス 作品の展示	7月25日	倉敷市立短期大学	Kid's ABC 子どもの劇場 運動体験部 テキスタイル デザインゼミ ファッション クリエイショ ンゼミ 服飾美術学科 各ゼミ
藤木ゼミ機関誌「F」発刊	7月25日		ビジュアルデ ザイン&アー トゼミ
児島公民館 夏の講座講師 「船に乗ってスケッチ探検！めざすは松	7月28日	児島公民館	金山ゼミ・図工 研究室

島、六口島」			
「表現Ⅳ発表会」公演 人形劇「こねこはどうやってなくのを ならったか」 劇 「うさぎのつくった大きいパン」	7月30日	児島児童館	表現Ⅳ
岡山県ことばを育てる親の会主催サマー キャンプ	8月1日～2 日		専攻科保育臨 床専攻・保育学 科
心理リハビリテーション・キャンプ	8月中旬		THE☆MAC
倉敷市連島公民館「夏休みふれあい体験 講座」 小学生絵画教室における制作指導	8月21日～22 日	連島公民館	金山ゼミ・図工 研究室
「onsaya での くらたんクリ室」	8月21日～29 日	cafe onsaya、岡 山	ファッション クリエイショ ンゼミ
発達障がい児発達支援	8月22日	倉敷市立短期大 学	THE☆MAC WITH
国際ソロプチミスト児島 第7回 10代の 主張（審査員）	8月26日	ナйкаイビル2 階	Σ S
「新カクレンボ大作戦 in 児島」ワーク ショップ 第25回国民文化祭おかやま2010プレ イメント	8月28日・29 日	児島ジーンズス トリート	ファッション クリエイショ ンゼミ・専攻科 服飾美術専 攻・本科
「生きる力」支援事業さわやかデーボラ ンティア	9月18日～19 日		保育学科
倉敷美観地区で工作しよう！ くらたんずこうワークショップ①②	9月19日	倉敷物語館	金山ゼミ・図工 研究室
リヤカープロジェクト：香川県縦断	9月19日～21 日	香川県	専攻科服飾美 術専攻1年
「Five」 Full Blossom	9月19日～9		服飾美術学科

	月 28 日		
H22 年度講座「子どもと一緒に楽しいリズム遊び ♪」（指導補助）	9 月 25 日	ライフパーク倉敷	野村ゼミ・専攻科生
はぐくみ岡山おぎゃっと 21 in 倉敷	9 月 25 日・26 日	イオンモール倉敷	Σ S 運動体験部
〔国文祭 おもてなし活動〕国文祭 P R うちわの作成・配布	9 月 26 日	児島琴浦だんじり祭り会場	空間デザインゼミ
障がい児を囲む親子ふれあい事業」ボランティア	9 月 26 日		保育学科
倉敷美観地区で工作しよう！ くらたんずこうワークショップ③	9 月 26 日	倉敷物語館	金山ゼミ・図工研究室
「金浦公民館 子育てサロンのびのび」公演 人形劇「こねこはどうやってなくのを ならったか」	10 月 2 日	金浦公民館	子どもの劇場
H22 年度講座「子どもと一緒に楽しいリズム遊び ♪」（指導補助）	10 月 2 日	ライフパーク倉敷	野村ゼミ・専攻科生
倉敷市心身障害者父母の会バス旅行サポートボランティア	10 月 2 日	愛媛県立とべ動物園	保育学科
オープンキャンパス Kid's ABC の英語あそび 子どもの劇場 公演 人形劇「こねこはどうやってなくの をならったか」 第 6 回「親子ふれあいパーク」 ワークショップ パフォーマンス 作品の展示	10 月 3 日	倉敷市立短期大学	Kid's ABC 子どもの劇場 運動体験部 テキスタイルデザインゼミ ファッションクリエイションゼミ 服飾美術学科

			各ゼミ
「倉敷国際ふれあい広場 2010」ボランティア	10月9日～11日	倉敷市芸文館別館	保育学科
H22年度講座「子どもと一緒に楽しいリズム遊び♪」（指導補助及び演奏） お話と音楽『くるみ割り人形』	10月9日	ライフパーク倉敷	野村ゼミ・専攻科生
翌朝新聞 Tシャツ展	10月9日～11日	北浜ギャラリー マルアール、高松	専攻科服飾美術専攻1年・研究生
〔国文祭 おもてなし活動〕国文祭PRうちわの作成・配布	10月16日	児島繊維祭会場	空間デザインゼミ
『瀬戸大橋まつり』第11回FTKデザインコンテスト	10月16日		服飾美術学科1年
H22年度講座「子どもと一緒に楽しいリズム遊び♪」（指導補助）	10月16日	ライフパーク倉敷	野村ゼミ・専攻科生
第11回FTK瀬戸大橋まつり デザインコンテスト参加	10月16日	児島競艇場	服美1年モード デッサンI受講生
第37回大学祭 人形劇「こねこはどうやってなくのを ならったか」 第7回「親子ふれあいパーク」 2010年度ファッションショー『WOW!!』 茶会	10月16日・ 17日	倉敷市立短期大学	子どもの劇場 運動体験部 服飾美術学科 1・2年 茶道部
国際ソロプチミスト児島 懇談会・助成 金授与式	10月17日	倉敷市立短期大学	ΣS
「児島の風景」冊子	10月18日		専攻科服飾美術専攻1・2年
お話と音楽『くるみ割り人形』	10月20日	田の口保育園	野村ゼミ
Kid's ABCの英語あそび	10月22日	稗田幼稚園	Kid's ABC
子ども発達センター 発達障がい児支援	10月23日		THE☆MAC

			WITH
「城見子育てサロン」公演 人形劇「こねこはどうやってなくのを ならったか」 劇 「きつねの弁当」	10 月 23 日	城見子育てサロ ン	子どもの劇場
お話と音楽『くるみ割り人形』	10 月 29 日	中山保育園	野村ゼミ
〔国文祭 おもてなし活動〕香りのウェル カムボードの制作と設置	10 月 29 日～ 31 日	倉敷ファッショ ンセンター	空間デザイン ゼミ
倉敷市大学連携講座 第 3 回 フェルト メイキング ～フェルト・ボール作り体験～	10 月 30 日	ライフパーク倉 敷	テキスタイル デザインゼミ
第 15 回ファッションデザインコンテスト 倉敷ファッションフロンティア参加	10 月 30 日	倉敷ファッショ ンセンター	服美 1 年モード デッサン I 受 講生
第 15 回倉敷ファッションフロンティア	10 月 30 日		服飾美術学科 1 年
茶室の設置，抹茶と菓子の販売 第 25 回国民文化祭おかやま 2010 児島 会場参加	10 月 30 日	岡山国民文化祭 児島会場	茶道部
「新カクレンボ大作戦 in 児島」手動販 売機 第 25 回国民文化祭おかやま 2010	10 月 30 日・ 31 日	児島ジーンズス トリー	ファッション クリエイショ ンゼミ・専攻科 服飾美術専 攻・本科
児島駅前屋外ステージの装飾 第 25 回国民文化祭おかやま 2010 児島 会場参加	10 月 30 日・ 31 日	児島駅前屋外ス テージ	空間デザイン ゼミ
リヤカープロジェクト：手廻しミシン体 験 第 25 回国民文化祭おかやま 2010	10 月 31 日	児島駅周辺など	専攻科服飾美 術専攻 1 年・本 科 2 年
ウェルカムドリンク（お茶）とイベント	10 月 31 日	児島駅前ファッ	服飾美術学科 1

情報提供 第 25 回国民文化祭おかやま 2010 児島 会場参加		ションフェステ イバル実施本部	年有志
倉敷市児童クラブ障がい児対応専門研修 会（指導補助）	10 月 31 日	倉敷市立短期大 学	野村ゼミ・専攻 科生
トランスフォーメーション アディクト ー身体・ファッション・椅子	11 月 2 日～7 日	倉敷ファッショ ンセンター	専攻科服飾美 術専攻 1・2 年
ファッションアート～皮から～	11 月 2 日～7 日	倉敷ファッショ ンセンター	ファッション アートゼミ
倉敷市児童クラブ障がい児対応専門研修 会	11 月 14 日	倉敷市立短期大 学	奥富ゼミ
月例訓練会	11 月 21 日	倉敷市立短期大 学	THE☆MAC
「TUTUMuaRERU」	11 月 22 日～ 30 日	FULL BLOSSOM 2F ギャラリースペ ース	服飾美術学科
第 8 回「親子ふれあいパーク」	11 月 27 日	倉敷市立短期大 学	運動体験部
お話と音楽『くるみ割り人形』	12 月 3 日	長尾幼稚園	野村ゼミ
「第 51 回中四国保育学生研究大会」公演 劇「いたちどんねずみどん」	12 月 4 日	美作大学	子どもの劇場
倉敷美観地区で工作しよう！ くらたんずこうワークショップ④	12 月 5 日	倉敷物語館	金山ゼミ・図工 研究室
社会人基礎力育成グランプリ	12 月 6 日	広島工業大学	THE☆MAC WITH
お話と音楽『くるみ割り人形』	12 月 10 日	郷内幼稚園	野村ゼミ
「奈良佐保短期大学附属倉敷幼稚園」公 演 人形劇「こねこはどうやってなくのを ならったか」 劇「いたちどんねずみどん」	12 月 11 日	奈良佐保短期大 学附属倉敷幼稚 園	子どもの劇場

「児島児童館」公演 人形劇「こねこはどうやってなくのを ならったか」 劇 「いたちどんねずみどん」	12 月 12 日	児島児童館	子どもの劇場
「水島公民館 わいわい こどものゆめラ ンド」公演 劇 「いたちどんねずみどん」	12 月 12 日	水島公民館	子どもの劇場
お話と音楽『くるみ割り人形』	12 月 15 日	茶屋町西幼稚園	野村ゼミ
お話と音楽『くるみ割り人形』	12 月 17 日	第一福田幼稚園	野村ゼミ
岡山県内シグマ・ソサエティ交流会	12 月 18 日	岡山県立大学	Σ S
第 9 回「親子ふれあいパーク」	12 月 18 日	倉敷市立短期大 学	運動体験部
ヨーロッパ研修	12 月 18 日～ 27 日	イギリス フラ ンス イタリア	服飾美術学科
月例訓練会	12 月 19 日	倉敷市立短期大 学	THE☆MAC
Kid's ABC の英語あそび	12 月 21 日	中島幼稚園	Kid's ABC
卯 meets T-shirt	1 月 11 日～15 日	倉敷ファッショ ンセンター	服飾美術学科 1 年・ファッショ ンアートゼミ
ダウン症児発達支援	1 月 16 日	倉敷市障がい者 支援センターは ばたき	WITH
お話と音楽『くるみ割り人形』	1 月 19 日	昭和保育園	野村ゼミ
にこちゃん体操	1 月 27 日	玉島児童館	WITH
Kid's ABC の英語あそび	1 月 28 日	稗田幼稚園	Kid's ABC
第 10 回「親子ふれあいパーク」	1 月 29 日	倉敷市立短期大 学	運動体験部
「生きる力」支援事業さわやかデーボラ ンティア	1 月 29 日～30 日		保育学科
市民学習センター講座「今日からイクメ	1 月 30 日		奥富ゼミ

ン～2・3歳児と運動あそび～」			
「キャンパス☆サーチ」出演	2月上旬	KCT	こどもの森実 行委員会
「くらしき Hot Evening」出演	2月15日	FMくらしき	こどもの森実 行委員会
にこちゃん体操	2月17日	玉島児童館	WITH
「イブニング DonDon」出演	2月18日	山陽放送	こどもの森実 行委員会
倉敷市立短期大学こどもの森 Kid's ABC の英語あそび お話と音楽『くるみ割り人形』 第11回「親子ふれあいパーク」	2月20日	倉敷市立短期大 学	Kid's ABC 野村ゼミ 運動体験部
卒業・修了制作展	2月22日～27 日	倉敷市立美術館	専攻科服飾美 術専攻・服飾美 術学科
ヘアメイク＆ファッションショーイベン ト 「ビートニクス」に参加	2月27日	ゼップ大阪	服飾美術学科 1年生
映画「うまれる」託児ボランティア	3月1日・3 日	倉敷市立短期大 学	保育学科
子どもの劇場公演 2011 お話と音楽 ピアノ連弾「くるみ割り人 形」 人形劇「こねこはどうやってなくのを ならったか」 劇 「いたちどんねずみどん」	3月5日・6 日	倉敷市芸文館 アイシアター	野村ゼミ 子どもの劇場
倉敷市スポーツ振興事業団主催「～親子 ふれあいイベント～からだで遊ぼう！楽 しもう!!」	3月6日～8 日	水島緑地福田公 園体育館	運動体験部
「琴浦中保育園」公演 人形劇「こねこはどうやってなくのを	3月17日	琴浦中保育園	子どもの劇場

ならったか」			
「『胎内記憶ある』幼児の２割」倉敷都市圏版，山陽新聞	3月17日		保育学科
岡山県立児童会館閉館記念事業 「京山キッズ・ガーデン」ボランティア	3月26日～27日	倉敷市芸文館 アイシアター	保育学科

6. 教員の主要業績 学長

江島 幹雄 (EJIMA, Mikio) 1949

音楽・音楽教育

研究課題

青少年のオーケストラ活動について

生涯学習としての音楽活動について

学位

音楽修士 (東京藝術大学)

学歴

1972 年 3 月 東京藝術大学音楽学部器楽科卒業

1974 年 3 月 東京藝術大学大学院修士課程音楽研究科修了

職歴

1972 年 4 月～1974 年 3 月 東京都交響楽団ヴィオラ奏者

1974 年 4 月～1975 年 3 月 作陽音楽大学音楽学部助手

1975 年 4 月～1985 年 9 月 作陽音楽大学音楽学部講師

1985 年 10 月～1987 年 3 月 倉敷市立短期大学保育学科講師

1987 年 4 月～1999 年 3 月 倉敷市立短期大学保育学科助教授

1999 年 4 月～2010 年 3 月 倉敷市立短期大学保育学科教授

2010 年 4 月～ 現在 倉敷市立短期大学学長

(以下兼務)

1974 年 4 月～1985 年 9 月 作陽短期大学音楽科及び作陽高等学校音楽科

非常勤講師

1983 年 4 月～1985 年 9 月 作陽音楽大学公演研究所演奏課長

1990 年 4 月～1993 年 3 月 倉敷市立短期大学学生部主幹

1990 年 4 月～2001 年 3 月 広島大学教育学部非常勤講師

2000 年 4 月～2002 年 3 月 倉敷市立短期大学付属図書館長

2003 年 4 月～2006 年 3 月 倉敷市立短期大学学生部長

2001 年 4 月～2005 年 3 月 エリザベト音楽大学音楽学部演奏学科非常勤講師

2005 年 4 月～2010 年 3 月 エリザベト音楽大学大学院音楽研究科非常勤講師

2009 年 4 月～2010 年 3 月 倉敷市立短期大学保育学科長

所属学会及び団体

1975 年 4 月～現在	日本ヴィオラ協会会員
1988 年 4 月～現在	日本音楽教育学会会員
2001 年 4 月～現在	日本音楽療法学会会員
2001 年 4 月～現在	倉敷音楽療法研究会会長

I 研究業績

[著書]

- ・ 「世界音楽紀行 1～ストリングアンサンブルの魅力」, 江島幹雄監修, 川添孝士編, ストリングス社, 1996 (共著)
- ・ 「世界音楽紀行 2～ストリングアンサンブルの魅力」, 江島幹雄監修, 川添孝士編, ストリングス社, 2002 (共著)

[学術論文]

- ・ レオポルト・モーツァルト「ヴァイオリン教則本」研究, 倉敷市立短期大学研究紀要第 12 号, pp. 39～46, 1986 年 3 月 (単著)
- ・ レオポルト・モーツァルト「ヴァイオリン教則本」研究, 倉敷市立短期大学研究紀要第 16 号, pp. 53～63, 1990 年 3 月 (単著)
- ・ モーツァルト弦楽四重奏曲研究(1)～前期弦楽四重奏曲について, 倉敷市立短期大学研究紀要第 20 号, pp. 55～62, 1992 年 3 月 (単著)
- ・ モーツァルト弦楽四重奏曲研究(2)～後期弦楽四重奏曲について, 倉敷市立短期大学研究紀要第 22 号, pp. 57～64, 1993 年 3 月 (単著)
- ・ 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」のリード合奏, 倉敷市立短期大学研究紀要第 24 号, pp. 53～69, 1994 年 3 月 (単著)
- ・ W. A. モーツァルトの弦楽五重奏曲研究～特に K. 515 と K. 516 の連作弦楽五重奏曲について～, 倉敷市立短期大学研究紀要第 26 号, pp. 121～125, 1996 年 3 月 (単著)
- ・ W. A. モーツァルトの後期弦楽五重奏曲研究～K. 593 と K. 614 について～, 倉敷市立短期大学研究紀要第 27 号, pp. 63～68, 1997 年 3 月 (単著)

- ・ モーツァルトのヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲 K. 364 に関する考察, 倉敷市立短期大学研究紀要第 29 号, pp.75~78, 1998 年 3 月 (単著)
- ・ ベートーヴェンの弦楽四重奏曲研究～初期弦楽四重奏曲作品 18 について, 倉敷市立短期大学研究紀要第 32 号, pp.1~7, 2000 年 3 月 (単著)
- ・ 精神障害者に対する音楽療法の試み～知的障害を伴う A さんの事例研究から, 倉敷市立短期大学研究紀要第 40 号, pp.1~pp7, 2004 年 3 月, (共著)
- ・ 不登校児に対する音楽療法の試み～知的障害を伴う B さんの事例研究から, 倉敷市立短期大学研究紀要第 41 号, pp37~pp43, 2004 年 12 月 (共著)

Ⅲ 社会活動

[審議会・委員会等]

- ・ N P O 法人倉敷ジュニアフィルハーモニーオーケストラ音楽監督 (1984 年 4 月～現在)
- ・ アルシェ弦楽四重奏団主宰 (1984 年 4 月～2000 年 12 月)
- ・ 自治省リーディング・プロジェクト「ティアス早島事業」推進策定委員 (1994 年 4 月～1995 年 6 月)
- ・ 倉敷アカデミーアンサンブル常任指揮者 (1995 年 4 月～現在)
- ・ 岡山市「おかやま音楽祭」音楽アドバイザー (1996 年 4 月～2000 年 3 月)
- ・ 日本クラシックコンクール審査員 (1996 年度～現在)
- ・ 山陽学生音楽コンクール審査委員 (1996 年度～現在)
- ・ 福山音楽コンクール審査委員 (1997 年度～現在)
- ・ 倉敷市文化ソサエティ 21 第 1 部会委員 (2000 年 4 月～2007 年 3 月)
- ・ アンサンブル早島 常任指揮者 (2000 年 4 月～現在)
- ・ 神戸国際学生コンクール審査員 (2008 年度～現在)
- ・ 倉敷市男女共同参画審議会会長 (2009 年 4 月～2010 年 3 月)
- ・ 倉敷市少年の意識調査委員会会長 (2010 年度)
- ・ 岡山県保育士養成協議会理事長 (2011 年 4 月～現在)

6 . 教 員 の 主 要 業 績 保 育 学 科

秋川 陽一 (AKIKAWA, Yoichi) 1956

幼児教育学・保育制度学

研究課題とその内容

わが国「子育て支援」政策・システムの分析：子どもの人権保障の視点から，日本の「子育て支援」政策の論理，実施過程・効果等の批判的分析を行うことを通して，子どもの人権が実質的に保障される子育て支援システムのあり方を模索する。

学位

教育学修士（筑波大学）

学歴

1979年3月 筑波大学第2学群人間学類（教育学主専攻）卒業

1985年3月 筑波大学大学院博士課程教育学研究科（教育学専攻）単位取得退学

職歴

1985年4月～1986年2月 筑波大学研究協力部研究協力課文部技官（教育学系担当）

1986年3月 筑波大学教育学系助手

1986年4月～1991年3月 倉敷市立短期大学講師

1991年4月～2001年3月 倉敷市立短期大学助教授

1993年4月～1996年3月 倉敷市立短期大学学生部主幹（兼務）

1999年4月～2000年3月 倉敷市立短期大学学生部主幹（兼務）

2001年4月～2002年3月 倉敷市立短期大学学生部主幹（兼務）

2001年4月～現在 倉敷市立短期大学教授

2003年4月～現在 倉敷市立短期大学専攻科（保育臨床専攻）教授

2005年4月～2008年3月 倉敷市立短期大学保育学科長（兼務）

2008年4月～2010年3月 倉敷市立短期大学学生部長（兼務）

2010年4月～現在 倉敷市立短期大学保育学科長（兼務）

所属学会及び団体

1979年10月～現在 日本教育行政学会会員

1982 年～1983 年度	日本教育行政学会年報編集委員会幹事
1982 年 5 月～現在	日本教育学会会員
1982 年 10 月～現在	日本教育経営学会会員
1985 年 6 月～現在	日本比較教育学会会員
1986 年 12 月～現在	関西教育行政学会会員
1990 年 4 月～現在	日本保育学会会員
1993 年 10 月～現在	日本教育制度学会会員
2005 年度～現在	日本教育制度学会理事（課題研究担当）
2005 年度～現在	日本教育制度学会紀要編集委員
2005～2009 年度	筑波大学教育学会研究紀要編集委員
2005 年 12 月～現在	幼児教育史学会会員
2010 年 6 月～現在	日本学童保育学会会員

I 研究業績

[著書]

- ・ 「すばらしい保育者をめざして」，社団法人全国保母養成協議会・社会福祉法人日本保育協会編集・発行，pp.63-68，1988（単著）（「第 5 章 保育制度の歴史」の「2 幼稚園制度の歴史の概要」を執筆）
- ・ 「生涯学習体系論」，真野宮雄編著，東京書籍，pp.124-135，1991（単著）（「第 9 章 女性の学習と教育」を執筆）
- ・ 「学校教育の基盤（教職教育講座第 1 巻）」，佐藤三郎・桑原敏明編，協同出版，pp.162-174，1992（単著）（「第 II 部 第 2 章 第 3 節 教員の制度と職務」を執筆）
- ・ 「幼児保育者制度の発展と保育者養成」，岩崎次男編，玉川大学出版部，pp.240-256，1995（「第 VI 部アメリカ 12 近年のアメリカにおける幼児保育と保育者養成制度の改革動向---『全米幼児教育協会』の改革運動に着目して---」を執筆）
- ・ 「教育における公正と不公正」，高倉翔編著，教育開発研究所，pp.144-156，1996（単著）（「幼児保育制度における公正と不公正」を執筆）
- ・ 「保育原理（幼児教育・保育講座）の第 2 巻」，丸尾譲・八木義雄・秋川陽一編，福村出版，pp.101-115，1997（単著）（全体の編集とともに，「第 7 章 保育所・幼稚園の制度と運営」を執筆）
- ・ 「合併自治体の教育デザイン」，小川正人・葉養正明編，ぎょうせい，pp.98-99，

- pp.124-125, 2003 (単著) (「第3節 教育委員会の課題」の「二学期制」と「幼稚園, 保育所」の2項を執筆)
- ・ 「事例解説事典 学校の危機管理 (第2版)」, 下村哲夫監修・水本徳明, 小島宏, 篠原清昭, 森部英夫他4名編, 教育出版, pp.343-349, pp.352-354, 2006 (単著) (「学校事故」のうち(1)授業中の事故, (2)校外活動中の事故を執筆)
 - ・ 「保育士養成テキスト (全13巻)」(ミネルヴァ書房刊)を八木義雄・倉石哲也と共同で監修, 2008年3月から続刊中。
 - ・ 「放課後児童指導員資格認定講習会テキスト (第1版)」, 特定非営利活動法人日本放課後児童指導員協会編集・発行, pp.11-21, 2010 (単著) (「学童保育の歴史と制度・運営形態および地域・行政機関との関係」を執筆)
 - ・ 「バイリンガル・テキスト: 現代日本の教育—制度と内容— (A Bilingual Text: Education in Contemporary Japan—System and Content—)」, 村田翼夫・山口満編, pp.145-220・pp.222-231・pp.248-257, 2010 (共著) (第Ⅲ章「教育行財政・経営の現状と課題」, 第Ⅳ章「教員制度の現状と課題: 1 日本の教職員の特徵・3 教員人事」を担当)

[学術論文]

- ・ 「教育行政民主化論～『地教行法』案成立過程における民主理念の分析を中心に～」, 『卒業論文』(筑波大学人間学類), 167頁, 1978 (単著)
- ・ 「教育政策決定過程論--J. T. トンプソンの分析枠組の検討を中心に---」, 『修士論文』筑波大学, 161頁, 1981 (単著)
- ・ 「保育者養成制度の歴史と課題---教育制度論的観点から---」, 『教育制度研究』, 18, pp.1-12, 1985 (単著)
- ・ 「現代日本の学校における自由と統制---教育行政研究の基本的視角をさぐる---」, 『日本教育行政学会年報』, 11, pp.149-186, 1985 (共著)
- ・ 「保育者養成制度の全体構造について」, 『倉敷市立短期大学研究紀要』, 13, pp.23-32, 1987 (単著)
- ・ 「現代日本の教育行政における『市民参加』に関する一考察」, 『教育制度研究』, 24, pp.1-14, 1992 (単著)
- ・ 「アメリカ合衆国における現代幼児保育改革と全米幼児教育協会(NAEYC)の活動」, 『教育制度研究』, 25, pp.121-134, 1993 (単著)
- ・ 「アメリカ合衆国における保育者養成制度改革の方向性～全米幼児教育協会

(NAEYC)の立場表明文書の分析を中心に～」,『教育行財政研究』(関西教育行政学会編), 20, pp.27-37, 1993(単著)

- ・ 「近年のアメリカにおける幼児保育と保育者養成制度の改革動向～「全米幼児教育協会」の改革運動に着目して～」,『幼児保育制度の発展と保育者養成(平成4・5年度科学研究費補助金[総合研究A]研究成果報告書)』・『近代幼児教育史研究8号』(近代幼児教育史研究会編)にも再掲, pp.171-183, 1994(単著)
- ・ 「現代日本における幼児保育制度改革の方向と課題---『子育て支援政策』文書の分析を中心に---」,『教育制度学研究』(日本教育制度学会編), 3, pp.149-162, 1996(単著)
- ・ 「保育学生の学習・生活等の態度と意識に関する研究ー岡山県内保育者養成校10校の在学生対象アンケート調査をもとにしてー」,『保育士養成研究(全国保育士養成協議会編)』, 18, pp.1-17, 2001(共著)
- ・ 「『初期教育制度』研究の動向と課題」,『教育制度学研究』(日本教育制度学会編), 10, pp.266-270, 2003(単著)
- ・ 「21世紀の教育改革デザインー幼児教育のデザイン」,『教員養成セミナー4月号別冊:教育改革04年』(清水一彦編), 時事通信社, pp.66-76, 2004(単著)
- ・ 「子どもの人権保障を目指す幼保一元化の改革課題」,『教育改革への提言集』(日本教育制度学会編), 4, 東信堂, pp.31-43, 2005(単著)
- ・ 「幼児教育の公的責任を考える」,『教育制度学研究』(日本教育制度学会編), 13, pp.93-106, 2006(共著)
- ・ 「少子化社会における幼児教育改革は何を目指すべきか」,『教育改革への提言集』【(日本教育制度学会編), 5, 東信堂, pp.100-109, 2006(単著)
- ・ 「保育所保育指針の告示化を考える」,『教育制度学研究』(日本教育制度学会編), 13, pp.93-106, 2008(共著)
- ・ 「幼児期の教育の『質向上』問題～その教育制度論的課題の探求」,『教育制度学研究』(日本教育制度学会編), 17, pp.120-137, 2010・7, (共著)

[新聞・雑誌論文等]

- ・ 「子どもの権利条約」(5回連載),『山陽新聞社:論壇』, (1996・12・23付「①子宝思想からの脱却ー子どもの権利条約ー」, 12・30付「②子育て支援ー子どもの権利条約からー」, 1997・1・6付「③意見表明権ー子どもの権利条約からー」, 1・13付「④休息と遊びの権利ー子どもの権利条約からー」, 1・20付「⑤教師の体罰禁止ー子どもの権利条約からー」の5回連載), 1996-1997(単著)

- ・ 「一日一題」,『山陽新聞・夕刊』(①2002・2・2付「子どもの権利後進県?」,②2・9付「本当の子育て支援」,③2・16付「子どもの専門家」,④2・23付「ボランティアの神髄」,⑤3・2付「『若者の今』考えよう」,⑥3・9付「大学生の『生きる力』」⑦3・16付「ジェンダー意識の変革」,⑧3・23付「子ども≠子供」,⑨3・30付「『新自由主義』改革と教育」の9回連載),2002(単著)
- ・ 「秋川先生の処方箋:Children's Health」『Cheers! Kids』(ちあ〜ずキッズ岡山編集室編),2009・冬,pp.28-29,2009(単著)

[講演集録]

- ・ 「子育て支援等への養成校の新しい役割」,『平成13年度全国保育士養成セミナー実施要綱』(全国保育士養成協議会編),133-135,2001・9(単著)
- ・ 「幼い子どもの権利を輝かせる保育をめざして」,『岡山市政の今日と明日』(岡山市職員労働組合自治研推進委員会編),133,2-27,2002・3(単著)
- ・ 「現代保育改革のデザイン〜その方向性と私たちの課題」『岡山市政の今日と明日』(岡山市職員労働組合自治研推進委員会編),164,2-21,2004・10(単著)
- ・ 「『学生指導』のあり方と保育士養成教員としての力量形成」『保育士養成資料集ー平成18年度全国保育士養成セミナー報告書ー』(全国保育士養成協議会編),45,107-110,2007・3(単著)

II 教育活動

[担当科目]

1 倉敷市立短期大学および専攻科における授業担当科目

本 科:教育学,保育原理Ⅰ,教育原理,教職論

専攻科:幼児保育制度論,子どもの人権教育論,教育行政論,比較教育特論,
子育て支援体験実習

2 他大学等における授業科目

- ・ 武蔵野女子大学:教育関係法規(文学部)
- ・ 倉敷看護専門学校:教育学(看護学科)
- ・ 福山市立女子短期大学:保育者論(保育科)

[本学における課外活動の指導等]

- ・ 倉敷市立短期大学シグマソサエティ顧問（1995 年 12 月～2011 年 3 月）

III 社会的活動

[審議会・協議会委員等]

- ・ 倉敷市立幼稚園教育研究協議会委員（2006 年 9 月～2010 年 9 月）
- ・ 倉敷市こどもの環境づくり推進協議会委員 [第 1 分科会会長]（1995 年 9 月～1997 年 3 月）
- ・ 倉敷市保育協議会研究部会指導員（1997 年度・1998 年度）
- ・ 倉敷市生涯学習推進協議会委員（2000 年 8 月～2009 年 7 月）
- ・ 倉敷市男女共同参画審議会委員 [副会長・会長]（2001 年 4 月～2009 年 8 月） 他

[表彰]

- ・ 平成 15 年度岡山県男女共同参画社会づくり功労者表彰（岡山県知事）（2003 年 11 月 23 日）

[講演・シンポジウム・助言等]

- ・ 厚生労働省主催「新しい保育士の在り方に関する研修会：シンポジウム（広島市）」シンポジスト（2002 年 7 月 12 日）
- ・ 倉敷市主催「第 13 回男女共同参画全国都市会議 in 倉敷 パネルディスカッション」コーディネーター（2002 年 10 月 24 日）
- ・ 全国私立保育園連盟主催「第 46 回全国私立保育園研究大会（岡山大会）」分科会助言者（2003 年 6 月 23 日）
- ・ 全国私立保育園連盟主催「第 8 回新任園長等セミナー（愛知県蒲郡市）」講師（2004 年 11 月 25 日）
- ・ 社団法人全国保健センター連合会主催「仕事と子育ての両立」応援フォーラム in 岡山 パネルディスカッション」コーディネーター（2007 年 11 月 23 日）
- ・ 中小企業家同友会全国協議会主催「2009 全国共同求人交流会（岡山市）」基調講演（2009 年 12 月 4 日）
- ・ 日本保育協会岡山県支部・日本保育推進連盟岡山県支部主催「保育を守る決起大会岡山（岡山市）」講演（2011 年 3 月 5 日）

安達 励人 (ADACHI, Reito) 1964

英文学・英語教育

研究課題とその内容

アニメーションを含む映像メディアの翻訳研究や、海外の子どもたちのために日本童話を英訳する活動をしている。また、アメリカの文芸創作教育にも関心があり、授業やワークショップで創作教育を実践してきた。社会的活動としては、保育学生たちとともに Kid's ABC を組織し、保育現場での異文化ふれあい活動や英語あそびに携わりながら、幼児期にふさわしい活動のあり方を模索している。

学位

文学修士 (岡山大学)

Master of Arts (アメリカ合衆国ホリンズ大学, Hollins University)

学歴

1991 年 3 月 岡山大学大学院文学研究科修士課程イギリス文学専攻修了
2004 年 10 月 ホリンズ大学大学院児童文学研究科修士課程修了
2009 年 4 月 岡山大学大学院社会文化科学研究科博士後期課程入学 (～現在)

職歴

1987 年 4 月～1988 年 3 月 岡山県立玉島高等学校非常勤講師
1988 年 4 月～1989 年 3 月 関西高等学校非常勤講師
1991 年 4 月～1992 年 3 月 作陽短期大学・聖華看護専門学校・岡山看護専門学校非常勤講師
1992 年 4 月～1993 年 3 月 美作女子大学 (現: 美作大学) 短期大学部助手
1992 年 4 月～1993 年 3 月 岡山医療技術専門学校非常勤講師
1993 年 4 月～1998 年 3 月 美作女子大学短期大学部講師
1994 年 4 月～1998 年 3 月 津山看護専門学校非常勤講師
1998 年 4 月～2002 年 3 月 倉敷市立短期大学保育学科講師
1998 年 7 月～2000 年 8 月 美作女子大学短期大学部非常勤講師 (集中講義)
2002 年 4 月～2010 年 3 月 倉敷市立短期大学保育学科助教授 (2007 年准教授に改称)

2003 年 4 月～2010 年 3 月 倉敷市立短期大学専攻科（保育臨床専攻）助教授
 （准教授）（兼任）

2003 年 4 月～2005 年 3 月 倉敷市立短期大学学生部主幹（兼務）

2003 年 6 月～2003 年 12 月 ホリンズ大学客員研究員（文科省在外研究員）

2006 年 4 月～2007 年 3 月 倉敷市立短期大学学生部主幹（兼務）

2008 年 4 月～2010 年 3 月 倉敷市立短期大学学生部主幹（兼務）

2010 年 4 月～現在 倉敷市立短期大学保育学科・専攻科教授

2010 年 10 月～2011 年 3 月 岡山大学文学部非常勤講師

所属学会及び団体

1987 年 4 月～現在	日本英文学会会員・岡山英文学会会員
1992 年 4 月～現在	日本英文学会中国四国支部会員
1998 年 4 月～現在	映画英語教育学会会員
1998 年 9 月～現在	Society for Cinema and Media Studies 会員
2000 年 4 月～現在	英米文化学会会員
2001 年 4 月～現在	日本児童英語教育学会会員

I 研究業績

[著書（訳書）]

- ・ 「アメリカの幼児体育」，大学教育出版，2002 年（監修・共訳）
- ・ 「アメリカにおける子どもの健康教育」，大学教育出版，2005 年（編集・共訳）

[学術論文]

- ・ 「ハロルド・ピンターの表面性—The Dwarfs—」，PERSICA，17 号，pp. 41-47，1990 年 3 月（単著・査読あり）
- ・ 「ハロルド・ピンターと不条理演劇—*The Collection*—」，PERSICA，19 号，pp. 69-77，1992 年 3 月（単著・査読あり）
- ・ 「ハロルド・ピンターの背信の構造」，PERSICA，20 号，pp. 69-77，1993 年 3 月（単著・査読あり）
- ・ 「Parodying the Stereotypes: David Henry Hwang's Dramatic Strategy」，美作女子大学・同短大部紀要，39 号，pp. 31-42，1994 年 3 月（単著・査読なし）

- ・ 「ハロルド・ピンターの初期演劇における役割変換について」, PERSICA, 21号, pp. 65-75, 1994年3月 (単著・査読あり)
- ・ 「ハロルド・ピンターのシナリオフランス軍中尉の女ージョン・ファウルズの小説との比較ー」, PERSICA, 25号, pp. 56-69, 1998年3月 (単著・査読あり)
- ・ 「2つの *M. Butterfly* ー原作の舞台演劇から見た映画版の問題ー」, 倉敷市立短期大学研究紀要, 30号, pp. 1-9, 1999年1月 (単著・査読なし)
- ・ 「短期大学におけるクリエイティヴ・ライティングの実践ーテーマの理解と表現をめぐる問題ー」, 倉敷市立短期大学研究紀要, 32号, pp. 29-34, 2000年3月 (単著・査読なし)
- ・ 「英語の授業で使う映画選択のための一尺度ー高校英語教科書から見た語彙レベルの利用についてー」, 映画英語教育研究, 6号, pp. 3-17, 2001年3月 (共著・査読あり)
- ・ 「ピンターのシナリオフランス軍中尉の女におけるナレーターの不在」, PERSICA, 28号, pp. 67-74, 2001年3月 (単著・査読あり)
- ・ 「Creative Writing Seminar at Hollins University」, 倉敷市立短期大学研究紀要, 35号, pp. 27-31, 2001年12月 (単著・査読なし)
- ・ 「家政系短期大学における映像作品制作の実践とその教育的意義」, 教育メディア研究, 8巻2号, pp. 69-78, 2002年3月 (共著・査読あり)
- ・ 「家政系短期大学における映像作品制作の教育的意義ー卒業生アンケートを通してー」, 教育メディア研究, 10巻1号, pp. 27-38, 2003年7月 (共著・査読あり)
- ・ 「From *Natsu no Niwa* to *The Friends*: The Balancing Act Involved in Translating Children's Books」, 英米文化, 34号, pp. 35-50, 2004年3月 (単著・査読あり)
- ・ 「Translating Kunpei Higashi」, 修士論文 (ホリンズ大学), 全63頁, 2004年10月 (単著)
- ・ 「アメリカ文芸創作教育に関する史的ー考察」, 倉敷市立短期大学研究紀要, 41号, pp. 17-21, 2004年12月 (単著・査読なし)
- ・ 「倉敷市内の幼児英語活動の実態調査ー幼稚園・保育園の園長を対象にー」, 倉敷市立短期大学研究紀要, 44号, pp. 21-28, 2006年3月 (単著・査読なし)
- ・ 「子どもたちの童話創作ワークショップ」, 倉敷市立短期大学研究紀要, 44号, pp. 11-20, 2006年3月 (共著・査読なし)
- ・ 「異文化交流を土台にした幼児の英語活動」, 倉敷市立短期大学研究紀要, 45号, pp. 9-16, 2006年12月 (単著・査読なし)

- ・ 「Hands-on学習としての英語アニメーション制作の教育的意義」, 倉敷市立短期大学研究紀要, 46号, pp. 9-14, 2007年3月 (単著・査読なし)
- ・ 「単語統計情報に基づくジャパニメーションの基礎的分析—宮崎駿アニメの場合—」, 映画英語教育研究, 13号, pp. 3-14, 2008年3月 (単著, 査読あり)
- ・ 「アニメーション映画の翻訳における目標文化の影響—小規模コーパスによる語彙の統計分析を利用して—」, 英米文化, 38号, 2008年3月, pp. 77-93 (単著・査読あり)
- ・ 「英語授業におけるジャパニメーション利用のための基礎研究—翻訳過程での文数変化に見る目標文化の影響—」, 映画英語教育研究, 14号, pp. 3-13, 2009年3月 (共著・査読あり)
- ・ 「Basic Analysis of Dialogue Data on Pauses and Silences in Japanimation Movies: Comparison of Original Japanese and American Animations with Their Translated Versions」, 英米文化, 40号, 2010年3月 (単著・査読あり)

[研究報告書]

- ・ 「アメリカにおける文芸創作教育の実践研究」, 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C) (課題番号15520211), 全140頁, 2006年3月 (単著)

[調査報告書]

- ・ 「倉敷市少年の意識調査」(平成12・17・22年度版), 倉敷市教育委員会, 2001年3月・2006年3月・2011年3月 (共著)
- ・ 「井原市男女共同参画に関する意識調査・実態調査」, 2010年8月 (共著)

[学会発表]

- ・ 「ハロルド・ピンター演劇の中の沈黙—*Silence*—」, 第11回岡山英文学会, 岡山大学, 1989年5月13日 (単独)
- ・ 「英語授業におけるジャパニメーション利用のための基礎研究—天空の城ラピュタ他における翻訳過程での文数の変化を手掛かりに—」, 第14回映画英語教育学会全国大会, 創価大学, 2008年6月21日 (単独)
- ・ 「保育学生が英語特区で取組む幼児の国際理解活動—マスコット交換プロジェクトから得たものと課題—」, 日本児童英語教育学会第30回全国大会, 大阪商業大学, 2009年6月21日 (単独)

- ・ 「ジャパニメーションの翻訳におけるセリフの間と沈黙について」，英米文化学会第27回大会，松江テルサ，2009年9月13日（単独）
- ・ 「宮崎駿作品の再翻訳に見る最近の日本アニメーションの英訳傾向」，日本英文学会中国四国支部第63回大会，四国大学，2010年10月30日（単独）

[研究助成]

- ・ 日本学術振興財団科学研究費補助金（基盤研究（C）），研究課題番号15520211，研究課題「アメリカにおける文芸創作教育の実践研究」，研究代表者，2003年度～2005年度
- ・ 教育内容改善等に関する若手教員等の海外派遣（文部科学省在外研究員），「児童文学の創作教育及び日本童話の英訳の研究」，アメリカ合衆国

II 教育活動

[担当科目]

- 1 倉敷市立短期大学および専攻科における授業担当科目
 本 科：英語 I（コミュニケーション），英語 II（コミュニケーション），英語 III，
 英語 IV，文学，総合演習
 専攻科：専門英語文献講読，教育映像表現演習
- 2 他大学等における主な授業科目
 - ・ 岡山大学文学部：言語文化学演習（言語文化学専修コース他）
 - ・ 美作女子大学短期大学部：映像文芸演習（生活科学科）

[本学における課外活動の指導など]

- ・ Kid's ABC 顧問，学生会顧問

III 主な社会活動

[審議会・委員会等]

- ・ 倉敷市少年の意識調査委員（2000年度，2005年度，2010年度）
- ・ 倉敷市文化振興財団倉敷文化ソサエティ 21 委員（2000年度～現在）

- ・ 倉敷市長杯「中学生英語スピーチコンテスト」審査委員（2005年度～現在）
- ・ 倉敷市市民企画提案事業審議会委員（2006年度～現在）
- ・ 倉敷市小学校英語科カリキュラム検討委員（2007年度～現在）

[ワークショップ・イベント]

- ・ 「(第1回～第5回)子どもたちの童話創作ワークショップ」企画・運営，倉敷市文化振興財団（2005年度～2009年度）
- ・ 「大人が読むくらしき童話の会」監修，倉敷市文化振興財団，2004年2月8日

[講演・指導・助言等]

- ・ 「ハリウッド映画の中のアジア人像」，美作女子大学公開講座講師（1996年5～6月）
- ・ 「初期アメリカ映画のなかの日本人」，おかやま長寿学園講師（1999年7月）
- ・ 「はじめてのインターネット」，おかやま長寿学園講師（1999年7月）
- ・ 「簡単，楽しい親子の英語あそび」，倉敷市立短期大学公開講座講師（2006年10月6日，13日）
- ・ 「幼児の異文化交流」，おかやま長寿学園講師（2007年7月13日）
- ・ 「保育の心で幼児英語活動にとりくんでー英語特区での保育学生の実践からー」，真備町ボランティア連絡協議会総会記念講演会講師（2008年6月13日）
- ・ 「日本アニメ，アメリカに行く」，おかやま長寿学園講師（2008年7月4日）
- ・ 「学級担任が進める楽しい英語活動～明日から使える実践のためのヒント～」，倉敷市小学校教育研究会英語科部会夏季研修会講師（2008年8月21日）
- ・ 倉敷市立小学校英語科授業助言・指導，倉敷市立旭丘小学校（2010年6月17日）
- ・ 「平成22年度倉敷市小学校英語科パワーアップ研修会」パネリスト，倉敷市小学校教育研究会英語科部会（2010年8月5日）

[その他]

- ・ 倉敷市内の幼稚園での英語あそび・異文化ふれあい活動講師（年間約15回）（2004年～現在）
- ・ 岡山県保育士養成協議会理事（2010年～現在）
- ・ 特定非営利活動法人イングリッシュサイズ理事（2010年～現在）

長田 実 (NAGATA, Minoru) 1949

障がい児保育・教育

研究課題とその内容

障がい児支援の在り方と改善方法の研究開発。

個別の教育支援計画の基礎となる現状把握，目的・方針，指導内容・方法の吟味，
具体的指導方法・実践，照合・修正の評価等の展開を通して一貫性ある支援体制の構
築を図り，幼児・児童のよりよい成長発達を促すための研究。

学位

修士（リハビリテーション）（筑波大学）

学歴

1972 年 3 月 東洋大学経営学部経営学科卒業

1998 年 3 月 東都リハビリテーション学院（姿勢保健均整学科）卒業

2005 年 3 月 筑波大学大学院修士課程教育研究科カウンセリング専攻修了

職歴

1977 年 4 月～1978 年 3 月 東京教育大学附属桐が丘養護学校教諭

1978 年 4 月～1997 年 3 月 筑波大学附属桐が丘養護学校教諭

1993 年 2 月～1997 年 3 月 筑波大学心理・心身障害教育相談室非常勤相談員

1997 年 4 月～1998 年 3 月 筑波大学学校教育学部講師（専任）

筑波大学心理・心身障害教育相談室相談員

1998 年 4 月～2006 年 3 月 筑波大学附属桐が丘養護学校教諭

1998 年 4 月～2003 年 3 月 筑波大学心理・心身障害教育相談室非常勤相談員

2000 年 4 月～2003 年 3 月 筑波大学非常勤講師（障害児教育担当）

2006 年 4 月～現在 倉敷市立短期大学教授（保育・保育臨床専攻）

2009 年 9 月～現在 倉敷看護専門学校

2010 年 4 月～現在 倉敷市立短期大学学生部長

所属学会及び団体

1984 年～現在 日本特殊教育学会会員

1987 年～2010 年 3 月	日本教育心理学会会員
1993 年～現在	日本リハビリテーション心理学会会員
1998 年～現在	日本臨床動作学会会員
2006 年～現在	日本リハビリテーション心理学会評議員
2006 年～現在	社団法人倉敷市総合福祉事業団評議員
2008 年 8 月～現在	倉敷市生涯学習推進協議会委員（会長，議長兼任）
2009 年～現在	日本保育学会会員
2009 年～現在	岡山県立鷺羽高等学校評議員
2010 年～現在	倉敷市障がい児保育アドバイザー

I 研究業績

[著書（訳書）]

- ・ 「動作法ハンドブック」, 大野清志・村田茂編, 慶應通信(株), 全 225 頁, pp. 68-69, pp. 82-95, pp. 98-101, pp. 219-220, 1993 年（共著）
- ・ 「動作訓練入門」, 村田茂監修・宮崎昭・早坂方志編, 日本肢体不自由児協会, 全 88 頁, pp. 40-41, pp. 65-70, 1993 年（共著）
- ・ 「臨床心理学の理論と実践」, 牧正興・高尾兼利・平山諭編, ミネルヴァ書房, 全 253 頁, pp. 195-204. 1990 年（共著）
- ・ 「絵でわかる動作法」, 長田実・宮崎昭・渡辺涼・田丸秋穂編, 福村出版, 全 125 頁, 1999 年（共著）
- ・ 「動作法ハンドブック・応用編」, 大野清志・村田茂監修, 慶應義塾大学出版会, 全 296 頁, pp. 219-265. 2003 年（共著）
- ・ 「障害児保育」, 平山諭編, ミネルヴァ書房, pp. 13-26, 2008 年（共著）
- ・ 「肢体不自由教育の理論と実践」, 筑波大学附属桐が丘特別支援学校編著, ジェー・ズ教育新社, 全 291 頁, pp. 98-104, 2008 年（共著）
- ・ 「実践から学ぶ社会的養護—児童養護の原理—」, 中山正雄編著, 保育出版社, 全 218 頁, pp. 68-71, pp. 115-116, 2010 年（共著）

[学術論文]

- ・ 「重度の子ども達の教育への音楽導入の試み」, 長田実・堀祐子・広瀬信雄, 『脳性まひ児の教育』, N048, pp. 30-36, 1983 年（共著）

- ・ 「動作法による Lesch-Nyhan 症候群児童の自傷行動の変化」, 長田実・安藤隆男, 『特殊教育学研究』, 第 26 巻 4 号, pp.43-48, 1989 年 (共著)
- ・ 「重複障害児の対人的なかかわりの改善をめざした指導－動作法による自傷・他傷行動へのアプローチ」, 長田実, 第一法規(株)特殊教育指導事例集, 1989 年 (単著)
- ・ 「動作訓練における個別指導計画作成方法の開発」, 宮崎昭・川間健之介・長田実, 『筑波大学心身障害指導相談室養護訓練研究』, 第 3 巻, pp.101-106, 1990 年
- ・ 「養護・訓練の時間の指導の個別指導計画」, 長田実, 『肢体不自由教育』, (増刊) Vol.95, pp.24-27, 1990.
- ・ 「教育活動全般からとらえた指導目標, 内容設定のシステム化」, 長田実, 日本特殊教育臨床研究会, 『教育臨床研究』, 第 1 巻, pp.47-52 (査読), 1991.
- ・ 「障害幼児の個別指導計画作成とその評価－動作学習を用いた指導実践を例に－」, 長田実, 日本特殊教育臨床研究会, 『教育臨床研究』, 第 2 巻, pp.29-36 (査読), 1992.
- ・ 「動作訓練キャンプにおける教員研修の新たな試み－課題関連図作成の意味－」, 宮崎昭・川間健之介・長田実, 『筑波大学学校教育部養護・訓練研究』, 第 6 巻, pp.17-23, 1993.
- ・ 「動作体験がもたらす心理的効果－「任せられる」体験による動作過程を中心に－」, 長田実・神山寛・大塚玲, 『筑波大学学校教育部養護・訓練研究』, 第 7 巻, pp.53-57, 1994.
- ・ 「「問題行動」に対する具体的な対応－養護学校では－自傷行動に対するかかわり方－」, 長田実, 『はげみ(日本肢体不自由児協会)増刊』, 12・1 月号, pp.22-23, 1994.
- ・ 「ひとりの子どもに複数の教師がどうかかわるか」, 長田実, 『養護学校の教育と展望』, pp.21-23, 1995.
- ・ 「動作体験がもたらす心理的効果－心身障害教育相談における拒食生徒への指導－」, 長田実, 『筑波大学養護・訓練研究』, 第 9 巻, pp.39-44, 1996.
- ・ 「カード記録による学習経過の評価」, 長田実, 『肢体不自由教育(増刊 126 号)』, pp.20-26, 1996.
- ・ 「身体の相関性と心理臨床－術後の痛み悩む高齢障害者への適用－」, 長田実・川間健之介・藤田和弘・山中克夫, 『筑波大学養護・訓練研究』, 第 11 巻, pp.1-7, 1998.
- ・ 「重複障害児の個別の指導計画作成に関する方法論的検討」, 長田実・安藤隆男, 『筑波大学教育論』, 集 21 号, pp.13-23 (査読), 1998.

- ・ 「動きを通した「あなたとわたし」のコミュニケーションー動作法適用による自己活動とボディ・イメージ」, 長田実, 『養護学校の教育展望特集』, No. 109, pp. 18-23, 1998.
- ・ 「発達障害幼児の現状に関する調査研究」, 長田実, 倉敷市立短期大学, 『倉敷市立短期大学研究紀要』, 第 49 号, pp. 1-8, 2008.
- ・ 「身体感覚の鋭敏化と柔軟性・可動性の広がりによる心身の活性化を意図した実践的研究ー筋緊張性ジストロフィー者への支援を通してー」, 長田実・金山和彦・河西晃・小川孝治, 倉敷市立短期大学, 『倉敷市立短期大学研究紀要』, 第 51 号, pp. 1-11, 2009.
- ・ 「幼児のための臨床的支援プログラムの開発」, 長田実, 『財団法人両備檀園記念財団研究助成論文』, 2010. (他 35 点)

[学会発表]

- ・ 「Lesch-Nyhan 症児への動作訓練法の適用」, 長田実・安藤隆男・原義人, 日本特殊教育学会第 23 回大会発表論文集, pp. 526-527, 1985.
- ・ 「Lesch-Nyhan 症児への動作訓練法の適用 (Ⅱ)」, 長田実, 日本特殊教育学会第 24 回大会発表論文集, pp. 432-433, 1986.
- ・ 「重度重複障害児と認知活動の活性化」, 長田実, 日本教育心理学会第 30 回大会発表論文集, pp. 1038-1039, 1986.
- ・ 「重度重複障害児と動作学習Ⅳ」, 長田実・神山寛, 日本特殊教育学会第 31 回大会発表論文集, pp. 666-667, 1993.
- ・ 「指導計画の作成-集団指導における実態把握から指導内容の設定-」, 長田実, 日本教育心理学会第 35 回大会発表論文集, 1993.
- ・ 「動作体験がもたらす心理的効果-拒食生徒に対する指導の試み-」, 長田実, 日本特殊教育学会第 32 回大会発表論文集, pp. 490-491, 1994.
- ・ 「障害高齢者と心理臨床ー術後の痛みにも悩む高齢障害者への教育相談ー」, 長田実, 日本特殊教育学会第 34 回大会発表論文集, pp. 348-349, 1996.
- ・ 「プロセスとしての個別の指導計画ーそのシステム化の意義ー」, 長田実・斎藤博之, 日本特殊教育学会第 38 回大会発表論文集, p. 305, 2000.
- ・ 「肢体不自由児通園施設の就学支援の現状に関する調査研究」, 長田実・斎藤佐和, 日本特殊教育学会第 43 回大会発表論文集, p. 371, 2005.
- ・ 「身体への「気づき」が自己コントロール能力に与える効果に関する実践的研究」,

村主光子・長田実，日本特殊教育学会第44回大会発表論文集，p.710，2006.

- ・「幼稚園・保育園に在籍する「気になる子」の現状－岡山県の幼稚園・保育園における実態調査－」，長田実，日本特殊教育学会第46回大会発表論文集，p.140，2008.

(他10点)

[研究助成]

- ・文部省教育方法等改善研究助成，1987年度～1989年度
- ・文部省科学研究費補助金（奨励研究B），1989年度
- ・文部省教育方法等改善研究助成，1990年度～1992年度
- ・第31回下中科学研究助成（下中記念財団），1993年度
- ・文部省教育方法等改善研究助成，1993年度～1996年度
- ・財団法人両備檉園記念財団研究助成，2009年度

II 教育活動

[担当科目]

1 倉敷市立短期大学および専攻科における授業担当科目

本科：障がい児概論，障がい児保育，社会的養護Ⅰ，精神保健，養護原理Ⅱ，
総合演習

専攻科：臨床動作学，ADHD・As 臨床実習，発達臨床心理学，障がい児臨床演習，
特別研究

2 他大学等における主な授業科目

- ・筑波大学：肢体不自由児概論（心身障害学系教職実践科目）（2000年4月～2003年3月）
- ・倉敷市看護養成専門学校：臨床心理学（2009年9月～現在）

[本学における課外活動の指導など]

- ・The☆MAC（障がい児支援のための支援活動を実践）顧問
- ・WITH（ダウン症児への支援活動を実践）顧問

III 社会活動

[審議会・委員会等]

- ・ 社団法人倉敷市総合福祉事業団評議員（2006年8月～現在）
- ・ 倉敷市生涯学習推進協議会委員（会長，議長兼任）（2008年8月～現在）
- ・ 岡山県立鷺羽高等学校評議員（2009年度～現在）
- ・ 倉敷市障がい児保育アドバイザー（2010年度～現在）

[ワークショップ]

- ・ 1995年度 日本特殊教育学会シンポジウム 話題提供
- ・ 1997年度 日本リハビリテーション心理学会全国大会 助言
- ・ 2006年度 日本特殊教育学会シンポジウム 助言
- ・ 2000年度 日本リハビリテーション心理学会全国大会 助言
- ・ 2001年度 日本リハビリテーション心理学会全国大会 助言
- ・ 2002年度 日本リハビリテーション心理学会全国大会 助言
- ・ 2008年度 日本リハビリテーション心理学会全国大会 助言
- ・ 2009年度 日本リハビリテーション心理学会全国大会 助言
- ・ 2010年度 日本リハビリテーション心理学会全国大会 アドバイザー

[講演・指導・助言等]

- ・ 「障害児に対する動作訓練実習」筑波大学公開講座講師（1993年～2010年）
- ・ 福岡市発達教育センター特別支援学校地域研修会講師（2008年度）
- ・ 児童クラブ指導者研修会講師（倉敷市教育委員会生涯学習課）（2008年度）
- ・ 自立活動実践セミナー講師（筑波大学附属桐が丘支援学校）（2009年度～2010年度）
- ・ 放課後児童指導員資格認定講習会講師（日本放課後児童指導員協会）（2010年度）

その他多数

野村 公江 (NOMURA, Kimie) 1950

音楽教育・鍵盤楽器(ピアノ)

研究課題とその内容

数少ないわが国における「ダルクローズリトミック」の国際免許（ディプロマ：ダルクローズリトミックのライセンスおよびサーティフィケート保持者を指導できる）保持者の定期的なレッスンを受けるために，ほぼ毎週大阪まで通っている。このことにより国際免許（サーティフィケート：音楽専門生以外の指導ができる）取得を目指している。このレッスンを受講することにより，ダルクローズリトミックの指導法のアイデアを担当授業の中で活かし，学生への授業実践の一助としている。また「語り」と「音楽」との融合による演奏を研究対象とする中で，学生への指導，そして自らも演奏会にて披露している。

学位

教育学修士（広島大学）

学歴

1969年3月	岡山県立天城高等学校卒業
1973年3月	広島大学教育学部高等学校教員養成課程音楽卒業
1975年3月	広島大学大学院教育学研究科教科教育学専攻音楽科教育修士課程 修了

職歴

1975年10月～1976年1月	広島大学研究生
1976年2月～1976年3月	倉敷市立保育専門学院助手
1976年4月～1981年9月	倉敷市立短期大学保育科助手
1981年10月～1996年3月	倉敷市立短期大学保育科講師
1995年9月～1995年11月	文部省在外研究員（アメリカ合衆国ヴァーモント 州立大学）
1996年4月～2006年3月	倉敷市立短期大学保育学科助教授
2006年4月～現在	倉敷市立短期大学保育学科・専攻科教授

所属学会及び団体

1973 年 4 月～現在	中国四国教育学会
1978 年 11 月～現在	日本保育学会
1981 年 12 月～現在	日本音楽教育学会
1993 年 4 月～2007 年 3 月	日本幼少児健康教育学会
2000 年 7 月～現在	日本ダルクローズ音楽教育学会
2007 年 6 月～現在	全国大学音楽教育学会及び中・四国地区学会

賞罰

2007 年 2 月 全国保育士養成協議会教職員表彰

I 研究業績

[著書]

- ・ 「学校子ども文化の創造」, 片岡徳雄編著, 金子書房, 1979 年 (共著)
- ・ 「子どもの生活環境と健康」, 中永征太郎・門田新一郎編著, 東山書房, 1994 年 (共著)

[学術論文]

- ・ 「保育者養成のためのピアノ指導に関する研究(1)－専門科目「音楽」におけるピアノ指導のあり方－」, 中国四国教育学会編『教育学研究紀要』第 27 号, 1982 年, pp. 388～391(単著)
- ・ 「アメリカにおける初歩のピアノ指導に関する研究－大学生の場合－」, 倉敷市立短期大学研究紀要第 26 号, 1996 年, pp. 127～135 (単著)
- ・ 「保育者養成校における「表現」授業のあり方に関する研究－(1)保育学科学生における大学入学前までの「表現」関連の生活体験－」, 倉敷市立短期大学研究紀要第 31 号, 2000 年, pp. 23～31 (共著)
- ・ 「保育者養成校における「表現」授業のあり方に関する研究－(2)表現活動に対する「抵抗感」について－」, 倉敷市立短期大学研究紀要第 31 号, 2000 年, pp. 33～39 (共著)
- ・ 「『語りと音楽』による表現形態に関する研究－幼稚園における現状について－」, 中国四国教育学会編『教育学研究紀要』第 47 巻第一部, 2002 年, pp. 528～539 (共著)

- ・ 「表現活動としての『語り』と『音楽』についての研究－幼稚園と保育園との比較－」, 中国四国教育学会編『教育学研究紀要』第 48 巻第一部, 2003 年, pp.553～558(共著)
- ・ 「『語り』と『音楽』との結合した表現活動に関する研究－活動主体の観点から」, 中国四国教育学会編『教育学研究紀要』第 49 巻, 2004 年, pp.417～422 (共著)
- ・ 「保育者養成機関における音楽にかかわる専門科目間の連繫に関する研究－リトミックの観点から－」, 中国四国教育学会編『教育学研究紀要』第 51 巻, 2006 年, pp.338～343 (単著)
- ・ 「保育者養成機関における音楽にかかわる専門科目間の連携に関する研究－『表現Ⅰ』と『音楽Ⅰ』－」, 中国四国教育学会編『教育学研究紀要』, 第 52 巻, 2007 年, pp.335～340(単著)
- ・ 「保育者養成機関における音楽にかかわる専門科目間の連携に関する研究－模擬授業を通して－」, 中国四国教育学会編『教育学研究紀要』, 第 53 巻, 2008 年, pp.352～357(単著)
- ・ 「保育者養成機関における学生の音楽的表現力育成に関する研究(Ⅰ)－身体表現活動を通して－」, 中国四国教育学会編『教育学研究紀要』第 55 巻, 2010 年, pp.332～337(単著)

[報告書]

- ・ 「幼児期の疲労－運動と音楽による訴え症状の消長－」, 前橋明・野村公江, 全国保母養成協議会編, 保母養成研究第 11 号, 1994 年, pp.95～101 (共著)

[演奏会]

- ・ 二期会中・四国支部設立記念演奏会, 1973 年, 11 月 9 日, 三木記念ホール
- ・ 第 2 回サマーコンサート, 1976 年 7 月 11 日, 倉敷アイビースクエア
- ・ 児島音楽家グループコンサート, 児島公民館大ホール, 1981 年 7 月 26 日, 1982 年 4 月 25 日 (計 2 回)
- ・ “ゆうばな” SUNDAY CONCERT, 児島文化センター大ホール, 1989 年 11 月 19 日, 1991 年 6 月 16 日, 1992 年 12 月 13 日 (計 3 回)
- ・ “ゆうばな” SUNDAY CONCERT, 倉敷市芸文館大ホール, 1994 年 7 月 10 日, 1996 年 4 月 20 日, 1997 年 12 月 14 日, 1999 年 6 月 13 日, 2001 年 6 月 17 日 (計 5 回)
- ・ “ゆうばな” SATURDAY CONCERT, 倉敷市芸文館大ホール, 2003 年 12 月 13 日, 2005

年 12 月 17 日（計 2 回）

- ・ 創立 25 周年記念グループ樹の会コンサート，1990 年 9 月 29 日，岡山市民文化ホール
- ・ グループ樹の会コンサート，岡山市民文化ホール，1992 年 10 月 18 日，1993 年 10 月 31 日（計 2 回）
- ・ Noon Student Performance Recital，1995 年 11 月 7 日，Recital Hall in UVM (The University of Vermont in U.S.A.)
- ・ コール・フォンターナ倉敷 第 1 回シリーズ・コンサート，2000 年 10 月 29 日，倉敷市立美術館 3F ホール
- ・ ドヴォルザーク室内オーケストラコンサート，2002 年 4 月 11 日，倉敷市芸文館大ホール
- ・ 瀬戸内混声合唱団 創立 20 周年記念演奏会，2004 年 12 月 5 日，児島文化センター大ホール
- ・ 第 31 回倉敷サマーコンサート（女声合唱団アンコーラ），2005 年 8 月 20 日，倉敷アイビースクエア（以後毎年）
- ・ 第 31 回 倉敷合唱フェスティバル（女声合唱団アンコーラ），2005 年 11 月 13 日，倉敷市芸文館大ホール（以後毎年）
- ・ 平成 18 年度 第 19 回文化展（女声合唱団アンコーラ），2006 年 11 月 12 日，倉敷東公民館ホール（以後毎年）
- ・ JOINT CONCERT S・M・A（女声合唱団アンコーラ），2011 年 3 月 5 日，倉敷市芸文館

[学会発表]

- ・ 「子ども大衆文化の教育的価値の実証的研究(4)－音楽教育を中心に－」，中国四国教育学会第 29 回大会，島根大学，1977 年 11 月 22 日，以後第 33 回大会まで毎年発表，第 45 回大会から第 61 回大会までほぼ毎年発表
- ・ 「保育者養成機関における学生の音楽的表現力育成に関する研究（Ⅰ）－身体表現活動を通して－」，中国四国教育学会第 61 回大会，島根大学，2009 年 11 月 22 日
- ・ 「模擬授業」を通じた「保育内容の研究・表現Ⅰ」の指導法について，H22 年度全国大学音楽教育学会中・四国地区学会，2010 年 11 月 16 日，松江テルサ

[シンポジウム]

- ・ 日音楽的環境をどうとらえるか「保育者養成機関における『豊かな表現』を求める試みを通して」，平成 20 年度全国大学音楽教育学会 中・四国地区学会シンポジ

ウム，2008年9月19日，岩国短期大学

II 教育活動

[担当科目]

1 倉敷市立短期大学および専攻科における授業担当科目

本科：音楽Ⅰ（１），音楽Ⅰ（２），保育内容の研究・表現Ⅰ，総合演習

専攻科：音楽実技内容研究Ⅰ，音楽教育指導法，特別研究

[本学における課外活動の指導など]

- ・「総合演習」での研究成果を，学生の実習先の幼稚園・保育園において，公演形式で実践するための指導を行う。

III 社会活動

[審議会・委員会等]

- ・ 倉敷市国民健康保険運営協議会委員副会長（2007年度～現在）
- ・ 倉敷教育センター運営委員会委員（2006年度～現在）
- ・ 「倉敷市よい子いっぱい基金」運営委員会委員（2010年度～現在）
- ・ 第42回中国・四国音楽教育研究大会岡山大会指導助言者（2010年度～2011年度）
- ・ 倉敷市文化連盟理事（1989年度～現在）
- ・ 倉敷市合唱連盟理事（2005年度～現在）
- ・ 「アンコーラ」（女声合唱団）団長（2005年度～現在）

[ワークショップ]

- ・ H17年度保育実技研修会「日頃の保育の中で使えるリトミック」，倉敷市立短期大学，2005年10月26日
- ・ 平成18年度岡山県生涯学習大学大学院コース《歴史と文化》21世紀のくらしと文化「『音楽あそび』で楽しく体を動かしましょう」，倉敷市立短期大学，2006年7月3日
- ・ 倉敷市福祉部子育て推進室子ども家庭課・倉敷市子育て支援センター・地域子育てセンター育児ボランティア講座「子どもとのレクリエーション」，倉敷シティーブ

ラザ西ビル，2006年9月2日

- ・平成20年度 倉敷市公立幼稚園8月主任研修会「楽しく歌って，軽快に動いて，疲れ気味の頭に心地良い刺激を！」，玉島公民館，2008年8月8日
- ・平成20年度講座「親子で楽しくリズム遊び♪」，ライフパーク倉敷，2009年2月21日，2月28日，3月7日，3月21日（計4回）
- ・H21年度倉敷市児童クラブ障がい児対応専門研修会「発達障がいと音楽遊び」，倉敷市玉島公民館別館体育館，2009年6月7日，10月25日（計2回）
- ・平成21年度岡山県国公立幼稚園教育研修会「動きを取り入れた楽しい歌唱指導の試み」，ライフパーク倉敷，2009年8月11日
- ・平成21年度ライフパーク親子講座「親子で楽しくリズム遊び♪」，ライフパーク倉敷，2009年10月3日，10月10日，10月17日，10月24日（計4回）
- ・H22年度倉敷市児童クラブ障がい児対応専門研修会「発達障がいと気軽にできる音楽遊び」，倉敷市立短期大学，2010年5月30日，10月31日（計2回）
- ・平成22年度倉敷市公立幼稚園教育研究会音楽リズム部会「歌って，動いて，楽しいリズム遊び」，水島ふれあいセンター体育館，2010年8月6日
- ・平成22年度ライフパーク親子講座「子どもと一緒に楽しいリズム遊び♪」，ライフパーク倉敷，2010年9月25日，10月2日，10月9日，10月16日（計4回）

[講演・指導・助言等]

〈ミニ公演〉

- ・奈良佐保女学院短期大学附属倉敷幼稚園における「音楽と語り」によるライブ演奏：ピアノ連弾（語り付き）C.サン＝サーンス作曲『動物の謝肉祭』全曲 2001年7月16日
- ・奈良佐保女学院短期大学附属倉敷幼稚園における「音楽と語り」によるライブ演奏：ピアノ独奏（語り付き）S.プロコフィエフ作曲「交響的物語『ピーターと狼』Op.67」 2004年6月25日

〈助言〉

- ・第42回中国・四国音楽教育研究大会岡山大会指導助言（H22年度～H23年度），倉敷市立万寿東幼稚園

溝手 恵里 (MIZOTE, Eri) 1956

児童文化学

研究題目とその内容

人形劇や児童演劇などの演劇的児童文化財に関する歴史的研究や、演劇的形象の問題を中心にしながら、絵本や紙芝居等を含めた児童文化財の創造の問題、伝統と継承の問題、創造のプロセス、表現の技術的問題等について具体的に研究してきた。

フィールドワークとして、児童向けの演劇公演を中心とした学生主体の「倉敷市立短大子どもの劇場」を主催しているが、これは本人の児童文化研究の中では大きな位置を占める。また、「語り」という表現形態とピアノ演奏が融合したスタイルの公演をした事を契機に、「語りと音楽」という表現活動の可能性を探る為の様々な側面からの研究も行っている。

学位

家政学修士（京都女子大学）

学歴

1975年3月	大阪府立住吉高等学校卒業
1979年3月	京都女子大学家政学部児童学科児童文化学専攻卒業
1981年3月	京都女子大学大学院修士課程家政学研究科児童学専攻修了
1985年3月	京都女子大学大学院家政学研究科研修者修了

職歴

1981年4月～12月	倉敷市立短期大学保育科非常勤講師
1981年4月～1982年3月	作陽音楽大学音楽学部教育音楽学科非常勤講師
1981年4月～1982年3月	旭川荘厚生専門学院保育科非常勤講師
1982年1月～1988年3月	倉敷市立短期大学保育科助手
1988年4月～1997年3月	倉敷市立短期大学保育学科講師
1991年4月～2011年3月	旭川荘厚生専門学院児童福祉科非常勤講師
1996年4月～現在	美作女子大学（2003年より美作大学）児童学科非常勤講師
1997年4月～2009年4月	倉敷市立短期大学助教授（2007～准教授）

2009 年 4 月～現在	倉敷市立短期大学教授
2010 年 4 月～現在	関西福祉大学社会福祉学科非常勤講師（子ども文化論）

所属学会及び団体

1982 年 1 月～現在	日本保育学会会員
1983 年 10 月～現在	日本児童文学学会会員
1997 年 7 月～現在	絵本学会会員
2001 年 7 月～現在	中国四国教育学会会員

I 研究業績

[著書]

- ・ 「児童文化の伝統と現在」，編集委員会，ミネルヴァ書房 pp.339-358，1986 年（共著）（「ダーク一座とその継承 日本人形劇史の一つの試み」を執筆）
- ・ 「児童文化の伝統と現在Ⅱ」中川正文：監修 編集委員会，ミネルヴァ書房，pp.163-183，1993 年（共著）（第七章「立体紙芝居に関する創造的技術的諸問題」を執筆）
- ・ 「日本児童文学大事典」（全 3 巻），大阪国際児童文学館・編，大日本図書，1993 年（共著）挿絵画家を中心とする人名 19 項目を担当。
- ・ 「日本 童謡のあゆみ」（『叢書 日本の童謡』の解説書）上笙一郎編，大空社，pp.34-40，1997 年（共著），（『詩集 ふる郷』（有本芳水．大正 7 年）の解説を執筆）
- ・ 「保育内容 言葉」，小田豊・芦田宏・門田理世編，北大路書房，pp.92-98，2003 年（第 5 章第 1 節 「言葉を育てる児童文化財」を執筆）
- ・ 「児童文化の伝統と現在Ⅲ」中川正文：監修 京都女子大児童文化学会編集，ミネルヴァ書房，2006.3，pp.245-274（共著）（第九章「ダーク一座の活動とその軌跡」を執筆）

[学術論文]

- ・ 「竹中幼稚園における紙芝居の活用 一戦前の所蔵作品について」，倉敷市立短期大学，『倉敷市立短期大学研究紀要』，第 34 号，pp.19-25，2001 年 3 月（単著）
- ・ 「『語りと音楽』による表現形態に関する研究 一幼稚園における現状について」，中国四国教育学会編，『教育学研究』第 47 巻，pp.528-539，2002 年 3 月（共著）

- ・ 「表現活動としての『語り』と『音楽』についての研究 ―幼稚園と保育園の比較―」, 中国四国教育学会編, 『教育学研究紀要』, 第 48 巻, 2003 年 3 月 (共著)
- ・ 「口演芸術と音楽との連携についての一考察」, 中国四国教育学会編, 『教育学研究紀要』, 第 48 巻, 2003 年 3 月 (共著)
- ・ 「『語り』と『音楽』との結合した表現活動に関する研究―活動主体の観点から―」, 中国四国教育学会編, 『教育学研究紀要』, 第 49 巻, 2004 年 3 月 (共著)
- ・ 「『語り』と『音楽』との結合した表現活動に関する研究―題材と形態の観点から―」, 中国四国教育学会編, 『教育学研究紀要』, 第 50 巻, 2005 年 3 月 (共著)
- ・ 「倉敷市の幼稚園における保育内容の史的研究 ―私立竹中幼稚園に残存する紙芝居を中心として (その 1) 」, 倉敷市立短期大学, 『倉敷市立短期大学研究紀要』, 第 48 号, 2008 年 3 月 (共著)
- ・ 「倉敷市における人形劇鑑賞事業」, 倉敷市立短期大学, 『倉敷市立短期大学研究紀要』, 第 50 号, 2010 年 3 月 (単著)

[学会発表]

- ・ 「『語り』と『音楽』との結合した表現活動に関する研究 ―活動主体の観点から―」, 中国四国教育学会第 55 回大会, 2003 年 11 月 (共同)
- ・ 「『語り』と『音楽』との結合した表現活動に関する研究―題材と形態の観点から―」, 中国四国教育学会第 56 回大会, 2004 年 11 月 (共同)
- ・ 「倉敷市の幼稚園における保育内容の史的研究 ―私立竹中幼稚園に残存する紙芝居を中心として― (その 1) 」, 日本保育学会第 60 回大会, 2007 年 5 月 19 日 (共同)
- ・ 「倉敷市の幼稚園における保育内容の史的研究 (その 2) ―私立竹中幼稚園に残存する紙芝居と保育内容の関わり―」, 日本保育学会第 61 回大会, 2008 年 5 月 17 日 (単独)
- ・ 「劇的活動によって育つ保育者としてのコンピテンシー」, 日本保育学会第 63 回大会, 松山東雲大学, 2010 年 5 月 23 日 (共同)

[創作童話・脚本]

- ・ 童話「ひとりぼっちのいじわる! こぎつねコン」, 本願寺新報, 2006 年 9 月 20 日
- ・ 「倉敷市立短大 子どもの劇場上演台本『ももたろう』」, 倉敷市立短期大学, 『倉敷市立短期大学研究紀要』, 第 53 号, pp.8-16, 2010 年 12 月 (単著)
- ・ 「倉敷市立短大 子どもの劇場上演台本『キラリ・虫たちの夏』」, 倉敷市立短期大

学、『倉敷市立短期大学研究紀要』，第 54 号，pp.17-26，2011 年 3 月（単著）

[公演活動]

- ・ 「京都女子大子どもの劇場」公演（仏教婦人会記念大会），＜演目「ミュージカル こんぎつね」＞，1994 年 3 月 10 日，大阪フェスティバルホール（「京都女子大子どもの劇場」は，京都女子大学名誉教授中川正文先生によって，1957 年に創設された影絵の専門劇団。この劇団に在学中より現在まで在籍し，活動が続けている。）
- ・ 「松下修也チェロフェスティバル」＜演目「チェロと語りによる セロ弾きのゴーシュ」宗像和作曲の語りを担当。＞，1995 年 4 月 27 日，倉敷市芸文館大ホール
- ・ 「国際青少年演劇フェスティバル」，＜演目 人形劇「かにむかし」＞，1995 年 5 月 27 日，オーストリアサンクトペルテンヒポリトハウス
- ・ 「京都女子大子どもの劇場」公演－「影はすてきな友だち」－（主催：神戸市保育園連盟），＜演目「影絵によるファンタジア」＞，1997 年 12 月 24 日，神戸文化ホール大ホール
- ・ 「'01 ゆうばな Sunday Concert」＜演目 動物の謝肉祭（サン＝サーンス作曲）のナレーション＞，2001 年 6 月 17 日，倉敷市芸文館
- ・ 「京都女子大子どもの劇場」公演＜演目 影は素敵などもだち＞，2003 年 11 月 1 日，大阪池田市アザレアホール
- ・ 「'03 ゆうばな Saturday Concert」＜演目 交響的物語「ピーターと狼」（S.プロコフィエフ作曲）のナレーション＞，2003 年 12 月 13 日，倉敷市芸文館
- ・ 「京都女子大子どもの劇場」公演 ＜演目 影絵によるファンタジア＞，2004 年 3 月 7 日，京都会館第 2 ホール
- ・ 「'05 ゆうばな Saturday Concert」＜演目 2 台のピアノのための組曲「唱歌の四季」（三善 晃編曲）のナレーション＞，2005 年 12 月 17 日，倉敷市芸文館
- ・ TOUCH A DANSE！[CONTACT+IMPROVISATION with 勝部ちこ]，勝部地子×鹿島聖子 DUO 公演，SHOWING 出演，2005 年 12 月 17 日，倉敷市芸文館アイシアター
- ・ ズンチャチャダンスパフォーマンス vol. 1 「だいく」出演（ダンス，人形劇），西川アイブラザ多目的ホール，主催 財団法人岡山市スポーツ・文化振興財団，岡山市芸術祭実行委員会，ズンチャチャ，2007 年 12 月 8 日，12 月 9 日

II 教育活動

[担当科目]

1 倉敷市立短期大学および専攻科における担当授業科目

本 科：児童文化，保育内容の研究・言葉，表現Ⅲ，表現Ⅳ，教職総合演習

専攻科：児童文化特論 1，児童文化特論 2，保育内容特別演習（劇的表現Ⅰ），
保育内容特別演習（劇的表現Ⅱ），特別研究

2. 他大学等における担当授業科目

- ・美作女子大学：児童文化概論（児童学科）
- ・関西福祉大学：子ども文化論（社会福祉学科）

[本学における課外活動の指導など]

- ・「倉敷市立短大子どもの劇場」顧問＜1982年創立以来，倉敷市立短大子どもの劇場（旧児童文化部）の公演活動の全般に渡り，演出，演技指導，出演等行ってきた。その活動は地域にも認められ，年々公演の以来は増加しつつある。それらの規模の大きな公演（観客動員数 300 人以上），特記事項のみ挙げておく。＞
- ・「ファミリーコンサート」倉敷市立短大子どもの劇場公演，2008 年 1 月 19 日，マービーふれあいセンター，主催倉敷真備ライオンズクラブ，共催まびっ子センター
- ・倉敷市立短大子どもの劇場公演 2008 あつまれこどもたち！ お話いっぱいはいじまるよ！ ＜演目 人形劇「みんなでうたうっていいものだ」，「でっかい仲間たち」，劇「サバンナバンバン★サバンナ家族」＞，2008 年 3 月 1 日，3 月 2 日，倉敷市芸文館アイシアター，主催倉敷市芸文館
- ・「1 日こども図書館フェスティバル in やかげ」における倉敷市立短大子どもの劇場公演，2008 年 8 月 23 日，やかげ文化センター，主催岡山県読書推進運動協議会，矢掛町教育委員会
- ・倉敷市立短大子どもの劇場公演 2009 あつまれこどもたち！ お話いっぱいはいじまるよ！ ＜演目 お話 人形劇「空とぶリュックサック」，「鬼の姫」，劇「わすれないでね」＞，2009 年 2 月 28 日，3 月 1 日，倉敷市児島公民館
- ・倉敷市立短大子どもの劇場公演 2010 あつまれこどもたち！ お話の世界へさあ行こう！ ＜演目 お話と音楽「動物の謝肉祭」，人形劇「おおきなおいも」，「ホッピーの夏休み」，劇「ももたろう」＞，2010 年 3 月 6 日，3 月 7 日，倉敷市芸文館アイシアター，主催 倉敷市芸文館
- ・倉敷市立短大子どもの劇場公演 2011 あつまれこどもたち！ お話の世界へさあ行こ

う！ < 演目 お話と音楽「くるみ割り人形」，人形劇「こねこはどうやったなくのをならったか」，劇「いたちどんねずみどん」 >，2011 年 3 月 5 日，3 月 6 日，倉敷市芸文館アイシアター，主催 倉敷市芸文館

III 社会活動

[審議会・委員会等]

- ・（財）倉敷市文化振興財団評議員（1993 年 4 月～1998 年 3 月）
- ・ 箕面手作り紙芝居まつり審査員（1995 年 4 月～現在）
- ・ 倉敷市民学習センター運営審議会委員（1999 年 7 月～2005 年 5 月）
- ・（財）倉敷市文化振興財団倉敷文化ソサエティ 21 演劇・舞踊部会委員（2000 年 6 月～現在，2010 年より委員長）
- ・ 都窪早島町町民総合会館運営委員（2002 年 8 月 1 日～2006 年 3 月）
- ・ 倉敷市公民館等運営審議会委員（2005 年 6 月～現在〈2005 年～2009 年会長〉）
- ・ 倉敷市公民館等検討委員会委員（2005 年 11 月～2008 年 2 月）
- ・ 大阪書店組合 本の帯コンクール審査（2009 年 9 月）
- ・ 平成 20 年度教育委員会「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」に関する意見具申〈2009 年 11 月〉

[講演・指導]

- ・ 「絵本の魅力」，倉敷市学校図書館協議会研修会，2000 年 8 月 25 日，ライフパーク倉敷 大・「絵本の魅力」，倉敷市幼稚園教諭（主任）研修会，2001 年 7 月 27 日，ライフパーク倉敷しもう，岡山県生涯学習大学「専門教養コース」，2002 年 7 月 8 日，倉敷市立短期大学
- ・ 倉敷保育協議会「絵本研修会」（保育士対象），2004 年 10 月 29 日，くらしき健康福祉プラザ
- ・ 岡山県地域活動連絡協議会（岡山県みらい子育てネット）中央研修会「親と子と絵本」2005.11.24，笠岡市民会館
- ・ 「絵本と親子関係」，2010 年 1 月 21 日，柳田保育園
- ・ 「子育てサポーター養成講座 乳幼児にとって絵本とは」2010 年 9 月 11 日，ライフパーク，倉敷市子育て支援センター主催

金山 和彦 (KANAYAMA, Kazuhiko) 1969

幼児造形・美術教育

研究課題とその内容

保育場面における造形活動の援助方法を研究テーマとしている。保育所保育指針・幼稚園教育要領・小学校学習指導要領の内容を根幹とし、造形保育で何が求められているのかを授業実践から導き出す。

演習授業では、技法遊び・色彩原理・幼児画発達段階特論・年齢にあった玩具作り・木工工作（マリオネット・組木パズル）・障がい児施設における余暇活動内容、就職採用試験対策等を用意し、「実践に即したリーダー的造形保育者」の養成にあたっている。児童福祉施設における勤務経験を生かし、子どもたちからの反応を誘発するような教材・アプローチ方法を提案している。

その他、「舞台装置制作のためのグループダイナミズム」「前衛美術と幼児のかかわり」「幼児の鑑賞保育活動についての一考察」を主題とし、岡山県北部の溪谷美をデザインした油彩制作にも取り組んでいる。

学位

修士（教育学）（上越教育大学）

学歴

1992 年 3 月	玉川大学文学部芸術学科卒業
1994 年 3 月	上越教育大学大学院学校教育研究科幼児教育専攻修了
2000 年 3 月	武蔵野美術大学短期大学部美術科卒業
2004 年 3 月	京都造形芸術大学芸術学部通信教育部洋画コース卒業

職歴

1994 年 4 月～1996 年 3 月	厚生省・日本肢体不自由児協会 心身障害児総合 医療療育センター重症心身障害児施設「むらさき 愛育園」看護指導部児童指導員
1995 年 4 月～1996 年 3 月	横浜国際福祉専門学校児童福祉学科非常勤講師
1995 年 4 月～1998 年 3 月	近畿大学豊岡短期大学幼児教育学科非常勤講師
1996 年 4 月～1998 年 3 月	横浜国際福祉専門学校児童福祉学科専任教員

1998 年 4 月～2006 年 3 月 新見女子短期大学幼児教育学科専任講師（1999
年 4 月 1 日より新見公立短期大学に校名変更）

2003 年 4 月～2008 年 9 月 ノートルダム清心女子大学人間生活学部児童学
科非常勤講師

2005 年 4 月～現在 四国学院大学社会福祉学部子ども福祉学科非常
勤講師

2006 年 4 月～2007 年 3 月 倉敷市立短期大学保育学科・専攻科保育臨床専攻
専任講師

2007 年 4 月～現在 倉敷市立短期大学保育学科・専攻科保育臨床専攻
准教授

2008 年 10 月～現在 ノートルダム清心女子大学人間生活学部児童学
科「児童学演習Ⅱ」特別講演講師

2010 年 4 月～現在 倉敷市立短期大学学生部主幹

所属学会及び団体

1994 年 4 月～現在 日本保育学会会員

1998 年 12 月～現在 絵画公募団体「大潮会」会員，岡山支部事務局

免許

1992 年 3 月 保育士資格

1992 年 3 月 博物館学芸員資格

2004 年 3 月 高等学校教諭 1 種免許状「美術」

2004 年 3 月 中学校教諭 1 種免許状「美術」

I 研究業績

[著書]

- ・ 「児童福祉総論」，監修，保育出版社，1998 年（共著）
- ・ 「幼児と造形―造形活動による子どもの育ち―」，野村知子・中谷考子編著，保育出版社，2002 年（共著）
- ・ 「日本美術 101 鑑賞ガイドブック」，神林恒道・新関伸也編著，三元社，2008 年（共著）

- ・ 「すべての感覚を駆使してわかる乳・幼児の造形表現」, 平田智久・小野和 編著, 保育出版社, 2011 年 (共著)

[学術論文]

- ・ 「触知覚認識による表現について－幼児の描画活動からの考察－」, 日本美術教育学会, 『日本美術教育学会誌「美術教育」』, 275 号, pp. 49－51, 1997 年 (単著)
- ・ 「保育における技法あそびについて－保育実践現場への質問紙調査をもとに－」, 日本美術教育学会, 『日本美術教育学会誌「美術教育」』, 277 号, pp. 55－59, 1998 年 (単著)
- ・ 「重症心身障害児の造形活動について－施設における陶芸指導の現状と課題からの考察－」, 日本美術教育学会, 『日本美術教育学会誌「美術教育」』, 280 号, pp. 46-54, 2000 年 (単著)
- ・ 「具体美術と児童美術の接点について」, 日本美術教育学会, 『日本美術教育学会誌「美術教育」』, 285 号, pp. 10-15, 2002 年 (単著)
- ・ 「村上三郎と幼児造形について」, 日本美術教育学会, 『日本美術教育学会誌「美術教育」』, 288 号, pp. 34～39, 2005 年 (単著)
- ・ 「幼児期のイメージ形成と知覚的鑑賞活動について」, 日本美術教育学会, 『日本美術教育学会誌「美術教育」』, 289 号, pp. 36-43, 2006 年 (単著)

[報告書]

- ・ 『重症心身障害児のための遊びの開発研究』, 「描画活動による重症心身障害児(者)の行動変容について(活動介助の試行による一考察)～施設利用者の描画活動事例記録から～」, 社会福祉法人福祉機器開発センター委託財団法人こども未来財団助成事業, 1996 年 3 月 31 日
- ・ 造形教育センター夏の研究大会研究論文集, 「30 年のあゆみ」「重症心身障害児の遊びについて」, 2001 年 10 月 1 日

[学会発表]

- ・ 「保育遊具(制作)についての一考察」, 日本保育学会第 54 回大会, 仙台(尚絅学院短期大学), 2001 年 5 月 27 日 (単独)
- ・ 「関西前衛美術集団と美術教育について」, 日本保育学会第 56 回大会, 静岡(静岡コンベンションアーツセンター), 2003 年 5 月 17 日 (単独)

- ・ 「幼児期の鑑賞活動について」, 日本保育学会第 59 回大会, 北海道(浅井学園大学), 2006 年 5 月 21 日 (単独)
- ・ 「保育活動における大道具制作について」, 日本保育学会第 60 回大会, 埼玉(十文字学園大学), 2007 年 5 月 20 日 (単独)
- ・ 「韓国の幼児造形活動-鑑賞のあり方について-」, 日本保育学会第 61 回大会, 名古屋市(名古屋市立大学), 2008 年 5 月 18 日 (単独)
- ・ 「保育者養成における舞台装置制作の可能性について」, 日本保育学会第 62 回大会(千葉大学), 2009 年 5 月 16 日 (単独)
- ・ 「劇的活動における保育者のコンピテンシーについて」, 日本保育学会第 63 回大会(松山東雲女子大学), 2010 年 5 月 23 日 (共同)

[研究助成]

- ・ 「重症心身障害児の療育活動の在り方についてー積極性を促すための陶芸指導の現状からー」, 平成 11 年度笹川記念財団研究助成, 2000 年 2 月 20 日
- ・ 15 年度報告「美術教育における『鑑賞』学習のカリキュラム開発に関する研究」, 『図画工作・美術科における鑑賞学習指導についての調査報告集(2003 年度全国調査結果)』, 平成 15 年度科学研究費研究基盤(B)(1)課題番号 15330194, 2004 年 3 月 31 日
- ・ 16 年度報告「美術教育における『鑑賞』学習のカリキュラム開発に関する研究」, 報告書『幼児教育領域における鑑賞的活動の扱いについて』, 平成 15~16 年度科学研究費研究基盤(B)(1)課題番号 15330194, 2005 年 3 月 31 日
- ・ 東アジアにおける鑑賞教育の現状調査ならびに比較研究, 基盤研究 B(海外学術調査)『韓国の幼稚園教育における美術鑑賞活動の現状について』, 平成 16~17 年度科学研究費研究基盤(B)(1)課題番号 16402044, 2007 年 3 月 30 日

[展示]

- ・ 第 1 回個展: 金山和彦 陶作品展「見立てからの発見」横浜市大倉山記念館, 1998 年 3 月 4 日~6 日
- ・ 第 2 回個展: 金山和彦 洋画作品展「マチエールとの対話」島根県立美術館ギャラリー, 2001 年 8 月 14 日~19 日
- ・ 第 3 回個展: 金山和彦 洋画作品展 銀座ギャラリー惣, 2002 年 7 月 29 日~8 月 3 日

- ・ 第4回個展：金山和彦 洋画作品展「きこえてくるもの」，大阪府立現代美術センター，平成15年11月17日～21日
- ・ 第5回個展：金山和彦 洋画作品展「巖からの伝言」，銀座ギャラリー惣，2004年8月23日～28日

[作品・デザイン]

- ・ 第62回～73回大潮会美術展，入選，（第63回大潮会展 特選賞，第66回大潮会展 会友推挙，第68回大潮会展 会友努力賞，会員推挙）東京都美術館
- ・ 2002秋季展 明日を担う現代美術選抜展，「危険区域における遊戯行為（石膏，竹）」嶋本昭三賞（比良美術館）
- ・ 平成15年岡山県阿哲郡大佐町国際交流事業，ニューヨーク州ニューパルツ市庁舎前彫刻作品，デザイン採用，「御堂溪谷（FRP，アルミニウム，スチール）」
- ・ 第2次倉敷市男女共同参画基本計画「くらしきハーモニープラン」，表紙デザイン担当，倉敷市市民局人権政策部男女共同参画課，2011年4月

II 教育活動

[担当科目]

1 倉敷市立短期大学および専攻科における授業担当科目

本 科：保育内容の研究・表現Ⅱ(1)，保育内容の研究・表現Ⅱ(2)，
図画工作(1)，図画工作(2)，総合演習

専攻科：保育内容特別演習（造形表現1），保育内容特別演習（造形表現2），
幼児の環境デザイン演習

2 他大学等における主な授業科目

- ・ 四国学院大学：子どもの造形Ⅰ・Ⅱ（子ども福祉学科）

III 社会活動

[講演・指導・助言等]

- ・ 金銭教育研究指定(学校法人淳心学院海星幼稚園 倉敷市玉島)研究アドバイザー，
2008年9月～2010年2月

- ・ 倉敷市児童クラブ障がい児対応専門研修会における講師(倉敷市保健福祉局子ども未来部子育て支援課), 2008年度～2010年度 計6回
- ・ 四国学院大学社会福祉学部子ども福祉学科主催「こども広場」における講師(四国学院大学), 2008年11月29日
- ・ 第48回全国保育問題研究会岡山集会・特別講座Jにおける特別講師,(就実大学), 2009年6月6日
- ・ 教員免許更新講習における講師(四国学院大学), 2009年8月1日
- ・ 平成21年度全国保育士養成セミナー分科会B-3話題提供者(東北福祉大学), 2009年9月10日
- ・ 倉敷市公立幼稚園教育研究会絵画制作部会講師, 2010年7月26日
- ・ 岡山県保育協議会保育会表現保育研究部講師, 2010年9月13日, 10月29日
- ・ 高梁市保育協議会研修会講師, 2011年3月12日

[その他]

- ・ 陶板「稲佐海岸と弁天島」, 新見公立短期大学本館, 1998年10月1日
- ・ F120油絵「御堂溪谷」, 新見公立短期大学本館, 2001年7月
- ・ F15油彩「宝福寺」, 社会福祉法人里方保育園(島根県出雲市), 2003年12月31日
- ・ F15油彩「源流・風」ニューヨーク州ニューパルツ市ビレッジ庁舎, 2003年12月31日
- ・ F8油絵「苦坂峠(ふるさとを望む)」, F10油絵「こまど嶽」, F80油絵「阿哲峡」, 社会福祉法人愛誠会特別養護老人ホーム「唐松荘」新館(岡山県新見市), 2005年9月15日
- ・ F100油絵「阿哲峡・高梁川溪谷」, 新見公立短期大学本館, 2006年3月31日

木戸 啓子 (KIDO, Keiko) 1969

保育者のキャリア発達

研究課題とその内容

保育の原点である「子どもの最善の利益」を保障する保育の在り方や保育者の専門性について研究している。教育面では、養成段階から現職教育を見通した保育者のキャリア開発において、保育者養成がどのような役割を果たすべきかについて考える。その上で、養成校と現場をいかに接続するかについて展望する。さらに、社会的活動として、子ども特に乳幼児期の心の発達とその課題について、子育てにかかわる講座や相談に取り組んでいる。

学位

修士（教育学）（岡山大学）

学歴

1988年3月	岡山県立倉敷青陵高等学校普通科卒業
1992年3月	作陽音楽大学音楽学部教育音楽学科教育音楽専攻卒業
1996年3月	佛教大学文学部教育学科小学校1種免許課程（通信課程）修了
2001年3月	倉敷市立短期大学保育学科卒業
2003年3月	岡山大学大学院教育学研究科学校教育専攻修了

職歴

1992年3月～1992年3月	岡山市立公立中学校助教諭
1992年4月～1999年3月	倉敷市立公立小学校講師
2003年4月～2003年8月	倉敷市立公立幼稚園助教諭
2003年9月～2004年3月	早島町内民間保育所保育士
2004年3月～2005年3月	倉敷市内民間保育所保育士
2005年4月～2008年3月	川崎医療短期大学医療保育学科講師
2006年10月～現在	倉敷看護専門学校非常勤講師（教育学）
2007年10月～2008年3月	倉敷市立短期大学非常勤講師（保育内容の研究・人間関係，幼児教育課程特論）
2008年4月～現在	倉敷市立短期大学講師

所属学会及び団体

1999 年 8 月～現在	日本幼少児健康教育学会正会員
2001 年 2 月～現在	日本保育学会正会員
2001 年 4 月～現在	日本乳幼児教育学会正会員
2001 年 9 月～現在	日本子ども社会学会正会員
2001 年 9 月～現在	日本家庭教育学会正会員
2005 年 4 月～現在	日本発達心理学会正会員
2006 年 9 月	社団法人全国保育士養成協議会平成 18 年度全国保育士養成セミナー・研究大会実行委員会委員
2008 年 4 月～現在	こども環境学会正会員
2009 年 4 月～現在	日本幼少児健康教育学会理事
2010 年 9 月～現在	日本アドラー心理学会会員

賞 罰

2001 年 3 月	日本幼少児健康教育学会濱田精一賞受賞「幼児の健康管理に関する研究－登園時における幼児の発声音量レベルと生活状況ならびに身体状況との関連性」（共同発表 中永征太郎・前橋明）
------------	---------------------------------------------------------------------------------------

I 研究業績

[著書]

- ・ 「MINERVA 保育実践学講座 6 保育指導法の研究」, 田中亨胤監修, ミネルヴァ書房, pp.90 頁-108, 2007 年（共著）（「第 6 章保育所の指導法」を執筆）
- ・ 「MINERVA 保育実践学講座 14 乳幼児保育の理論と実践」, 田中亨胤監修, ミネルヴァ書房, pp.119-123, 2008 年（共著）（「第 6 章園生活をつくる」のうち, 「2 節(4)3 歳未満児の遊びと環境」「3 節（3）3 歳以降の幼児の遊びと環境」を執筆）
- ・ 「健康福祉学概論－健やかでいきいきとした暮らしづくり－」, 前橋 明編著, 朝倉書店, pp.123-128, 2008 年（共著）（「第 4 章 3 節(2)就学前へ向けた取り組み」を執筆）
- ・ 「遊び・生活・学びを培う教育保育の方法と技術」, 北野幸子, 角尾和子, 荒木紫乃編著, 北大路書房, pp.13-20, 2009 年（共著）（「第 1 部 2 章 2 節指導案－概要」,

作成・活用の方法と技術」を執筆)

- ・ 「乳幼児の教育保育課程論」, 北野幸子編著, 建帛社, pp.143-150, 2010 年 (共著)
(「第 10 章 3・4 節実践に応じた教育保育課程の工夫」を執筆)
- ・ 「保育実践子どもと言葉」, 小山祥子編著, 大学図書出版, pp.144-150, 2010 年 (共著)
(「第 10 章「言葉」を育てる指導計画」を執筆)

[学術論文]

- ・ 「保育学生に対する健康教育－幼少年期に教わった家族からの教えとその継続性および達成度－」, 日本幼少児健康教育学会, 『幼少児健康教育研究』, 第 9 巻第 1 号, pp.35-46, 2000 年 (共著)
- ・ 「児期に実践されているあそびと期待されるあそび」, 関西福祉大学, 『関西福祉大学研究紀要』, 第 2 号, pp. 155-171, 2000 年 (共著)
- ・ 「幼児の健康管理に関する研究－登園時における幼児の発声音量レベルと生活状況ならびに身体状況との関連性－」, 日本幼少児健康教育学会, 『運動・健康教育研究』, 第 10 巻第 1 号, pp.11-17, 2001 年 (共著)
- ・ 「幼稚園児に対する教師と母親との発達評価の相違に関する一考察」, 岡山大学教育学部, 『岡山大学教育学部研究集録』, 第 121 号, pp.101-110, 2002 年 (共著)
- ・ 「乳幼児発達検査の変遷と保育への応用」, 岡山大学教育学部, 『岡山大学教育実践総合センター紀要』, 第 3 号, pp. 57-65, 2003 年 (共著)
- ・ 「幼稚園教育における発達を見通した指導計画作成の必要性和発達評価の有効性」, 『修士論文』(岡山大学), 2003 年 (単著)
- ・ 「発達評価からみた幼稚園教育要領の検討」, 岡山大学教育学部, 『岡山大学教育学部研究集録』, 第 125 号, pp.43-55, 2004 年 (共著)
- ・ 「指導案作成に関する実習生の学び-実習担当保育士から受けた指導内容-」, 倉敷市立短期大学, 『倉敷市立短期大学研究紀要』, 第 53 号, pp.1-6, 2010 年 (単著)

[学会発表]

- ・ 「幼少年期の運動－幼児期に取り組んでいる運動と幼少年期に期待する運動－」, 日本幼少児健康教育学会第 18 回大会, 秋田桂城短期大学, 2000 年 3 月 (共同)
- ・ 「育学生が学んだ幼少年期の教訓と現在の留意事項」, 日本幼少児健康教育学会第 19 回大会[秋季: 赤穂大会], 関西福祉大学, 2000 年 9 月共同)
- ・ 「幼児の健康管理に関する研究－登園時における幼児の元気さと生活状況ならび

- に身体状況との関連性について」、日本幼少児健康教育学会第 19 回大会[春季：埼玉大会]，女子栄養大学，2001 年 3 月（共同）
- ・ 「母親と教師との発達評価の差異に関する一考察」，日本保育学会第 55 回大会，武蔵野女子大学，2002 年 5 月（共同）
 - ・ 「母親評価からみた幼稚園教育要領の検討」，日本教育心理学会第 44 回総会，熊本大学，2002 年 10 月（共同）
 - ・ 「乳幼児精神発達質問紙を用いた発達評価の変動」，日本保育学会第 56 回大会，静岡コンベンションアーツセンター，2003 年 5 月 17 日（共同）
 - ・ 「幼児の健康的な生活を考える－保育園児・幼稚園児・小学生・中学生・高校生の生活実態をみつめて－」，日本乳幼児教育学会第 13 回大会（ラウンドテーブル），大阪樟蔭女子大学，2003 年 11 月 30 日（共同）
 - ・ 「保育者養成における保育実習の課題－実習での育ちと戸惑い－」，日本保育学会第 57 回大会，親和女子大学，2004 年 5 月 15 日（共同）
 - ・ 「乳幼児精神発達質問紙から見る保育内容の検討」，日本保育学会第 57 回大会，親和女子大学，2004 年 5 月 16 日（共同）
 - ・ 「保育者養成における保育実習の課題－0～1 歳児とのかかわりを通して－」，日本保育学会第 58 回大会，大妻女子大学，2005 年 5 月 21 日（共同）
 - ・ 「発達評価を用いた指導計画作成の有効性」，日本保育学会第 58 回大会，大妻女子大学，2005 年 5 月 21 日（共同）
 - ・ 「保育学生の指導案作成に関する学び」，全国保育士養成協議会第 46 回研究大会，城山観光ホテル，2007 年 9 月 14 日（単独）
 - ・ 「保育学生の指導案作成に関する学びⅡ」，全国保育士養成協議会第 47 回研究大会，函館国際ホテル，2008 年 9 月 26 日（単独）
 - ・ 「保育実習生による自己評価からみる指導案作成の検討」，日本保育学会第 62 回大会，千葉大学，2009 年 5 月 16 日（単独）
 - ・ 「保育学生の指導案作成に関する学びⅢ」，全国保育士養成協議会第 48 回研究大会，東北福祉大学，2009 年 9 月 11 日（単独）
 - ・ 「教育実習生による指導案作成の検討－学生の省察から得られた環境の構成と保育の展開－」，日本保育学会第 63 回大会，松山東雲女子大学，2010 年 5 月 23 日（単独）
 - ・ 「新任保育士の自己評価からみる養成校の役割－実習生との比較を通して－」，全国保育士養成協議会第 49 回研究大会，甲府富士屋ホテル，2010 年 9 月 17 日（共同）

II 教育活動

[担当科目]

1 倉敷市立短期大学および専攻科における授業担当科目

本 科：保育内容の研究・人間関係，幼児教育課程論，保育原理Ⅱ，教育実習，
教育実習法，保育実習Ⅰ（１），保育実習Ⅱ，保育実習法，総合演習
専攻科：幼児教育課程特論，特別研究

2 他大学等における主な授業科目

・倉敷看護専門学校：教育学

III 社会活動

[審議会・委員会等]

- ・岡山県保育士養成協議会保育実習委員会委員（2005年4月～現在）
- ・社団法人全国保育士養成協議会「児童福祉施設福祉サービス第三者評価機関評価調査者」認定（2005年7月～現在）
- ・岡山県アパレル工業組合「園児・職員ユニフォーム販路開拓委員会」委員（2008年度）
- ・倉敷市私立幼稚園連盟「くらしき幼児教育ネットワーク」委員（2008年4月～現在）
- ・倉敷市保育協議会「3未部会」助言指導（2009年度～2010年度）
- ・特定非営利活動法人日本放課後児童指導員協会「岡山県放課後児童クラブ開設・運営ガイドライン作成に係る検討会」委員（2009年度～2010年度）
- ・倉敷市教育委員会生涯学習課「子育て広場・子育て相談」相談員（2009年4月～現在）

[講演・指導・助言等]

- ・倉敷市稗田保育園人権講演会，倉敷市稗田保育園（2010年6月10日）
- ・倉敷市上の町保育園人権講演会，倉敷市上の町保育園（2010年6月24日）
- ・久米南町保育園協議会久米南町立弓削保育園公開保育研究討議，久米南町立弓削保

育園（2010年7月14日）

- ・ 社会福祉法人日本保育協会平成22年度事業所内保育施設事業主研修会，アイビースクエアフローラルコート（2010年8月3日）
- ・ ほのぼの子育てほっとはあと子育て支援拠点事業ひろば型における子育て講演会，山手保健センター（2010年8月17日）
- ・ 親子クラブ倉敷ブロック子育て講演会，倉敷市保健所（2010年10月25日）
- ・ 倉敷市学童保育連絡協議会ほわっとあったか子育て研修会，玉島児童館（2010年12月5日）
- ・ 岡山県保育協議会平成22年度岡山県保育協議会保育研究大会第5分科会助言，岡山コンベンションセンター（2011年1月24日）

奥富 庸一 (OKUTOMI, Youichi) 1976

幼児体育学・健康行動科学

研究課題とその内容

親子でできるふれあい運動プログラムの開発・検証や親子の健康支援システム，幼児・児童の健康づくりシステムに関する研究を進めている。少子化や都市化といった社会的背景の中で，親も子どもが生き生きと健やかな生活を送るために必要な要件について，多角的に分析・検討している。社会的活動として，研究上の理論的背景を持ちながら，親子ふれあいプログラムの実践や幼児体育指導を実践している。

学位

修士（体育科学）（筑波大学）

学歴

1995 年 3 月	奈良市立一条高等学校卒業
2000 年 3 月	筑波大学体育専門学群卒業
2003 年 3 月	筑波大学大学院博士課程体育科学研究科単位取得退学

職歴

2003 年 4 月～2006 年 3 月	筑波大学大学院修士課程体育研究科文部科学技官
2006 年 4 月～2009 年 3 月	早稲田大学人間科学学術院助手
2009 年 4 月～現在	倉敷市立短期大学保育学科講師

所属学会及び団体

1997 年 4 月～現在	ヘルスカウンセリング学会会員
2000 年 4 月～現在	日本精神保健社会学会会員
2001 年 4 月～現在	日本小児保健学会会員
2001 年 4 月～現在	日本母性衛生学会会員
2003 年 3 月～現在	日本保健医療行動科学学会会員
2005 年 3 月～現在	インターナショナルすこやかキッズ支援ネットワーク会員
2006 年 4 月～現在	日本子ども家庭福祉学会会員
2006 年 6 月～現在	日本体育学会会員

2006 年 6 月～現在	日本食育学術会議会員（広報担当理事）
2006 年 8 月～現在	日本幼少児健康教育学会会員
2006 年 8 月～現在	日本幼児体育学会会員（広報担当理事）

I 研究業績

[著書（訳書）]

- ・ 「最新健康科学概論」，緒方正名監修，前橋 明・大森豊緑編，朝倉書店，2005 年（共著）
- ・ 「幼児体育－基礎理論と指導の方法－」，前橋 明編，樹村房，2008 年（共著）
- ・ 「幼児体育－理論と実践－日本幼児体育学会認定幼児体育指導員（中級）養成テキスト」，日本幼児体育学会編，大学教育出版，2008 年（共著）

[学術論文]

- ・ 「幼児期の健康福祉に関する研究－保育園に通う 5 歳児の生活時間と朝の排便状況－」，日本食育学術会議，『食育学研究』，第 2 巻第 2 号，pp. 63-65，2007 年 6 月（共著）
- ・ 「「育児自信感」および「育児不安感」の尺度作成に関する研究」，日本精神保健社会学会，『日本精神保健社会学会年報』，第 13 巻，pp. 38-49，2007 年 11 月（共著）
- ・ 「乳幼児をもつ母親の『子育て』に関する悩みや不安感」，インターナショナルすこやかキッズ支援ネットワーク，『子どもの健康福祉研究』，第 7 巻，pp. 114-116，2008 年 3 月（共著）
- ・ 「母親と子どもの疲労に関する研究」，インターナショナルすこやかキッズ支援ネットワーク，『子どもの健康福祉研究』，第 7 巻，pp. 83-89，2008 年 3 月（共著）
- ・ 「幼児のテレビ・ビデオ視聴と生活習慣」，インターナショナルすこやかキッズ支援ネットワーク，『子どもの健康福祉研究』，第 7 巻，pp. 67-76，2008 年 3 月（共著）
- ・ 「母親の生活が子どもの生活に及ぼす影響」，日本幼少児健康教育学会，『幼少児健康教育研究』，第 14 巻第 1 号，pp. 28-34，2008 年 3 月（共著）
- ・ 「幼児の食行動に対する母親の認知に関する研究－子どもの食事中の気にかかる様子に着目して－」，日本食育学術会議，『食育学研究』，第 3 巻第 2 号，pp. 3-9，2008 年 6 月（共著）

- ・ 「A. S. E.プログラムの要素を取り入れた親子ふれあいプログラムの予備的実践とその効果」, 日本幼児体育学会, 『幼児体育学研究』, 第2巻第1号, pp.47-57, 2009年5月(共著)
- ・ 「幼児・児童の健康づくりシステムの構築ーすこやかキッズカードの作成と評価の検討ー」, 立正大学社会福祉学部, 『人間と福祉(立正大学社会福祉学部紀要)』, 第25号, pp.15~26, 2011年3月(共著)
- ・ 「親子の健康に関する実態報告 第1報 ~乳幼児の生活リズム~」, 倉敷市立短期大学, 『倉敷市立短期大学研究紀要』, 第54号, pp.17~26, 2011年3月(単著)

[報告書]

- ・ 「埼玉県所沢市幼稚園・保育園「心身の健康に関する調査」「生活に関する調査」調査報告書, 2007年4月~2008年3月, 文部科学省科学研究費補助金(若手研究(B))研究成果報告書(課題番号19700553), 本文54頁, 2008年1月(単著)
- ・ 「幼児の生活実態ー2007年報告ー」, 日本幼少児健康教育学会, 『運動・健康教育研究』, 第16巻第1号, pp.62-102, 2008年3月(共著)
- ・ 「親子の心身健康・生活に関する調査報告書」, 2009年4月~2011年3月文部科学省科学研究費補助金(若手研究(B))研究成果報告書(課題番号21700677), 本文40頁, 2011年2月(単著)

[学会発表]

- ・ 「母親の自己イメージと育児自信感」, 第4回すこやかキッズ支援全国セミナー, 筑波大学, 2008年3月8日(共同)
- ・ 「子育て期の母親の自己イメージと子どもイメージに関する研究ー第2報 多母集団同時分析による地域別の検討ー」, 第4回すこやかキッズ支援全国セミナー, 筑波大学, 2008年3月8日(共同)
- ・ 「乳幼児をもつ母親の子育て支援活動への参加有無と心身健康状態に関する研究」, 日本子ども家庭福祉学会第9回大会, 東洋大学, 2008年6月7日(共同)
- ・ 「幼少期の養育イメージが自己および子どものイメージ認知に与える影響」, 第23回日本保健医療行動科学学会学術大会, 山梨学院大学, 2008年6月21日(共同)
- ・ 「A. S. Eプログラムの手法を取り入れた親子ふれあい体操の予備的実践」, 日本幼児体育学会第4回大会, 早稲田大学, 2008年8月2日(共同)
- ・ 「母子の睡眠リズムを決定する要因分析」, 日本幼児体育学会第4回大会, 早稲田

大学，2008年8月2日（共同）

- ・ 「幼児・児童の健康づくりシステムの構築－生活リズム向上に向けての提案－」，日本幼少児健康教育学会第27回大会【秋季：大阪大会】，大阪信愛女学院短期大学，2008年9月14日（共同）
- ・ 「子育て中の母親の心身疲労と子どもに対する認知に関する研究」，第55回日本小児保健学会，札幌コンベンションセンター，2008年9月26日（共同）
- ・ 「A.S.E.の要素を取り入れた親子ふれあいプログラムの実践」，第5回すこやかキッズ支援全国セミナーシンポジウム『たのしむ子育て支援－生き生き実践の知恵－』，筑波大学，2009年3月8日（単独）
- ・ 「母親のストレス性格と妊娠・出産期トラブルや育児との関連」，第24回日本保健医療行動科学会学術大会，甲南大学，2009年6月27日（共同）
- ・ 「子育て支援活動への参加と心身健康」，第5回アジア幼児体育・健康福祉シンポジウム in 福岡（各国学会指名奨励研究），西南学院大学，2009年8月7日（単独）
- ・ 「子育て期の母親の運動プログラム開発－母親のストレスマネジメント効果をねらった親子運動あそびプログラム－」，日本体育学会第60回大会，広島大学，2009年8月26日（単独）
- ・ 「保育者養成校における地域子育て支援活動－「親子ふれあいパーク」の実践－」，日本幼児体育学会第5回大会，岡山理科大学，2009年8月29日（単独）
- ・ 「A.S.E.の要素を取り入れた親子ふれあいプログラムの効果」，日本幼児体育学会第5回大会，岡山理科大学，2009年8月29日（単独）
- ・ 「子どもに対するイメージと子育てに関する自信感・不安感」，日本幼少児健康教育学会第28回大会【秋季：くらしき大会】，くらしき作陽大学，2009年9月5日（共同）
- ・ 「幼少期の両親の養育イメージが育児不安に与える影響」，第16回ヘルスカウンセリング学会学術大会，筑波大学，2009年9月20日（共同）
- ・ 「母子の睡眠リズムを取り巻く背景要因」，第56回日本小児保健学会，大阪国際会議場，2009年10月31日（単独）
- ・ 「母親の自己イメージ向上をねらった親子ふれあいプログラムの効果」，第6回すこやかキッズ支援全国セミナー，早稲田大学，2010年3月13日（共同）
- ・ 「保育者養成校における地域子育て支援活動（第2報）－倉敷市立短期大学「親子ふれあいパーク」の成果と課題－」，第6回すこやかキッズ支援全国セミナー，早稲田大学，2010年3月14日（共同）

- ・ 「親子ふれあい体操が保護者の心身健康に及ぼす影響」，日本幼児体育学会第6回大会，流通経済大学，2010年8月28日（単独）
- ・ 「親評価による子どもの日頃の様子と育児自信・不安感」，第57回日本小児保健学会，新潟県朱鷺メッセ，2010年9月17日（単独）
- ・ 「幼児・児童の健康づくりシステムの構築－健康実態分析システムと健康づくり実践普及システム－」，日本乳幼児教育学会第20回大会（ラウンドテーブル），関西学院大学，2010年10月24日（共同）
- ・ 「妊娠・出産時のトラブルと出産後の子育て支援に関する研究」，第51回日本母性衛生学会，石川県ホテル日航金沢，2010年11月5日（単独）
- ・ 「妊娠・出産時の気持ちと胎内記憶」，第7回すこやかキッズ支援全国セミナー，早稲田大学，2011年3月5日（共同）
- ・ 「幼児の睡眠リズムと母親の抑うつ気分との関連」，第7回すこやかキッズ支援全国セミナー，早稲田大学，2011年3月6日（共同）

〔研究助成〕

- ・ 文部科学省科学研究費補助金（若手研究（B）），「子育て期の母親に対する運動プログラムの開発」，2007年度～2008年度（単独）
- ・ 文部科学省科学研究費補助金（若手研究（B）），「運動を通じた母子健康支援システムに関する研究」，2009年度～2011年度（単独）

II 教育活動

〔担当科目〕

1 倉敷市立短期大学および専攻科における授業担当科目

本 科：保育内容の研究・健康(1)，保育内容の研究・健康(2)，幼児体育(1)，
 幼児体育(2)，スポーツ，健康科学概論，総合演習
 専攻科：保育内容特別研究（健康），幼児健康学演習，幼児の運動遊び演習，
 スポーツ1，スポーツ2

2 他大学等における主な授業科目

- ・ 新見公立短期大学：水泳実習（幼児教育学科）

[本学における課外活動の指導など]

- ・ 運動体験部

III 社会活動

[審議会・委員会等]

- ・ 倉敷市大学連携福祉事業委員（2009 年度～現在）

[講演・指導・助言等]

- ・ 「日常保育で使える運動あそび（ボールを使った運動あそび）」、保育・教育に生かす運動遊びと運動会種目講習会講師（2010 年 4 月 11 日）
- ・ 岡山市保育協議会第 1 ブロック研究委員会助言者（2010 年 6 月～現在）
- ・ 講演「運動遊びが楽しいと思える子どもを育てる」、岡山市保育協議会第 1 ブロック総会（2010 年 6 月 4 日）
- ・ 倉敷市公立幼稚園協議会（健康部会）研修会講師「子どもたちの季節に合わせた運動あそび」（2010 年 7 月 21 日）
- ・ 作陽高等学校特別講義「幼児の運動遊び指導の実際（演習）」「乳幼児期の発育発達と遊び（講義）」（2010 年 10 月 2 日，5 月 15 日）
- ・ 倉敷市児童クラブ障がい児対応専門研修会講師，倉敷市立短期大学（2010 年 11 月 14 日，6 月 27 日）
- ・ 日本幼児体育学会認定幼児体育指導員養成研修会講師，東京成徳大学（2011 年 1 月 9 日～10 日）

[その他]

- ・ 「親子でつながる運動あそび」（倉敷市立味野幼稚園主催），倉敷市立味野幼稚園（2010 年 6 月 5 日）
- ・ 倉敷市大学連携事業「親子で一緒にバルーンあそび」（倉敷市企画財政局主催），ライフパーク倉敷（2010 年 7 月 3 日）
- ・ 「親子で仲良く：親子体操」（作陽保育園主催），作陽保育園（2010 年 10 月 3 日）
- ・ 「今日からイクメン！～2・3 歳児と運動遊び～」(倉敷市市民学習センター主催)，ライフパーク倉敷（2011 年 1 月 30 日）

門田 昌子 (KADOTA, Masako) 1979

人格心理学・臨床心理学

研究課題とその内容

ひとのパーソナリティ特性と日常生活上の出来事・活動が、主観的幸福感に及ぼす影響について研究している。また、主観的幸福感を高める方法にも関心を持っている。

学位

博士 (臨床心理学) (川崎医療福祉大学)

学歴

1998 年 3 月	福岡県立京都高等学校卒業
2002 年 3 月	川崎医療福祉大学 医療福祉学部 臨床心理学科卒業
2005 年 3 月	川崎医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 臨床心理学専攻修士課程修了
2009 年 3 月	川崎医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 臨床心理学専攻博士後期課程修了

職歴

2003 年 4 月～2008 年 3 月	川崎医療福祉大学 ティーチング・アシスタント
2006 年 4 月～2009 年 3 月	岡山県スクールカウンセラー
2006 年 4 月～2009 年 3 月	岡山労災看護専門学校非常勤講師
2007 年 4 月～現在	中国短期大学非常勤講師
2008 年 9 月～2009 年 3 月	中国学園大学非常勤講師
2009 年 4 月～現在	倉敷市立短期大学保育学科講師

所属学会及び団体

2002 年 4 月～現在	日本心理学会会員
2003 年 4 月～現在	日本発達心理学会会員
2004 年 4 月～現在	岡山心理学会会員
2004 年 4 月～現在	中国四国心理学会会員
2005 年 5 月～現在	日本心理臨床学会会員

I 研究業績

[学術論文]

- ・ 「パーソナリティ，日常的出来事と主観的幸福感との関連」，日本パーソナリティ心理学会，『パーソナリティ研究』，第 18 号，pp.35-45（共著）
- ・ 「パーソナリティと主観的幸福感との関連－対人相互作用におけるソーシャル・スキルの役割－」，川崎医療福祉学会，『川崎医療福祉学会誌』，第 15 巻，pp.67-74（共著）
- ・ 「幼児の気質特徴が養育者の育児不安に及ぼす影響」，川崎医療福祉学会，『川崎医療福祉学会誌』，第 16 巻，pp.221-227（共著）
- ・ 「幼児気質質問紙作成の試み」，日本パーソナリティ心理学会，『パーソナリティ研究』，第 16 巻，pp.80-91（共著）
- ・ 「養育者との面接からとらえた育児不安についての質的研究」，川崎医療福祉学会，『川崎医療福祉学会誌』，第 18 巻，pp.219-225（共著）

[紀要]

- ・ 「主観的幸福感促進法の効果」，『倉敷市立短期大学紀要』，第 52 号，pp.17-25（単著）

[学位論文]

- ・ 「主観的幸福感の規定要因に関する研究」，川崎医療福祉大学 2009 年度博士論文
- ・ 「外向性および神経症的傾向と主観的幸福感との関連－対人相互作用における主張性および反応性スキルの役割－」，川崎医療福祉大学 2004 年度修士論文

[報告書]

- ・ 「井原市男女共同参画に関する意識調査・実態調査」，本文 33 頁，2010 年 8 月（共著）
- ・ 「倉敷市少年の意識調査 平成 22 年度」，本文 99 頁，2011 年 3 月（共著）

[学会発表]

- ・ 「養育者がとらえる幼児の行動様式に関する一研究－幼児気質質問紙作成の試み－」，日本心理学会第 67 回大会，東京大学，2003 年 9 月 13 日（連名）

- ・ 「幼児の気質に関する研究 I－1 歳 6 ヶ月健診用気質質問紙作成の試み」, 日本発達心理学会第 15 回大会, 白百合大学, 2004 年 3 月 21 日 (連名)
- ・ 「幼児の気質に関する研究 II－幼児気質質問紙と養育者のとらえる幼児の特徴との関係」, 日本発達心理学会第 15 回大会, 白百合大学, 2004 年 3 月 21 日 (連名)
- ・ 「養育者がとらえる幼児の行動様式に関する研究 II－1 歳 6 ヶ月健診用気質質問紙作成の試み－」, 日本心理学会第 68 回大会, 関西大学, 2004 年 9 月 12 日 (連名)
- ・ 「養育者がとらえる幼児の行動様式に関する研究 III－養育者がとらえる幼児の特徴との関係－」, 日本心理学会第 68 回大会, 関西大学, 2004 年 9 月 12 日 (連名)
- ・ 「対人相互作用行動と主観的幸福感との関連－パーソナリティ特性とソーシャルスキルの観点から－」, 中国四国心理学会第 60 回大会, 川崎医療福祉大学, 2004 年 11 月 13 日 (連名)
- ・ 「外向性, 神経症的傾向と主観的幸福感との関連－対人相互作用におけるソーシャルスキルの役割－」, 岡山心理学会第 52 回大会, 川崎医療福祉大学, 2004 年 12 月 11 日 (連名)
- ・ 「外向性, 神経症的傾向と肯定的日常生活体験との関連」, 日本心理学会第 69 回大会, 慶應義塾大学, 2005 年 9 月 11 日 (連名)
- ・ 「外向性, 神経症的傾向と否定的日常生活体験との関連」, 日本心理学会第 69 回大会, 慶應義塾大学, 2005 年 9 月 11 日 (連名)
- ・ 「対人相互作用の質と主観的幸福感との関連－対人相互作用におけるソーシャルスキルの役割－」, 日本心理学会第 69 回大会, 慶應義塾大学, 2005 年 9 月 12 日 (連名)
- ・ 「幼児の気質に関する研究－幼児気質質問紙と出生時および乳児期の要因との関係－」, 日本発達心理学会第 17 回大会, 九州大学, 2006 年 3 月 22 日 (連名)
- ・ 「外向性, 神経症的傾向, 日常生活出来事と主観的幸福感との関連」, 日本パーソナリティ心理学会第 15 回大会, 東京富士大学, 2006 年 10 月 8 日 (連名)
- ・ 「日常出来事体験と主観的幸福感との関連」, 日本心理学会第 70 回大会, 九州大学主催福岡国際会議場, 2006 年 11 月 5 日 (連名)
- ・ 「外向性, 神経症的傾向と自己についての認知および主観的幸福感との関連」, 日本パーソナリティ心理学会第 16 回大会, 帯広畜産大学, 2007 年 8 月 25 日 (連名)
- ・ 「幼児気質質問紙短縮版作成の試み」, 日本パーソナリティ心理学会第 16 回大会, 帯広畜産大学, 2007 年 8 月 25 日 (連名)
- ・ 「外向性, 神経症的傾向および日常的出来事と主観的幸福感との関連 (2)」, 日本

心理学会第 72 回大会，北海道大学，2008 年 9 月 20 日（連名）

- ・ 「養育者との面接からとらえた育児不安についての質的研究」，日本心理学会第 72 回大会，北海道大学，2008 年 9 月 20 日（連名）
- ・ 「外向性，神経症的傾向および日常活動と主観的幸福感との関連」，日本パーソナリティ心理学会第 17 回大会，お茶の水女子大学，2008 年 11 月 16 日（連名）

II 教育活動

[担当科目]

1 倉敷市立短期大学および専攻科における授業担当科目

本 科：発達心理学 I・II，幼児臨床心理学，教育心理学，心理学，家族援助論，
総合演習

専攻科：心理学実験，発達心理学特論，教育心理学研究法，生理心理学

2 他大学等における主な授業科目

- ・ 中国短期大学：乳幼児心理学（保育学科）
- ・ 中国短期大学：人間発達学（総合生活学科）

III 社会活動

[審議会・委員会等]

- ・ 倉敷市少年の意識調査委員（2010 年度）

[講演・指導・助言等]

- ・ 子育て広場・子育て相談相談委員（倉敷市教育委員会生涯学習課），中庄幼稚園（2010 年 9 月 28 日），中洲幼稚園（2010 年 10 月 12 日）

[メディア]

- ・ 「親子で異なる「幸せ」～主観的幸福感を高める条件について～」，『岡山日日新聞』，岡山日日新聞社（2009 年 11 月 25 日）

[公開講座]

- ・ 「ひとの幸せを考える」，倉敷市立短期大学公開講座，倉敷市立短期大学（2009 年 12 月 1 日）

寺 蘭 さおり (TERAZONO, Saori) 1972

小児保健

研究課題とその内容

子育て期の親のストレスマネジメントプログラムについては，子育て期の母親を対象として，子育てによるストレスを軽減する方法を提示し，母親の精神的健康度が高まる支援法を検討している。

また，子育て期の親の育ちについては，子育てを通して親役割達成感を高め，親自身の自己の発達につながるような支援法を検討している。

学位

修士（教育学）（鳴門教育大学大学院）

学歴

1991 年 3 月	鹿児島県立樋脇高等学校卒業
1993 年 3 月	国立王子病院附属看護学校卒業（現：昭和の森看護学校）
2005 年 3 月	志学館大学人間関係学部 人間研究学科卒業
2007 年 3 月	鳴門教育大学大学院学校教育学研究科修士課程修了

職歴

1993 年 4 月～1996 年 8 月	国立精神神経センター武蔵病院（看護師）
1996 年 11 月～1999 年 3 月	希望が丘学園報恩高等学校衛星看護科（助教諭）
1999 年 8 月～2001 年 8 月	鹿児島こども病院（看護師）
2001 年 9 月～2003 年 3 月	ひらしま眼科（看護師）
2004 年 4 月～2005 年 3 月	きりしま市教育委員会 親と子の相談員
2007 年 4 月～2010 年 3 月	愛知県立大学看護学部（助教）

所属学会及び団体

2006 年 3 月～現在	日本発達心理学会会員
2007 年 7 月～現在	日本心理学会会員
2007 年 7 月～現在	日本小児保健協会会員
2007 年 7 月～現在	日本看護研究学会会員

2007 年 7 月～現在	日本家族看護学会会員
2007 年 9 月～現在	日本保育学会会員
2007 年 9 月～現在	日本応用教育心理学会会員

I 研究業績

[学術論文]

- ・ 「幼児における睡眠習慣と攻撃的行動傾向との関連」,『保健の科学』, 48 巻, pp.225-229, 2006. (共著)
- ・ 「保育実習が保育者効力感,自己評価に及ぼす影響—実習評価を媒介した因果モデルの検討」, 鳴門教育大学,『鳴門教育大学研究紀要』, 23 巻, pp.121-127, 2008. (共著)
- ・ 「高不安者における不眠傾向および運動習慣による睡眠改善効果に関する研究」,『厚生指標』, 55 巻, pp.9-14, 2008. (共著)
- ・ 「保育専攻短大生の保育者効力感と実習評価の関係—実習前の保育者効力感の高低を要因として—」,『応用教育心理学研究』, 25 巻, pp.15-23, 2008. (共著)
- ・ 「ストレスコーピングと親役割達成感との関係—子どもの自己主張に対する親のストレスに着目して—」,日本小児保健学会,『小児保健研究』, 68 巻, pp.359-365, 2009. (単著)
- ・ 「保育学生の実習ストレスに関する研究—ストレスコーピングと実習満足感との関連から—」,『応用教育心理学研究』, 26 巻, pp.3-11, 2009. (共著)
- ・ 「子育てによる親役割達成感と親の心理的な発達との関連性」,日本小児保健学会,『小児保健研究』, 69 巻, pp.47-52, 2010. (単著)
- ・ 「新卒小児看護師に対するフォローアッププログラム(特集 小児看護における新人教育—プリセプターシップなど新人看護師への支援)—(看護教員が行う新人看護師への教育的支援)」,『小児看護』, 33 巻, pp.304-308, 2010. (共著)
- ・ 「大学における課外活動が心理的 well-being に及ぼす影響 —鳴門教育大学フィルハーモニー管弦楽団の活動を中心として—」, 鳴門教育大学,『鳴門教育大学研究紀要』, 25 巻, pp.180-188, 2010. (共著)

[報告書]

- ・ 「男女共同参画に関する市民意識調査」, 2010 年 11 月 19 日, 井原市市民生活部共

同推進課(共著)

[学会発表]

- ・ 「親の共感性と育児ストレスコーピングが親役割達成感に及ぼす影響」, 日本心理学会第71回大会, 2007年9月20日(共著)
- ・ 「保育学生のストレスコーピングと実習満足感」, 日本保育学会第61回大会発表, 2008年5月18日(共著)
- ・ 「保育学生の保育者効力感と対児感情の関係」, 日本保育学会第61回大会発表, 2008年5月18日(共著)
- ・ 「子育て期の親の親役割達成感－父親と母親とでは異なるのか－」, 日本保育学会第62回大会, 2009年5月17日(共著)
- ・ 「新卒小児看護師に対するフォローアッププログラムの実施と評価」, 日本小児看護学会第19回学術集会, 2009年7月18日.(共著)
- ・ 「保育学生の保育者効力感の構造の検討」, 日本保育学会第63回大会発表, 2010年5月22日.(共著)

[研究助成]

- ・ 愛知県立大学理事長特別研究費申請, 交付「新卒小児看護師に対するフォローアップセミナーの実施と評価」 2008年度(共同)
- ・ 愛知県立大学理事長特別研究費申請, 交付「新卒小児看護師に対するフォローアップセミナーの実施と評価」 2009年度(共同)

II 教育活動

[担当科目]

1 倉敷市立短期大学および専攻科における授業担当科目

本 科: 小児保健, 小児保健実習, 乳児保育概論, 保育実習法, 保育実習Ⅰ(2),
保育実習Ⅲ, 総合演習,

専攻科: 乳児保育特論1, 乳児保育特論2, 子どもと家族の教育相談,

III 社会活動

[講演・指導・助言等]

- ・ 「倉敷市子育て広場子育て相談」, 2010 年 9 月 28 日, 10 月 1 日, 第五福田幼稚園, 小川幼稚園

[その他]

- ・ 日本小児看護学会第 18 回大会 実行委員 (名古屋市), 2008 年 7 月 26～27 日
- ・ 愛知県立看護大学公開講座 企画 準備 (名古屋市) 「子どもと一緒に学ぶ健康」「チャイルドライフデザイン “作って遊ぼう:カクレ絵本”」 2008 年 10 月 18 日
- ・ 日本家族看護学会第 17 回学術集会 企画委員, 2010 年 9 月 18～19 日

三川 美幸 (MIKAWA, Miyuki) 1972

(2011 年 4 月 1 日着任)

音楽・音楽療法

研究課題とその内容

様々な音楽療法アプローチの方法などについて研究をしている。特に、近年新しい音楽療法として紹介されているコミュニティーミュージックセラピーについて関心がある。

社会的な活動としては、生の音楽に触れる機会の少ない地域の子どもの対象とした療法的アプローチをとりいれた演奏会の企画, および音楽活動を用いた障がい児(者)の余暇支援などを行っている。

学位

修士 (音楽療法) (シェナンドア大学)

修士 (ピアノ伴奏学) (シェナンドア大学)

学歴

1995 年 3 月 同志社女子大学学芸学部音楽学科音楽学専攻卒業

1999 年 12 月 シェナンドア大学ピアノ伴奏学修士課程修了

2000 年 12 月 シェナンドア大学音楽療法修士課程修了

職歴

1995 年 1 月～2004 年 3 月 くらしき作陽大学音楽教育学科音楽療法専修実
習助手

2004 年 4 月～2005 年 3 月 くらしき作陽大学音楽学部教育音楽学科
音楽療法専修非常勤講師

中国短期大学音楽科非常勤講師

2005 年 4 月～2006 年 9 月 福山市立女子短期大学非常勤講師

2005 年 4 月～2006 年 3 月 神戸松蔭女子学院大学非常勤講師

2005 年 4 月～2011 年 3 月 中国短期大学音楽科講師

2008 年 4 月～現在 神戸松蔭女子学院大学非常勤講師 (文芸との触れ
合い)

2011 年 4 月～現在 倉敷市立短期大学保育学科講師

所属学会及び団体

2001 年 1 月～現在 日本バイオミュージック学会（現日本音楽療法学会）会員

2003 年 4 月～現在 日本老年社会科学学会会員

2003 年 4 月～現在 日本痴呆ケア学会（現日本認知症ケア学会）会員

I 研究業績

[著書（訳書）]

- ・ 「アメリカにおける子供の健康教育」（第 2 章－2 効果的実行）, 前橋明監修, 三川美幸訳他, 大学教育出版, 2005 年（共著）

[学術論文]

- ・ 「個人訪問音楽療法についての一考察－引きこもり状態の A 子との音楽共有を通して～」, 『音楽療法』, 第 14 号, pp.15 - 22, 2004 年（単著）
- ・ 「異業種における高齢者の音楽療法についての一考察～アメリカにおける論議を例に～」, 『中国学園紀要』, 第 6 号, pp.221-227, 2007 年（単著）
- ・ 「知的障害者と演奏会に関する一考察～コミュニティーミュージックセラピー～」, 『中国学園紀要』, 第 9 号, pp.45-51, 2008 年（単著）
- ・ 「金管楽器奏法における適正について～身体的特徴とアンブシュアの関係～」, 『中国学園紀要』, 第 9 号, pp.125-129, 2009 年（共著）

[修士論文]

- ・ 「The Use of Traditional Japanese Music in Music Therapy Programs for the Elderly in Japan(日本の高齢者のための音楽療法プログラムにおける日本伝統音楽の応用)」, シェナンドア大学, 2003 年

[書評]

- ・ 音楽療法書籍書評『「ミュージックセラピスト・ハンドブック：現場で役立つ豊富な臨床例、分析と対応」について』, 日本音楽療法学会, 第 5 号 2 巻, pp.228, 2005 年

[学会発表]

- ・ 「医療チームから見た音楽療法観」, 第一回日本音楽療法学会地方会, 広島大学, 2001年9月2日 (共同)
- ・ 「職員の音楽療法参加を通じて」, 第2回音楽療法学会中国支部総会・学術大会, 川崎医療福祉大学, 2002年8月25日 (共同)
- ・ 「子どもの音楽療法に関する事例的検討」, 日本幼少児健康教育学会第21回大会, くらしき作陽大学, 2002年9月7日 (単独)
- ・ 「急激退行を伴うダウン症児への音楽療法的アプローチ」, 日本臨床心理研究所第28回音楽療法セミナー, 富士研修所, 2003年7月25日 (単独)
- ・ 「音楽療法の評価法、およびコルチゾール値からみた活動の効果に関する研究」, 全国障害者問題研究会第13回発達保障研究集会, 京都, 2003年3月21日 (共同)
- ・ 「コミュニティーとしてのグループ音楽療法の一考察ー引きこもりA子の居場所ー」, 第5回日本音楽療法学会学術大会, 金城学院大学, 2005年9月10日 (単独)
- ・ 「急激退行状態であったA子と音楽を解する場における一考察〜コミュニティー音楽療法の視点から〜」, 第10回日本音楽療法学会学術大会, 神戸国際会議場, 2010年9月25日 (単独)

[研究助成]

- ・ 全国障害者問題研究会平成14年度研究助成, 「音楽療法の評価法、およびコルチゾール値からみた活動の効果に関する研究」, 2002年度〜2003年度 (共同)
- ・ 中国短期大学平成20年度特別研究助成, 「コミュニティー音楽療法の実践と考察」 2008年度〜2009年度 (単独)
- ・ 第32回両備檉園記念財団研究助成 (IV文化・芸術・教育), 「岡山における知的障がい(児)者の余暇と演奏会について〜コミュニティー音楽療法の視点から〜」 2010年度〜 (単独)

[演奏・企画]

- ・ 夢二郷土美術館 第17回 文化講座「チェンバロで歌う夢二・晋平の大正ロマン」 <ソプラノ: 平本弘子, 多忠亮「宵待ち草」他> 2008年11月24日, 夢二郷土美術館 (チェンバロ)
- ・ 「シリーズ人はなぜ歌うか 第1回 源流をもとめて」 <テノール: 日高好一, ベルナル・ド・ヴァンタドゥール「陽の光を浴びて、ひばりが」他> 2008年3月26日,

神辺文化会館小ホール（オートハーブ）

- ・ 「シリーズ人はなぜ歌うか 第2回 歌はドラマに」＜テノール：日高好一，ヤコポ・ペーリ「私の歌を聞いて喜べ」他＞2008年7月1日神辺文化会館小ホール（チェンバロ）
- ・ 「はあとふるコンサート」＜テノール：日高好一，「君が生まれた日」他＞2009年3月1日，倉敷健康福祉プラザホール（ピアノ）
- ・ 倉敷市難病連絡会創立20周年記念の集い「音楽とのふれあい」＜テノール：日高好一，山田耕筰「からたちの花」他＞2009年5月10日，ライフパーク倉敷（お話・ピアノ）
- ・ 「ホームコンサート＜彩り＞」＜テノール：日高好一，ティリンデッリ「おお春よ」他＞2009年5月17日，太田邸（ピアノ）
- ・ 「子どものための演奏会 Part1 クラリネットリサイタル」＜クラリネット：笠井裕正，シュタイナー「インマークライナー」他＞2009年5月30日，Gallery Minato（企画・ピアノ）
- ・ 「Summer Family Concert」＜ホルン：森利幸，ドボルジャーク「ユモレスク」他＞2009年8月30日，Gallery Minato（企画・ピアノ）
- ・ 「岡山学生・音楽祭 カンタービレ」＜音楽サークルらら，「星に願いを」他，2009年12月12日，岡山市民会館（指揮）
- ・ 平成21年度玉野市トップアーティスト招聘事業「ホルンの音色で音楽絵本」＜ホルン・ナチュラルホルン：森利幸，お話：朝田恵利，ベートーヴェン「ホルンソナタ Op.17」他＞Gallery Minato（企画・ピアノ）
- ・ 玉島児童館移転記念「サマーコンサートホルンといっしょに」＜ホルン：森利幸，モーツァルト「ホルン協奏曲第1番」他＞2010年8月7日，玉島児童館（ピアノ）
- ・ 「こころをつなぐコンサート～柏原青少年オーケストラとともに～」＜「ゆうなのき」他＞2010年10月11日，中国短期大学音楽ホール（企画・指揮）
- ・ 平成22年度倉敷市障がい者週間記念事業「ニコニコ子どもひろば ブラスクインテットコンサート」＜ブラスクインテット・ラフォーレ，シャイト「戦いの音楽」他＞2010年12月12日，倉敷健康福祉プラザホール（企画・司会）

[録音]

- ・ 「CMF04」＜Creative Music Festival 04 ライブ収録＞2004年，Mesostics
（P./Small-Ds.）

- ・「CMF05」＜Creative Music Festival 04, 酒游館（近江八幡）のライブ収録＞2005年8月20日, Mesostics (Chime.)
- ・「CMF07」＜Creative Music Festival 07 ライブ収録＞2004年, Mesostics (Ds.)

II 教育活動

[担当科目]

1 倉敷市立短期大学および専攻科における授業担当科目

本 科： 音楽Ⅰ（Ⅱ），音楽Ⅱ（Ⅰ），音楽Ⅱ（Ⅱ），音楽Ⅲ，総合演習
専攻科： 音楽鑑賞法，特別研究

2 他大学等における主な授業科目

- ・神戸松蔭女子学院大学：文芸との触れ合いⅨ（総合文芸学科）
- ・中国短期大学：音楽療法グループワークA・B（音楽科）
- ・中国短期大学：音楽療法各論B（音楽科）

III 社会活動

[審議会・委員会等]

- ・知的障がい児余暇活動支援団体 音楽サークルらら 専任音楽療法士(2001年4月～現在)
- ・閑谷福祉会 音楽療法スーパーバイザー（2010年4月～現在）

[ワークショップ]

- ・高齢者ふれあい交流事業「高齢者サロン」（瀬戸ふれあい寿会主催），2009年10月13日，瀬戸公民館
- ・平成21年度岡輝！！いきいき！健康講座「親子でリラックス」（岡輝公民館主催），2009年11月28日，岡輝公民館
- ・子育て支援音楽遊び講座「親子ふれあい音楽遊び：0～2歳/2～3歳クラス」（玉島児童館主催，2010年度3回実施，玉島児童館遊戯室
- ・岡山県特定疾患医療受給者交流会「世界の楽器で楽しもう」（岡山難病相談・支援センター主催），2010年度3回実施，岡山南部健康づくりセンター

[講演]

- ・ 中国学園公開講座 2007 年度中国短期大学公開講座「音楽遊びから見えるものー音楽療法アプローチ PartⅡ」(大学コンソーシアム共催事業), 2007 年 9 月 4 日, 中国短期大学
- ・ 地域創生リーダー養成塾<連塾>「健康とは?」(NPO 法人連塾主催), 2008 年 1 月 27 日, 連塾・地域創生学研究所
- ・ 平成 21 年度関谷福祉会法人研修会「音楽療法について」(関谷福祉会主催), 2009 年 7 月 19 日, 和気鶴飼谷温泉研修室
- ・ 平成 21 年度前期リラクゼーションゼーション特別講座「日常生活に音楽を取り入れよう」他, (岡山県南部健康づくり財団主催), 2009 年 8 月 26 日, 9 月 9, 16 日, 岡山県南部健康づくりセンター
- ・ 平成 22 年度リラクゼーションセミナー特別講座「リラクゼーションと音楽」(岡山県南部健康づくり財団主催)2010 年 9 月 2 日, 岡山県南部健康づくりセンター
- ・ 平成 22 年生涯学習研修会「癒しの音楽療法」(岡山栄養士会主催), 2010 年 7 月 24 日, 岡山県立大学
- ・ 平成 22 年度吉備創生カレッジ後期講座「音楽のある生活」(大学コンソーシアム岡山主催), 2010 年 11 月 2, 16, 30 日, さん太キャンパス
- ・ 高齢者げんきづくりサポーター養成講座「コミュニティーミュージックセラピー」(岡山県レクレーション協会), 2010 年 11 月 28 日, 岡山ふれあいセンター
- ・ 「コミュニティーミュージックセラピー」(岡山県音楽療法研究会主催), 2011 年 2 月 20 日, 中国短期大学

[その他]

- ・ NPO 法人光の音符の JAICA (国際協力機構) 申請に関する視察 (アドバイザー) 2008 年 2 月 25 日-3 月 1 日, アクウォースハンセン病院 (インド)
- ・ 障がい児(者)余暇支援プログラム「柏原青少年オーケストラバリアフリーコンサート<ベートーヴェン「交響曲第 9 番 (合唱付)」>2009 年 12 月 26 日, 大阪国際交流会館
- ・ 障がい児(者)余暇支援プログラム「柏原青少年オーケストラバリアフリーオペラ鑑賞」(障がい者の音楽活動による社会参加を支援する会主催), 2010 年 8 月 26 日, 八尾市民文化会館

6. 教員の主要業績
服飾美術学科

大原 啓市 (OHARA, Keiichi) 1963

物性理論・数学教育・情報処理教育

研究課題とその内容

- ・磁性・量子スピン・超伝導などの物性基礎理論
- ・数学教育・情報処理教育
- ・ネットワークサーバ工学

学位

理学博士 (東京理科大学)

学歴

- | | |
|------------|----------------------------|
| 1986 年 3 月 | 東京理科大学理工学部物理学科卒業 |
| 1988 年 3 月 | 東京理科大学大学院理工学研究科物理学専攻修士課程修了 |
| 1991 年 3 月 | 東京理科大学大学院理工学研究科物理学専攻修士課程修了 |

職歴

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1991 年 4 月～2000 年 3 月 | 東京理科大学理工学部物理学科授業嘱託 |
| 1992 年 4 月～2000 年 3 月 | 日本大学理工学部短大土木コース非常勤講師 |
| 1993 年 4 月～2000 年 3 月 | 跡見学園女子大学非常勤講師 |
| 2000 年 4 月～2002 年 3 月 | 倉敷市立短期大学服飾美術学科講師 |
| 2001 年 4 月～現在 | 倉敷看護専門学校非常勤講師 |
| 2003 年 4 月～2004 年 3 月 | 岡山理科大学社会情報学部非常勤講師 |
| 2002 年 4 月 | 倉敷市立短期大学服飾美術学科助教授 |
| 2005 年 4 月～2006 年 3 月 | 倉敷市立短期大学学生部主幹 |
| 2007 年 4 月～2009 年 3 月 | 倉敷市立短期大学服飾美術学科准教授 |
| 2009 年 4 月～現在 | 倉敷市立短期大学服飾美術学科教授 |
| 2010 年 4 月～現在 | 倉敷市立短期大学服飾美術学科学科長 (現在に至る) |

所属学会及び団体

- | | |
|-------------------|--------|
| 1989 年 5 月 1 日～現在 | 物理学会会員 |
|-------------------|--------|

研究業績

[学術論文]

- A Modified Spin-Wave Theory of the Square-Lattice Antiferromagnet : Journal of Physical Society of Japan, Vol.58, No.7, pp.2521-2530, 1989 (共)
- A Modified Spin-Wave Theory of the Square-Lattice Antiferromagnet II : Journal of Physical Society of Japan, Vol.59, No.9, pp.3340-3340, 1990 (共)
- Magnetization in Heavy Fermion Compounds : Journal of Physical Society of Japan, Vol.66, No.10, pp.3001-3004, 1997 (共)
- A Heavy-Fermion State with Singular Density of States : Journal of Physical Society of Japan, Vol.68, No.2, pp.521-530, 1999 (共)
- Linux による学内ネットワークサーバの構築 : 倉敷市立短期大学研究紀要(第 33 号) , pp.129-134, 2000 (共)
- アパレル産業における IT 革命 : 倉敷市立短期大学研究紀要(第 33 号) , pp.89-94, 2000 (共)
- 学内バックボーン LAN のギガビットネットワーク化と Linux ネットワークサーバの再構築 : 倉敷市立短期大学研究紀要(第 36 号) , pp.65-70, 2002 (共)
- One-Loop Corrections in the Periodic Coqblin - Schrieffer Model : Supplement Issue of the Journal of Physical Society of Japan, Vol. 71, pp.234-236, 2002 (共)
- One-Loop Corrections to the Susceptibility and the Specific Heat in the Periodic Coqblin- Schrieffer Model : Physica B 329-333 (2003) Condensed Matter, Part II, Proceedings of the 23rd International Conference on Low Temperature Physics, LT23, 2002 (共)
- アパレルにおける仮想ショッピングモール構築の試み : 倉敷市立短期大学研究紀要(第 37 号)別冊 pp.41-47, 2002 (共)
- Linux 環境における情報処理教育 : 倉敷市立短期大学研究紀要(第 38 号) , pp.83-87, 2003 (共)
- One- and Two- Loop Corrections in the Periodic Coqblin- Schrieffer Model : Journal of Physics, Condensed Matter Vol.15, Number 28, pp. S2255-S2258, 2003 (共)
- ブロードバンド回線への移行に伴う Linux ネットワークサーバの再構築 : 倉敷市立

短期大学研究紀要(第 43 号), pp. 29-32, 2005 (共)

- ・ ブロードバンド回線への移行に伴う Web サーバの公開: 倉敷市立短期大学研究紀要(第 43 号), pp. 33-36, 2005 (共)
- ・ Asymptotic local moment formation in the Kondo lattice: Physical. Review B 76, pp. 184407 -184413, 2007 (共)
- ・ Itinerant to Localized Transition and Metamagnetism in the Kondo Lattice: Journal of Physical Society of Japan, Vol. 58, No. 7, pp. 2521-2530, 2009 (共)

[学会発表]

- ・ 「 $S=1/2$ 正方格子反強磁性の近似理論」, 日本物理学会 1989 年秋季大会 (鹿児島大学), pp. 36, 1989 (共)
- ・ 「量子ハイゼンベルグ模型のシュインガーボゾン理論」, 日本物理学会第 50 回年次大会 (神奈川大学), pp. 648, 1995 (共)
- ・ 「重い電子系の磁化過程」, 日本物理学会 1997 年秋季大会 (神戸大学), pp. 526, 1997 (共)
- ・ 「異方的混成による非フェルミ液体的振る舞いとメタ磁性」, 日本物理学会 1998 年秋季大会 (沖縄国際大学), pp. 503, 1998 (共)
- ・ 「周期 Coqblin-Schrieffer 模型の 1-loop 補正」, 日本物理学会講演概要集第 56 巻, 第 2 号, 第 3 分冊, 秋季大会徳島文理大学, pp. 467, 2001 (共)
- ・ 「One-Loop Corrections in the Periodic Coqblin-Schrieffer Model」, International Conference on Strongly Correlated Electrons with Orbital Degrees of Freedom, (Sendai, JAPAN) ORBITAL 2001, pp. P12-4, 2001 (共)
- ・ 「One-Loop Corrections to the Susceptibility and the Specific Heat in the Periodic Coqblin-Schrieffer Model」, LT23, The 23rd International Conference on Low Temperature Physics (Hiroshima, JAPAN), 23CP39, pp. 334-335, 2002 (共)
- ・ 「周期 Coqblin-Schrieffer 模型の 1-loop 近似での帯磁率と比熱」, 日本物理学会講演概要集 第 60 巻, 第 2 号, 第 3 分冊, 2002 年秋季大会, 中部大学, pp. 462, 2002 (共)
- ・ 「One- and Two-Loop Corrections in the Periodic Coqblin-Schrieffer Model」, Advances in The Physics of f - Electron Systems (Tokai, Ibaraki, JAPAN) ASR-2002, pp. 2255-2258, 2002 (共)

- ・ 「周期 Coqblin-Schrieffer 模型のループ展開」, 日本物理学会講演概要集 第 59 巻 第 2 号 第 3 分冊 2004 年秋季大会, 青森大学, pp. 526, 2004 (共)
- ・ 「周期 Coqblin-Schrieffer 模型の摂動展開」, 日本物理学会講演概要集 第 60 巻 第 2 号 第 3 分冊 2005 年秋季大会, 同志社大学, pp. 461, 2005 (共)
- ・ 「近藤格子模型の Ginzburg-Landau 理論」, 日本物理学会講演概要集 第 62 巻 第 1 号 第 3 分冊 2007 年春季大会, 鹿児島大学, pp. 602, 2007 (共)
- ・ 「近藤格子模型の熱ゆらぎ」, 日本物理学会講演概要集 第 62 巻 第 2 号 第 3 分冊 第 62 回年次大会, 北海道大学, pp. 628, 2007 (共)
- ・ 「近藤格子模型における遍歴・局在メタ磁性転移」, 日本物理学会講演概要集 第 63 巻 第 1 号 第 3 分冊 第 63 回年次大会, 近畿大学, pp. 626, 2008 (共)
- ・ 「近藤格子模型における量子ゆらぎ」, 日本物理学会講演概要集 第 65 巻 第 1 号 第 3 分冊 第 65 回年次大会, 岡山大学, pp. 559, 2010 (共)

II 教育活動

[担当科目]

1 倉敷市立短期大学および専攻科における授業担当科目

本 科：数学，情報処理演習Ⅰ，情報処理演習Ⅱ，情報機器の操作Ⅰ，情報機器の操作Ⅱ，消費者調査法，卒業研究

専攻科：情報処理論，アパレルコンピュータ論，アパレルコンピュータ演習，生活情報論

2 他大学等における主な授業科目

- ・ 倉敷看護専門学校：情報科学（看護学科）

社会活動

[審議会・委員会等]

- ・ 児島ジーンズストリート推進協議会（2009 年～2010 年）
- ・ 岡山県立倉敷工業高等学校学校評議員会・学校関係者評価委員（2010 年～現在）

[公開講座]

- ・ 「パソコン講座」(跡見学園女子大学公開講座), 跡見学園女子大学 (1995 年～1996 年)
- ・ 「インターネット・メール入門」(倉敷市立短期大学公開講座) 倉敷市立短期大学 (2000 年 7 月)

- ・ 「Linuxによるネットワークサーバの構築とWebショップの構築/LinuxによるアパレルCAD」(第5回倉敷市立短期大学情報交流会講師)(2001年12月)
- ・ 「インターネットによる情報検索Ⅰーわからないことはネットで探そうー」(倉敷市立短期大学公開講座大学院コース<<歴史と文化>>講師), 倉敷市立短期大学(2005年7月4日)
- ・ 「インターネットによる情報検索Ⅱー必要な情報は自分の手で!!ー」(倉敷市立短期大学公開講座大学院コース<<歴史と文化>>講師), 倉敷市立短期大学(2005年7月5日)
- ・ 「パソコンで情報検索」(倉敷市立短期大学公開講座大学院コース<<歴史と文化>>講師), 倉敷市立短期大学(2006年7月3日)
- ・ 「Google earthで遊ぼう」(倉敷市立短期大学公開講座大学院コース<<歴史と文化>>講師), 倉敷市立短期大学(2008年7月9日)
- ・ 「インクジェットプリンタで遊ぼう」(倉敷市立短期大学公開講座大学院コース<<歴史と文化>>講師), 倉敷市立短期大学(2008年7月16日):

内田 洋子 (UCHIDA, Hiroko) 1949

服飾造形・色彩学・デザイン・パターンメイキング・手工芸・色彩工学

研究課題とその内容

- ・成人女子の上衣及び下衣において，着心地・快適なパターンを実験等で追求
- ・照明光源による物体色の見えの相違について，視感実験により比較検討。

学位

家政学修士（大妻女子大学）

学術博士（大妻女子大学）

学歴

1972 年 3 月 大妻女子大学家政学部被服学科卒業

1985 年 3 月 大妻女子大学大学院修士課程家政学研究科被服学専攻修了

職歴

1974 年 4 月～1981 年 3 月 東京都立芝洋裁学校非常勤助手

1981 年 4 月～1985 年 3 月 産経学園編物科非常勤講師

1981 年 4 月～1982 年 3 月 お茶の水教養学院編物科非常勤講師

1981 年 4 月～1996 年 3 月 東京都立芝洋裁学校非常勤講師

1985 年 4 月～1998 年 3 月 大妻女子大学家政学部非常勤講師

1987 年 4 月～1998 年 3 月 山梨大学教育学部産業家政学科非常勤講師

1996 年 4 月～1998 年 3 月 帝京短期大学生生活科学科非常勤講師

1997 年 4 月～1998 年 3 月 大妻女子大学付属研究所行動疫学研究部門研究員

1998 年 4 月～2008 年 3 月 倉敷市立短期大学服飾美術学科准教授

1999 年 7 月～1999 年 3 月 くらしき作陽大学非常勤講師

2002 年 4 月～2006 年 3 月 岡山大学教育学部非常勤講師

2005 年 4 月～現在 川崎医療短期大学介護福祉科非常勤講師

2008 年 4 月～現在 倉敷芸術科学大学芸術学部非常勤講師

2009 年 4 月～現在 倉敷市立短期大学服飾美術学科教授

所属学会及び団体

1987 年 4 月～現在	日本色彩学会会員，日本手芸作家連合会評議員
1987 年 4 月～2010 年	国際服飾学会会員（1989 年～1998 年幹事）
1989 年 4 月～現在	日本編物検定協会評議員・技術委員・試験問題作成委員
1991 年 4 月～2005 年 3 月	日本編物手芸協会理事
1992 年 4 月～1995 年 3 月	日本色彩学会関東支部幹事・編集委員
1995 年 4 月～1997 年 3 月	日本色彩学会理事・関東支部顧問
1995 年 4 月～現在	日本色彩学会査読委員
1997 年 4 月～1999 年 3 月	日本色彩学会評議員
2001 年 4 月～2004 年 3 月	日本家政学会会員
2003 年 4 月～現在	日本色彩学会白色度研究委員会主査
2005 年 4 月～現在	日本編物手芸協会常任理事
2007 年 4 月～2011 年 3 月	衣料管理士資格認定主務教員
2007 年 4 月～現在	日本色彩学会関西支部代議員
2008 年 12 月～現在	日本色彩学会学術委員

賞罰

1975 年 11 月	文部省（現文部科学省）認定日本編物技能検定試験 2 級，優良賞
1976 年 11 月	文部省（同）認定日本編物技能検定試験 1 級，文部大臣賞
1991 年 5 月	第 8 回日本色彩学会論文賞

I 研究業績

[著書（訳書）]

- ・ 「家庭科における衣生活の教育 衣生活における服飾・手工芸と教育」，家政教育社，pp.73-79，1993(共著)
- ・ 文部科学省認定日本編物技能検定試験「受験の手引き」日本編物検定協会(共著)
- ・ 新編 色彩科学ハンドブック「白色度式の歴史，CIE 白色度式」，日本色彩学会編，東大出版会，pp.289-293，1997（共著）
- ・ アセット ビジュアル家庭科教育実践講座「編物と織物」，(株)ニチブン，pp.194-198，1997(共著)
- ・ 改訂パターンメイキングを勉強するために，大学教育出版，pp.68-83，1997(共著)

- ・ よくわかる色彩用語ハンドブック，早稲田教育出版，pp. 1-226，2002（共著），（A～E章のうちA～D章担当）：第2版，2005
- ・ カラーテクノロジー「表面色の観察方法、白色度の評価方法」，日本色彩学会編，朝倉書店，pp.104-133，2008（共著）

[学術論文]

- ・ 「蛍光増白布の白色度評価について」，色彩学会誌，11-2，pp.15-22，1987（共著）
- ・ 「CIE 白色度式の成立の経過について」，色学誌，12-2，pp.19-24，1988（共著）
- ・ 「標準の光 D65 とキセノン白色光源下における白色度評価」，色学誌，13-1，pp.84-89，1989（単著）
- ・ 「CIE 白色度式についての一考察」，色学誌，14-2，pp.106-113，1990（単著）
- ・ 「異照度レベルの下での白色度評価」，色学誌，15-3，pp.162-171，1992（単著）
- ・ 「色味と純度を加味した白色度式」，色学誌，18-4，pp.226-233，1993（単著）
- ・ 「白色度評価における観測者の年齢による特徴」色学誌，19-3，pp.114-120，1994（単著）
- ・ 「昼光の色温度の相違に伴う蛍光物体色の変化」色学誌，20-2，pp.56-62，1996（単著）
- ・ 「A NEW WHITENESS FORMULA」，Color Res.Appl. 23-4，pp.202-209，1998（単著）
- ・ 「白さの評価」，色学誌，23-3，pp.176-183，1999（単著）
- ・ 「蛍光物体色の測定方法における誤差について」，倉敷市立短期大学研究紀要，30，pp.79-87，1999（単著）
- ・ 「ジーンズについて」，倉短研究紀要，31，pp.111-118，2000（単著）
- ・ 「快適なパンツについて -第1報-」倉短研究紀要，33，pp.113-127，2000（単著）
- ・ 「快適なパンツについて -第2報-」倉短研究紀要，35，pp.41-52，2001（単著）
- ・ 「観測条件の相違に伴う白さの見える変容」，色学誌，26-1，pp.2-10，2002（単著）
- ・ 「HQL データからカバー率を求めるアプリケーションパッケージの作成とこれを用いた新 JIS サイズ表の適合性評価」，倉短研究紀要，36，pp.37-47，2002（共著）
- ・ 「快適なパンツについて -第3報-」倉短研究紀要，37，pp.57-66，2002（単著）
- ・ 「成人女子用文化式身頃原型について」倉短研究紀要，37，pp.95-100（共著）
- ・ 「色再現について」，倉短研究紀要，38，pp.37-42（単著）
- ・ 「快適なパンツについて -第4報-」，倉短研究紀要，39，pp.43-52，2003（単著）
- ・ 「衣服のゆとりについて(1)」，倉短研究紀要，39，pp.53-60，2003（単著）
- ・ 「快適なパンツについて -第5報-」，倉短研究紀要，41，pp.41-50，2004（単著）

- ・ 「衣服のゆとりについて(2)」, 倉短研究紀要, 41, pp.51-62, 2004(単著)
- ・ 「動的衣服シミュレーションを利用した衣服の身体適合性の評価」, 58-2, pp.721-728, 2005 (共著)
- ・ 「綿布における黒色について」, 倉短研究紀要, 42, pp.27-34, 2005(単著)
- ・ 「衣服のゆとりについて(3)」, 倉短研究紀要, 43, pp.19-27, 2005(単著)
- ・ 「黒色度について -綿布-」, 色学誌, 32-1, pp.2-12, 2008 (単著)
- ・ 「照明光源を変化させた場合の黒色度について -綿布-」, 色学誌, 34-2, pp.143-160, 2010 (単著)
- ・ 「生活文化的背景が異なる被験者による白色度評価実験結果の比較」, 色学誌, 35-1, pp.2-9, 2011 (共著)

[学会発表]

- ・ 「蛍光増白布の preferred white について」, 色学誌, 11, pp.64-65, 1987(単)
- ・ 「標準の光 D 65 とキセノン白色光源の下における白色度評価」色学誌 12, pp.20-21, 1988(単)
- ・ 「C I E 白色度式についての一考察」, 色学誌, 13, pp.14-15, 1989(単)
- ・ 「異照度レベルの下での白色度評価」, 色学誌, 15, pp.87-88, 1991(単)
- ・ 「色みと純度を加味した白色度式」, 色学誌, 17, pp.23-24, 1993(単)
- ・ 「蛍光増白物質の評価における視環境についての問題」色学誌, 18, pp.40-41, 1994(単)
- ・ 「CRT ディスプレイを用いた色彩管理技術」, 色学誌, 26, pp.16-17, 2002 (共)
- ・ 「古代染色物の色彩分析と CRT カラーモニタを用いた色再現の応用」色学誌, 28, pp.116-117, 2004(共)
- ・ 「日本伝統色復元データベース(小林・鈴木)による天然染料の染色挙動解明への提案」, 色学誌, 29, pp.24-25, 2005(共)
- ・ 「藍染めの色彩分析における既存データベースの利用」色学誌, 29, pp.26-27, 2005(共)
- ・ 「異なる光源下での白色度評価」色学誌, 30, pp.66-67, 2006(共)
- ・ 「蛍光増白布の白色度に関する実験的研究」日本色彩学会関西支部大会, 2007 (共); 色学誌, 31, pp.90-91, 2007 (共)
- ・ 「D65 蛍光ランプと白熱電球下での白さの見えについて」色学誌, 31, pp.50-51, 2007
- ・ 「2つの光源間における白色度の相違」日本繊維機械学会中国支部, 2007 (共)
- ・ 「色温度変換フィルタを装着した白熱光源下における白さの見え」色学誌,

32, pp. 24-25, 2008 (共)

- ・ 「衣服シミュレーションによる衣服の身体適合性の評価」日本繊維機械学会中国支部, 2008 (共)
- ・ 「異なる生活文化圏のヒトによる白さの見え」色学誌, 33, pp. 66-67, 2009 (共)
- ・ 「衣服シミュレーションによる衣服の身体適合性の評価 -サイズ変化に伴うゆとりの変化-」日本繊維機械学会中国支部, 2009 (共)
- ・ 「色温度変換フィルタを装着した白熱光源下における白さの見えⅡ」色学誌, 34, pp16-17, 2010 (共)
- ・ 「常用光源ランプと3種の蛍光ランプにおける白さの見えについて」日本繊維機械学会中国支部, 2010 (共)

[作品]

- ・ 「ベンチコートとワンピース」, '78シルバーニットコンクール, 奨励賞受賞
- ・ 「ウェディングドレス」, '79シルバーニットコンクール, 奨励賞受賞
- ・ 「ペアスーツ」, '80シルバーニットコンクールシルバー編物研究会, 入選
- ・ 「ジャケットとパンツ」, '81NAS編物手芸新作コンクール日本編物手芸協会, 入選
- ・ 「絞り染めのツーピース」, '87NAS編物手芸新作コンクール, 努力賞
- ・ 「9グラデーションに手染めしたツーピースのニット」, 第21回手芸コンクール日本手芸作家連合会, 努力賞, 1987
- ・ 「リニアラインのワンピース」, '88NAS編物手芸新作コンクール, 入選
- ・ 「手編みのワンピースとボレロ」, 第22回手芸コンクール, 入選, 1988
- ・ 「乙女の祈り」, 第24回手芸コンクール日本手芸作家連合会, ハマナカ賞, 1990

[産学共同研究]

- ・ 「着心地のよい防弾チョッキの開発」, (株)金星, 2005
- ・ 「LED光源下における演色性について」, (株)ウチダ, 2010

II 教育活動

[担当科目]

1 倉敷市立短期大学および専攻科における授業担当科目

本 科：服飾造形論, 服飾造形実習Ⅰ, パターンメイキングⅠ, パターンメイキング

Ⅱ, 手工芸, アパレル企業実習, 卒業研究

専攻科: パターンメイキング論, 服飾造形実技Ⅱ, 手工芸論, アパレル産業研修,
特別研究

2 他大学等における主な授業科目

- ・ 倉敷芸術科学大学: 色彩学
- ・ 川崎医療短期大学: 生活支援

[本学における課外活動の指導など]

- ・ 茶道部顧問

Ⅲ 社会活動

[審議会・委員会等]

- ・ 日本手芸作家連合会 手芸コンクール審査員, 日本編物手芸協会 編物手芸コンクール審査員
- ・ 日本編物検定協会審査委員, 審査員資格認定講習会講師, 検定試験実施委員
- ・ 日本色彩学会白色度研究会主査
- ・ 園児・職員ユニフォーム販路開拓委員, 岡山県アパレル工業組合(2008~2010)

[講演・指導・助言等]

- ・ 長寿学園・公開講座, 岡山県主催(1998~2008)
- ・ JIS Z 8715 白色度表示方法について解説, 日本色彩学会・色材協会等(2002.4)
- ・ 表色の基礎を解説, 日本色彩学会・光学会等(1999.10)
- ・ 色によるリラクゼーション, 小平市民講座, 小平市民会館(1996,7)
- ・ カラーコーディネート検定試験講習会講師, 日本色彩学会・塗料協会(1996~1999)
- ・ 色彩講座, 岡山生涯学習センター(2005.1.29, 2006.8.1)
- ・ 生活デザイン実技講習会, 香川県高等学校文化連盟, 笠田高校(2006.8.2)
- ・ 色彩とデザイン, 日本編物手芸協会, 青少年オリンピックセンター(2004.8.20, 2005.8.24, 2006.8.5, 2007.8.5, 2008.8.26, 2009.8.1, 2010.8.21)
- ・ CLUB Chair Walker 2008, 車椅子ファッションショーのドレス製作, (2008.6.1)
- ・ 家庭科の中の色彩, 大阪府立青少年会館(2008.8.1~2)

- ・ アパレル CAD を用いたパターンメイク研修会，岡山県アパレル工業組合・倉敷ファッションセンター（2008～2010，年 3 回）

藤木 正則 (FUJIKI, Masanori) 1952

現代美術・アートパフォーマンス・デザイン学・メディアアート

研究課題とその内容

主に街中で「行為/kōi」と「インスタレーション」を混交した表現方法で制作を行っている。近年は写真や映像を組み込んだ作品も多い。教育面では服飾美術学科ならではの視点を模索しながら学生と地域を関係付ける方法として、アートプロジェクトの研究と実践にも取り組んでいる。また、社会的活動の一環として岡山県を中心として各地のイベントや展覧会の企画に参画し、その活性化にも関心を寄せている。

学位

修士 (デザイン学) (筑波大学)

学歴

1970 年 3 月 北海道立旭川東高等学校卒業
1974 年 3 月 東京造形大学造形学部美術学科卒業
1996 年 3 月 筑波大学大学院芸術研究科デザイン専攻総合造形コース修士課程
修了

職歴

1974 年 7 月～1994 年 1 月 画学校経営
1975 年 4 月～1976 年 3 月 旭川文化服装学院非常勤講師
1977 年 4 月～1983 年 3 月 北海道東海大学芸術工学部非常勤講師 (基礎造
形, その他)
1992 年 4 月～1994 年 3 月 道都大学美術学部非常勤講師 (基礎デザイン, そ
の他)
1997 年 4 月～1999 年 3 月 リーセントアートスクール非常勤講師 (アート表現)
2000 年 4 月～2005 年 3 月 稚内北星学園大学情報メディア学部情報メディ
ア学科教授
2000 年 4 月～現在 札幌大谷大学短期大学部美術科特別講師
2003 年 8 月～2003 年 12 月 筑波大学芸術専門学群非常勤講師
2005 年 4 月～現在 倉敷市立短期大学服飾美術学科教授

所属学会及び団体

2002 年 4 月～2005 年 3 月 北海道芸術学会理事

I 研究業績

[著書]

- ・ 「FUJIKI - DOCUMENT」, MAJACKO 発行, 1987 年 (単著)
- ・ 「行為名刺交換」, 現代企画室, 1987 年 (単著)
- ・ 「情報メディア論」, 丸山不二夫編集, 八千代出版, 2000 年 (共著)
- ・ 「キルティング・ビー・母校」, 勝央町美術文学館, 2008 年 (共著)

[学術論文]

- ・ 「現代美術における行為性の考察—日常・制度・場の観点から」, 筑波大学大学院芸術研究科, 『修士論文』, 1996 年 3 月
- ・ 「視覚情報デザイン系における構成演習の実践と教育効果」, 北海道東海大学芸術工学部, 『紀要』, 第 18 号, pp. 17-25, 1999 年 3 月 (共著)
- ・ 「ビデオインスタレーションを考える」, 稚内北星学園大学情報メディア学部, 『紀要』, 第 5 号, pp. 54-64, 2005 年 3 月 (単著)
- ・ 「コミュニケーションと表現—情報メディアにおける表現教育の実践」, 稚内北星学園大学情報メディア学部, 『紀要』, 第 5 号, pp. 73-75 78, 2005 年 3 月 (共著)
- ・ 「表現プログラムの研究と学外合同制作展の試み」, 倉敷市立短期大学, 『紀要』, 第 52 号, pp. 27-28 35, 2010 年 3 月 (共著)

[主な新聞・雑誌掲載論文]

- ・ 「日韓版画交流—No.7」, 北海道新聞夕刊, 1994 年 8 月 (単)
- ・ 「自然の中でのワークショップを考える」, 北海道新聞 (北風林欄), 1996 年 8 月
- ・ 「行為とメディア (連載シリーズのタイトル)」, 美術ペン 97 号～126 号 (114 号・119 号休み), 北海道美術ペンクラブ発行, 1999 年 5 月～2008 年 12 月

[主な展覧会]

- ・ 「ARTIST'S NETWORK 1987」, 佐賀町エキジビットスペース, 東京, 1987 年 1 月

- ・ 「ART DOCUMENT'87」, 栃木県立美術館, 宇都宮, 1987 年 2 月
- ・ 「プリントアドベンチャー'87」, 韓国国立現代美術館, ソウル, 1987 年 7 月
- ・ 「現代の版画 1994」, 渋谷区松濤美術館, 東京, 1994 年 12 月
- ・ 「北の創造者たち展/虚実皮膜」, 芸術の森美術館, 札幌, 2003 年 10 月～2004 年 1 月
- ・ 「北海道の美術 1970-1990 展」, 北海道立近代美術館, 札幌, 2005 年 9 月 3 日～12 月 4 日
- ・ 「Exhibition Interaction:Wechselwirkung」, Erust Barlach Museum Wedel, ハンブルグ, 2005 年 9 月 28 日～10 月 22 日
- ・ 「水脈の肖像 2006-日本・韓国・ドイツ」, 北海道立近代美術館, 札幌, 2006 年 5 月
- ・ 「キルティング・ビー・母校」, 勝央美術文学館 町民ギャラリー1・2, 勝央町, 2007 年 11 月～12 月
- ・ 「藤木正則展」, 特定非営利活動法人 CAS, 大阪, 2008 年 2 月 25 日～3 月 22 日
- ・ 「PLATFORM IN KIMUSA」, Kimusa (旧韓国軍機武司令部), ソウル, 2009 年 9 月 3 日～9 月 25 日

[主な行為/kōi (パフォーマンス)]

- ・ 「ホワイトライン」, 札幌市内, 1982 年
- ・ 「行為名刺交換」, 海外・国外, 1984 年この年よりスタート/継続中
- ・ 「FLAG 0308」, 宗谷岬, 北海道稚内, 2003 年
- ・ 「FLAG 0508/0509」, ハンブルグ/ベネチア, 2005 年
- ・ 「RED TAPE」, アートソングジュセンター前, ソウル, 2009 年

[研究助成]

- ・ 北海道文化財団, 「HIGH TIDE 展」, 2001 年 (共同)
- ・ 日韓文化交流基金/北海道文化財団/札幌市芸術文化振興, 「水脈の肖像 2002-日本と韓国、二つの今日展」, 2002 年 (共同)
- ・ 札幌市芸術文化振興/伊藤組 100 年基金, 「Exhibition Interaction: Wechselwirkung」, 2005 年 (共同)
- ・ 日韓文化交流基金/札幌市芸術文化振興/伊藤組 100 年基金, 「水脈の肖像 06-日本・韓国・ドイツの今日展」, 2006 年 (共同)
- ・ 日韓文化交流基金/札幌市芸術文化振興, 「水脈の肖像 09-日本と韓国、二つの今日」,

2009 年（共同）

[イベント・企画]

- ・ 「多目的空間/美術館 2nd ロフト」を開設運営，代表運営委員，1979 年 4 月～1980 年 10 月（共）
- ・ 「広域同時多発美術展 CIRCULATION'85」を企画，実行委員，1985 年 2 月～9 月
- ・ 「アパルトヘイト否！国際美術展/旭川展」を企画，代表実行委員，1988 年 6 月～7 月（共）
- ・ 「メモリアル・キルト・ジャパン旭川展」を企画，実行委員会事務局長，1990 年 12 月～1991 年 12 月（共）
- ・ 「ニシジマアツシ展/SOUND ART」「物質化する花たち/いけばなからの進化六態」その他ふたつの展覧会を企画，INAX スペース札幌企画委員，1997 年～1999 年
- ・ 「くらたんファブリックアート 2009」を企画，倉敷市立短期大学服飾美術学科企画責任者，2009 年 6 月～12 月（共）

[主なデザイン]

- ・ 稚内北星学園大学紀要 No.1～No5 表紙装丁・付録監修，稚内北星学園大学，2001 年 3 月 31 日～2005 年 3 月 31 日
- ・ 倉敷市立短期大学大学案内 2006 年度版 表紙デザイン，2006 年 6 月発行
- ・ 稚内北星学園大学紀要 No.6～No11 表紙装丁，稚内北星学園大学，2006 年 3 月 31 日～2011 年 3 月 31 日

II 教育活動

[担当科目]

1 倉敷市立短期大学および専攻科における授業担当科目

本 科：ビジュアルデザインⅠ，ビジュアルデザインⅡ，ビジュアルデザインⅢ，
基礎デッサン，アパレル企業実習，卒業研究

専攻科：生活文化環境論，ビジュアルアート論，ビジュアルデザイン演習Ⅰ，
ビジュアルデザイン演習Ⅱ，ドローイングⅠ，ドローイングⅡ，
アパレル産業研修，特別研究

[本学における課外活動の指導など]

- ・ 藤木ゼミ機関誌 “F” 第 6 号を発刊，2010 年 7 月
- ・ リヤカープロジェクト：香川県縦断」，学内共同研究（藤木・上村）としてのアートプロジェクト，2010 年 9 月 19 日～21 日
- ・ 「MADE IN KOJIMA」出展，岡山県立図書館，夢づくり県立図書館フェスタ We Love ジーンズ，2010 年 10 月 30 日～11 月 7 日
- ・ 「リヤカープロジェクト：手廻しミシン体験」，倉敷市児島駅前広場，第 25 回おかやま国民文化祭ファッションフェスティバル参加，2010 年 10 月 31 日

III 社会活動

[審議会・委員会等]

- ・ 岡山県立倉敷工業高等学校評議委員（2007 年度，2008 年度，2009 年度）
- ・ 倉敷市立翔南高等学校評議委員（2007 年度，2008 年度，2009 年度，2010 年度）
- ・ 地域資源活用新事業展開支援事業委員会専門委員（2007 年度，2008 年度）
- ・ 文部科学省目指せスペシャリスト運営指導委員会委員及び議長（2007 年度，2008 年度，2009 年度）
- ・ 岡山県農業総合センター農業大学校「実習服デザインコンクール」審査委員長（2008 年）
- ・ 第 7 回おかやま県民文化祭「倉敷ジャム」企画運営会議委員（2008 年度）
- ・ 第 25 回おかやま国民文化祭倉敷市実行委員会企画委員（2008 年度，2009 年度，2010 年度）

[主なワークショップ]

- ・ 「海岸をラッピングする」，（いけばな小原流札幌支部青年部主催），小樽市銭函海岸（1990 年 9 月）
- ・ 「いけこみ まきこみ」，（いけばな小原流全道 10 支部青年部主催），旭川市常磐公園（1993 年 8 月 21 日・22 日）
- ・ 「ミュージアムスクール'96」，北海道立旭川美術館＆音威子府村，（1996 年 7 月 26 日・27 日）
- ・ 「線でかくれんぼ」，西村計雄記念美術館，美術館敷地および近隣休耕田と森，（2004 年 8 月 7 日・8 日）

- ・ 「SH00 チルドレン・アート・プロジェクト 2007 “キルティング・ビー・母校”」 関連事業，勝央美術文学館，
- ① ワークショップ「キルティング・ビー・吉野小学校」（2007 年 7 月 23 日）
- ② ワークショップ「キルティング・ビー・古吉野小学校①」（2007 年 7 月 24 日）
- ③ ワークショップ「キルティング・ビー・植月小学校①」（2007 年 8 月 26 日）
- ④ ワークショップ「キルティング・ビー・古吉野小学校②」（2007 年 8 月 26 日）
- ⑤ ワークショップ「キルティング・ビー・植月小学校②」（2007 年 8 月 27 日）
- ⑥ ワークショップ「キルティング・ビー・勝間田小学校①」（2007 年 9 月 23 日）
- ⑦ ワークショップ「キルティング・ビー・勝間田小学校②」（2007 年 9 月 24 日）
- ・ 「綿と紙漉きワークショップ」，（第 7 回おかやま県民文化祭倉敷ジャム関連事業），倉敷町家トラスト（2009 年 11 月 30 日）

[公開講座]

- ・ 「身近な静物を描こう」，倉敷市立短期大学市民講座，（2006 年 7 月 4 日・7 日）

[主な講演・講義]

- ・ 「公共空間におけるパフォーマンス」，ヨーテボリ大学ヴァーランド美術学校，スウェーデン（1993 年 10 月）
- ・ 「パフォーマンスアート」，北海道立旭川美術館（1997 年）
- ・ 「行為とメディア」，札幌芸術の森美術館（2003 年）
- ・ 「ドイツ展/報告会 & 北の創造者たちー虚実皮膜・・・その後」，札幌芸術の森美術館（2005 年 11 月 3 日）
- ・ 「キルティング・ビー・母校展オープニングトークショー」，勝央美術文学館展示場（2007 年 11 月 10 日）
- ・ 「大学におけるデザイン教育」岡山県立倉敷工業高校（2008 年 1 月 22 日）
- ・ 「<縁と縁>現代美術を結ぶもの」，同志社大学扶桑館（2008 年 3 月 15 日）
- ・ 「藤木正則展アーティストトーク」，特定非営利活動法人 キャズ，大阪（2008 年 3 月 15 日）
- ・ 「水脈の肖像 09 日本と韓国の今日展 ギャラリートーク」，北海道立近代美術館（2009 年 12 月 6 日）
- ・ 「パブリックスペースでの表現（1979-2009）」，Onsaya/Satellite 企画，岡山（2010 年 4 月 14 日）

上村 晴彦（UEMURA, Haruhiko） 1972

衣服論・身体論・芸術学・生態心理学

研究課題とその内容

衣服が，私たちとの関係においてどのようなものとして存在しているのか，衣服や布製品の企画と制作，展示会，企業や自治体などとの共同研究を通して，衣服のあり方やデザインについて研究している。教育面では，ファッションや衣服を広く捉えられるような思考と制作を可能にするため，主に芸術や知覚に関する学びから具体的な物事を取り上げ，私たちが「ものを見るということ」について学生と一緒に考えている。社会的活動では，学生や地域の方々とともに，ファッションやデザイン，アートなどに関わるワークショップやイベント，展示などの企画を行っている。

学位

修士（造形）（武蔵野美術大学）

修士（情報学）（東京大学）

学歴

1991 年 3 月	埼玉県浦和市立高等学校（現：埼玉県さいたま市立浦和高等学校） 卒業
1996 年 3 月	多摩美術大学美術学部芸術学科卒業
1997 年 3 月	伊東衣服研究所パターンメイキング研究科，ドレーピング科卒業
1999 年 3 月	武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程修了
2007 年 4 月	東京大学大学院情報学環学際情報学府修士課程修了

職歴

1999 年 4 月～2004 年 3 月	武蔵野美術大学造形学部空間演出デザイン学科 研究室助手
2004 年 10 月～2007 年 3 月	衣服デザイン・制作（個人事業）
2007 年 4 月～現在	倉敷市立短期大学服飾美術学科講師

I 研究業績

[著書・編集など]

- ・ 「世相・生活とファッション 1940 50 年代」, 小池一子監修, 宇都宮美術館, 広島市現代美術館, 美術館連絡協議会, 読売新聞社, 『日本のライフスタイル 50 年』図録, pp. 8-13, 1998 年 (共著)
- ・ 「身体への視線」, 小池一子編著, 武蔵野美術大学出版局, 『Fashion 多面体としてのファッション』, pp. 88-99, 2002 年
- ・ 「草間の見ているもの」, 「ルーシー・オルタの身体建築」, 小池一子監修, 武蔵野美術大学美術資料図書館, 株式会社キチン, 『衣服の領域』図録, pp. 114-117, pp. 127-130, 2004 年
- ・ 「立花文穂の森」, Shiseido la Beauté, バーナーブロス, 『木のなかに森がみえる』, 2005 年

[学術論文]

- ・ 『試す衣服 1, 2, 3』, 武蔵野美術大学, 1991 年 (修士論文)
- ・ 『衣服の収集と選択の構造-3 名の女性の事例分析-』, 東京大学, 2007 年 (修士論文)
- ・ 「表現プログラムの研究と学外合同制作展の試み」, 『倉敷市立短期大学研究紀要』, 第 52 号, pp. 27-35, 2010 年 (共著)

[報告書]

- ・ 「都市に増殖するグラフィティ-日本におけるグラフィティ文化の形成と展開-」, 「〈落書き〉管理の系譜と現状」, 「管理の事例研究-若者の街下北沢をめぐるアクター相関-」, 『メディアと都市の交わる場所 東京大学大学院学際情報学府 2004 年度開講科目「社会情報学研究法 I」調査報告書』, pp. 74-78, pp. 86-97, 2005 年 (共)
- ・

[産学共同研究]

- ・ 平成 19 年度産学共同研究, 「倉敷市立短期大学の学生が提案する産地発信型商品の開発」, 株式会社ベティスミス, 「歴史ある帆布の特徴を活かした新商品開発のための倉敷市立短期大学学生との共同研究」, 株式会社バイストン, 2007 年度 (共)
- ・ 平成 20 年度産学共同研究, 「倉敷市立短期大学と企業相互の直接的コミュニケーションによる, 歴史ある帆布の特性を生かした新商品開発の為の共同研究」, 株式会

社バイストン，2008 年度（共）

- ・平成 21 年度産学共同研究，「天然染色の可能性の探究」，高城染工，2009 年度（共）

[共同研究]

- ・「衣服の概念とその表現の研究」，武蔵野美術大学・東京，2004 年度（共）
- ・「衣服の領域展の展開およびワークショップ」，武蔵野美術大学・東京，2005 年度（共）
- ・「地域と教育を生成するためのアートプロジェクト，およびデザインの研究と実践 -教育・地域・経済の新しい関係性の構築-」，藤木正則，上村晴彦，倉敷市立短期大学・岡山，2008 年 4 月～2011 年 3 月

[展示・企画]

- ・「metanalysis」ファッションショウ企画，渋谷パルコ PART1・東京，1997 年 12 月 16 日（共）
- ・「日本のライフスタイル 50 年」展，小池一子監修，宇都宮美術館・栃木，広島市現代美術館・広島，1998 年 11 月 22 日～1999 年 1 月 10 日，1999 年 6 月 12 日～7 月 24 日（共）
- ・「衣服の領域」展，小池一子監修，武蔵野美術大学美術資料図書館・東京，霧島アートの森美術館・鹿児島，2004 年 11 月 8 日～12 月 13 日，2005 年 7 月 21 日～9 月 4 日（共）
- ・「Re-reform」展，リビングデザインセンター OZONE・東京，2006 年 3 月 16 日～4 月 11 日（共）
- ・「児島の風景」，第 25 回岡山国民文化祭おかやま 2010，学内共同研究（藤木正則，上村晴彦）アートプロジェクトおよびデザイン企画，倉敷市立短期大学，2010 年 4 月～10 月（共）

[衣服デザイン・企画・展示]

- ・「日用の衣服と布製品の企画・展示」，東屋・東京，2004 年 10 月 29 日～11 月 1 日（共）
- ・「日用の衣服と布製品の企画・展示」，38STUDIO・静岡，2005 年 9 月 29 日～10 月 9 日（共）
- ・「日用の衣服と布製品の企画・展示」，学士会分館・東京，2005 年 10 月 28 日～11

月 2 日（共）

- ・ 「日用の衣服と布製品の企画・展示」, 東青山・東京, 2007 年 6 月 13 日～17 日（共）
- ・ 「日用の衣服と布製品の企画・展示」, Saji・大阪, 2007 年 8 月 9 日～13 日（共）
- ・ 「日用の衣服と布製品の企画・展示」, 38STUDIO・静岡, 2008 年 7 月 10 日～20 日（共）
- ・ 「日用の衣服と布製品の企画・展示」, 東青山・東京, 2008 年 12 月 3 日～7 日（共）
- ・ 「日用の衣服と布製品の企画・展示」, 季の雲・滋賀, 2009 年 2 月 28 日～3 月 8 日（共）
- ・ 「日用の衣服と布製品の企画・展示」, tadokorogaro・長野, 2009 年 8 月 21 日～30 日（共）
- ・ 「日用の衣服と布製品の企画・展示」, 望雲・福岡, 2009 年 10 月 1 日～12 日（共）
- ・ 「日用の衣服と布製品の企画・展示」, Matilde・富山, 2009 年 12 月 11 日～27 日（共）
- ・ 「日用の衣服と布製品の企画・展示」, 秋篠の森 月草・奈良, 2010 年 9 月 23 日～10 月 1 日（共）
- ・ 「日用の衣服と布製品の企画・展示」, factory zoomer・金沢, 2010 年 10 月 30 日～11 月 7 日（共）

[制作・デザイン]

- ・ 「オーダーメイドの衣服や布製品」（個人向け）2003 年～（共）
- ・ 「カフェのシャツとエプロン」, カフェ グリル バー太陽・東京, 2004 年（共）
- ・ 「kit1 着る」（マグネット着せ替え人形 ファッションの歴史と文化を学ぶ）, 文化庁芸術拠点形成事業, 宇都宮美術館・栃木, 「宇都宮美術館デザイン・キット deli. プロジェクト」, 2004 年 3 月～2005 年 4 月（共）
- ・ 「飲食店のシャツ、パンツ、エプロンなど」, ピアーサーティ―・岡山, 2005 年（共）
- ・ 「2006 年ドイツワールドカップで応援するための日の丸ジャージ」, ドイツ観戦の方々とテレビ観戦の方々・東京, 2006 年（共）
- ・ 「家具製作所とショップのシャツ」, STANDARD TRADE.CO.,LTD.・東京, 2004 年～2006 年（共）
- ・ 「事務所のカーテン」 東屋・東京, 2007 年
- ・ 「料理教室の先生のエプロン」, ABC Cooking Studio・東京, 2007 年～2009 年（共）
- ・ 「料理教室 ABC Cooking Studio +M の先生と生徒のエプロン」, ABC Cooking Studio・

東京，2007 年～2009 年（共）

- ・ 「久留米絣ブランド化事業のための布地および衣服のデザイン」，JAPAN ブランド育成支援事業，広川町商工会・福岡，2007 年 12 月～2009 年 3 月（共）
- ・ 「縁をピンク色に染めて束ねられた四角い布」，OUTBOUND・東京，2008 年 9 月 20 日（共）
- ・ 「パン屋のエプロンと帽子」，ダンディゾン・東京，2009 年（共）
- ・ 「シャツ」，OUTBOUND・東京，「H.P.E 谷由起子の仕事 ラオス少数民族との布づくり」，2010 年 5 月 12 日～24 日（共）
- ・ 「束ねられた四角い布」，COW BOOKS 南青山・東京，「リトルプレスフェア」，2010 年 8 月 7 日～8 月 29 日（共）

II 教育活動

[担当科目]

1 倉敷市立短期大学および専攻科における授業担当科目

本 科：ファッションクリエーション論，ファッションクリエーション演習，
服飾芸術総論，ライフスタイルプロダクト演習，アパレル企業実習，
卒業研究

専攻科：生活情報論，衣服論，ライフプロダクト論，繊維ファッション産業論，
生活文化環境論，ライフプロダクト演習Ⅰ，ライフプロダクト演習Ⅱ，
アパレル産業研修，特別研究

[本学における課外活動の指導など]

- ・ 「onsaya での くらたんクリ室」，ファッションクリエーションゼミ，cafe onsaya・岡山（2010 年 8 月 21 日～29 日）

III 社会活動

[審議会・委員会等]

- ・ 第 25 回国民文化祭倉敷市実行委員会企画実行委員（2009 年 1 月～2010 年 11 月）

[ワークショップ]

- ・ 「新カクレンボ大作戦 in 児島」, 第 25 回国民文化祭おかやま 2010, ファッションクリエイションゼミ, ギャラリー&サロンしおそう・児島ジーンズストリート・岡山 (2010 年 8 月 28 日・29 日)

[展示企画]

- ・ 「歩いてたつもりが空飛んでた 展」, 倉敷市立短期大学専攻科服飾美術専攻 1 年, 倉敷ファッションギャラリー・岡山 (2009 年 3 月 31 日～4 月 8 日)
- ・ 「高城染工 での くらたんクリ室」, ファッションクリエイションゼミ, RIVER・岡山 (2010 年 3 月 31 日～4 月 11 日)

[イベント]

- ・ 「手動販売機」, 第 25 回国民文化祭おかやま 2010, ファッションクリエイションゼミ, 有限会社藤孫商店・児島ジーンズストリート・岡山 (2010 年 10 月 30 日・31 日)

[講演会企画]

- ・ 立花文穂 (美術家, 女子美術大学准教授), 学内共同研究 (藤木正則, 上村晴彦) プロジェクト企画, 倉敷市立短期大学・岡山 (2010 年 3 月 4 日)
- ・ 月岡彩 (アーティスト), 対談形式にる講演会, 学内共同研究 (藤木正則, 上村晴彦) プロジェクト企画, 倉敷市立短期大学・岡山 (2010 年 6 月 18 日)

[公開講座]

- ・ 「環境を探索する-からだが探る-」, 倉敷市立短期大学・岡山 (2007 年 11 月 6 日)

佐藤 希代子 (SATO, Kiyoko) 1965

被服衛生・服飾人間工学

研究課題とその内容

ヒトを理解し，ヒトからみた設計を提案するために，衣服圧や触刺激と生理反応との関係を研究している。また，人体と衣環境との関係についても，衛生学・人間工学の見地より種々の実験・分析を行い，製品開発の一助となるよう研究に取り組んでいる。

学位

教育学修士（神戸大学大学院）

学歴

1987 年 3 月	京都教育大学教育学部家政科卒業
1990 年 3 月	神戸大学大学院教育学研究科家政教育専攻修了
1994 年 3 月	大阪市立大学大学院生活科学研究科生活環境学専攻研究生修了
2006 年 4 月	九州大学大学院芸術工学府芸術工学専攻博士後期課程在学中

職歴

1987 年 4 月～1988 年 3 月	京都市立日吉ヶ丘高等学校常勤講師
1987 年 4 月～1988 年 3 月	京都市立堀川高等学校定時制兼務常勤講師
1990 年 4 月～1993 年 3 月	日ノ本学園中学校・高等学校教諭
1994 年 4 月～1998 年 3 月	倉敷市立短期大学服飾美術学科助手
1998 年 4 月～2007 年 3 月	倉敷市立短期大学服飾美術学科講師
2007 年 4 月～現在に至る	倉敷市立短期大学服飾美術学科准教授
2010 年 9 月～現在に至る	川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部 医療福祉デザイン学科非常勤講師

所属学会及び団体

1988 年 5 月～現在	日本家政学会
1988 年 11 月～現在	日本衣服学会
1992 年 5 月～現在	日本繊維製品消費科学会
1993 年 9 月～現在	日本生理人類学会

1998 年 2 月～現在

日本人間工学会

賞罰

2005 年 8 月

日本家政学会被服衛生部会奨励賞

I 研究業績

[著書（訳書）]

- ・ 「パターンメイキングを勉強するために ―CAD の利用とドレーピングの基礎―」
大学教育出版, pp.73～145, 1995（単著）
- ・ 「快適服の時代」ブレーン出版, pp.165～181, 2006（単著）

[学術論文]

- ・ 「中学生の制服着衣実態に関する研究 ―年間着衣実態の衛生学的考察―」倉敷市
短期大学研究紀要第 25 号, 1995
- ・ 「女子高校生の被服に対する意識」倉敷市立短期大学研究紀要第 26 号, 1996
- ・ 「女子大学生の着衣実態における季節変化」倉敷市立短期大学研究紀要第 27 号,
1997
- ・ 「アパレル企業の求める人材の調査」倉敷市立短期大学研究紀要第 27 号, 1997
- ・ 「女子大学生と中年婦人の下着に関する調査」倉敷市立短期大学研究紀要第 28 号,
1998
- ・ 「ジーンズの快適性に関する研究（第 1 報）現状調査」倉敷市立短期大学研究紀要
第 28 号, 1998
- ・ 「高温多湿環境下における敷寝具の違いが生体に及ぼす影響」倉敷市立短期大学研
究紀要第 29 号, 1998
- ・ 「ブラジャーの衣服圧が心拍変動に及ぼす影響」倉敷市立短期大学研究紀要第 30
号, 1999
- ・ 「高温多湿環境下において織りの異なる敷布が心拍間隔変動に及ぼす影響」倉敷市
立短期大学研究紀要第 31 号, 2000
- ・ 「運針熟練・未熟練者の指貫使用に伴う作業効率及び生理反応の比較 ―心臓血
管・呼吸活動および脳波活動を指標として―」日本生理人類学会誌第 5 巻第 3 号,
2000

- ・「高温多湿環境下において織りの異なるシートが睡眠に及ぼす影響」倉敷市立短期大学研究紀要第 33 号，2000
- ・「寝具使用実態に関する調査」倉敷市立短期大学研究紀要第 34 号，2001
- ・「家庭用柔軟剤の使用実態」倉敷市立短期大学研究紀要第 36 号，2002
- ・「家庭用柔軟剤による触刺激が生体に及ぼす影響」倉敷市立短期大学研究紀要第 37 号，2002
- ・「ジーンズの快適性に関する衛生学的研究（第 1 報）－ジーンズ着用による衣服圧－」倉敷市立短期大学研究紀要第 38 号，2003
- ・「ジーンズの快適性に関する衛生学的研究（第 2 報）－ジーンズ着用による筋疲労－」倉敷市立短期大学研究紀要第 40 号，2004
- ・「異なる色彩が室温下降時の心理・生理反応に及ぼす影響」倉敷市立短期大学研究紀要第 42 号，2005
- ・「室内の明るさが布の視覚的評価に及ぼす影響」倉敷市立短期大学研究紀要第 42 号，2005
- ・「異なる色彩の衣服着用が心理・生理反応に及ぼす影響」倉敷市立短期大学研究紀要第 43 号，2005
- ・「女性用ストレッチジーンズの素材と快適性についての研究－平成 16 年度倉敷市立短期大学産学共同研究について－」倉敷市立短期大学研究紀要第 43 号，2005
- ・「衣服の洗浄方式に関する一考察」倉敷市立短期大学研究紀要第 44 号，2006
- ・「界面活性剤が洗浄後の風合いに及ぼす影響」倉敷市立短期大学研究紀要第 46 号，2007
- ・「クールビズに関する研究」倉敷市立短期大学研究紀要第 46 号，2007
- ・「シートの肌触り訴求」倉敷市立短期大学研究紀要第 48 号，2008
- ・「子ども服に関する研究」倉敷市立短期大学研究紀要第 50 号，2009
- ・「子育て世代女性用ジーンズの開発提案」倉敷市立短期大学研究紀要第 50 号，2009
- ・「タオルの肌触りに関する研究」倉敷市立短期大学研究紀要第 51 号，2009
- ・「セリシン加工した肌着が自律神経に及ぼす影響」倉敷市立短期大学研究紀要第 53 号，2010

[報告書]

- ・「東アジア地域の高温多湿環境下における被服着装の最適化の関する学際的研究」平成 7 年～8 年科学研究費補助金（基盤研究 A(1)）研究報告書，1997（「高温多湿環

境下における敷布の研究－織りの相違が人体に及ぼす影響－ 担当」

[学会発表]

- ・ 「現代の中学生着衣実態（制服）に関する研究」日本衣服学会第 41 回研究発表会，1989
- ・ 「中学生制服着衣推移実態の衛生的学考察」日本家政学会第 42 回大会，1990
- ・ 「小学生着衣実態（制服）に関する研究」日本衣服学会第 42 回研究発表会，1990
- ・ 「女子高校生の制服着用時の內衣に関する研究」日本繊維製品消費科学会 1992 年次大会，1992
- ・ 「高校・女子大生の被服に関する嗜好」日本繊維製品消費科学会 1993 年次大会，1993
- ・ 「大腿部与圧時の生理心理反応」日本生理人類学会第 31 回大会，1993
- ・ 「肌着の柔らかさが心拍変動に及ぼす影響」日本生理人類学会第 31 回大会，1993
- ・ 「吸気 CO₂ 濃度と不快感」日本生理人類学会第 31 回大会，1993
- ・ 「女子大生・女子高校生の被服の消費行動」日本衣服学会第 45 回研究発表会，1993
- ・ 「生理値によるガードルのデザイン」日本繊維製品消費科学会 快適性を考えるシンポジウム（第 10 回），1994
- ・ 「圧刺激による心拍変動および脳波の変化」日本生理人類学会 衣服研究部会 衣服－環境シンポジウム（第 1 回），1994
- ・ 「異なるサイズの肌着を着用した時の心拍変動」日本生理人類学会第 33 回大会，1994
- ・ 「衣服圧が心拍変動および随伴性陰性変動に及ぼす影響」日本家政学会第 47 回大会，1995
- ・ 「下着の着衣実態に関する調査」日本繊維製品消費科学会 1996 年次大会，1996
- ・ 「ブラジャーの衣服圧が心拍変動に及ぼす影響」日本家政学会第 43 回中国・四国支部研究発表会，1996
- ・ 「高温多湿環境下における敷布の研究－織りの相違が人体に及ぼす影響－」平成 7 年～8 年科学研究費補助金基盤研究 A「東アジア地域の高温多湿環境下における被服着装の最適化に関する学際的研究」公開報告会，1997
- ・ 「高温多湿環境における敷布の研究」日本家政学会第 50 回大会，1998
- ・ 「肌着の肌触りが生体に及ぼす影響」日本衣服学会第 54 回研究発表会，2002
- ・ 「シーツの肌触りが幼児の午睡に及ぼす影響」日本衣服学会第 57 回研究発表会，

2005

- ・ 「シーツの肌触りが寝心地に及ぼす影響」日本繊維機械学会中国支部・日本繊維製品消費科学会中四国支部平成 17 年度研究及び事例発表会，2005
- ・ 「シーツによるアロマ効果」日本繊維機械学会中国支部・日本繊維製品消費科学会中四国支部平成 18 年度研究及び事例発表会，2006
- ・ 「圧迫の程度が視覚に与える影響」日本繊維機械学会中国支部・日本繊維製品消費科学会中四国支部平成 19 年度研究及び事例発表会，2007
- ・ 「圧迫の程度が色覚に与える影響」日本繊維機械学会中国支部・日本繊維製品消費科学会中四国支部平成 20 年度研究及び事例発表会，2008
- ・ 「制服の衣替えに関する研究」日本繊維機械学会中国支部・日本繊維製品消費科学会中四国支部平成 22 年度研究及び事例発表会，2010

[研究助成]

- ・ 「自律及び中枢神経系に与える衣服圧の効果」，基盤研究（C）（1），1998～1999（共同）[文部省 科学研究費補助 研究]

[産学共同研究]

- ・ 「肌着の柔らかさが生体に与える影響」，1993（グンゼ株式会社）
- ・ 「肌着の衣服圧が生体に与える影響」，1994（グンゼ株式会社）
- ・ 「ブラジャーの衣服圧が生体に与える影響」，1994（グンゼ株式会社）
- ・ 「快適な睡眠を得るためのシーツの調査および官能検査」，2003（日清紡績株式会社）
- ・ 「快適な睡眠を得るためのシーツの研究」，2004（日清紡績株式会社）
- ・ 「ジーンズの素材別による快適性の追究」，2004（株式会社ビックジョン）
- ・ 「ジーンズのフィット感に関する研究」，2004（株式会社ビッグジョン）
- ・ 「シーツによるアロマ効果」，2005（日清紡績株式会社）
- ・ 「パジャマによるアロマ効果」，2005（日清紡績株式会社）
- ・ 「ジーンズの年代別フィット感と快適性の追求」，2005（株式会社ビッグジョン）
- ・ 「レディースジーンズの蒸れに関する研究」，2005（株式会社ビッグジョン）
- ・ 「快適な防弾ベストカバーの開発」，2005（株式会社金星）
- ・ 「アロマ成分が入眠に与える効果」，2006（日清紡績株式会社）
- ・ 「撥水性衣服内部の急激な温度上昇を防ぐ立体通気孔（ベンチレーション）を設置した雨カッパの開発」，2006～2007（明石被服興業株式会社）

- ・ 「ブレザーの快適性に関する研究」，2008（尾崎商事株式会社）
- ・ 「全身スパッツタイプのウェアが身体に及ぼす影響について」，2009（ダイヤ工業株式会社）
- ・ 「制服に関する研究」，2009～現在（尾崎商事株式会社）

II 教育活動

〔担当科目〕

1 倉敷市立短期大学および専攻科における授業担当科目

本 科：服飾人間環境学，服飾人間環境学実験，服飾人間工学，服飾管理学，
服飾管理学実験，アパレル企業実習，卒業研究
専攻科：生活文化環境論，被服生理学，被服生理学実験，被服衛生学，
アパレル産業研修，特別研究

2 他大学等における主な授業科目

- ・ 川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部：衣環境学（医療福祉デザイン学科）

III 社会活動

〔審議会・委員会等〕

- ・ 日本家政学会 被服衛生部会 幹事 1997～1999
- ・ 日本生理人類学会 評議員 2005～2007
- ・ 日本家政学会 被服衛生部会 幹事 2005～2009
- ・ 日本繊維製品消費科学会 中・四国支部 幹事 2007～現在

〔講演・解説等〕

- ・ 「圧・触刺激が生体に与える効果」，第2回 倉敷市立短期大学 情報交流会，2001
- ・ 「下着について学術的に考えよう」，ライフナビゲーション FMくらしき 2004
- ・ 「クールビズに関して」，イブニングニュース 山陽放送 2005
- ・ 「衣替えに関して」，イブニング DonDon 山陽放送 2008
- ・ 「柔らかい衣類で子どもを包んであげましょう」，ウィメンズパーク Benesse 2010

田中 孝明 (TANAKA, Takaaki) 1967

テキスタイルアート・テキスタイルデザイン

研究課題とその内容

繊維素材をもとにデザイン・アートの面から新しい表現の可能性を追求し，研究しており，特に紙繊維の研究を通じ，新たな造形表現の可能性を模索。また，自然の産物から新たな自然の回帰をもとに作品制作及び，表現の研究を行う。教育面では，「素材」，「コミュニケーション」，「感覚」などをものづくりの軸としながら，学生独自の表現方法を展開し，発展させる授業カリキュラムを実践。これらのクリエイティブワークをもとに，ワークショップや展覧会を通じ，人と人あるいは地域との交流を行っている。

学位

修士（芸術）（多摩美術大学）

学歴

1993 年 3 月 多摩美術大学美術学部デザイン科染織デザイン専攻卒業

1995 年 3 月 多摩美術大学大学院美術研究科デザイン専攻修士課程修了

職歴

1995 年 4 月～1997 年 3 月 多摩美術大学美術学部デザイン科染織デザイン
専攻副手

1997 年 4 月～1998 年 3 月 多摩美術大学美術学部デザイン科染織デザイン
専攻助手

1998 年 4 月～2002 年 3 月 多摩美術大学美術学部生産デザイン学科テキス
タイルデザイン専攻助手

2003 年 9 月～2006 年 2 月 アスワン株式会社商品開発室

2006 年 4 月～2010 年 3 月 倉敷市立短期大学服飾美術学科講師

2010 年 4 月～2010 年 3 月 吉備国際大学保健科学部作業療法学科非常勤講師

2010 年 4 月～現在 倉敷市立短期大学服飾美術学科准教授

所属学会及び団体

2007 年 4 月～現在 NPO 法人国際テキスタイルネットワークジャパン

賞罰

1996 年 8 月 国際丹南アートフェスティバル ‘96〈武生〉武生特殊鋼材賞

1997 年 10 月 今立現代美術紙展 ‘97 入選

I 研究業績

[学術論文]

- ・ 「樹層-繊維造形から-」, 1998 年 3 月, 多摩美術大学研究紀要第 12 号, p. 41 (単著)
- ・ 「触覚から創造するテキスタイルデザイン」, 2008 年 12 月, 倉敷市立短期大学研究紀要第 49 号, pp. 35～41 (単著)
- ・ 「表現プログラムの研究と学外合同制作展の試み」, 2010 年 3 月, 倉敷市立短期大学研究紀要第 52 号, pp. 27～35 (共著)
- ・ 「繊維造形による視点」, 2010 年 3 月, 倉敷市立短期大学研究紀要第 52 号, pp. 37～42 (単著)

[個展]

- ・ 「田中孝明展」, 1991 年 10 月, 喫茶アトリエ (東京)
- ・ 「田中孝明展」, 1992 年 9 月, 喫茶アトリエ (東京)
- ・ 「田中孝明展」, 1999 年 11 月, フタバ画廊 (東京)
- ・ 「田中孝明展」, 2001 年 1 月～2 月, フタバ画廊 (東京)
- ・ 「田中孝明展-Primitive-」, 2002 年 1 月～2 月, GALLERY GALA (東京)
- ・ 「田中孝明展-Scar-」, 2009 年 9 月, ギャラリーマロニエ (京都)

[企画展出展]

- ・ 「OVERLAY 展」, 1991 年 9 月, 神奈川県民ギャラリー (共)
- ・ 「糸と意図」 1994 年 9 月, アート・スペース・コア (東京) (共)
- ・ 「素材の造形展」, 1995 年 4 月, ギャラリースペース 21 (東京) (共)
- ・ 「異文化との出会い～ARTISTS IN RESIDENCE～招聘者と多摩地域四美大による繊維造形合同展」, 1995 年 10 月, TAMA ARTSTUDIO 八王子 (東京) (共)
- ・ 「位相のトライアングル展」, 1996 年 1 月, ギャラリースペース 21 (東京) (共)

- ・ 「意向する糸の記憶 FIBER AS ART Part」, 1996 年 5 月～7 月, ギャラリースペース 21／岡山県立大学デザイン学部展示ルーム／大阪芸術大学情報センター展示ルーム（共）
- ・ 「潜在する形-張と縮 FIBER AS ART PartⅥ」, 1997 年 7 月～10 月, ギャラリースペース 21／国際デザインセンター・デザインギャラリー（名古屋）／金沢市民芸術村・アート工房／東北芸術工科大学ギャラリー／女子美短大ギャラリーガレリアニケ（共）
- ・ 「包有する形-連と層 FIBER AS ART PartⅦ」, 1998 年 6 月～9 月, ギャラリースペース 21(東京)／群馬県立女子大学ギャラリー／大阪 ACT デザインギャラリー(共)
- ・ 「彷徨する形-操と拓 FIBER AS ART PartⅧ」, 1999 年 6 月～7 月, ギャラリースペース 21（東京）／シルクピア・からりこ館（福島）（共）
- ・ 「韓日 TEXTILE NETWORK 展」, 1999 年 8 月, 駐日大韓民国大使館韓国文化院ギャラリー（東京）（共）
- ・ 「現代美術小品展」, 2000 年 2 月, KEY gallery（東京）（共）
- ・ 「紙。その現代美術」, 2000 年 3 月, YOU HALL（NTT 東日本群馬支店内）（共）
- ・ 「触発する繊維-未知への鼓動-FIBER AS ART PartⅨ」, 2000 年 6 月～7 月, ギャラリースペース 21（東京）／伊丹市立工芸センター（兵庫）（共）
- ・ 「田中秀穂が選んだ新進作家展」, 2000 年 9 月, 千疋屋ギャラリー（東京）（共）
- ・ 「五箇山和紙による若いクリエイターの造形」, 2000 年 10 月, アクシスギャラリー（東京）（共）
- ・ 「行動する繊維-世紀を越えて-FIBER AS ART PartⅩ」, 2001 年 2 月～3 月, ギャラリースペース 21（東京）／さばえ現代美術センター（福井）, 2001 年 5 月～2003 年 3 月, ROVANIEMI FINLAND University of Lapland, HAAPAJARVI FIN. City Library／HANKO FIN. City Hall, HELSINKI FIN. University of Art and Design／他（共）
- ・ 「意向する繊維～時の波動～展」, 2002 年 10 月～11 月, 多摩美術大学美術館（東京）（共）
- ・ 「日本現代テキスタイルアート展」, 2007 年 6 月～8 月, 元麻布ギャラリー（東京）／キルギス共和国国立美術館（共）
- ・ 「日本・トルコ現代テキスタイルアート展」, 2007 年 9 月, マルマラ大学 Main Art Gallery（トルコ共和国）（共）
- ・ 「現代日本の衣匠 2 出版記念展」, 2008 年 2 月, Art Box Gallery（東京）（共）
- ・ 「テキスタイルアート・ミニアチュール展 一百花彩オー」, 2010 年 2 月～3 月, ル

ーフギャラリー（玉川高島屋 S・C 本館 R 階）（共）

- ・ 「染・織・ファイバーアート出版記念展」，2010 年 6 月，アートボックスギャラリー（東京）（共）

[公募展出展]

- ・ 「国際丹南アートフェスティバル '96《武生》」，1996 年 8 月，武生市民ホール／センチュリープラザビル／日野川河川公園（共）
- ・ 「今立現代美術紙展 '97」，1997 年 10 月，いまだて芸術館（福井）（共）

[企画・制作]

- ・ 舞台美術制作，演劇「その奥」／劇団桃唄 309，1998 年 9 月，下北沢ザ・スズナリ（東京）（単）
- ・ 東京芸術大学大学美術館収蔵庫扉漆装飾の素地制作，1999 年 2 月，東京芸術大学大学美術館収蔵庫（単）
- ・ 江戸あやつり人形の衣装制作，2000 年 10 月，下北沢ザ・スズナリ（東京）／他（単）
- ・ ライブ「万水の彼方へ」の舞台美術制作，2006 年 3 月～6 月，鬼太鼓座／愛知厚生年金会館／ロゼシアター（静岡）／調布市グリーンホール（東京）／他（単）
- ・ ライブ「空」の舞台美術制作，2006 年 9 月～2007 年 2 月，鬼太鼓座／タワーホール船堀大ホール（東京），関内ホール（神奈川）／シアター BRAVA（大阪）／埼玉会館／他（単）
- ・ ライブ「sunriseー風の大地」の舞台美術制作，2007 年 9 月～2008 年 1 月，鬼太鼓座／あさひサンライズホール（北海道）／ゆうぽうとホール（東京）／関内大ホール（神奈川）／他（単）

[産学共同研究]

- ・ 「帆布グッズの展開・可能性の研究」，2009 年 2 月～9 月，株式会社タケヤリ（共）

II 教育活動

[担当科目]

1 倉敷市立短期大学および専攻科における授業担当科目

本 科：テキスタイルデザインⅠ，テキスタイルデザインⅡ，染織Ⅰ，染織Ⅱ，

染色，アパレル企業実習，卒業研究

専攻科：テキスタイルデザイン論，生活文化環境論，テキスタイルデザイン演習Ⅰ，
テキスタイルデザイン演習Ⅱ，工芸染織，染色実習，特別研究

2 他大学等における主な授業

- ・吉備国際大学：基礎作業実習Ⅰ（作業療法学科）

III 社会活動

[ワークショップ]

- ・ワークショップ「ブロックプリント」の制作サポート（アーティストインレジデンス八王子），1995年8月，TAMA ARTSTUDIO 八王子（東京）
- ・ワークショップ「糸と遊ぶ」の制作サポート（アーティストインレジデンス八王子），1995年10月，浅川市民センター（東京）
- ・小学生の創造性支援の研究 ワークショップ「フェルト制作」の制作サポート，多摩美術大学生産デザイン学科テキスタイルデザイン研究室主催，2000年5月，鏈水小学校（東京）
- ・「世界にひとつの MY フェルトバッグをつくろう」，2007年度倉敷市立短期大学公開講座，2007年7月，倉敷市立短期大学
- ・「食卓を演出しましょう！ ～絞り染ランチョンマット・コースター制作～」，2008年度岡山県生涯学習大学公開講座，2008年7月，倉敷市立短期大学
- ・ワークショップ「フェルトメイキング」，倉敷ファッションセンター共催，2009年8月，倉敷ファッションギャラリー
- ・「フェルトメイキング～フェルト・ボール作り体験～」，倉敷市大学連携講座，2010年10月，ライフパーク倉敷

[講演・講義]

- ・繊維造形作品についてのスライドレクチャー，アーティストインレジデンス八王子，1995年10月，浅川市民センター（東京）
- ・クリエイティブワークについて，岡山県立倉敷南高等学校 社会人講義「キャリアⅠ」，2009年10月，岡山県立倉敷南高等学校

[展 示 ・ 企 画]

- ・ 「歩いてたつもりが空飛んでた。展」，倉敷市立短期大学専攻科服飾美術専攻 1 年合同制作展共同企画，共同企画者：藤木正則，上村晴彦，田中孝明，2009 年 3 月～4 月，倉敷ファッションギャラリー（共）
- ・ 「あしあと展 Footprint～繊維造形からの視点～」，倉敷市立短期大学服飾美術学科テキスタイルデザインゼミ生作品展企画，倉敷ファッションセンター共催，2009 年 8 月，倉敷ファッションギャラリー（単）

[作 品 寄 贈]

- ・ 「樹層（習作）」，1995 年 10 月，八王子市役所（東京）
- ・ 「樹層」，2003 年 3 月，パピルス館（福井）

福村 愛美 (FUKUMURA, Manami) 1961

家政学・被服心理学・服飾造形

研究題目とその内容

- ・女子学生の身体に対する意識と着装行動との関連について:身体の欠点をカバーし, 長所をいかすような衣服のデザインや着こなしを提案するために, 調査をもとに分析し考察した。
- ・寸法許容範囲の広い民族衣服の形態別分類とその特徴
- ・教育課程の会長に伴う新しい家庭科教育のあり方についての考察
- ・現業労働のユニフォームによるイメージアップについて
- ・施設介護や在宅介護に携わるための介護ユニフォームについて
- ・ファッションブランドに対する意識と購買行動について
- ・若い女性における頭部のファッションの意味と価値観について

学位

家政学修士 (奈良女子大学)

学歴

1985 年 3 月 奈良女子大学家政学部被服学科卒業

1988 年 3 月 奈良女子大学大学院家政学研究科被服学専攻修士課程修了

職歴

1988 年 4 月～1988 年 9 月 奈良女子大学教務補佐員

1988 年 10 月～1990 年 3 月 大分県立芸術短期大学助手

1990 年 4 月～1996 年 3 月 大分県立芸術短期大学講師

1996 年 4 月～2000 年 3 月 大分県立芸術文化短期大学助教授

2000 年 4 月～現在 倉敷市立短期大学准教授

所属学会及び団体

1984 年 4 月～現在 奈良女子大学家政学会会員

1985 年 4 月～2003 年 3 月 日本家政学会会員

1988 年 4 月～現在 日本繊維製品消費科学会会員

1989 年 4 月～1998 年 3 月 日本デザイン学会会員

1999 年 4 月～2003 年 3 月 日本家庭科教育学会会員

1993 年 4 月～2003 年 3 月 日本衣服学会会員

2000 年 4 月～現在 日本家政学会被服心理部会会員

2001 年 4 月～2002 年 3 月 日本繊維機械学会会員

II 研究業績

[学位論文]

- ・ 「体系カバーの被服デザインの提案:現代女性の体形に対する意識をもとに」(修士論文), 奈良女子大学大学院家政学研究科被服学専攻, 1988 年 3 月

[著書]

- ・ 「アパレル科学概論」, 松生勝編著, 朝倉書店, pp.95-105, 2002, (共), (「3.1 アパレルデザインとはで b. デザインの発想と表現法, c. デザインのプロセス, 3.2 アパレルデザインの要素」を執筆)

[学術論文]

- ・ 「寸法許容範囲の広い民族衣服の形態分類とその特性」, 大分県立芸術短期大学研究紀要 第 26 巻 pp. 39～64, 1988 年 12 月 (単著)
- ・ 「女子学生の身体に対する意識と着装行動との関連について」, 繊維製品消費科学 第 30 巻 第 11 号 pp. 31～38, 1989 年 12 月 (共著)
- ・ 「体型の流行と胸部のファンデーションについて」, 大分県立芸術短期大学研究紀要 第 28 巻, pp. 79～86, 1990 年 12 月 (単著)
- ・ 「教育課程の改訂意に伴う新しい家庭科教育のあり方についての一考察」, 大分県立芸術短期大学研究紀要 第 29 巻, pp. 23～34, 1991 年 12 月 (単著)
- ・ 「現状労働のユニフォームによるイメージアップについて」, 大分県立芸術文化短期大学研究紀要 第 31 巻, pp. 71～77, 1993 年 12 月 (共著)
- ・ 「家庭科男女必修に向けての高等学校の対応とそれに伴う問題点についての考察」, 大分県立芸術文化短期大学研究紀要 第 32 巻, pp. 131～135, 1994 年 12 月 (単著)
- ・ 「家庭科教育における男女必修の問題点と対策 -普通科高校の取り組み-」, 大分県立芸術文化短期大学研究紀要 第 33 巻, pp. 167～172, 1995 年 12 月 (共著)

- ・「高校生の制服に対する意識と学校教育との関連性について」, 大分県立芸術文化短期大学研究紀要 第 32 巻, pp. 131~135, 1994 年 12 月 (単著)
- ・「高校生の制服に対する意識と学校教育との関連性について (第 2 報)」, 大分県立芸術文化短期大学研究紀要 第 34 巻, pp. 241~249, 1996 年 12 月 (単著)
- ・「家庭科における被服構成学実習の役割について」, 大分県立芸術文化短期大学研究紀要 第 35 巻, pp. 195~205, 1997 年 12 月 (単著)
- ・「見直される作業服の現状と提案」, 大分県立芸術文化短期大学研究紀要 第 36 巻, pp. 113~118, 1998 年 12 月 (単著)
- ・「女子学生の身体に対する意識と衣服のコーディネートとの関連性について」, 大分県立芸術文化短期大学研究紀要, 第 37 巻, pp. 101~118, 1999 年 12 月 (単著)
- ・「購買行動と買い物依存症との関連性についての予備調査からの考察」, 大分県立芸術文化短期大学研究紀要, 第 37 巻, pp. 163~171, 1999 年 12 月 (単著)
- ・「婦人用レグウェアモデルにおける横縞柄の構成要素が視感に及ぼす効果」, Journal of Textile Engineering, Vol153 No.1, 2007 (共著)
- ・「学外展への参加を通じたファッションデザイン教育－JAPANTECH2008 学生展を例として」 倉敷市立短期大学研究紀要 第 50 号, pp. 9~15, 2009 年 3 月 (共著)
- ・「ファッションブランドに対する意識と購買行動について」, 倉敷市立短期大学研究紀要 第 50 号, pp. 33~39, 2009 年 3 月 (共著)
- ・「現代の若い女性における頭のファッションの意味と価値観について」, 倉敷市立短期大学研究紀要 第 54 号, 2011 年 3 月 (共著)

[雑誌論文]

- ・「介護ユニフォームに関する考察とデザイン提案」, 月間福祉, 2001 年 10 月 (単著)

[報告書]

- ・「施設介護や居宅介護に携わる介護者のためのユニフォーム提案」, 財団法人日本ユニフォームセンター, 2001 年 2 月 (共著)

[学会発表]

- ・「女子学生の身体に対する意識と衣服のコーディネートとの関連について」, 日本家政学会, 1990 (単)
- ・「見直される作業服の現状と提案」, 日本繊維製品消費科学会, 1992 (単)

- ・「家庭科教育における被服実習の役割についての一考察」, 日本家政学科, 1993(単)
- ・「高校生の制服に対する意識についての一考察」, 日本繊維製品, 1994(単)
- ・「高校生の制服に対する意識 - 家庭科教育との関連性 - 」, 日本家政学会, 1995(単)
- ・「見直される作業服の現状と提案(第2報)」, 日本繊維製品消費科学会, 1996(単)
- ・「購買行動と嗜癖との関連性についての予備調査からの考察」, 日本家政学会九州支部大会, 1998(単)
- ・「女子学生の体型に対する意識や着装行動の変化について」, 日本繊維製品消費科学会, 1999(単)
- ・「施設介護や居宅介護に携わる介護者のためのユニフォームについて」, 日本家政学会, 2001(共)
- ・「施設介護や在宅介護に携わる介護者のためのユニフォームー特別養護老人ホーム・老人保健施設・療養型病床群の比較ー」, 日本繊維機械学会, 2001(共)
- ・「施設介護や居宅介護に携わる介護者のための介護服についてー介護ユニフォームの提案ー」日本繊維機会学会, 2001(共)
- ・「要介護者も被服の問題点(高齢者の場合)」日本繊維機会学会, 2001(共)

[作品発表]

- ・「作業服」, 大分県主催建設フェア IN NEO OITA, 1991(共)

[倉敷市立短期大学共同研究]

- ・「デジタルシミュレーションを用いた介護服の機能性評価に関する研究」, 2001年
- ・「学外展への参加を通じたファッションデザイン教育に関する研究」, 2009年

II 教育活動

[担当科目]

1 倉敷市立短期大学および専攻科における担当授業科目

本 科：服飾造形実習Ⅰ，服飾造形実習Ⅱ，服飾造形実習Ⅲ，

パターンメイキング（CAD）Ⅱ，アパレル企業実習，卒業研究

専攻科：服飾造形実技Ⅰ，服飾造形実技Ⅲ，パターンメイキング論，生活文化環境論，

アパレル産業研修，特別研究

2 他大学等における担当授業科目

- ・大分県立芸術文化短期大学：生活造形（服飾デザイン）
 - ：服飾デザイン概論（美術科生活芸術専攻）
 - ：生活文化史，意匠学，文化史（美術科デザイン専攻）

III 社会活動

[公開講座]

- ・「ボンパドル夫人について」，平成 12 年度岡山県生涯学習大学「大学院コース」，倉敷市立短期大学
- ・「布で作る」，平成 18 年度岡山県生涯学習大学「大学院コース」，倉敷市立短期大学
- ・「布で作る小物」，平成 19 年度岡山県生涯学習大学「大学院コース」，倉敷市立短期大学
- ・「手縫いで作るかわいい小物（1），（2）」平成 20 年度岡山県生涯学習大学「大学院コース」，倉敷市立短期大学

[メディア]

- ・「修士論文の体形カバーについての掲載」，毎日新聞，1988 年 3 月 4 日
- ・「木曜インタビューの取材の掲載」，大分合同新聞，1989 年 2 月 16 日
- ・「サンデーアイ（大分県広報番組司会）」，OBS 大分放送テレビ，1990 年 4 月（毎週日曜日計 4 回）
- ・「浴衣特集のスタイル提案の取材に関する掲載」，山陽新聞，2009 年 7 月 14 日
- ・「森ガール特集の着こなし提案の取材に関する掲載」，山陽新聞，2009 年 12 月 17 日

松内 紀之 (MATSUUCHI, Noriyuki) 1966

工業意匠学・インテリアデザイン

研究題目とその内容

- ・祭礼道具の意匠史：西日本各地に存在する祭礼に用いられる山笠（やまかさ）を観察・実測している。実測結果をもとに図面作成と模型制作を行い，木部材と縄の巻き方および結びなどのジョイント方法を検証し，造形成立要因と変遷を考察する。調査は福岡県博多祇園山笠を中心にすすめているが，京都祇園山鉾，戸畑祇園山笠，日田祇園山鉾など西日本各地に現存する山笠（地域によっては山鉾，山車などの呼称）も調査し比較考察を行う。
- ・家具・展示什器の設計と制作：上記“山笠研究” および“木工技術史研究”より得られた知見の現代的意味を考え，立体作品制作および空間計画を行っている。

学位

修士（工学）（千葉大学）

学歴

1990年3月	立命館大学文学部史学科卒業
1992年3月	千葉大学工学部工業意匠学科（現：デザイン学科）卒業
1994年3月	千葉大学大学院工学研究科修士課程工業意匠学専攻修了
2006年4月	九州大学大学院芸術工学府博士後期課程（インダストリアルデザイン専攻）社会人入学

職歴

1994年3月～1996年8月	株式会社大丸（装工事業部関西設計部）
1996年9月～2003年3月	フリーランスでの設計業務（並行して非常勤講師）
1997年9月～2000年3月	コンピュータ日本学院専門学校非常勤講師
1998年4月～2000年3月	大阪工業技術専門学校建築学科非常勤講師
2002年4月～現在	京都府立大学環境デザイン学科非常勤講師
2003年4月～2004年3月	高崎芸術短期大学専任講師
2004年4月～2007年3月	西日本工業大学専任講師
2007年4月～2008年3月	西日本工業大学准教授

2008 年 4 月～現在

倉敷市立短期大学服飾美術学科准教授

学会等の活動

1992 年 4 月～現在	日本デザイン学会正会員
1997 年 4 月～現在	奈良県建築士会正会員
2005 年 4 月～現在	日本都市学会会員
2007 年 4 月～現在	日本都市学会九州支部役員

I 研究業績

[学位論文]

- ・「絵巻物における結界意匠」(修士論文), 千葉大学大学院工学研究科工業意匠学専攻, 1994 年 3 月

[学術論文]

- ・「絵巻物にみる境(さかい)のデザイン」, 西日本工業大学生涯学習センター年報, 第 7 号, pp.60～65, 2005 年 3 月(単著)
- ・「地方都市における町内会活動の評価と数値化に関する研究その 1」, 日本都市学会年報 2007, 第 40 号, pp.182～185, 2007 年 5 月(共著)
- ・「地方都市における町内会活動の評価と数値化に関する研究その 2」, 日本都市学会年報 2008, 第 41 号, pp.176～182, 2008 年 5 月(共著)
- ・「博多祇園山笠における縄の巻き方について」, 倉敷市立短期大学研究紀要, 第 53 号, pp.31～36, 2010 年 12 月(単著)

[学会発表]

- ・「芸術短大色彩教育における色立体制作課題の試み」, 日本デザイン学会 2004 春季大会概要集, p.31, 2004 年 6 月(単著)
- ・「博多祇園山笠における縄の巻き方について」, 日本都市学会 2005 全国大会概要集, p.92, 2005 年 10 月(共)
- ・「苅田山笠における部材結合について」, 日本都市学会 2006 全国大会概要集, p.21, 2006 年 10 月(共)
- ・「短期大学における地域の伝統的技術の紹介と商品開発の試み」, 九州都市学会,

2010 年 2 月（共）

[作品]

- ・ 「Interior Formation Process（C G 作品）」2000 年建築士全国大会 C G コンテスト優秀賞，2000 年 10 月（単）
- ・ 「ユニット家具」，特許庁へ登録（実用新案登録 3136238 号），2007 年 6 月（単）
- ・ 「キャンドルケース」，特許庁へ登録（実用新案登録 3135161 号），2007 年 6 月（単）
- ・ 「2007 キャンドルナイト in リバーウォーク（光のアートイベント）」，リバーウォーク北九州円形広場（福岡県北九州市），2007 年 6 月（共）
- ・ 「明蓮寺のための紙灯籠」，特許庁へ登録（実用新案登録 3145833 号）2008 年 8 月（単）
- ・ [「明蓮寺 光のインスタレーション 2008」，平成 20 年中津寺町とうろう祭り（大分県中津市），2008 年 8 月 9 日（共）](#)
- ・ [「明蓮寺 光のインスタレーション 2009」，平成 21 年中津寺町とうろう祭り（大分県中津市），2009 年 8 月 9 日（共）](#)
- ・ 「NPO 法人 “まちネットひとネット九州”のためのロゴマーク制作」，2008 年 12 月（単）
- ・ 「デニムのスツール」，特許庁へ意匠登録（出願番号 意願 2011-7549），2011 年 3 月（単）

II 教育活動

[担当科目]

1 倉敷市立短期大学および専攻科における担当授業科目

本 科：ベーシックデザインⅠ，ベーシックデザインⅡ，表現演習Ⅰ，表現演習Ⅱ，
表現演習Ⅲ，卒業研究

専攻科：生活文化環境論，立体制作Ⅰ，立体制作Ⅱ，造形表現，造形表現論，
特別研究

III 社会活動

[地域イベント]

- ・ 「光のオブジェ作品制作と展示」，小倉イルミネーション 2007 勝山公園会場，2007 年 11 月（共）
- ・ 「家具設計制作・空間構成・呈茶（茶席の設置）」，2010 岡山国民文化祭児島会場，2010 年 10 月（共）

[公開講座]

- ・ 「絵巻物にみる境（さかい）のデザイン」，西日本工業大学公開講座，2004 年 10 月（単）
- ・ 「キャンドルケースを作ろう」，倉敷市立短期大学公開講座，2010 年 12 月（単）

趙 採沃 (CHO, Chaiok)

アート・ファッション・メディア表現

研究課題とその内容

芸術・ファッションについて幅広い研究を行っている。

学位

博士（芸術学）（筑波大学）

学歴

2006 年 3 月 筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科芸術学専攻修了

職歴

2009 年 10 月～現在 倉敷市立短期大学服飾美術学科専任講師

所属学会及び団体

2003 年 4 月～現在 日本デザイン学会

2003 年 5 月～現在 形の文化会

2006 年～現在 美学会

2007 年 5 月～現在 日本基礎造形学会

賞罰

1987 年 6 月 第 6 回全国芸術文化大展洋画部門入選

1989 年 6 月 第 8 回全国芸術文化大展洋画部門入選

1994 年 4 月 第 14 回天理ビエンナーレ洋画部門入選

2001 年 10 月 第 10 回国際造形コンクール大阪トリエンナーレ平面部門入選

2002 年 2 月 第 5 回岡本太郎記念現代芸術大賞展入選

2003 年 11 月 2003 光州市立美術館主催第 3 回河正雄青年作家

2009 年 5 月 第 61 回三軌会彫刻部門入選

2009 年 6 月 国際公募第 45 回亜細亜現代美術展彫刻部門入選

I 研究業績

[著書（訳書）]

- ・ 「人体とメディアとの出会いによる造形—韓国ファッション・アートの再考」, 単著, 『日本デザイン学会誌デザイン学研究特別号』第 61 巻 1 号, 日本デザイン学会, 2008.9, pp.58～63
- ・ 「記者の眼からみた交流会」, 単訳, 2000.11, 『庭』第 136 号, 建築資料研究社, pp.132～134
- ・ 「人こそ細部に宿って」, 単訳, 1999.3, 『在する感性』, 千葉成夫著

その他多数

[学術論文]

- ・ 『アジアの現代美術のアイデンティティの問題—韓国と日本を中心に』, 単著, 1999.3, 横浜大学大学院修士論文
- ・ 「韓国の『Art to Wear』の考察—変遷と概念を中心に」, 単著, 『芸術学研究』第 8 号, 筑波大学大学院, 2004.3, pp.131～144
- ・ 「アメリカの『Art to Wear』の変遷—1960 年代後半から 1970 年代半ばまで」, 単著, 2005.5, 『形の文化誌』01 号, p.51～60
- ・ 「アメリカの『Art to Wear』の造形的特徴—1960 年代後半から 1970 年代半ばまで」, 単著, 2005.11, 『日本デザイン学会研究論文集』第 52 巻 3 号, pp.49～58
- ・ 「韓国の『Art to Wear』の考察—先行研究を中心に」, 単著, 2006.3, 『芸術学研究』第 10 号, 筑波大学大学院, pp.131～144
- ・ 『韓国のアート・トゥ・ウェア変遷—アート・トゥ・ウェアからファッション・アートへ』, 単著, 2006.3, 筑波大学大学院博士学位論文
- ・ 「現代美術における身体表現—美術表現としてのコスプレをめぐって」, 単著, 『日本基礎造形学会 017 号』, 日本基礎造形学会, pp.21～28
- ・ 「韓国のファッション・アートのあり方—<光州ビエンナーレ国際美術衣装展>を中心に」, 単著, 『倉敷市立短期大学研究紀要第 52 号』, 2010 年 3 月, 倉敷市立短期大学, pp.43～54
- ・ 「韓国のアヴァンギャルド美術—現代美術家協会の意義」, 単著, 『倉敷市立短期大学研究紀要第 53 号』, 2010 年 12 月, 倉敷市立短期大学, pp.23～30

[学会発表]

- ・ 韓国の Art to Wear—「KOSCO 展」の報告，単著，2003.6，第 12 回ファッション環境学会
- ・ アメリカにおける Art to Wear の研究—『Wearable Art Movement』を中心に，共著，2004.6，日本デザイン学会『第 51 回研究発表大会海概要集』，pp.218～219
- ・ アメリカの Art to Wear におけるクロシェット (CrocKeting) についての考察—1960 年代後半から 1970 年代半ばまでを中心に，単著，2004.6，『国際服飾学会第 24 回大会講演・研究発表要旨』，p.9
- ・ アメリカにおける Art to Wear における造形的特徴—5 人のリーダーを中心に，共著，2005.6 日本デザイン学会『第 52 回研究発表大会海概要集』，pp.336～337
- ・ 韓国の Art to Wear の変遷—Art to Wear からファッション・アートへ，単著，2007.7，日本デザインファッションデザイン部会第 13 回部会誌，日本デザインファッションデザイン部会

[展示・企画]

< 個展 >

- ・ 「趙採沃個展」，1995.7，横浜国立大学教育文化ホール
- ・ 「趙採沃個展—THE SHADOW I」，1996.3，G—ART GALLERY
- ・ 「趙採沃個展—THE SHADOW II」，1996.6，ギャラリーARK
- ・ 「趙採沃個展—神の庭園」，1997.6，G-ART GALLERY
- ・ 「趙採沃個展—ローズのお墓」展，1998.10，ギャラリー代々木
- ・ 「趙採沃—一日野外設置」展，2000.10，ぐらき公園
- ・ 「HAPPY PROJECT OF The PORT —Happy Project II」，2001.9，GALLERY VISUAL ARTS
- ・ 趙採沃個展「ROSE 's DRESS」展，2003.1，Gallery Q

< グループ展 >

- ・ 「燃えるアジア—挑戦と主張」，2001.4，中和ギャラリー（銀座）
- ・ 「BRAIN BURST2001—日本と韓国の蒼いヤツラ」，2001.4，神奈川県民ホール・ギャラリー
- ・ 「個を超えて—SJP 展・埼玉・」，2001.4，埼玉県立近代美術館・一般展示室 1
- ・ 「FREE art FREE exhibition～Artlympic2001」，2001.7，SKYD00R 画廊，
- ・ 「第 2 回[在]する感性展」（横浜トリエンナーレ関連行事），2001.9，横浜市民ギャラリー，横浜
- ・ 横浜，「パフォーマンス ローズの物語—Happy Project」（30 分）

- ・ 「TOAM 國際環境現代美術祭」, 2001.10, TOAM 磁器公園 (韓国, 釜山)
- ・ 「第 10 回國際造形コンクール大阪トリエンナーレ」, 2001.10, CASO (大阪府)
- ・ 「THE CITY OF THE FINAL 2002 記念 日・韓『円周のない円』・展」, 2002.4, 神奈川県民ホール・ギャラリー (横浜)
- ・ 「日韓○円周のない円・展 東京」展, 2002.4, 藍画廊
- ・ 「BRAIN BURST2002- real- Hybrid Korea and Japan」, 2002.5, 神奈川県民ホール・ギャラリー (横浜)
- ・ 「BRAIN BURST2002- real- Hybrid Korea and Japan」巡回展, 2002.5, アートサロンアクロス
- ・ 「日・韓美術交流展 2002」, 2002.7, 韓国文化院ギャラリー
- ・ 「[個]のもの展」, 2002.12, G-ART GALLERY (銀座)
- ・ 「GALLERYQ 創立 20 周年記念展」, 2002.12, GALLERY-Q
- ・ 「2003 日本国際現代アートフェア」, 2003.4, 東京国際フォーラム
- ・ 「KIAF」(韓国国際現代アートフェア), COEX (韓国, ソウル)
- ・ 「第 3 回河正雄青年作家賞展・光 2003」, 2003.11, 光州市立美術館 (韓国, 光州)
- ・ 「面白い反復」展, 2004.1, インサアートセンター (韓国, ソウル)
- ・ 「Art and PlayingⅡ」, 2004.7, 芸術の殿堂ハンカラム美術館 (韓国, ソウル)
- ・ 「2007 秋期韓国基礎造形学会国際学術大会国際交流作品展」, 2007.11, 忠北大学校
- ・ 「2008 秋期韓国基礎造形学会国際学術大会国際交流作品展」, 2008.11, 明知大学校
- ・ 「アジア創造美術展～共生と融合」, 2009. 1 月 21～2 月 2 日, 国立新美術館
- ・ 「2009 韓国基礎造形学会イタリア作品展」, 2009. 1, Via Barnaba Oriani 3000197, Roma, Italy
- ・ 第 61 回三軌会彫刻部門入選, 国立新美術館, 2009 年 5 月, 三軌会主催
- ・ 日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ交流美術展「川崎展」, 2009 年 5 月 16 日～24, 川崎市市民ミュージアム
- ・ 国際公募第 45 回亜細亜現代美術展彫刻部門, 2009 年 6 月 12 日～22 日, 東京都美術館, 亜細亜美術交友会主催
- ・ アート・コスモス展—生命 (いのち), 2009 年 8 月 17 日～23 日, ギャラリーアーチストスペース, NPO 法人『国際芸術宇宙センター』設立記念
- ・ 2009 秋国際交流作品展, Sangmyung University, 2009 年 11 月 7～8 日, 韓国韓国基礎造形学会主催
- ・ 「2010 春韓国基礎造形学会 国際作品展」, 2010 年 5 月 29 日～6 月 3 日, キョン

ヒ 大学校（ソウル），韓国基礎造形学会主催

- ・ 「光 2010 河正雄青年作家招待展 10 周年記念展」，2010 年 6 月 24 日～8 月 8 日，
光州市立美術館，光州市立美術館主催
- ・ 「2010KSBDA－UNLV International Invitation Exhibition」，2010. 7.1～7.5，
University of Nevada(USA), Korea Society of Basic Design& Art

その他多数

< 展示企画 >

- ・ 「トランスフォーメーションアディクトー身体・ファッション・椅子」，倉敷ファ
ッションセンター，2010 年 11 月 2 日～11 月 7 日
- ・ 「ファッションアート～皮から」，倉敷ファッションセンター，2010 年 11 月 2 日～
11 月 7 日
- ・ 「^{ラビット}卯 Meets T-shirt」展，倉敷ファッションセンター，2011 年 1 月 11 日～1 月 15 日

その他多数

II 教育活動

[担当科目]

1 倉敷市立短期大学および専攻科における授業担当科目

本 科：モードデッサンⅠ，モードデッサンⅡ，服飾デザイン論，服飾デザイン演習，
C G 基礎演習，マーケティング論，卒業研究，アパレル企業実習
専攻科：服飾企画論，デザインマネジメント，ファッションアート演習，
生活文化環境論，特別研究

[本学における課外活動の指導など]

- ・ 第 11 回 FTK 瀬戸大橋まつり デザインコンテスト ファッションショー，2010 年
10 月 16 日（土），児島競艇場：特別賞 2 名，入選 3 名
- ・ 第 15 回ファッションデザインコンテスト 倉敷ファッションプロンティア，2010
年 10 月 30 日，倉敷ファッションセンター，つちや産業株式会社 企業賞受賞

III 社会活動

[ワークショップ]

- ・ ワーク・ショップ B，共同，2002，神奈川県民ホール・ギャラリー，小学校の 3.4 年生次の対象にした図画。
- ・ 1 月 14 日，稗田幼稚園（児島），幼稚園生約 50 名と一緒に韓国の文化および新年挨拶を学ぶ。

[公開講座]

- ・ 『水彩で描く絵葉書』～染まる秋の精粹，単，2010 年 11 月 29 日，14:30～16:00，平成 22 年度倉敷市立短期大学公開講座

[その他]

- ・ 神奈川県新聞紹介（作品掲載）（1999 年 3 月 11 日，22 日）
- ・ KNTV-SKY PERFECT 331CHANNEL(1999 年 1 月 21 日放送)
- ・ 統一新聞（日本，1999 年，4 月 6 日発行）
- ・ KNTV-SKY PERFECT 331CHANNEL(2001 年 1 月 21 日放送)
- ・ ラジオ放送 FM847MHZ（2001 年 9 月放送）
- ・ ラジオ放送 J・WAVE（2001 年 9 月 27 日放送）
- ・ NHK（2002 年 4 月 3 日），NHK（2002 年 4 月 16 日）
- ・ IT.COM：TV 生放送出演，9 月 27
- ・ <http://www.artkrush.com>（1 月 29 日～31 日，Brent Hallard／Art critic）
- ・ KNTV-SKY PERFECT 331CHANNEL(韓国，2003 年，4 月 6 日放送)
- ・ ソウル経済（韓国，2003 年 12 月 29 日）（作品掲載）
- ・ Hellard 経済（韓国，2003 年 12 月 30 日）（作品掲載）
- ・ 『美術世界』（韓国，2004 年 1 月号）（作品掲載）
- ・ 韓国日報（韓国，2004 年 1 月 8 日）
- ・ 国民日報（韓国，2004 年 1 月 12 日）
- ・ 朝鮮日報（韓国，2004 年 7 月 28 日，作品掲載）
- ・ 文化日報（韓国，2004 年 7 月 26 日）
- ・ 連合ニュース（韓国，2004 年 7 月 20 日）

その他

道明 伸幸 (MICHIAKI, Nobuyuki) 1976

服飾材料学・アパレル工学

研究題目とその内容

- ・布の三次元変形の解析とモデル化：繊維集合体としての布の物理的性質を，使用する繊維素材がもつ力学特性とその集合構造によって表現するための研究を行う。またそのために，布の組織の微小領域の変形を三次元的に計測する。
- ・衣服シミュレーション：衣服の着装状態をコンピュータによって予測する着装シミュレーションについて，布の力学特性および光学特性（視覚風合い）をより詳細に取り入れるための研究を行う。
- ・コンピュータによるアパレルデザイン支援：コンピュータ衣服シミュレーションを用い，様々な体型や動作に応じて人体と衣服の幾何学的関係を計算することにより，試作，試着することなく，衣服のゆとりや着心地を評価する手法を開発する。
- ・画像処理による布の特性の解析：織物や編物の布の組織や表面特性について，画像処理技術を用いて解析する手法について研究する。

学位

博士（工学）（岡山大学）

学歴

1994 年 3 月	岡山県立倉敷南高等学校卒業
1998 年 3 月	岡山大学工学部精密応用化学科卒業
2000 年 3 月	岡山大学大学院工学研究科修士課程精密応用化学専攻修了
2007 年 3 月	岡山大学大学院自然科学研究科博士後期課程物質分子科学専攻修了博士（工学）

職歴

2000 年 4 月～2008 年 8 月	倉敷市立短期大学助手
2008 年 8 月～2009 年 3 月	倉敷市立短期大学服飾美術学科助教
2010 年 4 月～現在	倉敷市立短期大学服飾美術学科講師（「材料学分野」担当）

学会等の活動

2000 年 1 月～現在	高分子学会会員
2000 年 1 月～現在	繊維学会会員
2000 年 4 月～現在	日本家政学会会員
2002 年 2 月～現在	日本コンピュータ化学会会員
2003 年 11 月～現在	ファッションビジネス学会会員
2004 年 1 月～現在	日本繊維機械学会会員
2005 年 4 月～2006 年 3 月	日本繊維機械学会中国支部企画担当
2006 年 4 月～現在	日本繊維機械学会中国支部事務担当
2008 年 5 月～2010 年 3 月	日本家政学会衛生部会会員
2008 年 8 月～現在	日本家政学会被服材料部会幹事会会員

I 研究業績

[学位論文]

- ・「剛直高分子の分子量分別法の開発」(修士論文), 岡山大学工学研究科精密応用化学専攻, 2000 年 3 月
- ・「衣服の着用性能の客観評価に関する研究」(博士論文), 岡山大学大学院自然科学研究科, 2007 年 3 月

[学術論文]

- ・「アパレル産業における IT 革命」, 倉敷市立短期大学研究紀要, 第 33 号, pp. 89～94, 2000 年 12 月 (共著)
- ・「布の三次元変形の解析 (第 1 報) —光学顕微鏡による布の三次元計測—」, 倉敷市立短期大学研究紀要, 第 33 号, pp. 95～99, 2000 年 12 月 (共著)
- ・「布の三次元変形の解析 (第 2 報) —モデルサンプルによる光学顕微鏡三次元測定法の検討—」, 倉敷市立短期大学研究紀要, 第 36 号, pp. 91～96, 2002 年 3 月 (共著)
- ・「コンピュータによるアパレルデザイン支援 (第 1 報) —ディジタルシミュレーションを用いた衣服のパターン評価—」, 倉敷市立短期大学研究紀要, 第 37 号, pp. 101～106, 2002 年 12 月 (共著)
- ・「コンピュータによるアパレルデザイン支援 (第 2 報) —ディジタルシミュレーションによるゆとりの評価—」, 倉敷市立短期大学研究紀要, 第 39 号, pp. 93～98,

2003 年 12 月（共著）

- ・ 「倉敷市立短期大学における Web 戦略」, 倉敷市立短期大学研究紀要, 第 40 号, pp. 33～38, 2004 年 3 月（共著）
- ・ 「動的衣類シミュレーションを利用した衣類の身体適合性の評価」, 繊維機械学会誌, 第 58 号, No. 2, pp. 41～48, 2005 年 2 月（共著）
- ・ 「体形別ワーキングユニフォーム開発研究プロジェクト」, 倉敷市立短期大学研究紀要, 第 42 号, pp. 13～26, 2005 年 3 月（共著）
- ・ 「Fractionation and Crystal Morphology of Rigid Polymer, Poly(p-Phenylene Benzobisthiazole)」, JOURNAL OF MACROMOLECULAR SCIENCE®, Part B-Physics, Volume 43, Issue. 5, pp. 1015 - 1024, 2005（共著）
- ・ 「女性用ストレッチジーンズの素材と快適性についての研究—平成 16 年度倉敷市立短期大学産学共同研究について—」, 倉敷市立短期大学研究紀要, 第 43 号, pp. 65～70, 2005 年 12 月（共著）
- ・ 「光 CT 顕微鏡による布の三次元計測—テストファントムによるシミュレーション—」, 繊維学会誌, 第 63 号, No. 3, pp. 74～80, 2007 年 3 月（共著）

[国際学会発表]

- ・ 「Novel Method for Evaluating Clothing Fit Using Cloth Simulation」(ポスター発表), Proceedings of 2005 International Conference on Advanced Fibers and Polymer Materials(ICAFPM 2005), Oct. 19-21, Shanghai, China, Vol. 2, pp. 1147-1150, 2005 年 10 月（共）

[学会発表]

- ・ 「分枝成分を含む剛直高分子 PBZT の分別及び結晶化」, 繊維学会予稿集, p. 107, 1997 年 11 月（共）
- ・ 「剛直高分子の分子量分別と結晶形態」, 繊維学会予稿集, Vol. 55-2, p. 70, 2000 年 6 月（共）
- ・ 「剛直高分子の分子量分別」, 繊維学会予稿集, Vol. 55-3, p. 31, 2000 年 10 月（共）
- ・ 「光学顕微鏡による布の三次元計測」, 繊維学会予稿集, Vol. 55-3, p. 92, 2000 年 10 月（共）
- ・ 「布の三次元変形の解析—光学顕微鏡を用いた三次元像合成の原理—」, 第 47 回日本家政学会中国・四国支部研究発表会要旨集, p. 21, 2000 年 10 月（共）

- ・「布の三次元変形の解析—光学顕微鏡を用いた三次元像計測—」, 日本家政学会第 53 回大会研究発表要旨集, p. 203, 2001 年 5 月 (共)
- ・「動的衣類シミュレーションによる衣類デザイン支援」, 日本家政学会第 53 回大会研究発表要旨集, p. 204, 2001 年 5 月 (共)
- ・「光学顕微鏡による布の三次元計測法—モデルサンプルによる検討—」(ポスター発表), 繊維学会予稿集, Vol.56-1, p.330, 2001 年 6 月 (共)
- ・「ポリ乳酸繊維の熱セット性について」, 第 15 回繊維連合研究発表会講演要旨集, p.103, 2002 年 9 月 (共)
- ・「デジタルシミュレーションを用いた衣類のパターン評価」, 第 15 回繊維連合研究発表会講演要旨集, p.189, 2002 年 9 月 (共)
- ・「服飾専攻学生のインターネットリテラシー教育—アパレルのインターネット販売サイトの構築と運営—」, 平成 14 年度日本繊維機械学会中国支部・日本繊維製品消費科学会中・四国支部合同研究及び事例発表会要旨集, pp.8-9, 2002 年 12 月 (共)
- ・「コンピュータによるアパレルデザイン支援—動的衣類シミュレーションを利用した衣類のゆとりの評価—」, 平成 14 年度日本繊維機械学会中国支部・日本繊維製品消費科学会中・四国支部合同研究及び事例発表会要旨集, pp.10-11, 2002 年 12 月 (共)
- ・「PBZT 結晶の形態・構造の分子量分布依存性」, 繊維学会予稿集 (年次大会), Vol.58-1, p.117, 2003 年 6 月 (共)
- ・「動的衣類シミュレーションを用いた衣類のゆとりの—評価官能評価との比較検討—」, 繊維学会予稿集 (秋季), vol58-3, p.116, 2003 年 9 月 (共)
- ・「剛直高分子の結晶形態と結晶欠陥分子量分布依存性」, 高分子学会予稿集 (第 52 回高分子討論会), Vol.52, 2473, 2003 年 9 月 (共)
- ・「コンピュータによるアパレルデザイン支援—動的衣類シミュレーションを利用した衣類のゆとりの評価と官能評価との比較検証—」, 平成 15 年度日本繊維機械学会中国支部・日本繊維製品消費科学会中・四国支部合同研究及び事例発表会要旨集, pp.10-11, 2003 年 11 月 (共)
- ・「コンピュータによるアパレルデザイン支援—動的衣類シミュレーションを利用した衣類適合性評価—」(ポスター発表), ファッションビジネス学会全国大会ガイドブック, p.4, 2003 年 11 月 (共)
- ・「ストレッチジーンズの素材と快適性—平成 16 年度倉敷市立短期大学産学共同研究について—」(ポスター発表), ファッションビジネス学会全国大会ガイドブック,

p. 9, 2005 年 8 月 (共)

- ・ 「平成 16 年度倉敷市立短期大学 産学共同研究について ―女性用ストレッチジーンズの素材と快適性―」, 平成 17 年度日本繊維機械学会中国支部・日本繊維製品消費科学会中・四国支部合同研究及び事例発表会要旨集, pp. 6-7, 2005 年 12 月 (共)
- ・ 「織物の光 CT 顕微鏡測定―シミュレーションによる検討―」, 平成 18 年度日本繊維機械学会中国支部・日本繊維製品消費科学会中・四国支部合同研究及び事例発表会要旨集, pp. 10~11, 2006 年 11 月 (共)
- ・ 「衣服シミュレーションによる衣服の身体適合性評価」, 平成 20 年度日本繊維機械学会中国支部・日本繊維製品消費科学会中・四国支部合同研究及び事例発表会要旨集, pp. 10-11, 2008 年 12 月 (共)

[その他・学位論文紹介]

- ・ 「衣服の着用性能の客観評価に関する研究」, 日本家政学会被服衛生部会会報, 第 28 号, pp. 2~5, 2008 年 8 月 (単著)

[倉敷市産学共同研究]

- ・ 「ジーンズ素材の年代別フィット感と快適性の追求」, 2004 年, 株式会社ビッグジョン
- ・ 「快適な防弾ベストカバーの開発」, 2005 年, 株式会社金星
- ・ 「撥水性衣服内部の急激な温度上昇を防ぐ立体通気孔(ベンチレーション)を設置した雨カッパの開発」, 2006 年, 明石被服興業株式会社

[産学共同研究]

- ・ 「ジーンズのフィット感に関する研究」, 2004 年, 株式会社ビッグジョン
- ・ 「ジーンズの年代別フィット感と快適性の追求」, 2005 年, 株式会社ビッグジョン, 平成 17 年度「岡山発! オンリーワン企業育成支援事業」採択: (財)岡山県産業振興財団
- ・ 「レディースジーンズの蒸れに関する研究」, 2005 年, 株式会社ビッグジョン

[倉敷市立短期大学共同研究]

- ・ 「布の三次元変形の計測に関する研究」, 2001 年
- ・ 「デジタルシミュレーションを用いた介護服の機能性評価に関する研究」, 2001 年

- ・ 「コンピュータによるアパレルデザイン支援」，2002 年 4 月～2005 年 3 月
- ・ 「衣服の快適性に関する研究」，2005 年 4 月～2008 年 3 月
- ・ 「衣服シミュレーションを用いたパターン評価」，2005 年 4 月～2008 年 3 月
- ・ 「アパレル商品開発に関わる基礎研究」，2008 年 4 月～2011 年 3 月
- ・ 「衣服のゆとりに関する研究」，2009 年 4 月～2012 年 3 月

II 教育活動

[担当科目]

1 倉敷市立短期大学および専攻科における担当授業科目

本 科：服飾繊維学，服飾材料学，服飾繊維学実験，服飾材料学実験，
服飾管理学実験，情報処理演習，Web 基礎演習，アパレル企業実習，
卒業研究

専攻科：生活文化環境論，アパレルコンピュータ演習，アパレル産業研修，
特別研究

III 社会活動

[原稿執筆]

- ・ 「近況報告」，岡大工化会会報，第 4 号，pp.19-20，2006 年 12 月
- ・ 「異分野で見えること」，岡山大学工学部 50 年史，2010 年 5 月執筆，2011 年発行
予定

[メディア]

- ・ 「イブニング DonDon（洗濯物の部屋干しについての解説）」，RSK 山陽放送テレビ，
2009 年 2 月 20 日

[地域イベント]

- ・ 「空間構成と呈茶（茶席の設置）」，岡山国民文化祭児島会場，2010 年 10 月 30 日

上原 真樹 (UEHARA, Masaki) 1975

被服学・被服構成学・被服科学・ファッションコーディネート

研究課題とその内容

衣生活環境の問題を社会調査と科学実験の見地から取上げ，問題解決策を提唱することを主な研究としている。特に高齢者女性の衣生活が快適でファッション性が高くあるように問題をクローズアップし解決を探究している。また，和裁と洋裁の基本的技術の継承を念頭に実践的教育と縫製技術指導開発を兼ねて研究している。

学位

修士（家政学）（武庫川女子大学）

学歴

1994 年 3 月	沖縄尚学高等学校普通科特進コース卒業
1999 年 3 月	東北生活文化大学家政学部家政学科卒業
2001 年 3 月	武庫川女子大学大学院家政学研究科修士課程被服学専攻修了
2004 年 3 月	武庫川女子大学大学院生活環境学研究科博士後期課程生活環境学専攻単位修得満期修了

職歴

2004 年 4 月～2006 年 3 月	同志社女子大学生生活科学部人間生活学科嘱託講師
2004 年 4 月～7 月	武庫川女子大学生生活環境学部生活環境学科非常勤講師
2004 年 4 月～7 月	武庫川女子大学短期大学部生活造形学科非常勤講師
2006 年 4 月～8 月	聖和学園短期大学キャリア開発総合学科嘱託講師
2007 年 4 月～2009 年 3 月	KBC 学園 I.D.A. ファッションデザイン科および ショップビジネス科非常勤講師
2008 年 4 月～2009 年 3 月	KBC 学園 I.D.A. 高等課程ファッションデザイン 科非常勤講師
2008 年 4 月～2009 年 3 月	沖縄県立那覇高等学校服飾デザイン科非常勤講師
2009 年 4 月～現在	倉敷市立短期大学服飾美術学科助教

所属学会及び団体

2001 年 4 月～現在

繊維製品消費科学会正会員

I 研究業績

[学術論文]

- ・ 蛍光偏光法による木綿繊維の微細構造解析，繊維学会，Vol. 59 No. 9, p. 304～304 (共著)
- ・ 西宮市在住女性高齢者の着衣の調査研究－女子大生との外衣の色彩嗜好比較－，日本家政学会誌，Vol. 55 No. 7, p. 551～560 (共著)
- ・ 綿繊維の天然撚りに関する研究 [I]－世界各地で生産された綿繊維の旋光性の解析－，繊維学会，Vol. 60 No. 8, p. 257～260 (共著)
- ・ 綿繊維の天然撚りに関する研究 [II]－旋光解析による綿繊維形成過程の観察－武庫川女子大学紀要，自然科学編 52 巻，p. 5～8 (共著)
- ・ 綿繊維の天然撚りに関する研究 [III]－綿繊維の形成に及ぼす回転栽培の影響－武庫川女子大学紀要，自然科学編 52 巻，p. 11～14 (共著)
- ・ 綿繊維の微細構造に関する研究～繊維微細構造とわたの嵩高性との関連性について～繊維学会，Vol. 61 No. 9, p. 235～240 (共著)

[学会発表]

- ・ 木綿繊維の生長に関する研究，日本家政学会関西支部第 21 回（通算 77 回）研究発表会，奈良女子大学，1999 年 10 月 23 日（連名）
- ・ 木綿繊維のよじれに関する研究，日本家政学会関西支部第 21 回（通算 77 回）研究発表会，奈良女子大学，1999 年 10 月 23 日（連名）
- ・ 木綿繊維のよじれに関する研究（第 2 報）－繊維フィブリルのらせん形成におよぼす地球自転の影響－，日本家政学会関西支部第 22 回（通算 78 回）研究発表会，聖母女学院短期大学，2000 年 11 月 25 日（連名）
- ・ 木綿繊維のよじれに関する研究（第 3 報）－繊維フィブリルのらせん形成におよぼす回転栽培の影響－，日本家政学会関西支部第 23 回（通算 79 回）研究発表会，武庫川女子大学，2001 年 11 月 3 日（連名）
- ・ 木綿繊維のよじれに関する研究，平成 14 年度繊維学会年次大会，大田区産業プラ

ザ，2002年5月23日（連名）

- ・ 蛍光法による木綿繊維フィブリルの表面配向に関する研究，日本家政学会第54回大会，昭和女子大学，2002年6月1日（連名）
- ・ 蛍光法による木綿繊維フィブリルの表面配向に関する研究日本家政学会関西支部第24回（通算80回）研究発表会，滋賀女子短期大学，2002年11月2日（連名）
- ・ ポリエステル布団わたの高温での嵩高さ，日本家政学会関西支部第24回（通算80回）研究発表会，滋賀女子短期大学，2002年11月2日（連名）
- ・ 西宮市在住の女性高齢者の着衣に関する研究，日本家政学会第55回大会，お茶の水女子大学，2003年5月25日（連名）
- ・ 蛍光法による木綿繊維フィブリルの表面配向に関する研究，平成15年度繊維学会年次大会，京都リサーチパーク，2003年6月11日（連名）
- ・ 詰め物用布団わたの高温での嵩高さに関する研究，平成15年度繊維学会年次大会，京都リサーチパーク，2003年6月11日（連名）
- ・ 環境に配慮した洗濯方法に関する研究—洗濯補助具の洗濯効果—日本家政学会関西支部第25回（通算81回）研究発表会，大阪市立大学，2003年11月1日（連名）
- ・ 木綿繊維の微細構造に関する研究—繊維微細構造の嵩高性への影響—平成16年度繊維学会年次大会，タワーホール船堀，2004年6月9日（連名）

[デザイン]

- ・ 平成19年11月 カイナアートフェスティバルにてパフォーマンスアート衣装製作

II 教育活動

[担当科目]

1 倉敷市立短期大学および専攻科における授業担当科目

本 科：服飾造形実習Ⅱ，服飾造形実習およびアパレルCAD実習の助手

専攻科：服飾造形およびアパレルCAD演習の助手

III 社会活動

[審議会・委員会等]

- ・ 平成13年11月 日本家政学会関西支部第23回（通産79回）研究発表会開催校運

営委員

- ・ 平成 16 年 7 月 繊維製品品質管理士試験 試験監督補佐

平成23年度 倉敷市立短期大学入学試験実施結果														
平成23年3月31日														
【本科】														
(単位：人)														
	保育学科 (定員50)						服飾美術学科 (定員50)							
	推薦A		一般	社会人	推薦B	計	自己推薦	推薦A			一般	社会人	推薦B	計
	市内10人	市外15人	25人	若干名	若干名		10人	市内8人	市外12人	専門若干名	20人	若干名	若干名	
志願者数	20 (3)	62 (1)	125 (4)	4 (1)	12 (0)	223 (9)	28 (2)	3 (0)	13 (1)	3 (0)	37 (1)	0 (0)	3 (0)	87 (4)
受験者数	20 (3)	62 (1)	123 (4)	4 (1)	12 (0)	221 (9)	28 (2)	3 (0)	13 (1)	3 (0)	36 (1)	0 (0)	3 (0)	86 (4)
合格者数	14 (1)	21 (1)	27 (1)	2 (0)	5 (0)	69 (3)	21 (2)	1 (0)	13 (1)	3 (0)	28 (1)	0 (0)	2 (0)	68 (4)
実質競争率	1.4	2.9	4.5	2.0	2.4	3.2	1.3	3.0	1.0	1.0	1.2	1.0	1.5	1.2
入学手続者数	14 (1)	21 (1)	22 (1)	2 (0)	4 (0)	63 (3)	21 (2)	1 (0)	13 (1)	3 (0)	17 (1)	0 (0)	2 (0)	57 (4)
辞退者数	0 (0)	0 (0)	9 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)
入学者数	14 (1)	21 (1)	13 (0)	2 (0)	4 (0)	54 (2)	21 (2)	1 (0)	13 (1)	3 (0)	14 (1)	0 (0)	2 (0)	54 (4)
※実質競争率は受験者数／合格者数														
※ () 内は男子を内数で計上														
【出身地の内訳】														
■保育学科														
	推薦 (A)			社会人			一般			推薦 (B)				
	市内	県内	県外	市内	県内	県外	市内	県内	県外	市内	県内	県外		
志願者数	20	10	52	2	1	1	11	10	104	1	2	9		
合格者数	14	1	20	0	1	1	2	3	22	0	1	4		
入学者数	14	1	20	0	1	1	1	2	10	0	1	3		
■服飾美術学科														
	自己推薦			推薦 (A)			一般			推薦 (B)				
	市内	県内	県外	市内	県内	県外	市内	県内	県外	市内	県内	県外		
志願者数	9	6	13	5	4	10	5	4	28	0	1	2		
合格者数	5	6	10	3	4	10	2	3	23	0	1	1		
入学者数	5	6	10	3	4	10	1	1	12	0	1	1		
【専攻科】														
	専攻科 (定員各5)													
	保育臨床		服飾美術		計									
	1次	2次	1次	2次										
志願者数	6 (1)	2 (1)	3 (0)	0 (0)	11 (2)									
受験者数	6 (1)	2 (1)	3 (0)	0 (0)	11 (2)									
合格者数	4 (0)	2 (1)	3 (0)	0 (0)	9 (1)									
実質競争率	1.5	1.0	1.0		1.2									
入学手続者数	4 (0)	2 (1)	3 (0)	0 (0)	9 (1)									
辞退者数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
入学者数	4 (0)	2 (1)	3 (0)	0 (0)	9 (1)									

8. 進路状況

平成 22 年度 卒業予定者の進路状況報告（平成 23 年 4 月 21 日現在）

就職内定状況一覧表

	保 育 学 科	服飾美術学科	保育臨床専攻	服飾美術専攻	合 計
卒 業 予 定 者 数	55 名 (4)	45 名 (2)	3 名 (0)	7 名 (0)	110 名 (6)
就 職 希 望 者 数	50 名 (3)	36 名 (2)	3 名 (0)	6 名 (0)	95 名 (5)
就職希望無・未定・その他	0 名 (0)	1 名 (0)	0 名 (0)	1 名 (0)	2 名 (0)
就 職 内 定 者 数	50 名 (3)	32 名 (0)	3 名 (0)	5 名 (0)	90 名 (5)
就 職 内 定 率	100.0%	88.9%	100.0%	83.3%	94.7%
進 学 等 希 望 者 数	5 名 (1)	8 名 (0)	0 名 (0)	0 名 (0)	13 名 (1)
進 学 等 決 定 者 数	5 名 (1)	7 名 (0)	0 名 (0)	0 名 (0)	12 名 (1)

※（ ）＝内 男性

就職地域

	保 育 学 科	服飾美術学科	保育臨床専攻	服飾美術専攻	合 計
倉 敷 市 内	18 名 (1)	13 名 (2)	1 名 (0)	3 名 (0)	35 名 (3)
岡山県内（倉敷市外）	9 名 (1)	7 名 (0)	2 名 (0)	0 名 (0)	19 名 (1)
岡 山 県 外	23 名 (1)	12 名 (0)	0 名 (0)	1 名 (0)	36 名 (1)
合 計	50 名 (3)	32 名 (2)	3 名 (0)	5 名 (0)	90 名 (5)

就職内定内訳

・ 保育学科（50／50 名）

公務員（4 名）	保育所：倉敷市②・京丹後市（京都府） 保育所幼稚園：岡山市
私立幼稚園（3 名）	マリア幼稚園（倉敷市）・広島中央幼稚園（広島市）・野田学園広田幼稚園（長崎県佐世保市）
民間保育所（27 名）	若竹の園・昭和保育園・連島東保育園②・よしうら保育園・上成保育園・かんだ保育園・中山保育園・みちる保育園・和井田保育園・弘恵保育園・遍照保育園（倉敷市）・白鳩保育園・弓之町乳児保育園・橘今保育園（岡山市）第二すずらん保育園（総社市）・よねさと保育園（鳥取県）・助任保育園（徳島市）・お山保育園・阿

	南ひまわり保育園（徳島県阿南市）・高木保育園・富久保育園（愛媛県松山市）・志々満保育園（愛媛県今治市）・ミドリ保育園（愛媛県新居浜市）・いずみ保育園（香川県高松市）・横浜新町保育園（高知市）・みゆき保育園（島根県安来市）
私立幼保一元化施設・認定子ども園等（1名）	認定子ども園さくら幼稚園さくら保育園（鳥取県）
公立〔保育所・幼稚園及び幼保一元化施設等の嘱託・臨時・講師〕（7名）	倉敷市嘱託幼稚園教諭・岡山市臨時保育士②・真庭市嘱託保育士・姫路市嘱託保育士・大分市臨時保育士・南国市臨時保育士
施設（7名）	瀬戸内学園②（倉敷市）・天心寮（赤磐市）・さくらこども学園（赤穂市）・鳥取県立鹿野第二かちみ園（鳥取市）・田川湯山荘（福岡県嘉麻市）・池田学園（徳島県三好市）
企業・その他（1名）	医療法人社団杉原会西福山病院（院内保育）

・服飾美術学科（32／36名）

服飾関連企業（20名）	明石被服興業(株)・(株)ドミンゴ・ベティスミス・豊和(株)・(株)ウチダ・日本被服(株)・(株)マエノ・(株)channel・(株)whoval・ロイモンテール・nico and SLOW life（倉敷市） ・(株)クロスカンパニー・(株)アフリカタロウ・REBMOB（岡山市） ・(株)B&G（岡山県津山市）・(株)ジーベック②・ビッグボーン商事(株)（広島県福山市）・(株)めのや（島根県松江市）・ワールドストアパートナーズ（神戸市）・(株)さとう（京都府福知山市）
その他の企業（8名）	・WING（倉敷市）・ホリエセールスプロモーション（岡山市）・Bautiful Life（徳島市）・大牟田観光（福岡県）・ウェルシア・ジャズ（東京都）・うさぎや（臨時・倉敷市）・パナソニック液晶ディスプレイ(株)（契約・姫路市）
企業以外（3名）	J A くにびき農業協同組合（島根県）・WITH HAIR（岡山市）・個人事務所（岡山市）

・保育臨床専攻（3／3名）

私立保育所（1名）	若竹の園
公立〔保育所及び幼稚園の嘱託・臨時・講師・児童指導員〕（2名）	岡山市臨時幼稚園教諭（岡山市）・岡山市臨時保育士（岡山市）

・服飾美術専攻（5／6名）

服飾関連企業	(株)コレクト②・豊和(株)（倉敷市）・(株)ベラディッタ（愛媛県松山市）
--------	---------------------------------------

進学決定先

・保育学科（5／5名）

	倉敷市立短期大学専攻科⑤
--	--------------

・服飾美術学科（7／8名）

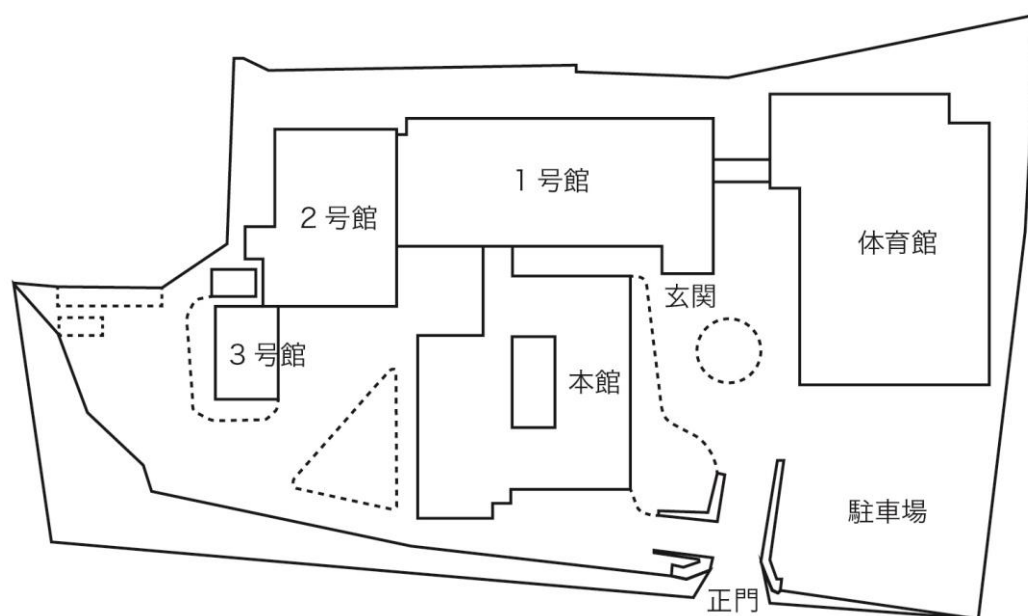
	倉敷市立短期大学専攻科③ 神戸芸術工科大学・京都造形芸術大学 上田安子服飾専門学校・神戸ファッション専門学校
--	--------------------------------------------------------------

9. 教育施設

1 校地面積 14,176 m²

2 ① 建物関係

施設名	構造	延床面積 (m ²)	備 考
本 館	鉄筋コンクリート	2,852 m ²	学長室、教員研究室、事務局、大小会議室、就職相談室、情報処理教室、講義室、図書館、第2情報処理室等
1号館	鉄筋コンクリート	4,843 m ²	教員研究室、学生ホール 200 席、演習室、実習室、CAD・CG実習室、人工気候室、親子交流広場、エレベーター等
2号館	鉄筋コンクリート	1,551 m ²	教員研究室、保健室、音楽教室、図画工作室等
3号館	鉄筋コンクリート	398 m ²	専攻科室（講義室）、実習室、和室
小 計		9,644 m ²	
体育館	鉄筋コンクリート	1,846 m ²	バレーボール 2 面、バスケットボール 2 面
計		11,490 m ²	



2 ② 講義室等関係

講義室

収容人数	14 人	50 人	55 人	150 人
室数	2	3	1	1（大講義室）

実習室等

保 育 学 科	1 室	小児保健実習室
	1 室	小児栄養実習室
	1 室	音楽教室
	1 室	親子交流広場
	1 室	会議室兼演習室
	1 室	図画工作教室
	1 室	ピアノ練習教室
	1 室	ML 教室
服 飾 美 術 学 科	1 室	CAD・CG 実習室
	1 室	服飾美術展示室
	1 室	人間工学実験実習室
	1 室	恒温恒湿室
	1 室	人工気候室
	1 室	染色実験実習室
	1 室	被服材料実験実習室
	2 室	服飾造形実習室
	1 室	ビジュアルデザイン実習室
	2 室	実習室
	2 室	織物実習室
	1 室	デザイン実習室
	1 室	デッサン室
共 通 教 室	1 室	LL 教室
	2 室	情報処理室
付 属 図 書 館	1 室	閲覧コーナーなど（蔵書 約 84,000 冊）

10. 平成22年度カリキュラム

本学の目的は、「倉敷市立短期大学学則」第1条により、「教育基本法」（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）の定めるところに従って、幼児教育及び服飾美術に関する専門的な理論と実地的な技能の教授及び研究を行うことにより、教養豊かな社会人を育成することである。

1 保育学科

保育学科では、一人一人の学生の主体性と個性を尊重した少人数体制における指導・援助の下、保育者としての資質及び保育に関する専門的知識・技能並びにそれらを適切かつ創造的に活用できる保育実践力を修得し、卒業後においても学び続ける意欲をもった保育者の養成を目的としている。また、保育学科が目指す保育者像として「保育スペシャリストとしての創造的実践力」「あたたかい献身の心と責任感」を土台に、①主体的問題発見・解決能力、②専門的な保育臨床スキル、③専門職としての高い倫理観、といった3つの柱を掲げている。

保育学科の教育課程は、保育者養成課程の基準である児童福祉法（昭和24年法律第147号）及び児童福祉法施行規則（昭和23年厚生省令第11号）第39条の2第1項第3号に規定する修業科目に則して、また、幼稚園教諭二種免許状取得のための基準である教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に規定する修業科目に則して構成されている。

保育学科の卒業所要単位は、75単位以上である。うち基礎科目が10単位以上、8区分に分類された専門科目（保育原理・保育内容の研究・保育実習など）の65単位以上の修得が求められる。卒業要件を満たし、かつ保育士登録を行うことによって保育士資格を取得することができるとともに、選択によって幼稚園教諭二種免許状、社会福祉主事（任用）資格の取得ができる。授与される学位は、短期大学士（教育学）である。

保育学科では、学生のニーズと社会からの要請に対応するため、各科目において、地域と連携しながら授業展開を行っている。保育者養成という保育学科の基本的目的に照らして、保育実習や教育実習では、倉敷市内の保育所・幼稚園において実習を行っているほか、保育現場で活用できる実践力を向上させるために、あるいは実習だけ

では補えない実践力を育むために、各科目で工夫して授業が行われている。また学生の興味・関心による研究活動あるいは実践活動を各担当教員の指導のもとで行う「総合演習」では、平成 20 年度までは、「総合演習報告会」として、学内の教員や学生に対して、取り組んだ内容を発表していたが、平成 21 年度からは「倉敷市立短期大学 こどもの森」と称して、学内外を問わず、広く一般の方々に公開することとし、人材育成のみならず、大学資源の地域への還元も視野に入れて、展開を試みている。

2 服飾美術学科

服飾美術学科では、芸術・デザイン・ファッションに関する基礎的な理論と技術の修得を通じて、多様なメディアやテクノロジーに対する理解力と多角的な視点を養い、学内外を学びの場として捉え、積極的に行動し考えることのできる、創造的で実践的なクリエイターの育成を目的としている。

服飾美術学科の卒業所要単位は、62 単位以上である。うち基礎科目が 10 単位以上、4 区分に分類された専門科目の 52 単位以上の修得が求められる。また、上述の教育目的をふまえて、現場で活用できる実践力を養えるよう、アパレル企業実習など地域産業とも連携している。授与される学位は短期大学士（服飾美術学）である。

服飾美術学科では、教育目的及び教育目標に照らして、それぞれの分野に必要な授業科目が配置されており、実践的な知識や技術の養成を目的とし、理論的思考や技術力の向上を目指している。1 年次前期より専門科目を履修することにより、専門分野に対する意識を早々に芽生えさせることができる。卒業研究については、1 年次後期にゼミ訪問を行い、2 年に進級する前から卒業研究に対する意識向上を図り、十分な取り組みができるようになっている。また、学生のニーズや社会からの要請を踏まえ、地域企業との連携を図りながら、取り組んでいることも学科の特徴である。教員の有する専門性と授業内容の相関は強く、各教員の研究成果が授業内容に反映されている。補充教育については、必要に応じ各科目で行われており、授業時間外にも適宜教員が指導時間を設け各学生に対応している。また、2 年に 1 回ヨーロッパ研修の機会を設けており、希望者のみの参加ではあるが、ファッションや芸術についての研修を約 10 日間の日程で実施している。インターンシップは現在行われていないが、それに代わるものとして「アパレル企業実習」を設置し単位認定をしている。

3 専攻科

専攻科保育臨床専攻は、保育学科におけるカリキュラム内容を習得し、保育士資格または幼稚園教諭普通二種免許状を取得したものを入学させ、より高度な臨床的・実践的な知識・技能を有する「子育て支援の専門家」の育成を目的とした課程である。専攻科服飾美術専攻は、服飾美術学科におけるカリキュラム内容の修得を基礎として、さらに高度な専門知識や技術を修め、社会構造の変化に即応した実践力の育成を図る課程である。

したがって、保育臨床専攻、服飾美術専攻のカリキュラムは学科において修めた知識や技術をさらに深めることを前提に設置されている。専攻科と学科の教育との連携を考慮して、専攻科の授業科目と学科のそれとの関連図を作成し、学科において修めた知識や技術をさらに深めることを目指したカリキュラムの編成を行っている。

両選考のカリキュラムとも、大学評価・学位授与機構から認定を受けており、本科と専攻科との教育課程上での関連については、既に認められている。

(1) 保育臨床専攻

保育臨床専攻は、短期大学等での幼児教育・保育に関する学修を基礎に、一人一人の学生の主体性と個性を尊重した少人数体制における指導・援助の下、保育者としての資質及び保育・子育て支援に関するより高度な専門知識・技能並びにそれらを適切かつ創造的に活用できる保育臨床的実践力を修得し、修了後においても学び続ける意欲をもった子育て支援の専門家の育成を目的とし、次の3点を教育方針としている。

(1) 教育内容上の方針として、「子育て支援」の臨床的・実践的な力量を高める、とりわけ障がい児の「子育て支援」に関する専門家としての力量を高めることに力点を置く。(2) 教育・指導の方法・形態上の方針として、少人数制であることをいかし、一人一人の学生の興味・関心・能力に応じた、きめこまやかな教育・指導を行う。(3) 臨床的・実践的な知識・技術の習得のみならず、その実践を主体的に理論化する能力の育成にも力を注ぐ。以上の目的・教育方針に沿って、授業科目が配置されている。

(1) の方針を具体化するために、専門科目の充実を図っている。特別支援教育に関する科目のうち、市内3つの子育て支援機関で行う「子育て支援体験実習」や発達障がい児と関わる中で実際的には支援を学ぶ「ADHD・AS 臨床実習（平成19年に授業名変更。平成15～18年はLD・ADHD キャンプ実習）」は、学外での実習科目であり、学内のみに

とどまらない教育・指導の場を設けて、子育て支援の専門家養成に努めている。(2) については、学生が自身の興味・関心・問題意識に基づいた主体的な研究を行う「特別研究」を必修科目としており、複数の教員による指導が行われる体制が作られている。また「特別研究」は教育方針(3)を実現させる科目でもある。

保育臨床専攻においては、「子育て支援の専門家」を育成するという目的に従って、複数の子育て支援機関における学外実習を設けており、昨今特に社会からの要請が高い人材の養成に努めている。学生は種々の実習を通して現代の子育て支援について実際に体験し、理解を深めることができる。実習以外の授業においても、現場での実践力を高める工夫がなされている。これらの授業は、学生の専門性の向上のみならず、地域連携、知識・技能の地域への還元にもつながる取組みである。

保育臨床専攻の授業科目の総単位数は、専門教育科目(63単位)と関連科目(14単位)を合わせて77単位である。修了所要単位は、専門科目40単位以上、関連科目4単位以上で、開設されている科目のうち、約63%以上の専門教育科目、約28%以上の関連科目の単位を取得することが必須となっている。また、専門教育科目の各領域においては、1つ以上の科目が必修となっており、各専門領域における基幹的な知識や技術を網羅的に習得することとしている。開設されている科目のうち、講義形式の授業は20科目、演習・実習・実験形式のものは25科目で、授業内容に合わせた形態が採用されており、専門知識・技術の学習と実践の場が設けられている。個々の授業においては、実際の映像等の視聴覚教材を利用して学生の学習を促す授業も行われている。入学定員は各専攻5名であるため、いずれの授業も少人数で行われる。少人数制の授業であることから、学生と教員とがより密接なコミュニケーションを行うことができ、学生の疑問やニーズにこたえやすい体制となっている。

特別研究の指導担当者は教授であるが、他の職位の教員も指導の補助を行うこととしており、学生は多方面からの助言を受けることが可能である。修了論文が大学評価・学位授与機構の審査を通過すれば、学士(教育学)が取得できる。また、幼稚園教諭一種免許状も取得できる。

(2) 服飾美術専攻

服飾美術専攻の授業科目は、関連科目・専門科目での専門的な修学と各分野による特別研究の修学で構成されている。専門科目の区分としては総論、服飾、特別研究が開設されており、関連科目の区分としては自然科学、美学、情報、教育学、社会学が開設されている。特別研究は講義・演習・実習・実験等で学んだ知識・技術を応用し

て、各自のテーマについて研究および課題制作に取り組む体制をとっている。また、大学評価・学位授与機構の審査を通過すれば、学士（家政学）が取得できる。

服飾美術専攻は教育の目的に基づき、講義、演習、実験、実習等の授業形態の組合せ・バランスを定めており、それぞれの教科の教育内容に応じた学習指導法を目指している。服飾美術専攻における修了所要単位数は合計 62 単位で、そのうち専門科目 40 単位以上、関連科目 4 単位以上を取得しなければならない。

残り 18 単位以上は専門科目・関連科目からいずれかを選択・取得することと規定している。専門科目は総論区分 6 単位以上、服飾区分講義 18 単位以上、演習・実験・実習 6 単位以上の 40 単位以上と規定し、学力向上や、即戦力およびバランスの取れた人材育成を目指している。

入学定員は、「倉敷市立短期大学学則」第 42 条において服飾美術専攻 5 名とし、少人数の一層専門化された指導体制が組まれている。専門科目および関連科目にはマルチ・メディアを駆使した講義、少人数の長所を生かしたきめ細かい指導による授業が展開されている。

服飾美術専攻における「特別研究」では、それぞれの分野に所属し、少人数制の指導を行っている。特別研究（1－2 年次通年）では、指導教員と学生の 1 対 1 による体系的指導を行い、学生の専門性や関心分野によって一層専門性の高い指導法が採られている。修了論文執筆においては、学生の自発的な研究意欲を重視した対話型の学習指導法を実施することによって研究成果を高めており、毎年度末に学内で行われている修了研究発表会と倉敷市立美術館における修了制作展を通じて勉学の成果を発表し、高度の専門性を促すと同時に客観化を図っている。

また学外演習として企業との共同研究、学外での作品による展覧会企画、ものづくりを通じた地域交流など、アパレルに特化した専門教育だけではなく、生活者と生活者、あるいは生活者と地域社会といった「関係性を創造するデザイン力」を重視したカリキュラムを行っている。また、服飾美術学科での授業の一環として行なわれるヨーロッパ研修旅行の自主的な参加も可能であり、多角的な学習ができる体制をとっている。

保育学科教育計画表

保育学科教育計画表

平成22年度入学生用

系列	区分	授 業 科 目	種別	学則単位数		1 年次		2 年次		資格取得関連科目			担当教員
				必修	選択	前期	後期	前期	後期	保資	幼免	特別	
基礎科目	一般教育	国語表現	講義		2		○						森
		美学	講義		2		○		○				森山
		文学	講義		2				○				安達
		日本国憲法	講義	2		○					●		矢吹
		生命科学	講義		2		○						秋山
		数学	講義		2				○				大原
		心理学	講義		2				○				門田
		国際福祉論	講義		2				○				高橋
	情報外国語	情報機器の操作Ⅰ	演習	1		○					●		大原
		情報機器の操作Ⅱ	演習	1			○				●		大原
		英語Ⅰ（コミュニケーション）	演習	1		○				●	●		安達
		英語Ⅱ（コミュニケーション）	演習	1			○			●	●		安達
		英語Ⅲ	講義		2			○					安達
専門科目	保健体育	英語Ⅳ	講義		2				○				安達
		健康科学概論（1/4）	講義	1			○			●			奥富
		スポーツ（3/4）	実技	1			○			●			奥富
		卒業所要単位数（基礎科目）		10	8	2							
	理解	社会福祉	講義	2			○			●			赤木
		社会福祉援助技術	演習	2			○			●			赤木
		児童福祉	講義	2		○				●			新田
		保育原理Ⅰ	講義	4			○			●			秋川
		保育原理Ⅱ	講義		2			○		●			木戸
	対象の理解	養護原理Ⅰ	講義	2		○				●			長田
		養護原理Ⅱ	講義		2			○		●			長田
		教育原理	講義	2				○		●	●		秋川
		発達心理学Ⅰ	講義	2		○				●	●		門田
		発達心理学Ⅱ（注1）	演習		2		○			●			門田
専門科目	理解	教育心理学	講義	2					○	●	●		門田
		幼児臨床心理学（注1）	演習		2			○		●	●		門田
		小児保健	講義	4			○			●			寺園
		小児保健実習（注2）	実習	1					○	●			寺園
		小児栄養	演習	2			○			●			畦
	内容・方法の理解	精神保健	講義	2				○		●			長田
		家族援助論	講義	2					○	●			三田・門田
		保育内容の研究・健康(1)	演習	1			○			●	●		奥富
		保育内容の研究・健康(2)	演習		1			○		●	●		奥富
		保育内容の研究・人間関係	演習	1		○				●	●		木戸
専門科目	理解	保育内容の研究・環境	演習	1		○				●	●		田羅
		保育内容の研究・言葉	演習	1		○				●	●		溝手
		保育内容の研究・表現Ⅰ	演習	1		○				●	●		野村
		保育内容の研究・表現Ⅱ(1)	演習	1		○				●	●		金山
		保育内容の研究・表現Ⅱ(2)	演習		1		○			●	●		金山
	理解	保育内容の研究・表現Ⅲ	演習	1			○			●	●		溝手
		保育内容の研究・表現Ⅳ	演習		1			○		●	●		溝手
		乳児保育概論	講義	2		○				●			寺園
		乳児保育演習	演習	2			○			●			河合
		養護内容	演習	1				○		●			新田
	理解	障がい児保育	演習	1			○			●			長田
		心身障がい児概論	講義	2		○						●	長田
	基礎技能（教科教育）	音楽Ⅰ(1)	演習	2			○			●	●		野村
		音楽Ⅰ(2)	演習		2				○	●	●		野村
		音楽Ⅱ(1)	演習	2			○			●	●		永田
		音楽Ⅱ(2)	演習		1			○		●	●		永田
		音楽Ⅲ	演習		1				○	●	●		未定
専門科目	理解	図画工作(1)	演習	1		○				●	●		金山
		図画工作(2)	演習		1		○			●	●		金山
		幼児体育(1)	演習	1				○		●	●		奥富
		幼児体育(2)	演習		1				○	●	●		奥富
		児童文化	演習		2				○	●	●		溝手
	理解	保育実習Ⅰ(1)	実習	2				保育所		●			木戸・岡野
		保育実習Ⅰ(2)	実習	2			施設			●			寺園
		保育実習Ⅱ	実習		2			保育所		●			木戸・岡野
		保育実習Ⅲ	実習		2			施設		●			寺園
		保育実習法	実習	1			○			●			寺園・木戸
専門科目	理解	教職論	講義		2				○		●		秋川
		保育方法技術論	講義		2				○		●		田中
		幼児教育課程論	講義		2		○				●		木戸
		教育実習	実習		4			幼稚園			●		木戸・溝手
		教育実習法	演習		1			○			●		木戸
	理解	保育・教職実践演習（幼稚園）	演習	2					○		●		秋川・木戸
		総合演習	演習	2					○	●			保育学科全教員
		卒業所要単位数（専門科目）		65	59	6							
		卒業所要単位数（合計）		75	67	8							
		学則第16条に基づき、（注1）の演習科目は15時間の授業をもって1単位、（注2）の実習科目は30時間の授業をもって1単位とする。											

服飾美術学科教育計画表

服飾美術学科教育計画表

平成22年度入学生用

系列	区分	授 業 科 目	種 別	学 則 単 位	1 年	2 年	担 当 教 員	備 考					
基礎科目	一般教育	美学	講義	2		○	森山	《基礎科目の履修方法》 服飾美術学科の基礎科目は、情報処理演習、英語を含む10単位以上を履修のこと ・情報処理演習、Web基礎演習のいずれかを1単位以上修得。 ・英語Ⅰ（コミュニケーション）、英語Ⅱ（コミュニケーション）のいずれかを1単位以上修得。 なお、2年生は一般教育科目を時間割上で履修可能であれば受講できる。 表中の（○）は、専門科目と同時開講予定で、科目の選択によって受講できる可能性がある。					
		文学	講義	2		○	安達						
		国語表現	講義	2		○	森						
		日本国憲法	講義	2	○		矢吹						
		教育学	講義	2		○	秋川						
		生命科学	講義	2		○	秋山						
		数学	講義	2		○	大原						
		心理学	講義	2		○	門田						
		情報処理演習	演習	1	○		大原・道明						
	外国語	Web基礎演習	演習	1		○	大原・道明						
		英語Ⅰ（コミュニケーション）	演習	1	○		安達						
		英語Ⅱ（コミュニケーション）	演習	1		○	安達						
		英語Ⅲ	講義	2		（○）	安達						
		英語Ⅳ	講義	2			○		安達				
保健体育	ドイツ語Ⅰ	演習	1				開講せず						
	ドイツ語Ⅱ	演習	1				開講せず						
	フランス語Ⅰ	演習	1	○		○	石井						
	フランス語Ⅱ	講義	2		○		○	石井					
	健康科学概論（1／4）	講義	1		ㇿ		渡辺						
	スポーツ（3／4）	実技		1	ㇿ		渡辺						
	卒業所要単位数（基礎）		10	2	8								
系列	区分	授 業 科 目	種 別	学 則 単 位	1 年	2 年	担 当 教 員	備 考					
専門科目	総論	服飾芸術総論	講義	2			○	上村	集中講義 隔年（平成22年度開講）				
		服飾文化史	講義		2	○		宇野					
		服飾造形論	講義	2		○		内田					
	服飾	服飾造形実習Ⅰ	実習	1		○		内田・福村・上原	集中講義				
		服飾造形実習Ⅱ	実習	1			○	上原					
		服飾造形実習Ⅲ	実習		1			○		福村・上原			
		服飾造形実習Ⅳ	実習		1			○		福村・上原			
		ハターンメーキング（CAD）Ⅰ	演習		1		○			内田・上原			
		ハターンメーキング（CAD）Ⅱ	演習		1			○		内田・福村・上原			
		アパレル企業実習	実習		2			○		服飾美術学科全教員			
		服飾管理学	講義		2	○				佐藤			
		服飾管理学実験	実験		1	○				佐藤・道明			
		染色加工学	講義		2			○		陶山			
		服飾繊維学	講義	2		○				道明			
		服飾繊維学実験	実験	1		○				道明			
		服飾材料学	講義		2		○			道明			
		服飾材料学実験	実験		1		○			道明			
		服飾人間環境学	講義	2		○				佐藤			
		服飾人間環境学実験	実験	1			○			佐藤			
		服飾人間工学	講義		2			○		佐藤			
		美術	身体科学論	講義		2		○			柳原	隔年開講（平成22年度開講）	
			アパレル消費科学	講義		2	○				陶山		
			マーケティング論	講義		2		○			趙		
			消費生活論	講義		2		○			田中（勝）		
			消費者調査法	演習		1				○	大原		
			服飾デザイン論	講義	2			○			趙		
			服飾デザイン演習	演習		1					○		趙
			モードデッサンⅠ	演習		1	○				趙		
			モードデッサンⅡ	演習		1		○			趙		
			テキスタイルデザインⅠ	演習	1		○				田中		
			テキスタイルデザインⅡ	演習		1				○	田中		
			CG基礎演習	演習		1	○				趙		
			ファッションクリエーション論	講義	2		○				上村		
			ファッションクリエーション演習	演習		1		○			上村		
			手工芸	実習		1				○	内田		
			美術史	講義		2			○	守田	隔年開講（平成23年度開講） 集中講義		
			カラーコーディネート論	講義		2	○			青木			
			染織Ⅰ	演習		1	○			田中			
			染織Ⅱ	演習		1				○			田中
		染色	演習		1			○	田中				
		ビジュアルデザインⅠ	演習	1			○		藤木				
		ビジュアルデザインⅡ	実習		1			○	藤木				
		ビジュアルデザインⅢ	実習		1				○	藤木			
		ライフスタイル70外演習	演習		1			○	上村				
		基礎デッサン	演習	1		○			藤木				
		人体デッサン	実習		1			○	野村（真）				
		表現演習Ⅰ	演習	1			○		松内				
	表現演習Ⅱ	演習		1			○	松内					
	表現演習Ⅲ	演習		1				○	松内				
	ベーシックデザインⅠ	演習	1		○			松内					
	ベーシックデザインⅡ	演習		1		○		松内					
	卒業研究		演習	2			ㇿ	ㇿ	服飾美術学科全教員				
	卒業所要単位数（基礎専門科目）			52	23	29							
	卒業所要単位数（合計）			62	25	36							

保育臨床専攻教育計画表

保育臨床専攻教育計画表

平成22年度入学生用

	授業形態	単位数	必修選択	1年生		2年生		担当教員	備考	幼免1種
				前期	後期	前期	後期			
関連科目	情報処理論	講義	2	選択	○			大原		
	国語表現法演習	演習	1	選択		○		定金		
	アメリカ女性史	講義	2	必修	○			宮城		
	音楽鑑賞法	演習	1	選択		○		江島		
	スポーツ1	実技	1	必修	○			奥富		
	スポーツ2	実技	1	選択		○		奥富		
	生活福祉論	講義	2	選択		○		赤木		
	造形表現論	講義	2	選択	○			松内	隔年(H22)	
	立体制作Ⅰ	演習	1	選択		○		松内		
	立体制作Ⅱ	演習	1	選択			○	松内		
関連科目計			14							
専門科目	学教に育関する教育心理学特論	講義	2	必修	○			秋川		●
	教育行政論	講義	2	選択			○	秋川	隔年(H23)	◎
	教育映像表現演習	演習	1	選択		○		安達		
	発達心理学特論	講義	2	必修	○			門田		◎
	発達臨床心理学	講義	2	選択		○		長田		
	教育心理学研究法	講義	2	選択			○	門田	隔年(H23)	◎
	生理心理学	講義	2	選択		○		門田	隔年(H22)	
	心理学実験	実験	2	選択	㇏			門田		
	児童文化特論1	講義	2	選択		○		溝手		○
	児童文化特論2	講義	2	選択			○	溝手		○
	音楽実技内容研究1	演習	2	選択必修	㇏			野村	1教科以上選択	○
	音楽実技内容研究2	演習	2	選択必修	㇏			(未定)		○
	幼児の運動遊び演習	演習	1	選択			○	奥富	隔年(H23)	○
	幼児保育制度論	講義	2	必修		○		秋川		◎
	比較教育特論	講義	2	選択		○		秋川	隔年(H22)	●
	幼児教育課程特論	講義	2	必修			○	木戸		◇
	音楽教育指導法	演習	2	選択	㇏			野村	隔年(H22)	◇
	子どもと家族の教育相談	講義	2	選択		○		寺園	隔年(H22)	
	小児の看護と保育	講義	2	選択			○	寺園	隔年(H23)	
	幼児健康学演習	演習	1	選択			○	奥富	隔年(H23)	◇
	専門英語文献講読	演習	2	必修	㇏			安達		
	幼児の環境デザイン演習	演習	1	選択			○	金山	隔年(H23)	
	保育内容特別演習(健康)	演習	1	必修			○	奥富	隔年(H23)	◇
	保育内容特別演習(造形表現1)	演習	1	必修	○			金山	隔年(H22)	◇
	保育内容特別演習(造形表現2)	演習	1	選択		○		金山	隔年(H22)	◇
	保育内容特別演習(劇的表現1)	演習	1	必修			○	溝手	隔年(H23)	◇
	保育内容特別演習(劇的表現2)	演習	1	選択			○	溝手	隔年(H23)	◇
	特別研究	演習	4	必修	㇏		㇏	保育学科全教員		
	子育て支援体験実習	実習	4	必修			㇏	秋川	集中(4週)	
	LD・ADHD臨床特論	講義	2	必修	○			柳原外		
	乳児保育特論1	講義	2	必修	○			寺園		
	乳児保育特論2	講義	2	選択		○		寺園		
	障がい児臨床演習	演習	1	選択			○	長田	隔年(H23)	
	ADHD・AS臨床実習	実習	2	必修	㇏			長田	集中(2週)	
	臨床動作学	演習	1	選択	○			長田		
専門科目計			63							
総単位数			77							

卒業所要単位数は合計62単位で、そのうち専門科目40単位以上、関連科目4単位以上を取得しなければならない。

●教科又は教職に関する科目
◎教職・基礎理論に関する科目

○教科に関する科目
◇教職・教育課程及び指導法に関する科目

服飾美術専攻教育計画表

服飾美術専攻教育計画表

平成22年度入学生用

系列	区分	授 業 科 目	種 別	学 則 単 位		1 年		2 年		担 当 教 員	備 考	
				必修	選択	前期	後期	前期	後期			
関連科目	自然科学	色彩工学	講義		2		○			内田	隔年開講H22	
		品質管理	講義		2	○				陶山	隔年開講H22	
	美術学	ビジュアルアート論	講義		2			○		藤木	隔年開講H23	
		造形表現論	講義		2	○				松内	隔年開講H22	
		ドローイングⅠ	演習		1	○				藤木		
		ドローイングⅡ	演習		1	○				藤木		
		ビジュアルデザイン演習Ⅰ	演習		1	○				藤木		
		ビジュアルデザイン演習Ⅱ	演習		1		○			藤木		
		立体制作Ⅰ	演習		1		○			松内		
		立体制作Ⅱ	演習		1			○		松内		
		造形表現Ⅰ	演習		1			○		松内		
		造形表現Ⅱ	演習		1				○	松内		
	情報	情報処理論	講義		2	○		○		大原		
	教育学	国語表現法演習	演習		1	○		○		定金		
音楽鑑賞法		演習		1		○		○	江島			
社会学	アメリカ女性史	講義		2	○				宮城			
関連科目 計					22							
卒業所要（関連科目）単位数					4～22							
系列	区分	授 業 科 目	種 別	学 則 単 位	1 年		2 年		担 当 教 員	備 考		
				必修	選択	前期	後期	前期			後期	
専門科目	総論	生活文化環境論	講義	4			C D				藤木・内田・佐藤・福村・松内・上村・田中・趙・道明	
		生活情報論	講義		2		○				上村	隔年開講H22
		生活福祉論	講義		2				○		赤木	
		ファッションデザイン論	講義		2				○		趙	隔年開講H23
	服飾	服飾企画論	講義		2	○					趙	隔年開講H22
		デザインマネジメント	講義		2		○				趙	隔年開講H22
		パターンメイキング論	講義		2	○					内田・福村・上原	集中講義
		服飾造形実技Ⅰ	実習		1		○				福村	
		服飾造形実技Ⅱ	実習		1			○			内田	
		服飾造形実技Ⅲ	実習		1				○		福村	
		手工芸論	講義		2				○		内田	隔年開講H23
		テキスタイルデザイン論	講義		2		○				田中	隔年開講H22
		テキスタイルデザイン演習Ⅰ	演習		1	○					田中	
		テキスタイルデザイン演習Ⅱ	演習		1			○			田中	
		工芸染織	演習		1		○				田中	
		被服心理学	講義		2	○					福村	隔年開講H22
		被服衛生学	講義		2		○				佐藤	隔年開講H22
		被服生理学	講義		2				○		佐藤	隔年開講H23
		被服生理学実験	実験		1		○				佐藤	
		染色実習	実習		2		○				田中	
		アパレルコンピュータ論	講義		2		○				大原	隔年開講H22
		アパレルコンピュータ演習	演習		1		○				大原・道明	
		繊維・ファッション産業論	講義		2				○		（未定）	隔年開講H23
		衣服論	講義		2				○		上村	隔年開講H23
		ライフプロダクト論	講義		2	○					上村	隔年開講H22
		ライフプロダクト演習Ⅰ	演習		1		○				上村	
		ライフプロダクト演習Ⅱ	演習		1			○			上村	
		アパレル経営論	講義		2		○				（未定）	隔年開講H22
		アパレル産業研修	実習		2			○			服飾美術学科全教員	集中
	特別研究			実習	8		C D		C D		服飾美術学科全教員	
	専門科目 計				12	46						
	卒業所要（専門科目）単位数					12	28～46					
卒業所要単位数（合計）			62	12	50							

卒業所要単位数は合計62単位で、そのうち専門科目40単位以上、関連科目4単位以上を取得しなければならない。
残り18単位以上は専門科目・関連科目のいずれかより取得すればよい。
専門科目は、総論区分 6単位以上、服飾区分 講義18単位以上、演習・実験・実習6単位以上の40単位以上とする。

成績評価基準やルール

単位は試験成績・レポート・作品・論文・出席の状況などにより総合的に評価して与えられます。

(1) 単位認定を受けるための条件

- ①履修届を提出・受理されていること
- ②各授業科目について、授業時間数の 2/3 以上出席すること
- ③授業料・その他の諸納入金を納めること

(2) 単位の認定

- ①定期試験による認定（原則として前期 9 月，後期 2 月に実施）
- ②レポート・作品等による認定

レポート・作品等を持って試験に代える授業にあっては、所定の期日までに提出した者

③単位の認定

ア 履修科目については 60 点以上を合格点として、その科目の単位を与えます。

イ 成績は次のように分類して評価されます。

評価	得点
A	80 点～100 点
B	70 点～79 点
C	60 点～69 点
D	59 点以下

* 成績評価に疑問がある時には、授業担当者か学生部に申し出てください（「成績評価の正確さを担保するための措置について」を参照）。

卒業要件・資格免許

(1) 短期大学市の学位の授与・4 年制大学への編入資格

保育学科 75 単位（基礎 10 単位・専門 65 単位）以上

服飾美術学科 62 単位（基礎 10 単位・専門 52 単位）以上

(2) 保育士資格 保育学科のみ卒業と同時に取得

(3) 幼稚園教諭 2 種免許 保育学科の未選択で取得可能

(4) 短期大学専攻科修了資格

①保育臨床専攻 62 単位 (専門科目 40 単位・関連科目 4 単位) 以上
教育学士の称号の授与 大学評価学位授与機構へ申請要

②幼稚園教諭 1 種免許 保育臨床専攻のみで選択で取得可能

③服飾美術専攻 62 単位 (専門科目 40 単位・関連科目 4 単位) 以上
家政学士の称号の授与 大学評価学位授与機構へ申請要

1 1 . 学 生 生 活

学 生 生 活（本学が徴収する費用，修学・進路指導及び心身の健康にかかわる支援）

1 サークル活動

本学には現在下記のサークルがあり，活発な活動を展開している。

表 1 サークル活動一覧

	サークル名	顧問	部員構成（人）	活動内容
文 化 系	茶道部	内田洋子	21	茶道
	倉敷市立短大子どもの劇場	溝手恵里	15	人形劇や劇の公演
	Kid' s ABC	安達励人	9	幼児期にふさわしい英語活動の実践
	美術部	藤木正則	8	絵を描くことで輪を広める
	おんがくくらぶ	道明伸幸	7	音楽を通じて親睦を深める
	WITH	長田実	6	障がい児支援ボランティア
	THE ☆ MAC	長田実	5	障がい児親の会の支援
	臨床心理研究会	門田昌子	4	カウンセリング研究
	子どもの遊びを考える会	門田昌子	4	子どもの遊びに関する研究
	音楽療法研究会	門田昌子	4	音楽を用いた子どもへのアプローチ
	子どもの食育研究会	門田昌子	4	子どもの食育に関する研究
体 育 系	運動体験部	奥富庸一	52	親子ふれあいパークの実践
	バレーボール	奥富庸一	18	バレーボール実践
	バトミントン	奥富庸一	13	バトミントン実践
	KURADAN	上原真樹	5	ダンスを通じた身体表現

（参考：平成 21 年度 部・クラブ・同好会等設立届）

2 本学が徴収する費用

本学の入学志願者は入学検定料を，合格の通知を受けた者は入学料を，在學生，研究生及び科目等履修生は授業料を，再試験を受けようとする者は再試験手数料を納入することとなる（表 2）。

表 2 本学が徴収する費用

	入学検定料	入学料		授業料	再試験手数料
		市内に住所を 有する者	市外に住所を 有する者		
保育学科 服飾美術学科	18,000 円	112,800 円	169,200 円	年額 390,000 円	1 科目 1,000 円
保育臨床専攻 服飾美術専攻	18,000 円	112,800 円	169,200 円	年額 390,000 円	1 科目 1,000 円
研究生	9,800 円	56,400 円	84,600 円	月額 29,700 円	—
科目等履修生	9,800 円	18,800 円	28,200 円	1 単位 14,800 円	1 科目 1,000 円

（参照：倉敷市立短期大学条例第 5 条）

3 奨学金制度

日本学生支援機構における奨学金には，入学前（高等学校在学時）に奨学金支給が予約決定している学生を含め，第一種奨学金，第二種奨学金がある。その他，保護者の経済的理由により修学が難しい学生は，減免または徴収の猶予の範囲で授業料に関する措置を講じている。

平成 17 年度～平成 21 年度の 5 年間を種別にみると，一種（無利子）が合計 137 名（平均 27.4 名），二種（有利子）が合計 186 名（平均 37.2 名）である。なお，このうち 30 名が両者の併用貸与者である。在学申請貸与者については，貸与希望者の数

の 97.4% となっている。

※併用貸与者とは，第一種奨学金と第二種奨学金を同時に貸与されている学生のことをいう。

表 3 平成 17 年度～平成 21 年度 学生の奨学金の申し込み・推薦状況

	保育学科		服飾美術学科		専攻科・保育臨床専攻	専攻科・服飾美術専攻	合計	保育学科		服飾美術学科		専攻科・保育臨床専攻	専攻科・服飾美術専攻	合計	総合計（併用）
入学年度	予約	在学	予約	在学	在学	在学		予約	在学	予約	在学	在学	在学		
H17	6	9	7	1	1	3	27	10	5	15	1	0	2	33	60(5)
H18	6	2	6	10	3	2	29	10	8	6	4	0	2	30	59(5)
H19	10	5	2	5	3	1	26	12	4	12	9	0	1	38	64(5)
H20	8	9	6	2	2	2	29	13	3	14	5	1	1	37	66(7)
H21	8	9	2	3	1	3	26	13	6	21	5	0	3	48	94(8)

4 学生会主催の年間行事

学生会行事については，学生会顧問が支援と助言を行っている。行事の事業費は各年度の予算計画に基づき，入学時に徴収する学生会費（2 年分）12,000 円（平成 22 年度）から支出されている。

4 月 新入生歓迎会
7 月 七夕
10 月 学園祭
12 月 クリスマス会

5 修学支援

本学の各学科及び専攻科では学年担任制を採用し、本科 2 年及び専攻科ではゼミによる指導を行っている。担任教員及びゼミ担当教員は、学生に対して学習・生活・進路等に関する助言・指導を実施している。本学は、1 学年定員 50 名と少人数であり、また少人数制のゼミによる指導を行っているためオフィスアワーを設けず、授業内容に関する質問、生活や進路に関する相談は、担任やゼミ担当教員だけでなく全教員が随時対応している。相談内容によっては、学科会議や委員会など教員間でも随時情報交換を行い、学生の動向を把握している。

6 進路支援

進路に関しては、就職連絡会を組織しており、1 年次後期には、学生部就職担当職員が全学生を対象に進路に関する個人面接を行い、学生の進路希望の把握を行っている。求人票が届いた場合は、学生部から学生だけでなく担任教員、各学科長にも情報を共有することで進路支援に活用している。

学生部では、「進路の手引き」を作成し、本学での進路選択についての説明が行う。また、学生の希望先に合わせて、就職情報を個別に連絡するなどし、担任と学生部の双方で支援することで、個々のニーズに沿ったきめ細やかな対応を目指している。2 年次後期には、就職内定が出ていない学生に対して、再度、面接を行い、個別の進路支援を行っている。

就職相談室には、過去の就職データや面接や採用試験科目など就職に参考となる文献をそろえ、求人票の閲覧や就職試験に関する準備ができるようになっている。求人票や企業ガイダンスなどの求人情報は、就職相談室だけでなく、ピロティーや廊下掲示板にも掲示しており、学生の目に留まるよう配慮している。

7 心身の健康にかかわる支援

年度初めに行われるオリエンテーションにおいて、学生部より学生生活についてのアドバイスがあり、健康不安や各種ハラスメントがあった場合の窓口となる担当者がいる。また、学年担任、少人数のゼミ担当教員、学生部職員等、生活面や進路について相談できる体制がとられている。さらに、教員や事務職員が健康や生活へのケアを

するため、平成 21 年 10 月から保健室に常駐する職員を配置し、健康や体調に関する
ことをはじめ、学生生活における不安を抱える学生に対して積極的にコミュニケーション
を図っている。

12. 平成22年度の主な行事（平成22年4月1日～23年3月31日）

月 日	行 事
4月6日	平成22年度入学式（本学体育館） 倉敷市立短期大学後援会総会（301教室）
4月7日	オリエンテーション
4月8日	健康診断
4月9日	学生会新入生歓迎会
4月12日	前期授業開始
4月22日	宿泊研修（保育学科 牛窓，服飾美術学科 神戸・京都）
5月～	学生部就職個人面接
5月～	進学説明会・進学ガイダンス（県内外の高校および会議場）
6月1日～11日	保育学科 保育実習Ⅰ（1）
6月16日	人権講演会
6月30日	機関別認証評価（大学評価学位授与機構）自己評価書提出 締切
7月3日	倉敷市大学連携講座
7月	保育臨床専攻 子育て支援体験実習
7月～	高校訪問（学生募集）（中国・四国・九州の一部・兵庫県）
7月5日～9日	保育学科 教育実習Ⅰ期
7月9日～24日	服飾美術学科 アパレル企業実習
7月11日～8月31日	夏季休業
7月12日～7月30日	補講・代替授業・集中講義
7月25日	オープンキャンパス 服飾美術学科 自己推薦入試説明会
7月30日	保育学科 保育内容の研究・表現Ⅳ 劇発表
8月18日～8月31日	補講・代替授業・集中講義
8月29日	服飾美術学科 自己推薦入試説明会
8月26日～27日	保育学科 ホームカミング就職懇話会
9月13日～22日	保育学科 保育実習Ⅲ
9月13日～25日	保育学科 保育実習Ⅱ

9 月 28 日	服飾美術学科 自己推薦入試
9 月 30 日	オリエンテーション
10 月 1 日	後期授業開始
10 月 3 日	創立記念日
	オープンキャンパス
10 月 10 日	保育学科 倉敷市民間保育所ガイダンス
10 月 16 日～17 日	大学祭
10 月 30 日	倉敷市大学連携講座
11 月 1 日～19 日	保育学科 教育実習 II 期
11 月 2 日～11 日	保育学科 保育実習 I (2)
11 月 10 日	推薦 A 入試, 社会人・帰国子女特別選抜
11 月	保育臨床専攻 子育て支援体験実習
11 月 29 日	倉敷市立短期大学公開講座
12 月 2 日	専攻科入試 (1 次)
12 月 7 日	倉敷市立短期大学公開講座
12 月 18 日～27 日	ヨーロッパ研修
12 月 21 日～1 月 10 日	冬季休業
12 月 21 日～27 日	補講・代替授業
1 月 5 日～7 日	補講・代替授業
2 月 4 日	一般入試
2 月 10 日	服飾美術学科 卒業研究発表会
2 月 12 日～13 日	保育学科・保育臨床専攻 こどもの森
2 月 16 日～18 日	補講・代替授業
2 月 25 日	専攻科入試 (2 次)・外国人特別選抜
2 月 22 日～27 日	服飾美術学科・服飾美術専攻 卒業・修了制作展 (倉敷市立美術館)
3 月 9 日	推薦入試 B
3 月 18 日	平成 22 年度卒業証書・修了証書授与式 (本学体育館)

13. 事業予算

○平成23年度事業費予算

(単位：千円)

経費区分	予算額	財源内訳		内容説明
		特定財源	一般財源	
短期大学一般管理経費	54,574	54,524	50	運営及び施設の管理経費
短期大学教務管理経費	26,901	26,901		教育及び研究にかかる経費
短期大学施設整備事業	7,289		7,289	施設及び機器備品の整備経費
	(21,300)	(14,393)	(6,907)	(繰越明許費)
専攻科関係経費	1,711	1,711		専攻科の運営経費
短期大学付属図書館運営経費	5,472	5,472		付属図書館運営経費
短期大学地域貢献事業	5,657	2,002	3,655	地域貢献にかかる経費
職員給与費	260,812	25,185	235,627	教職員分
短期大学費計	362,416	115,795	246,621	
	(21,300)	(14,393)	(6,907)	

() は外数

○短期大学費の内訳(決算額)

(単位：千円)

年度		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
区分					
支出	短期大学費	405,616	376,433	362,922	351,684
収入	国県支出金	1,592	0	0	0
	授業料・入学金等	121,085	118,955	121,176	125,916
	一般財源	282,939	257,478	241,746	225,768
	計	405,616	376,433	362,922	351,684

倉敷市立短期大学 学報

2011 年 6 月 30 日発行

発行 倉敷市立短期大学

〒711-0937 倉敷市児島稗田町 160 番地

電話 086-473-1860（代表）

編集 倉敷市立短期大学 改革構想委員会
